

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添2-002-07改01
提出年月日	2023年5月31日

VI-2-2-7 タービン建物の地震応答計算書

2023年5月

中国電力株式会社

目 次

1. 概要	1
2. 基本方針	2
2.1 位置	2
2.2 構造概要	3
2.3 解析方針	8
2.4 適用規格・基準等	10
3. 解析方法	11
3.1 設計に用いる地震波	11
3.2 地震応答解析モデル	30
3.2.1 水平方向	31
3.2.2 鉛直方向	40
3.3 解析方法	45
3.3.1 動的解析	45
3.3.2 静的解析	45
3.3.3 必要保有水平耐力	47
3.4 解析条件	48
3.4.1 建物・構築物の復元力特性	48
3.4.2 地盤の回転ばねの復元力特性	61
3.4.3 材料物性の不確かさ等	62
4. 解析結果	64
4.1 動的解析	64
4.1.1 基本ケースの地震応答解析結果	64
4.1.2 材料物性の不確かさを考慮したケースの地震応答解析結果	162
4.2 静的解析	313
4.3 必要保有水平耐力	317

1. 概要

本資料は、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」及びVI-1-1-3「発電用原子炉施設の自然現象等による損傷の防止に関する説明書」のうちVI-1-1-3-1-1「発電用原子炉施設に対する自然現象等による損傷の防止に関する基本方針」に基づくタービン建物の地震応答解析について説明するものである。

地震応答解析により算定した各種応答値及び静的地震力は、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」に示す建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力として用いる。また、必要保有水平耐力については建物・構築物の構造強度の確認に用いる。

2. 基本方針

2.1 位置

タービン建物の設置位置を図 2-1 に示す。

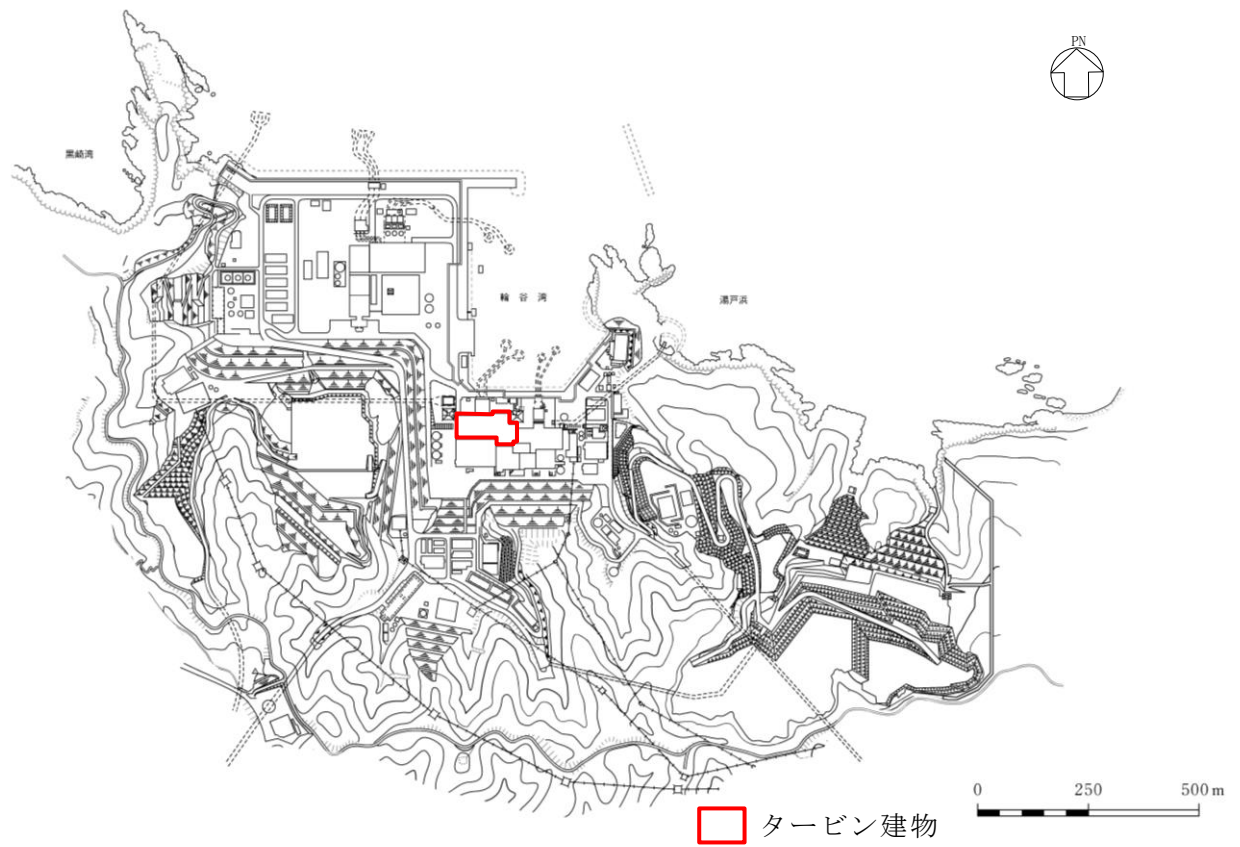


図 2-1 タービン建物の設置位置

2.2 構造概要

タービン建物は、地上 3 階（一部地上 4 階）、地下 1 階建の鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）の建物である。

タービン建物の平面寸法は 72.0m（一部 51.4m）*（N S）×138.0m*（E W）である。基礎スラブ底面からの高さは 41.6m である。また、タービン建物は隣接する他の建物と構造的に分離している。

タービン建物の基礎は厚さ 2.0m～2.5m のべた基礎で、岩盤に直接設置している。建物に加わる地震時の水平力は、すべて耐震壁及びフレームで負担させている。タービン建物の概略平面図及び概略断面図を図 2-2 及び図 2-3 に示す。

注記*：建物寸法は壁外面寸法とする。

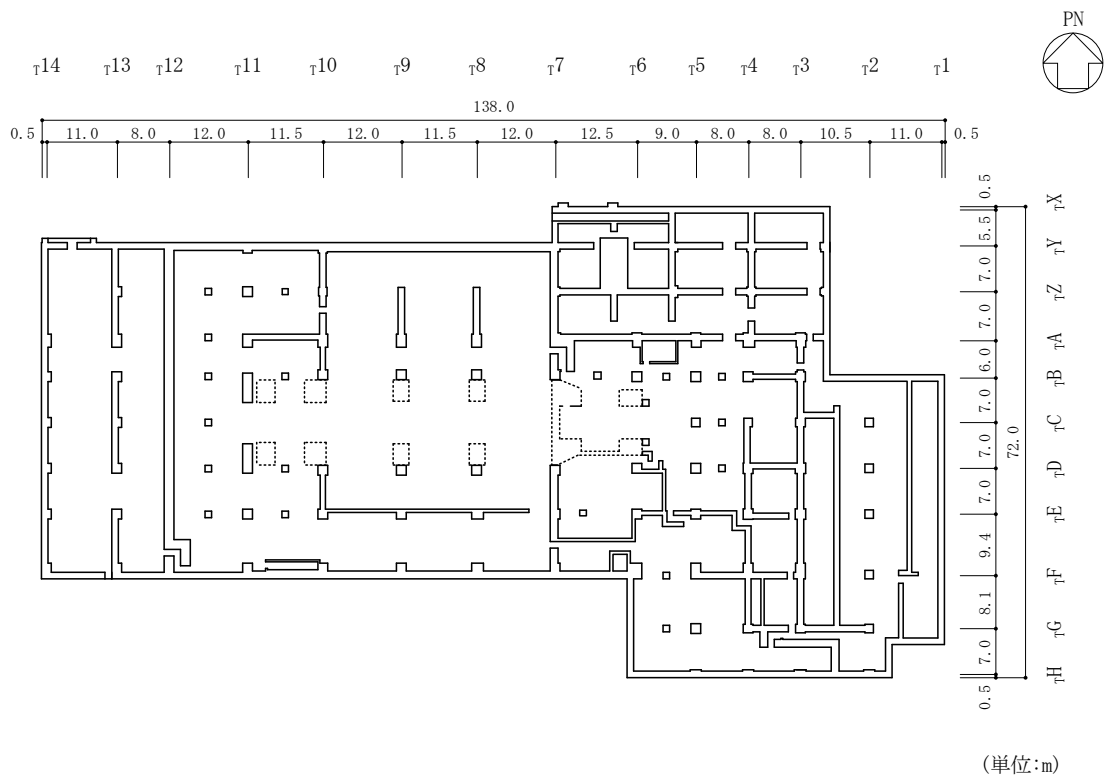


図 2-2(1) タービン建物の概略平面図 (EL 2.0m*)

注記* : 「EL」は東京湾平均海面 (T.P.) を基準としたレベルを示す。

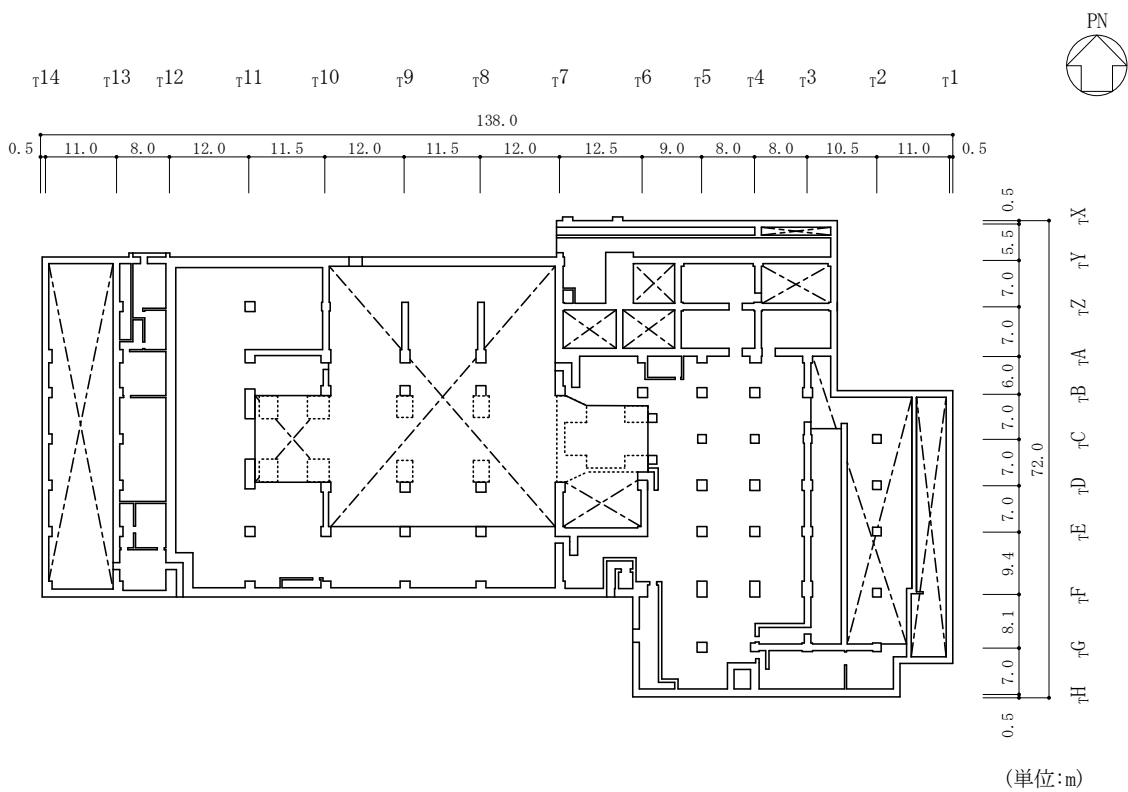


図 2-2(2) タービン建物の概略平面図 (EL 5.5m)

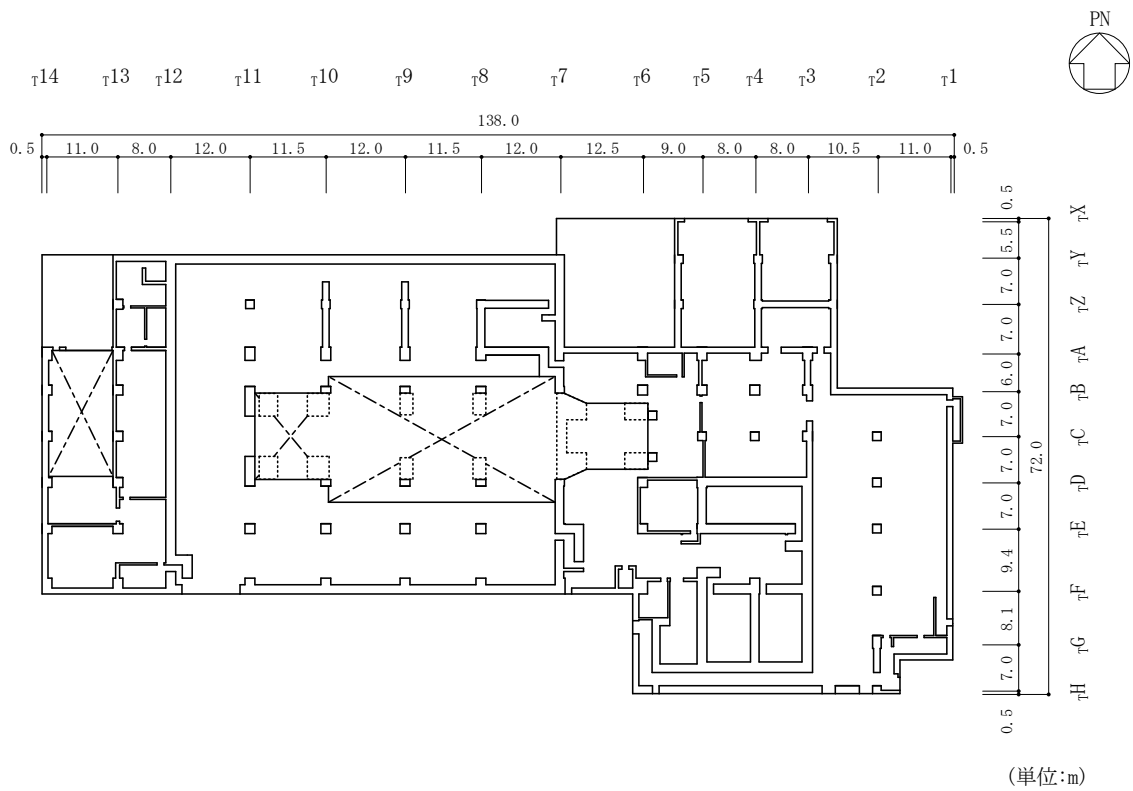


図 2-2(3) タービン建物の概略平面図 (EL 12.5m)

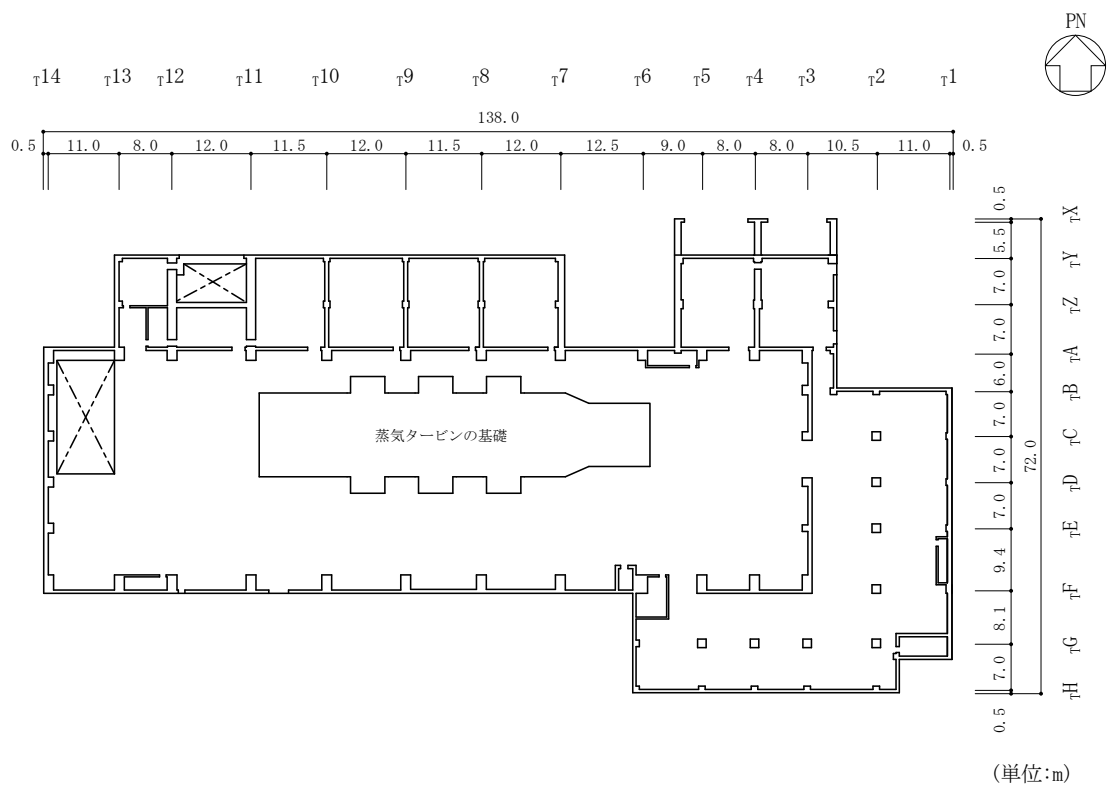


図 2-2(4) タービン建物の概略平面図 (EL 20.6m)

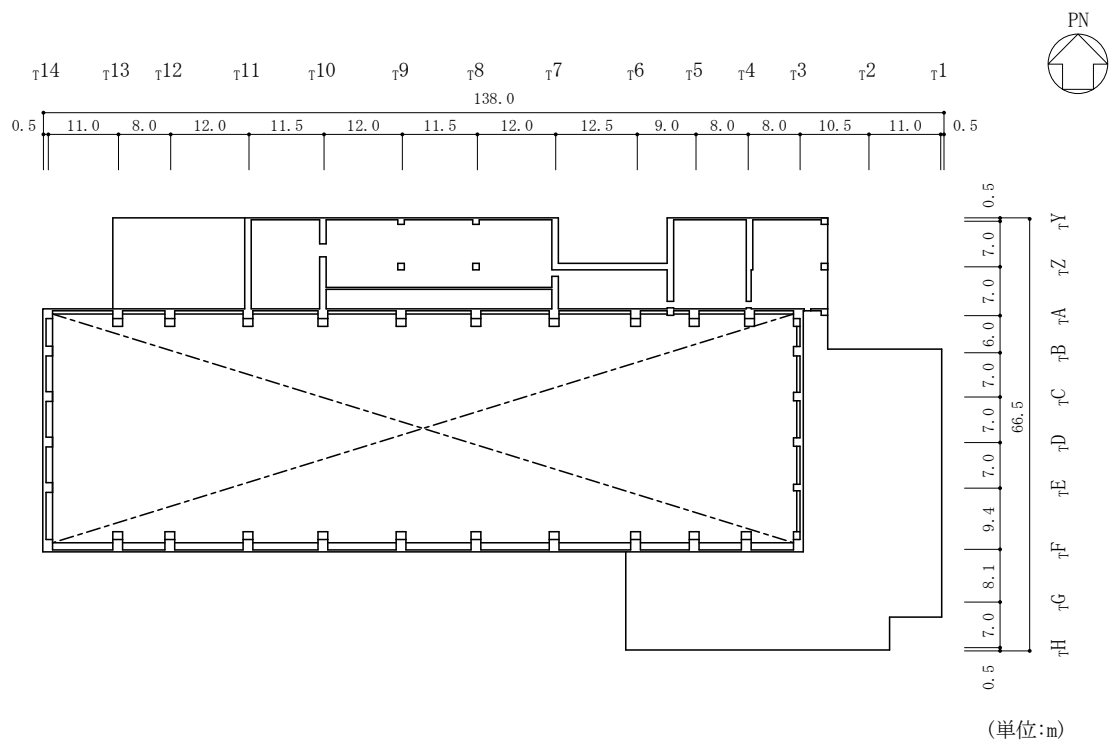


図 2-2(5) タービン建物の概略平面図 (EL 32.0m)

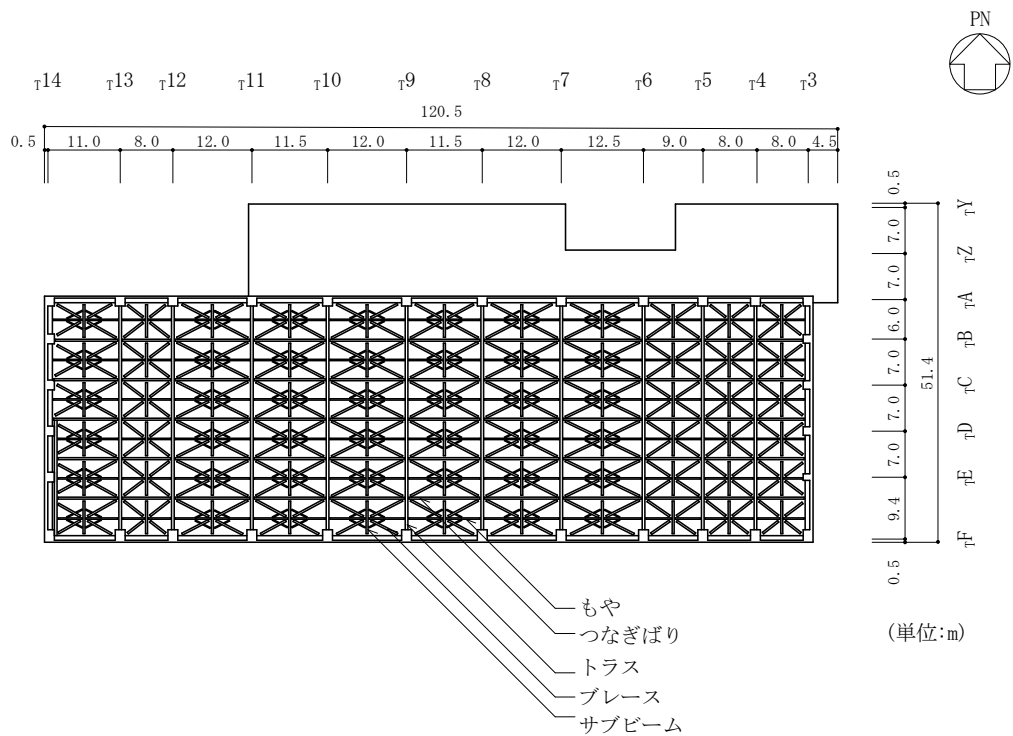


図 2-2(6) タービン建物の概略平面図 (EL 41.6m)

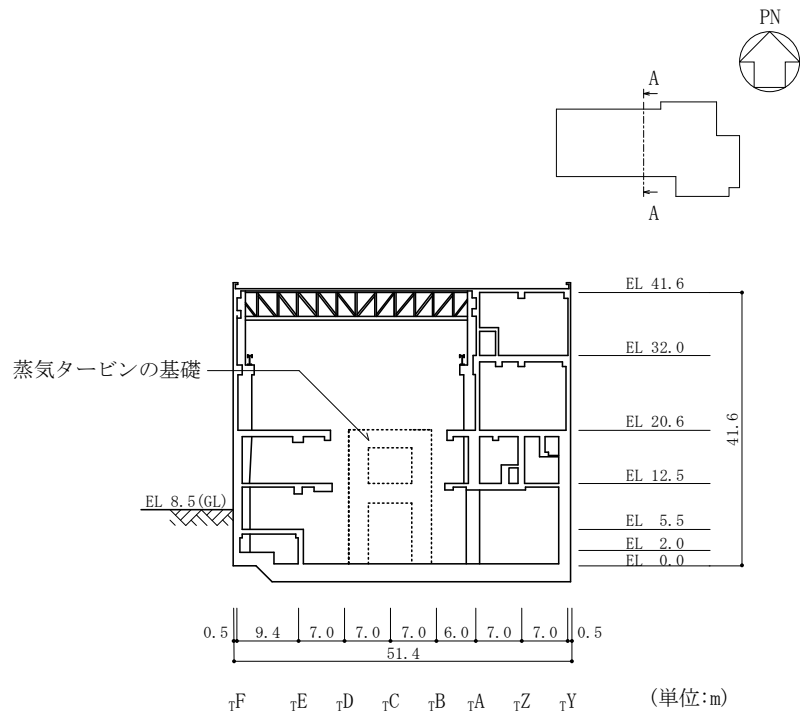


図2-3(1) タービン建物の概略断面図 (A-A断面, NS方向)

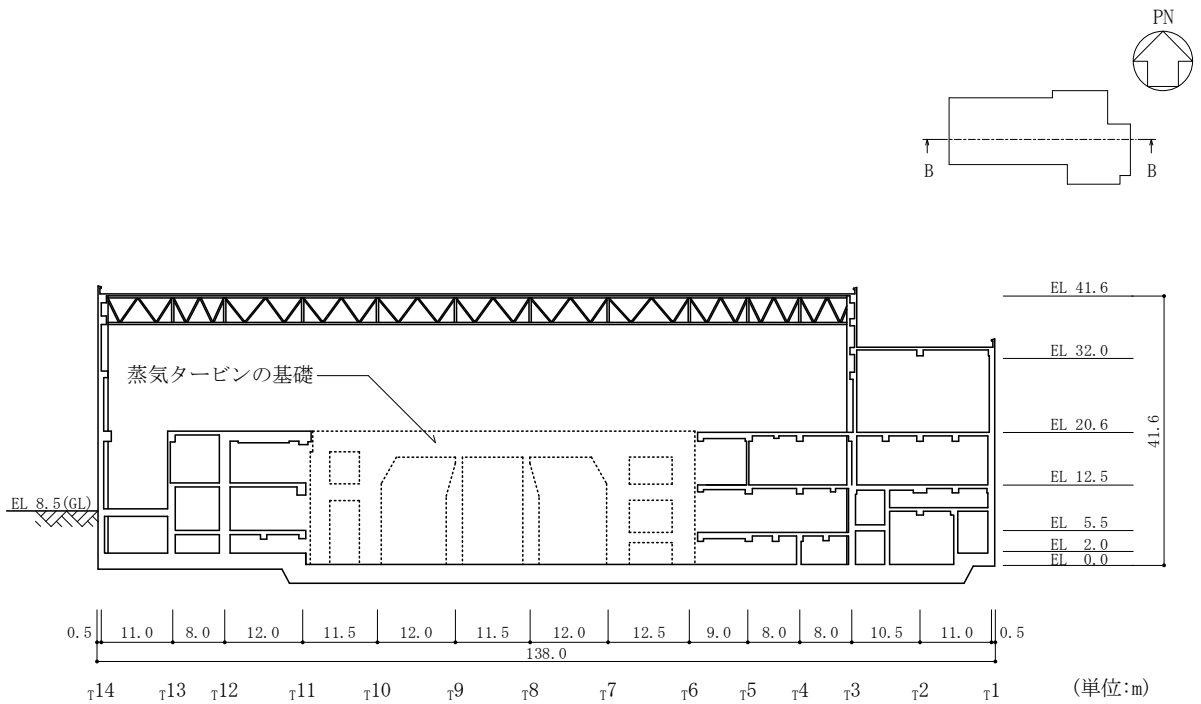


図2-3(2) タービン建物の概略断面図 (B-B断面, EW方向)

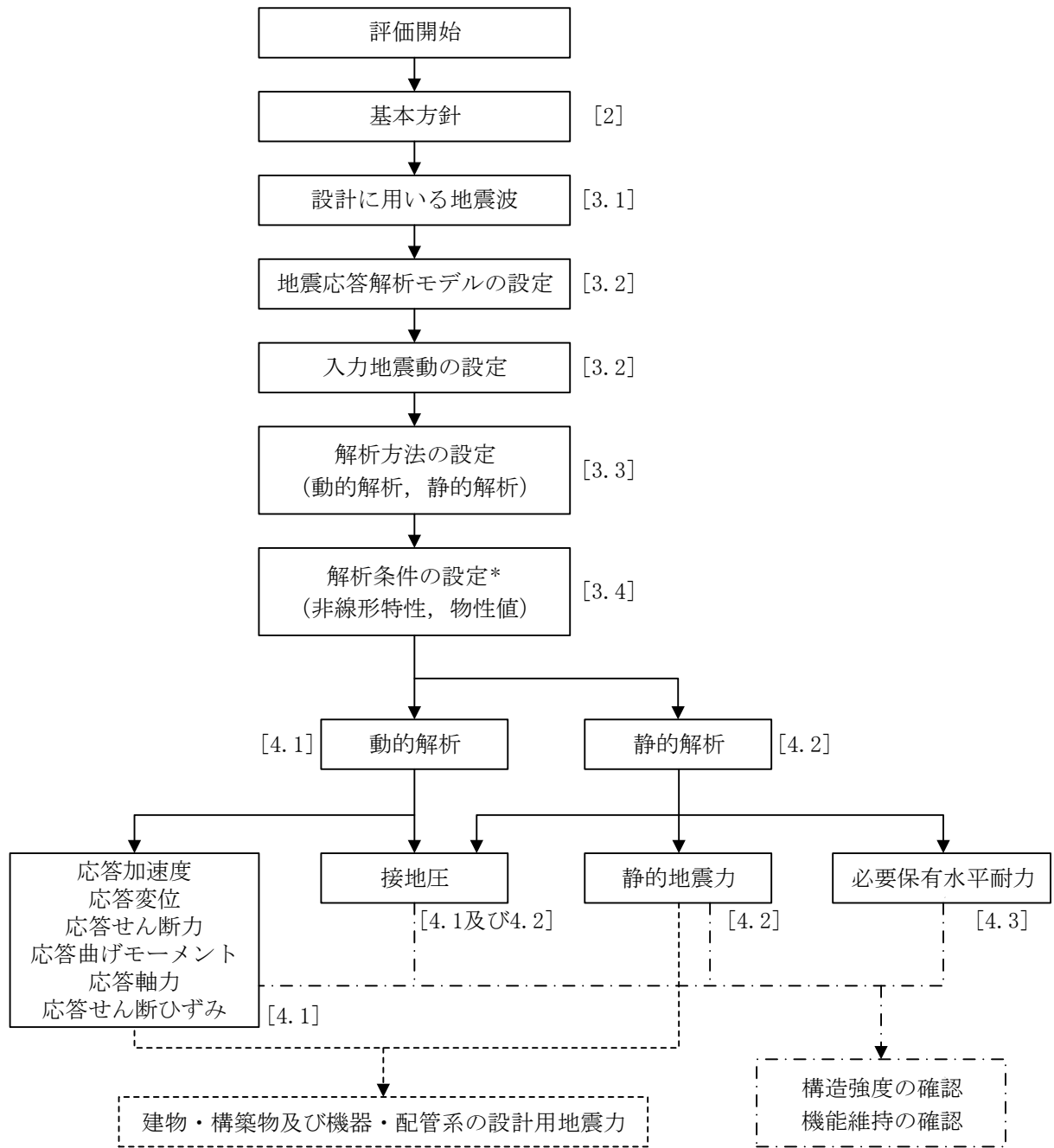
2.3 解析方針

タービン建物の地震応答解析は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」に基づいて行う。

図2-4にタービン建物の地震応答解析フローを示す。

地震応答解析は、「3.1 設計に用いる地震波」及び「3.2 地震応答解析モデル」において設定した地震応答解析モデルを用いて実施することとし、「3.3 解析方法」及び「3.4 解析条件」に基づき、「4.1 動的解析」においては、材料物性の不確かさを考慮し、加速度、変位、せん断ひずみ、接地圧等を含む各種応答値を算定する。

「4.2 静的解析」においては静的地震力及び接地圧を、「4.3 必要保有水平耐力」においては必要保有水平耐力を算定する。



注：[]内は、本資料における章番号を示す。

注記*：材料物性の不確かさを考慮する。

図 2-4 タービン建物の地震応答解析フロー

2.4 適用規格・基準等

タービン建物の地震応答解析において適用する規格・基準等を以下に示す。

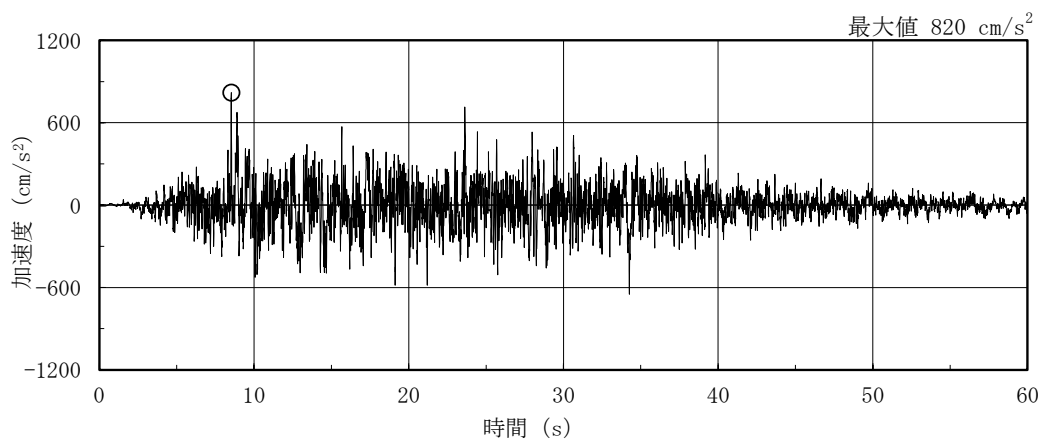
- ・原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1 -1987 ((社) 日本電気協会)
- ・原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編 J E A G 4 6 0 1 ・補-1984 ((社) 日本電気協会)
- ・原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版 ((社) 日本電気協会)
- ・建築基準法・同施行令
- ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 ー許容応力度設計法ー ((社) 日本建築学会, 1999 改定)
- ・原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 ((社) 日本建築学会, 2005 制定)
- ・鋼構造設計規準 ー許容応力度設計法ー ((社) 日本建築学会, 2005 改定)

3. 解析方法

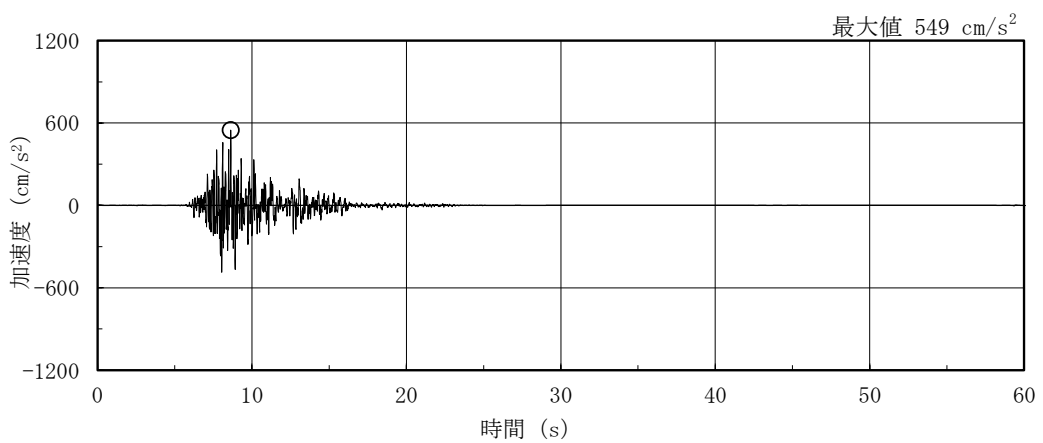
3.1 設計に用いる地震波

タービン建物の地震応答解析モデルは、建物と地盤の相互作用を評価した建物－地盤連成モデルとする。この建物－地盤連成モデルへの入力地震動は、VI-2-1-2「基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の策定概要」に示す解放基盤表面レベルに想定する地震波を用いることとする。

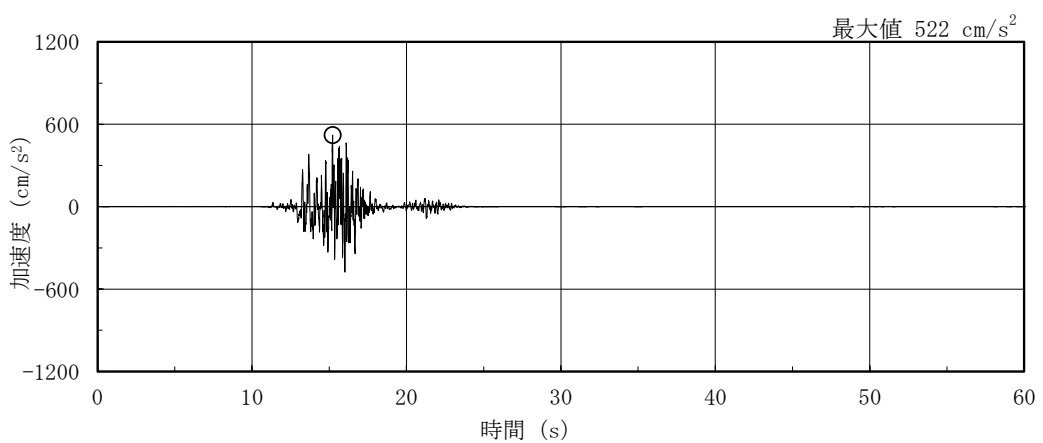
基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルを図 3-1～図 3-8 に示す。



(a) S s - D

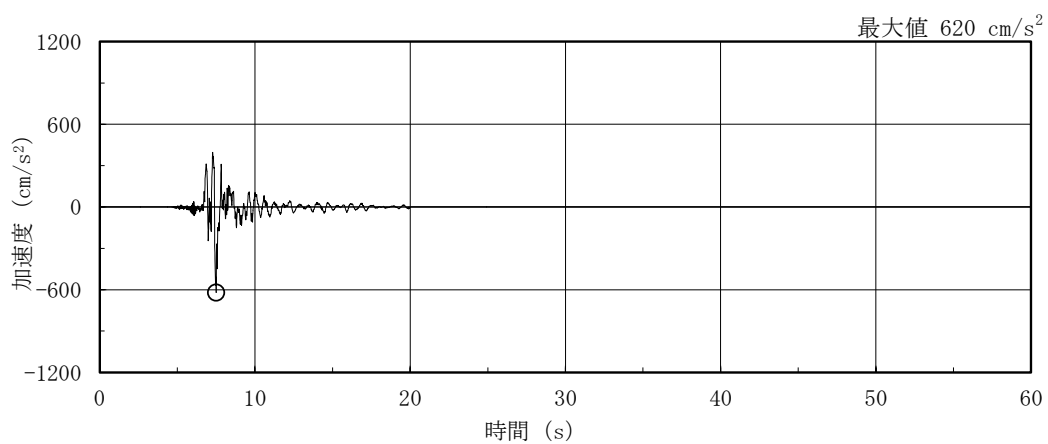


(b) S s - F 1

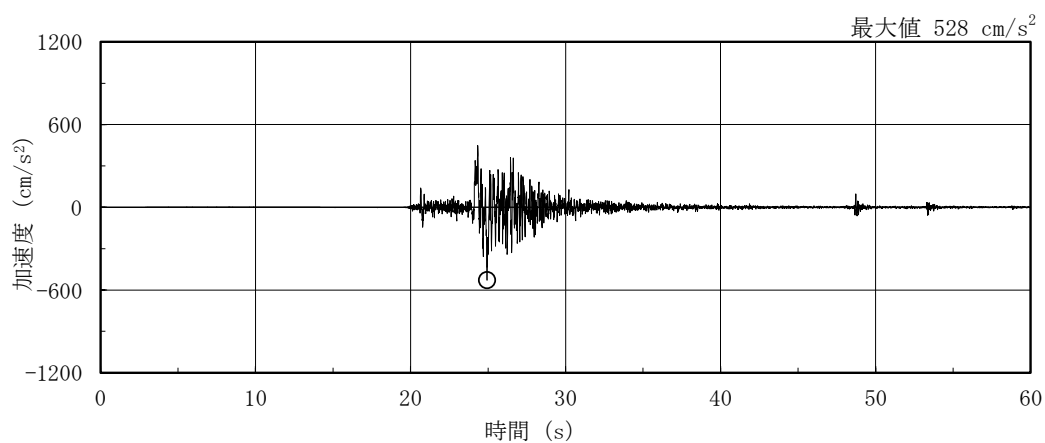


(c) S s - F 2

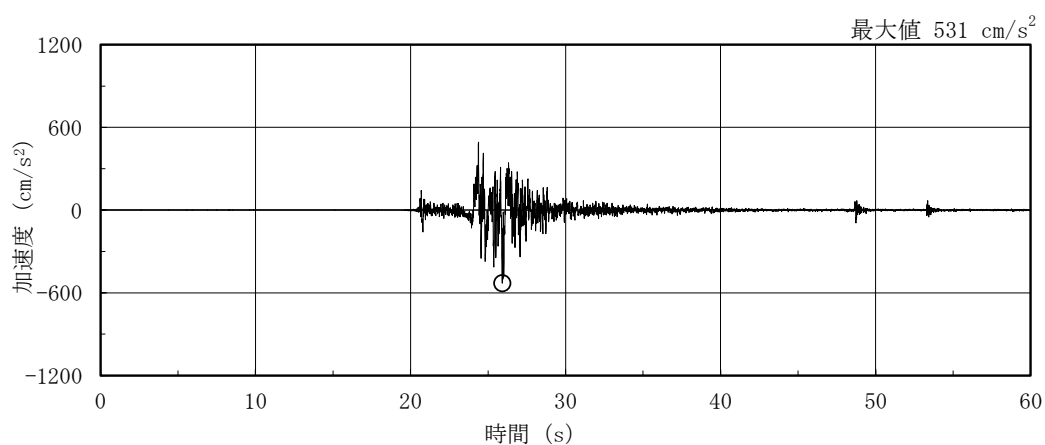
図 3-1(1) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s , NS 方向)



(d) S s - N 1

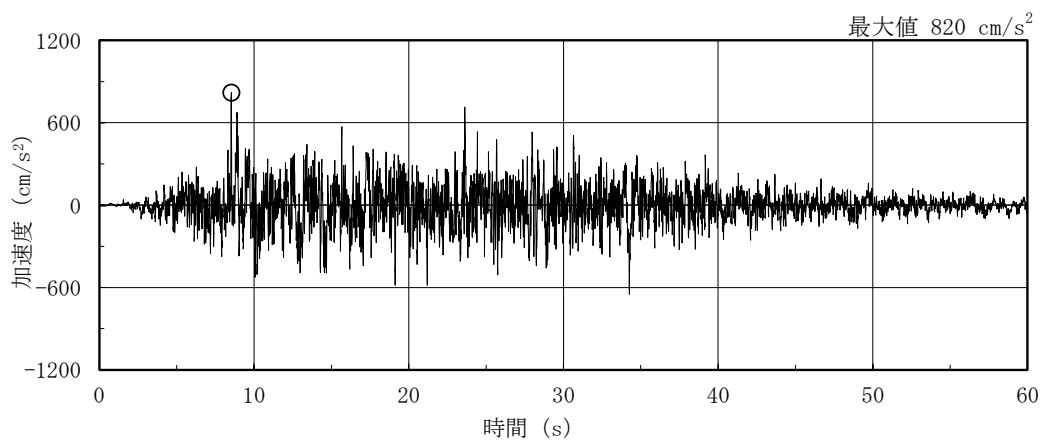


(e) S s - N 2 N S

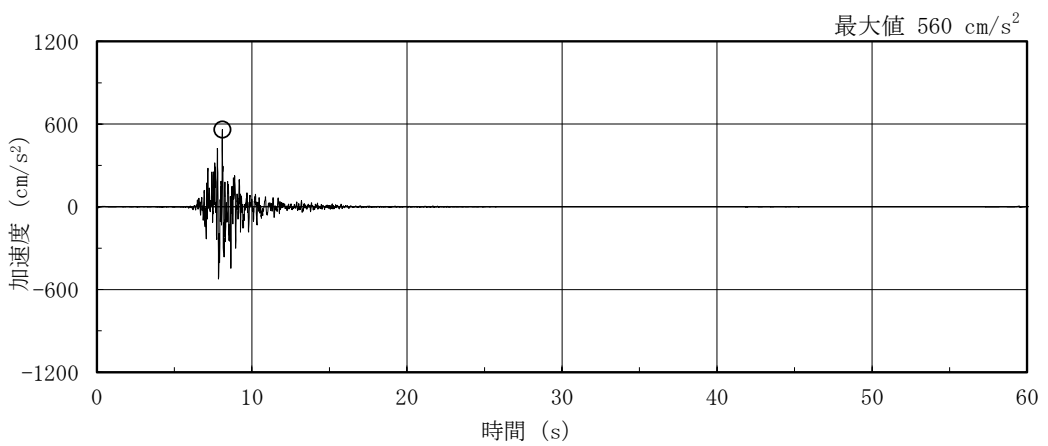


(f) S s - N 2 E W

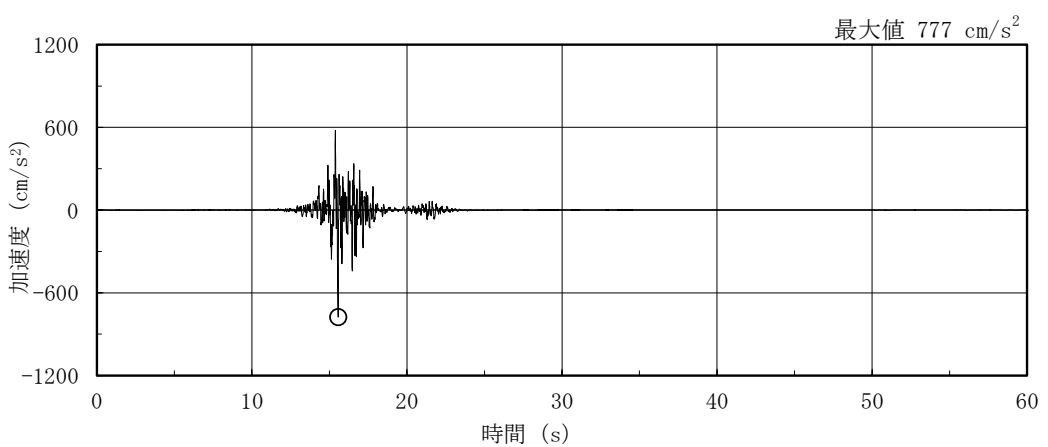
図 3-1(2) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s , N S 方向)



(a) S s - D

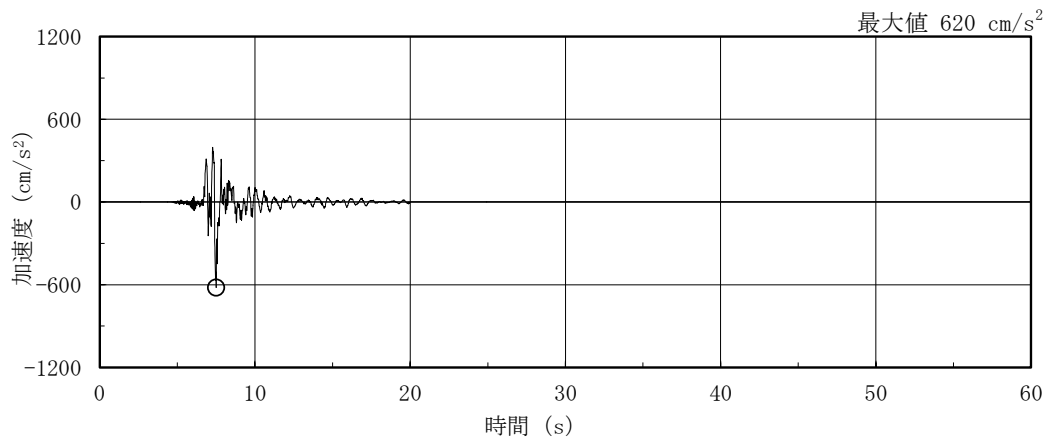


(b) S s - F 1

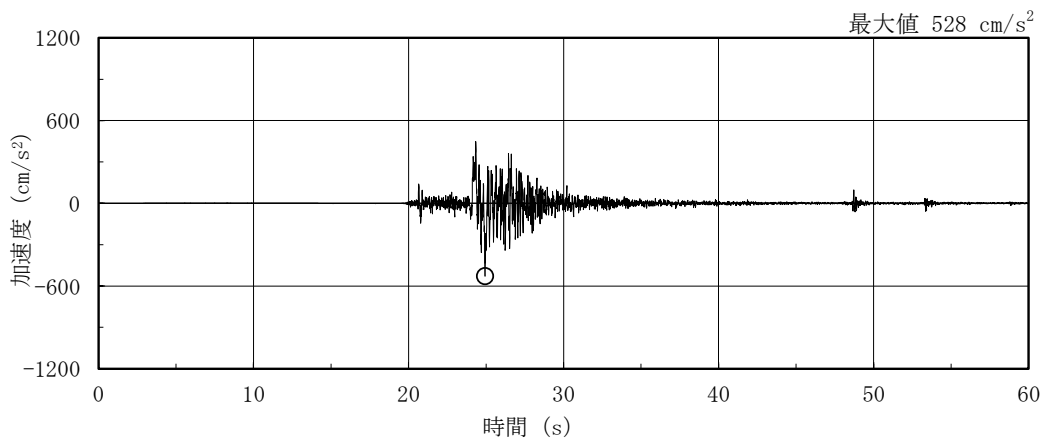


(c) S s - F 2

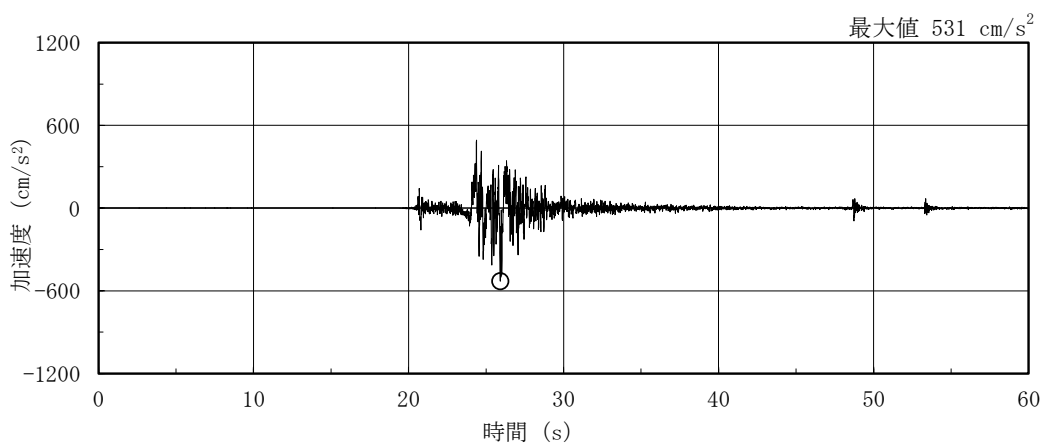
図 3-2(1) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s , E W 方向)



(d) S s - N 1

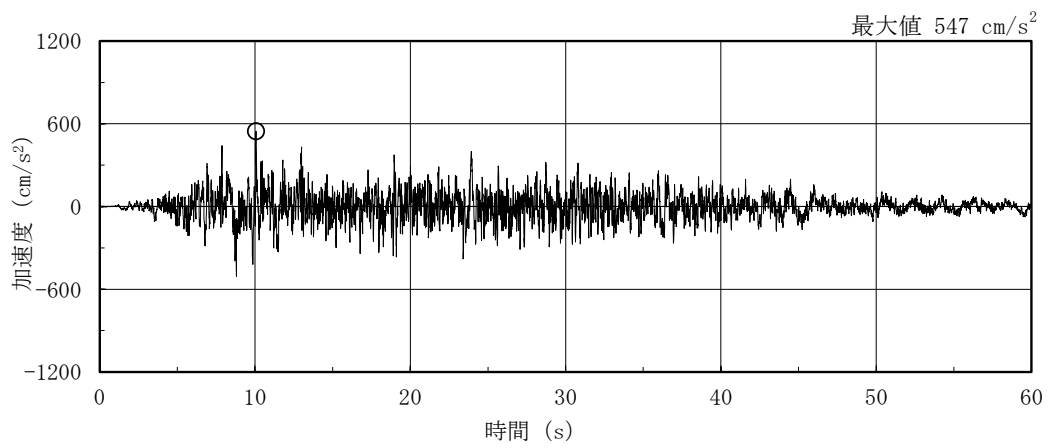


(e) S s - N 2 N S

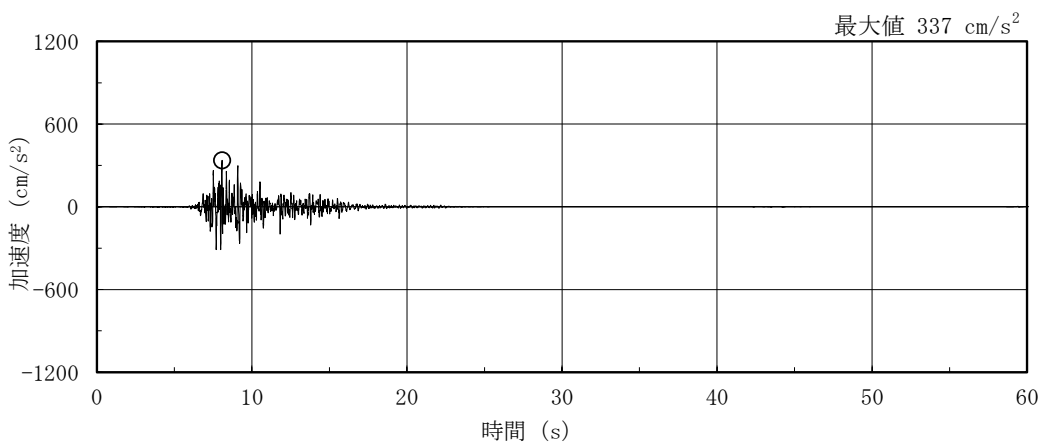


(f) S s - N 2 E W

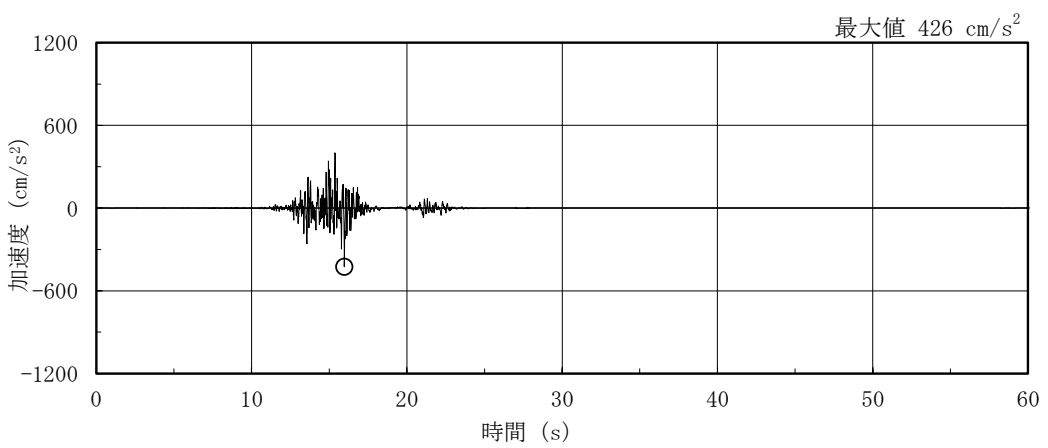
図 3-2(2) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s , E W 方向)



(a) S s - D

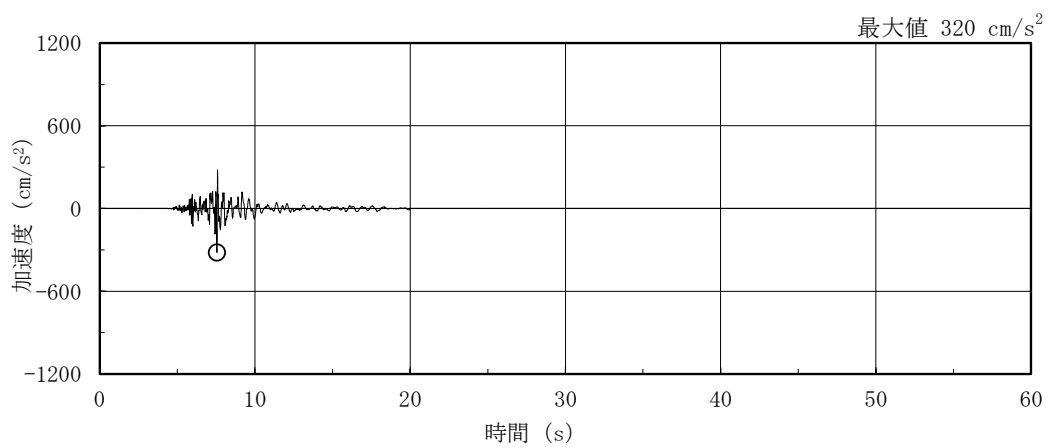


(b) S s - F 1

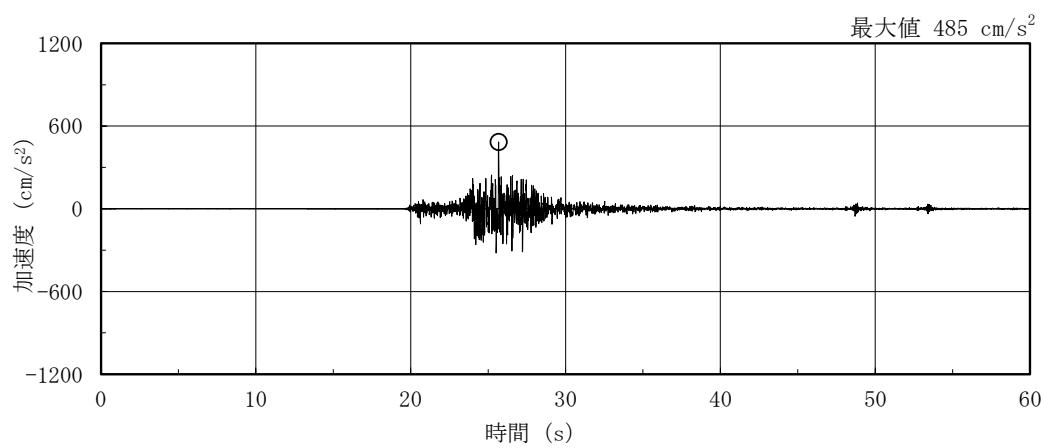


(c) S s - F 2

図 3-3(1) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s, 鉛直方向)



(d) S s - N 1



(e) S s - N 2

図 3-3(2) 加速度時刻歴波形 (基準地震動 S s , 鉛直方向)

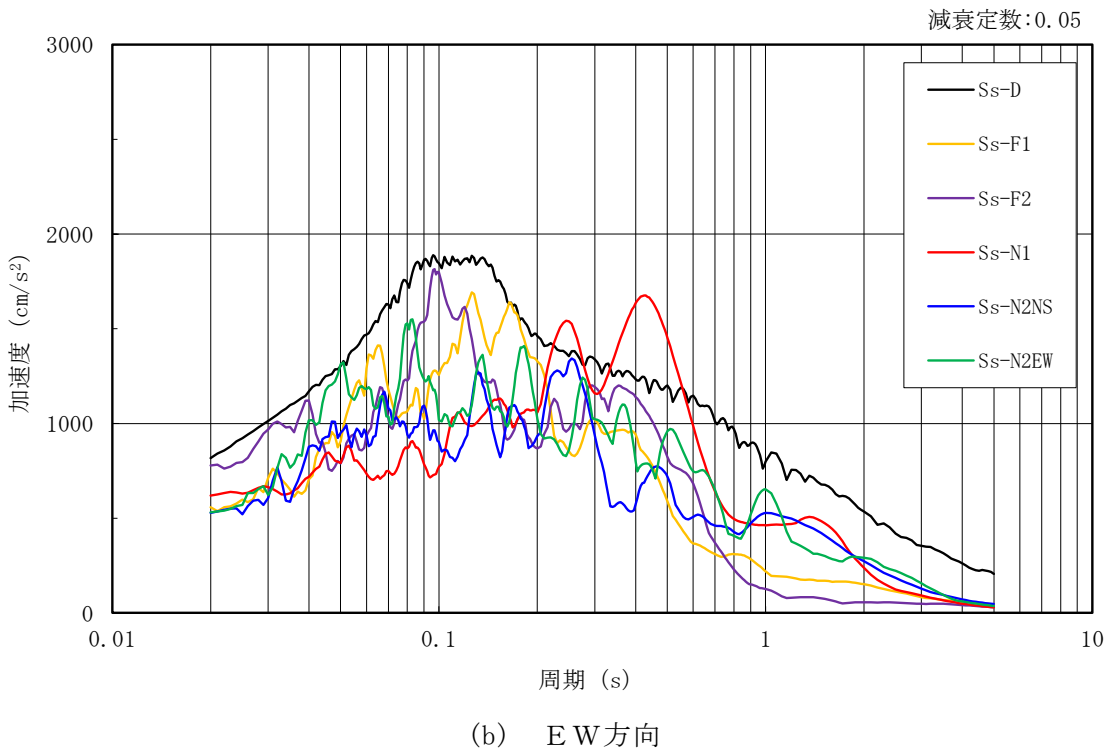
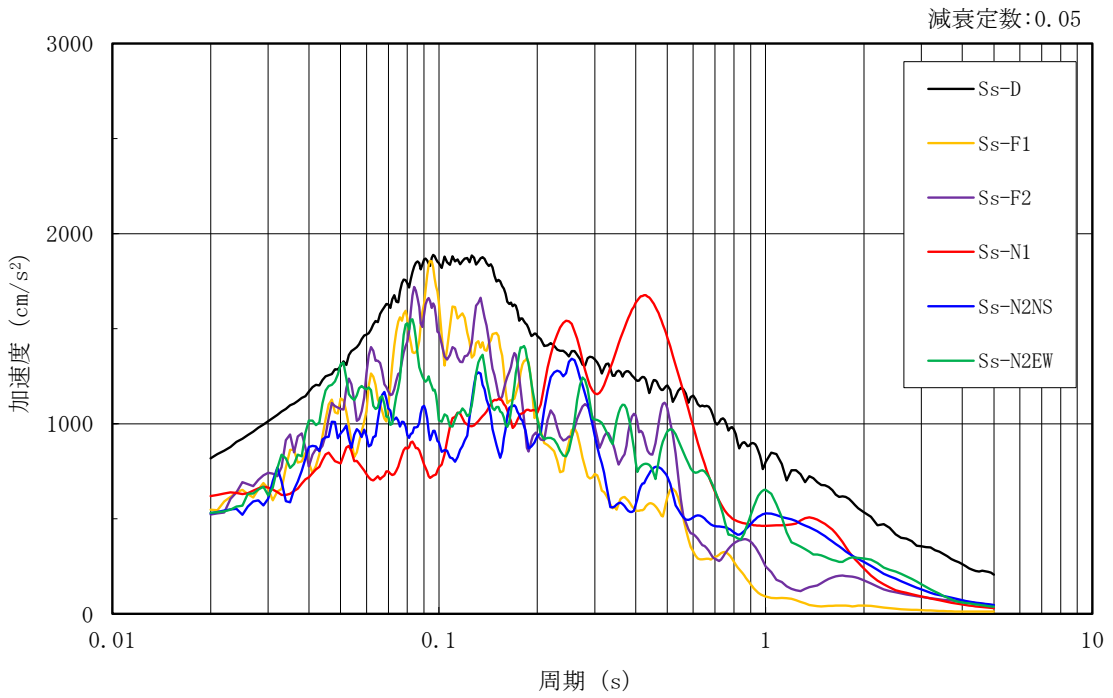


図 3-4(1) 加速度応答スペクトル (基準地震動 S s)

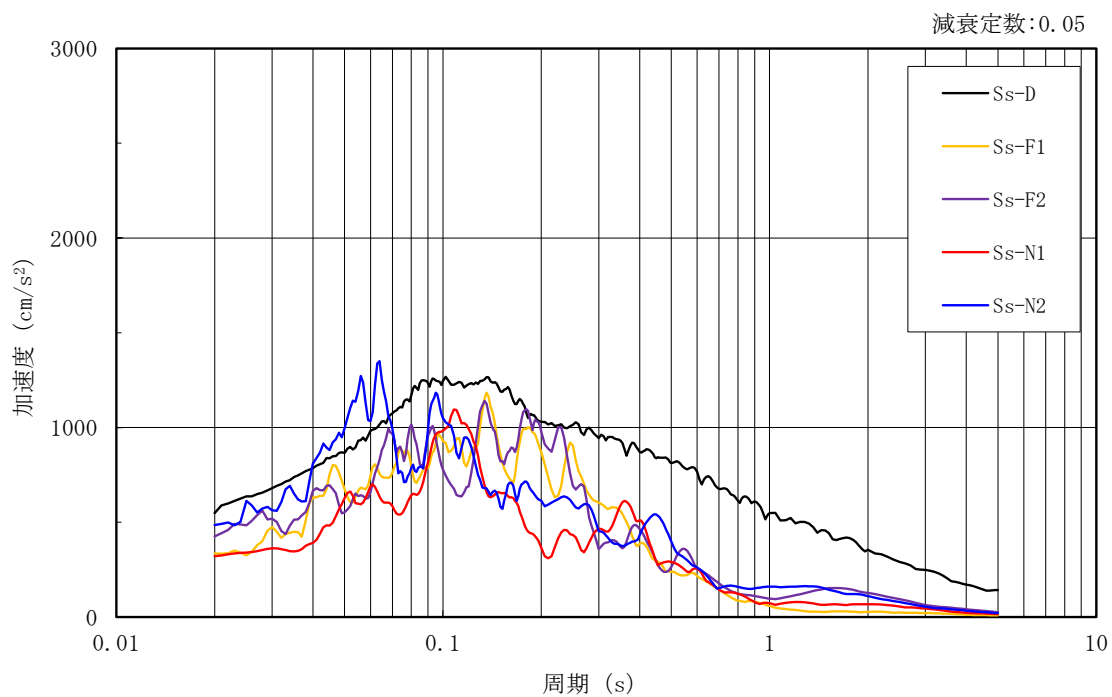
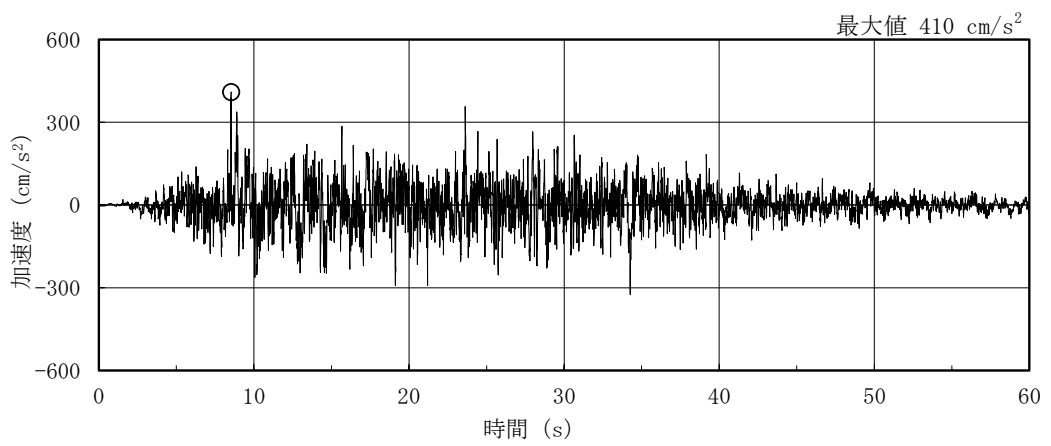
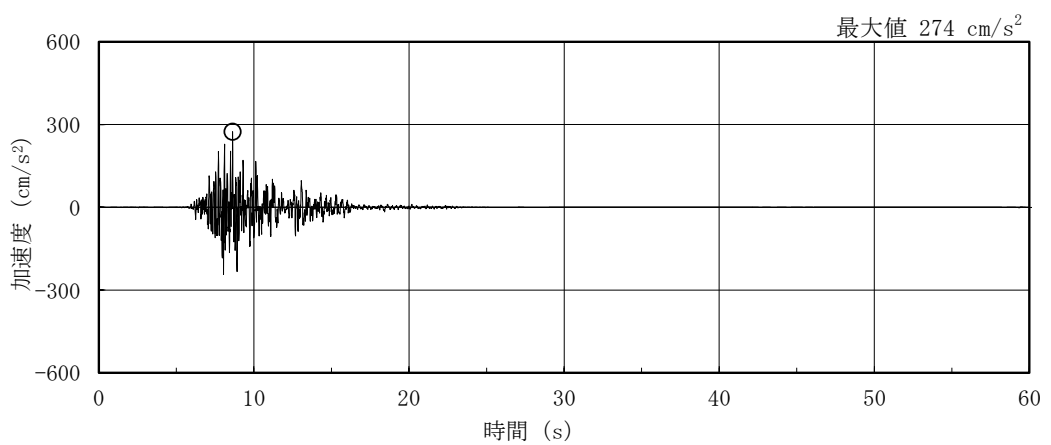


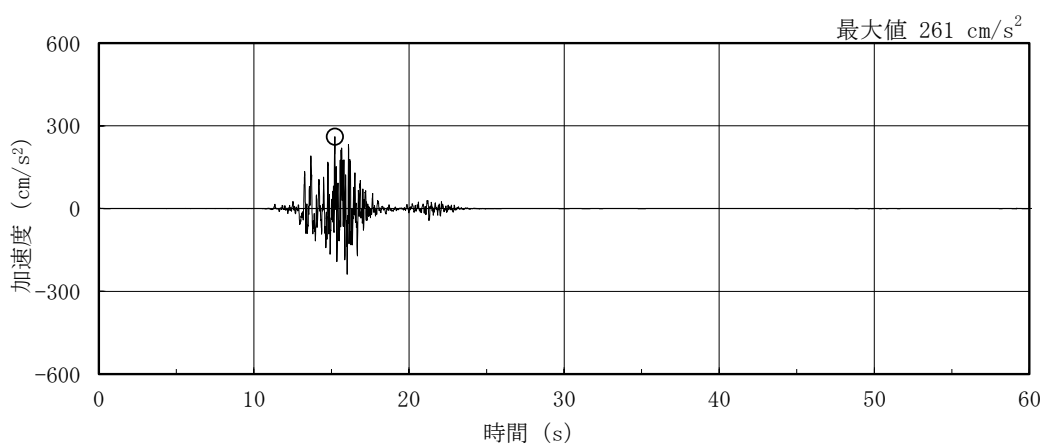
図 3-4(2) 加速度応答スペクトル (基準地震動 S s)



(a) S d - D

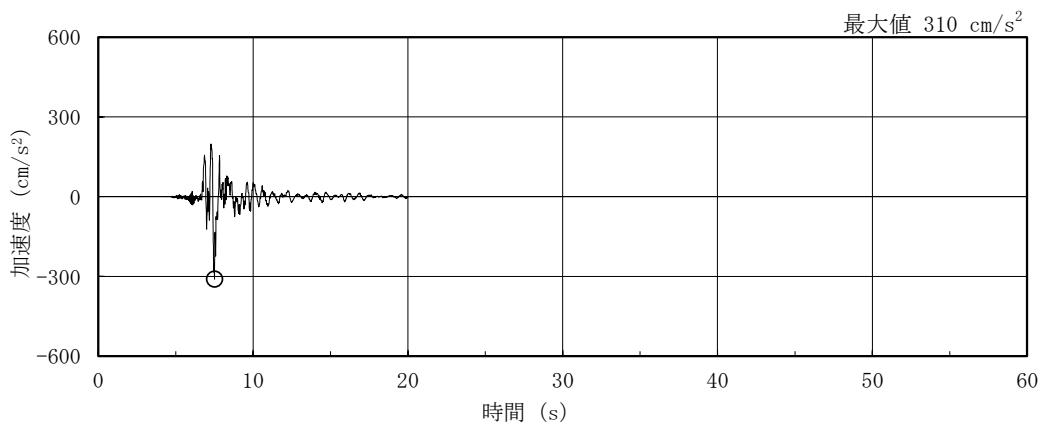


(b) S d - F 1

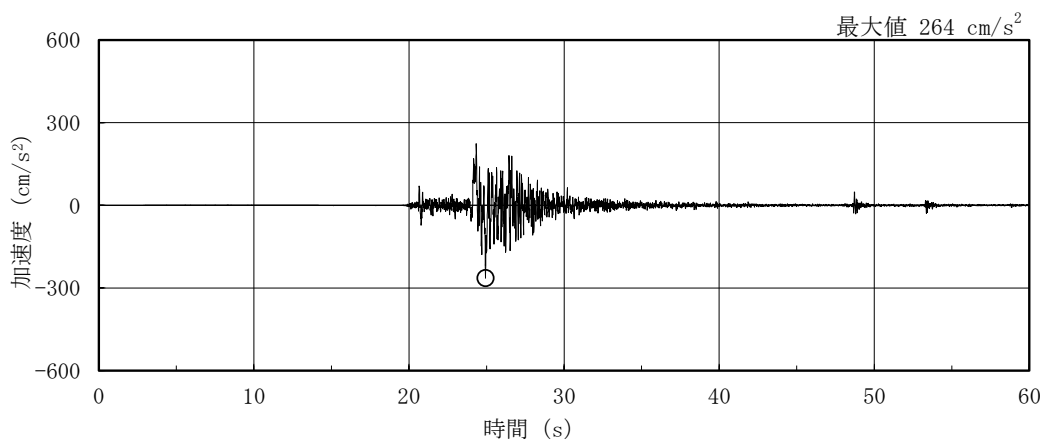


(c) S d - F 2

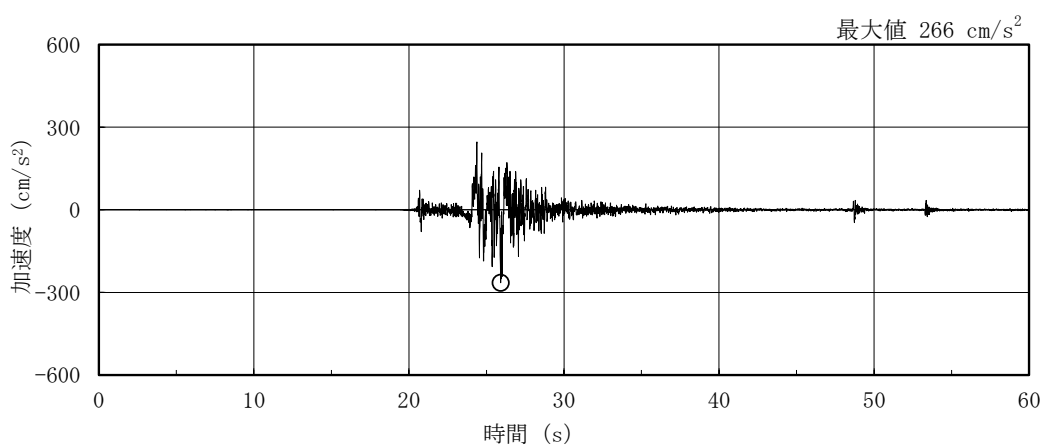
図 3-5(1) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



(d) S d - N 1

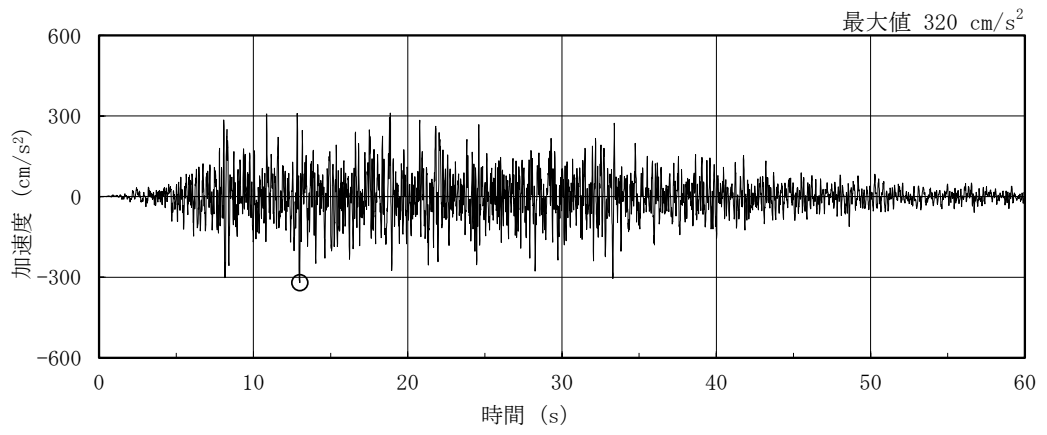


(e) S d - N 2 N S



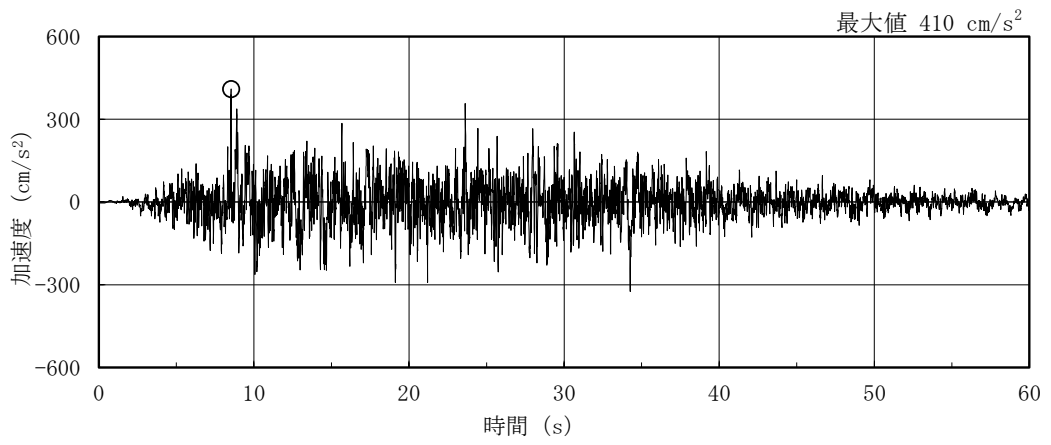
(f) S d - N 2 E W

図 3-5(2) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

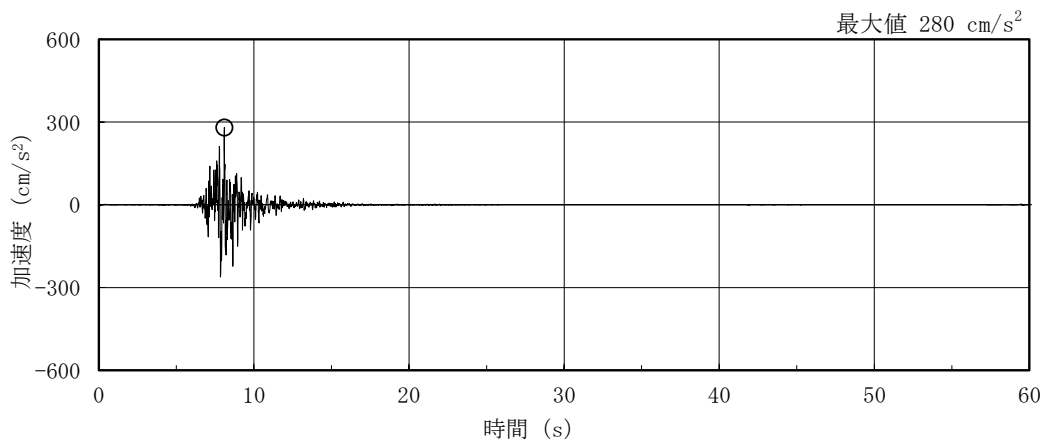


(g) S d - 1

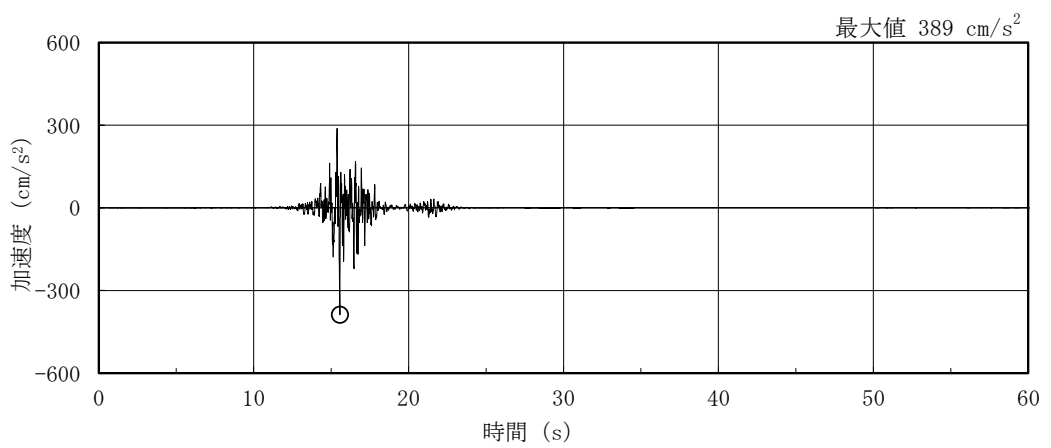
図 3-5(3) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



(a) S d - D

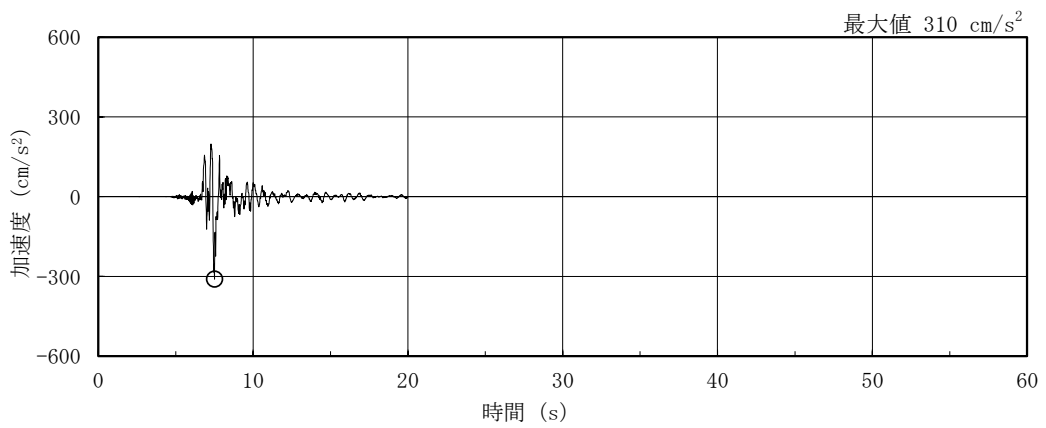


(b) S d - F 1

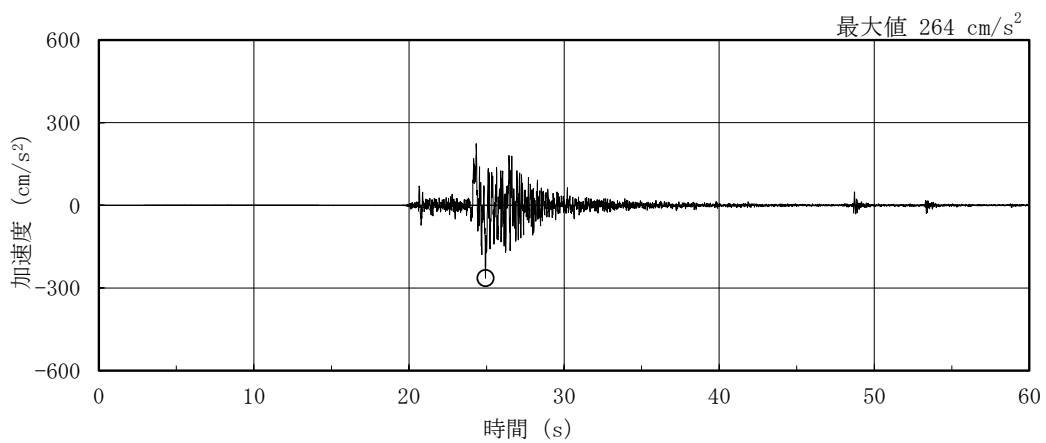


(c) S d - F 2

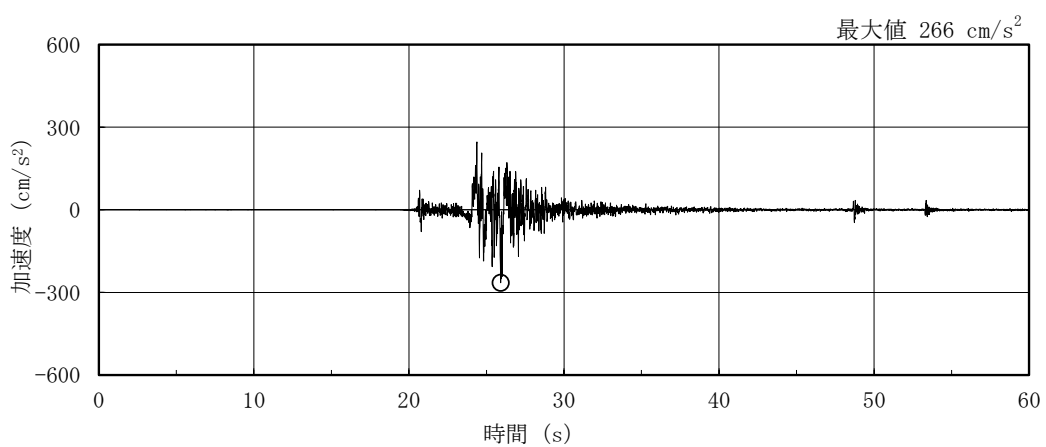
図 3-6(1) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



(d) S d - N 1

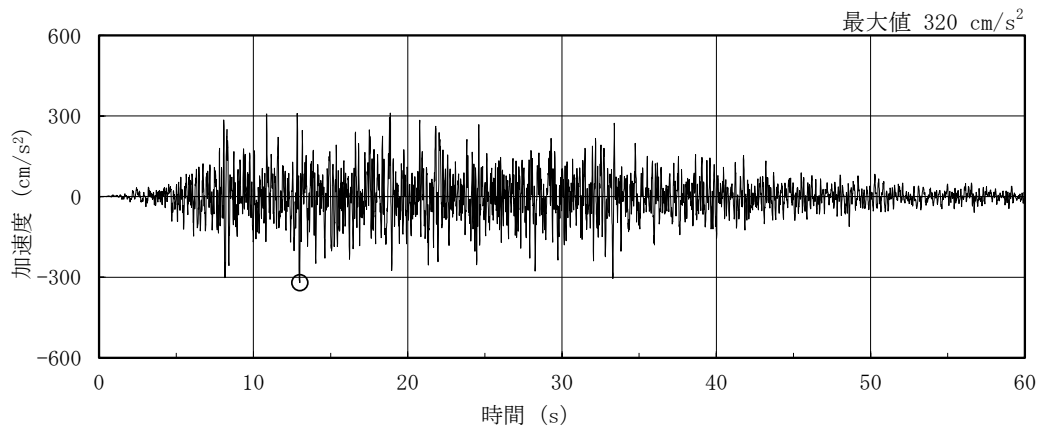


(e) S d - N 2 N S



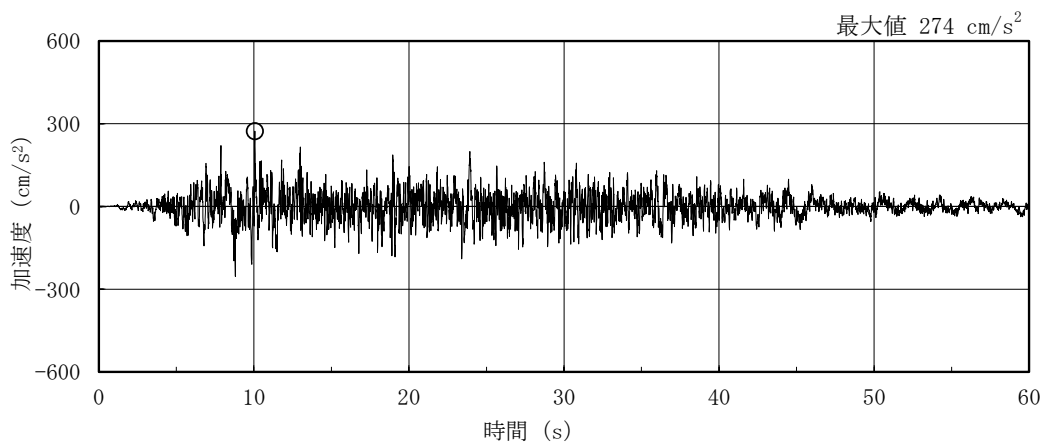
(f) S d - N 2 E W

図 3-6(2) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

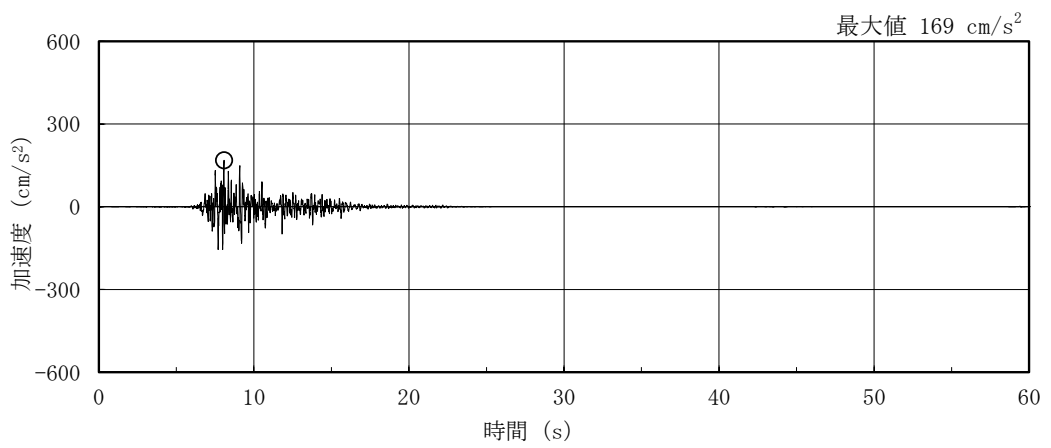


(g) S d - 1

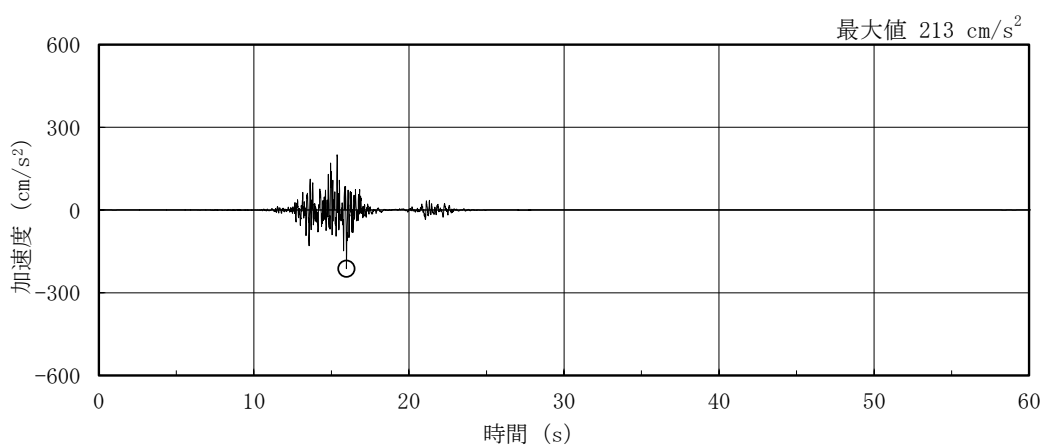
図 3-6(3) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



(a) S d - D

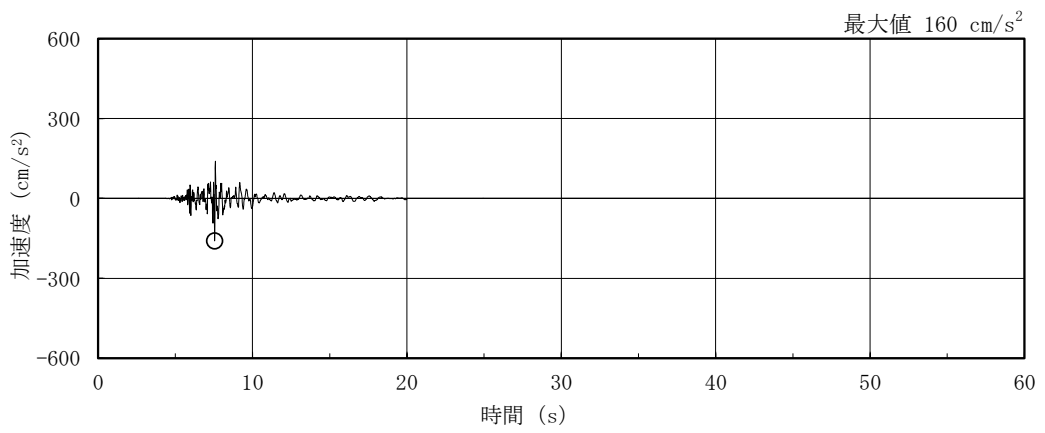


(b) S d - F 1

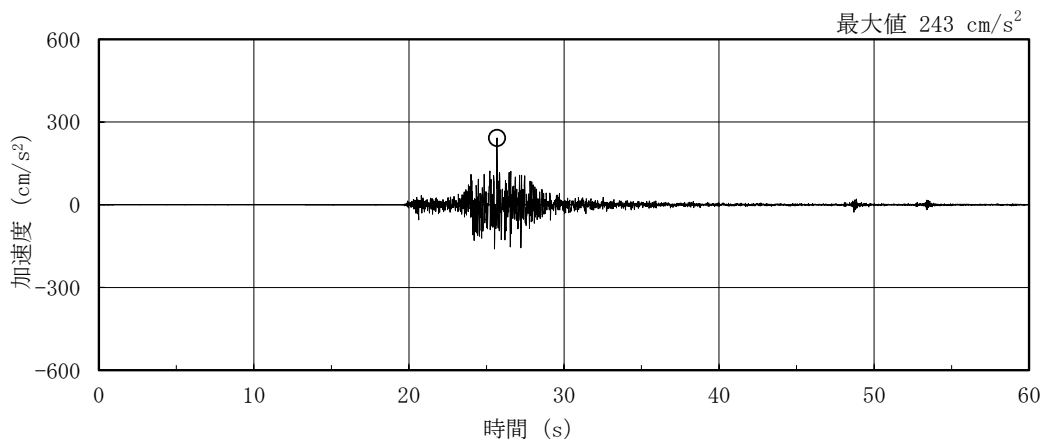


(c) S d - F 2

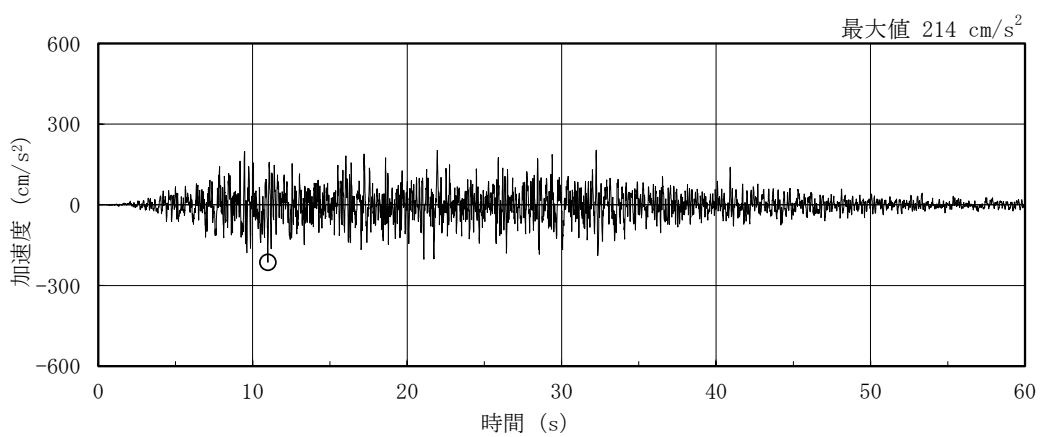
図 3-7(1) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)



(d) S d - N 1



(e) S d - N 2



(f) S d - 1

図 3-7(2) 加速度時刻歴波形 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

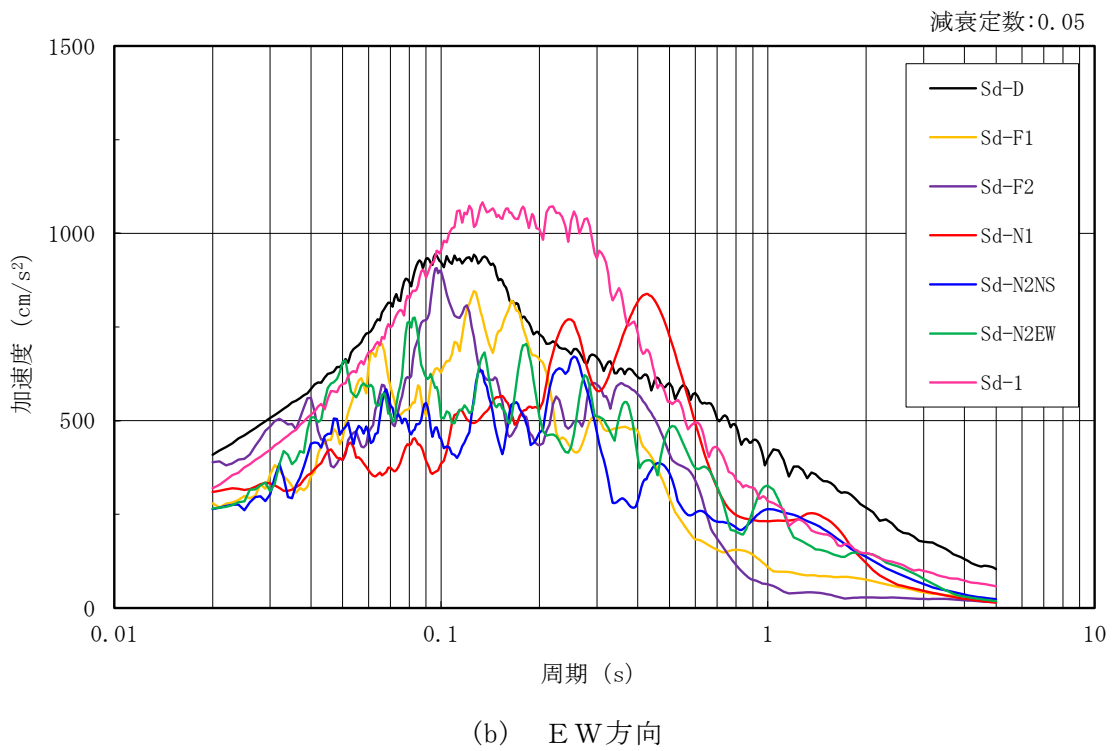
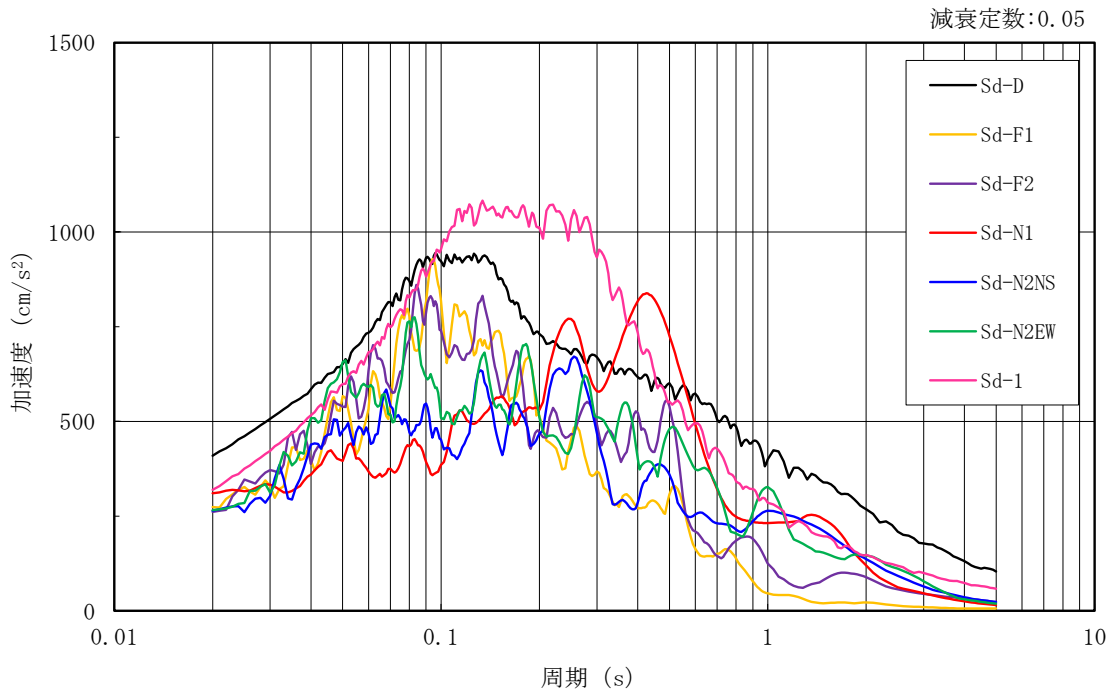
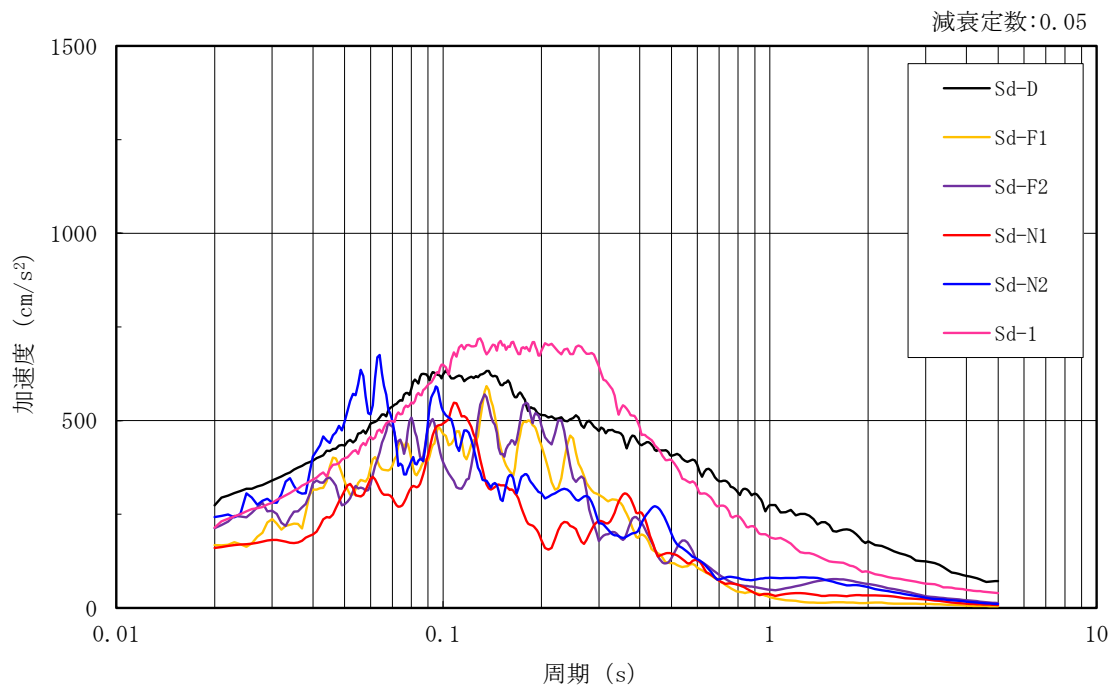


図 3-8(1) 加速度応答スペクトル (弾性設計用地震動 S d)



(c) 鉛直方向

図 3-8(2) 加速度応答スペクトル (弾性設計用地震動 S d)

3.2 地震応答解析モデル

地震応答解析モデルは、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」に記載の解析モデルの設定方針に基づき、水平方向及び鉛直方向についてそれぞれ設定する。地震応答解析モデルの設定に用いた使用材料の物性値を表3-1に示す。

表 3-1 使用材料の物性値

使用材料	ヤング係数 E (N/mm ²)	せん断 弾性係数 G (N/mm ²)	減衰定数 h (%)	備考
鉄筋コンクリート コンクリート： Fc = 23.5 (N/mm ²) (Fc = 240 (kgf/cm ²)) 鉄筋：SD35 (SD345 相当)	2.25 × 10 ⁴	9.38 × 10 ³	5	—
鉄骨： SS41 (SS400 相当) SM50A (SM490 相当)	2.05 × 10 ⁵	7.90 × 10 ⁴	2	屋根トラス

3.2.1 水平方向

(1) 地震応答解析モデル

水平方向の地震応答解析モデルは、地盤との相互作用を考慮し、曲げ及びせん断剛性を考慮した質点系モデルとし、弾塑性時刻歴応答解析を行う。建物のモデル化は、NS方向及びEW方向それぞれについて行っている。

水平方向の地震応答解析モデルを図3-9に示す。

(2) 地盤ばね

基礎底面の地盤ばねについては、「原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版 ((社) 日本電気協会)」(以下「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」という。)により、成層補正を行ったのち、振動アドミタンス理論に基づき求めたスウェイ及びロッキングの地盤ばねを、近似法により定数化して用いる。このうち、基礎底面のロッキング地盤ばねには、基礎浮上りによる幾何学的非線形性を考慮する。地盤ばねの定数化の概要を図3-10に、地盤ばね定数及び減衰係数を表3-2に示す。基礎底面ばねの評価には解析コード「ADMITHF」を用いる。評価に用いる解析コードの検証、妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。

(3) 入力地震動

水平方向モデルへの入力地震動は、解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d から以下の手順で算定する。まず、解放基盤表面以深の地盤を1次元地盤としてモデル化し、一次元波動論に基づく評価により、EL-215mの入射波を算定する。算定したEL-215mの入射波を建物位置での地盤をモデル化した1次元地盤に入力して一次元波動論に基づく評価を行い、建物基礎底面での地盤応答を評価して入力地震動とする。地震応答解析に用いる地盤モデルの地盤物性値を表3-3に示す。表3-3に示す地盤物性値のうち、表層①-1については、地震動レベル及び試験結果に基づく埋戻土のひずみ依存性を考慮した等価物性値とする。また、建物基礎底面レベルにおけるせん断力(以下「切欠き力」という。)を入力地震動に付加することにより、地盤の切欠き効果を考慮する。

地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図を図3-11に、1次元地盤モデルを図3-12に、基礎底面位置(EL 0.0m)における入力地震動の加速度応答スペクトルを図3-13及び図3-14に示す。入力地震動の算定には、解析コード「SHAKE」を用いる。評価に用いる解析コードの検証、妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。

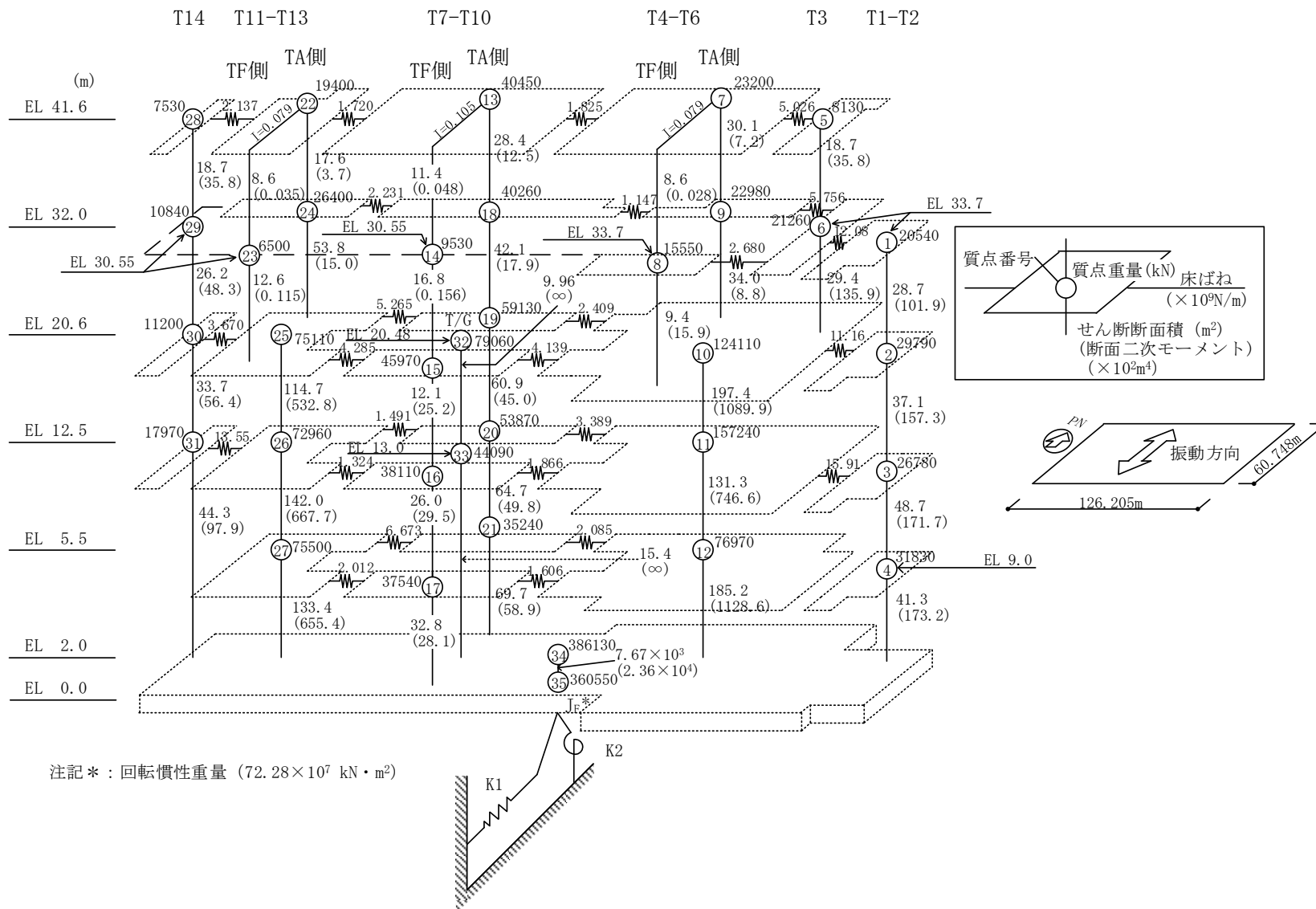
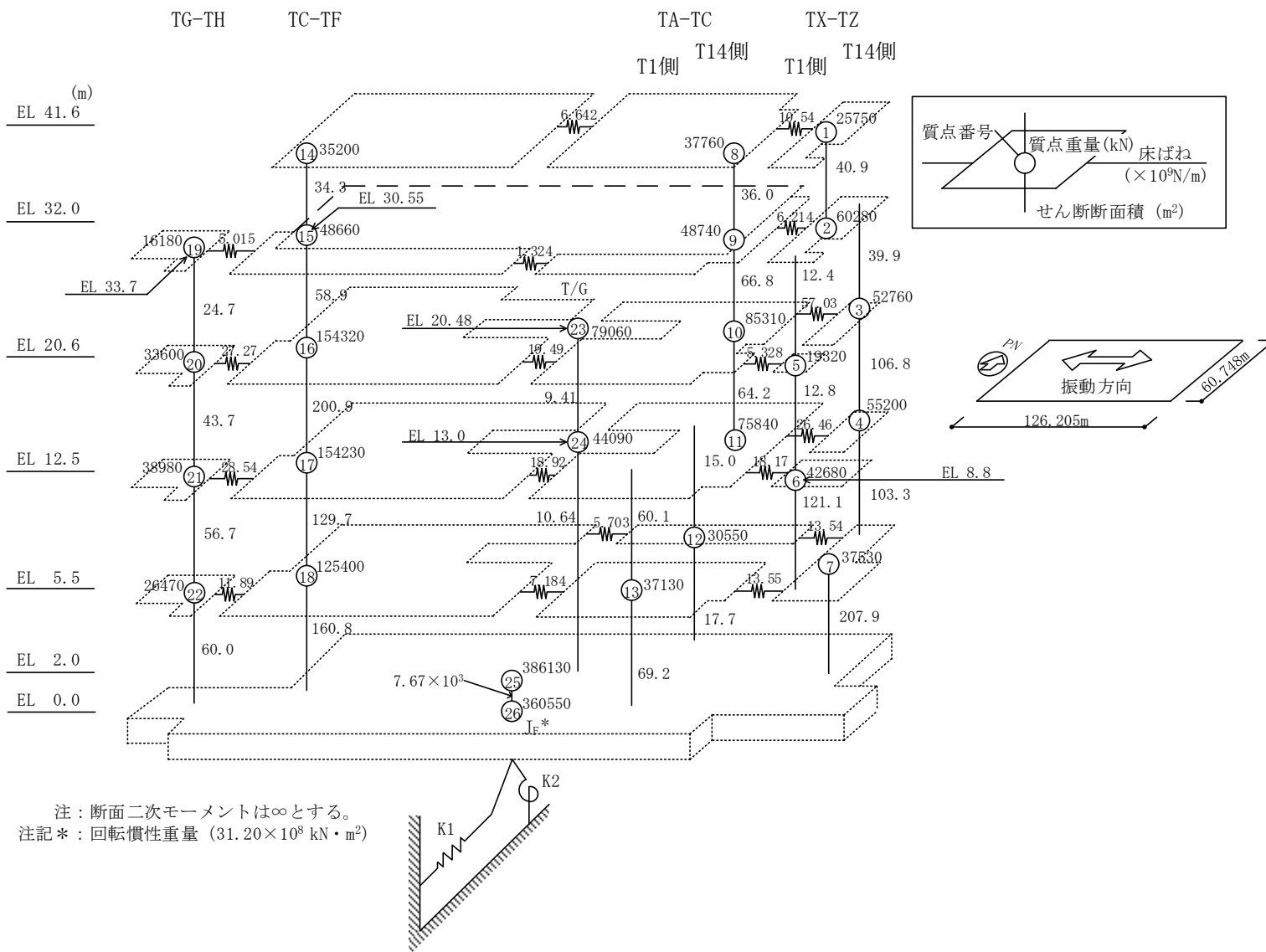
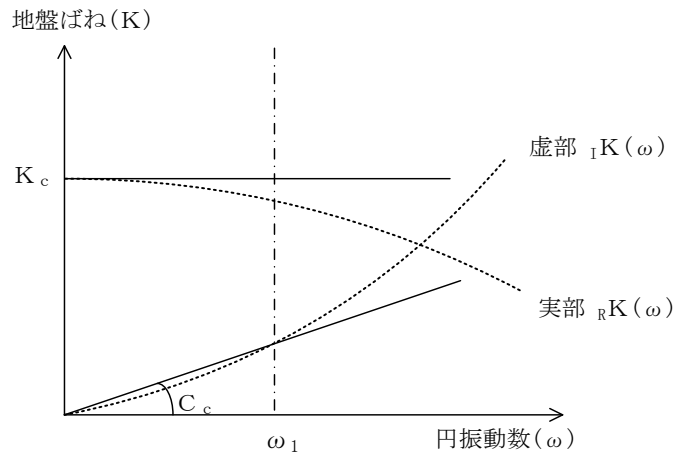


図 3-9(1) 地震応答解析モデル (NS 方向)



注：断面二次モーメントは ∞ とする。
 注記*：回転慣性重量 ($31.20 \times 10^8 \text{ kN} \cdot \text{m}^2$)

図 3-9(2) 地震応答解析モデル (E-W方向)



ばね定数 : 0Hz のばね定数 K_c で定数化

減衰係数 : 地盤-建物連成系の 1 次固有円振動数 ω_1 に対応する虚部の値と原点とを結ぶ直線の傾き C_c で定数化

図 3-10 地盤ばねの定数化の概要

表 3-2 地盤ばね定数と減衰係数 (水平方向)

(a) NS 方向

ばね 番号	地盤ばね 成分	ばね定数 K_c	減衰係数 C_c
K1	底面・水平	9.38×10^8 (kN/m)	2.15×10^7 (kN・s/m)
K2	底面・回転	1.37×10^{12} (kN・m/rad)	4.48×10^9 (kN・m・s/rad)

(b) EW 方向

ばね 番号	地盤ばね 成分	ばね定数 K_c	減衰係数 C_c
K1	底面・水平	8.79×10^8 (kN/m)	1.86×10^7 (kN・s/m)
K2	底面・回転	3.93×10^{12} (kN・m/rad)	3.40×10^{10} (kN・m・s/rad)

表 3-3 タービン建物の地震応答解析に用いる地盤モデルの地盤物性値

層番号		S波速度 V _s (m/s)	P波速度 V _p (m/s)	単位体積重量 γ (kN/m ³)	ポアソン比 ν	せん断弾性係数 G (×10 ⁵ kN/m ²)	減衰定数 h (%)
表層①-1	S _s	127*	422*	20.7	0.45	0.341*	8*
	S _d	156*	516*	20.7	0.45	0.512*	7*
岩盤②		900	2100	23.0	0.388	19.0	3
岩盤③		1600	3600	24.5	0.377	64.0	3
岩盤④		1950	4000	24.5	0.344	95.1	3
岩盤⑤		2000	4050	26.0	0.339	105.9	3
岩盤⑥		2350	4950	27.9	0.355	157.9	3

注記*：地震動レベル及び試験結果に基づく埋戻土のひずみ依存性を考慮した等価物性値

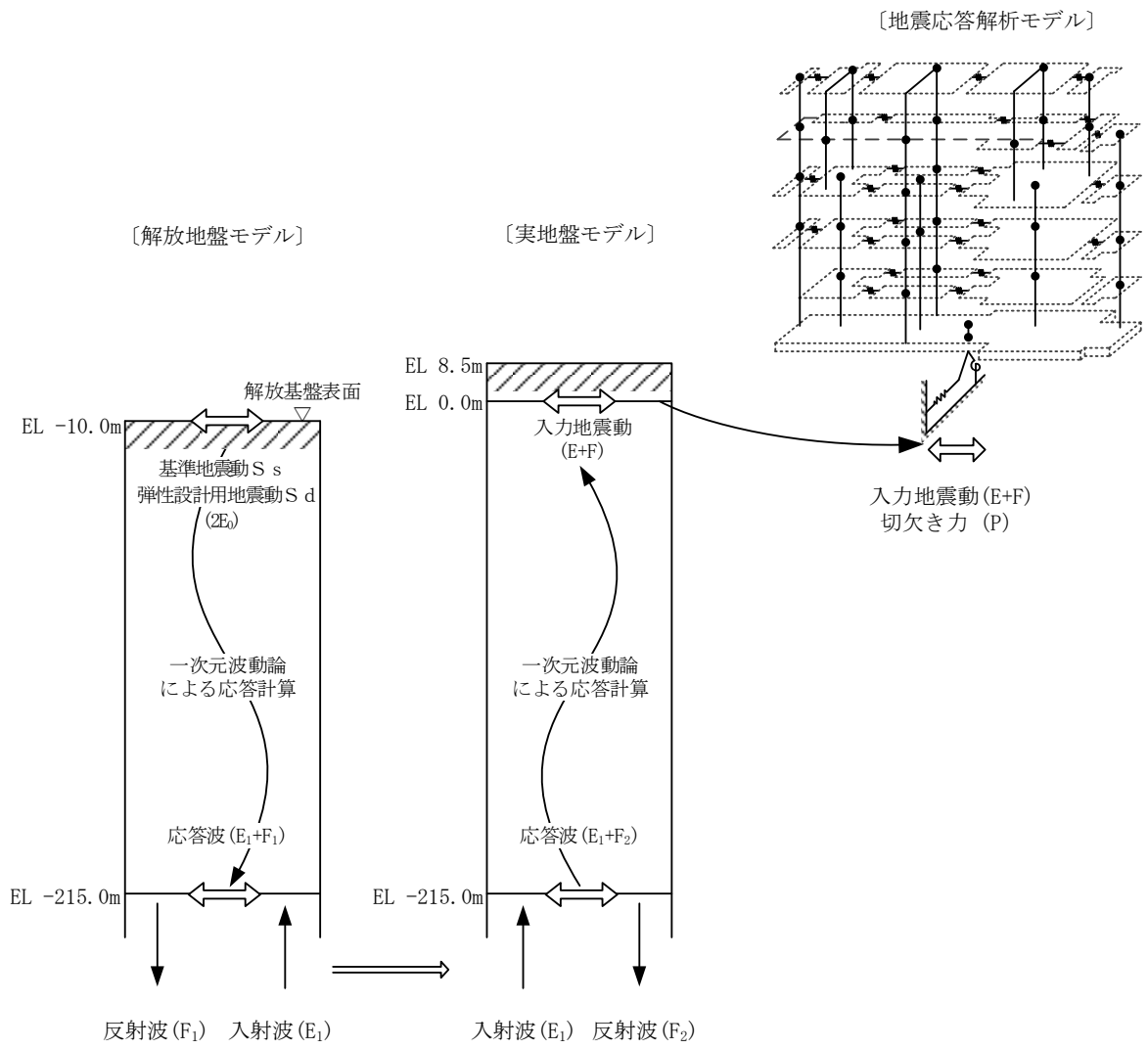


図 3-11 地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図（水平方向）

[解放地盤モデル]

[実地盤モデル]

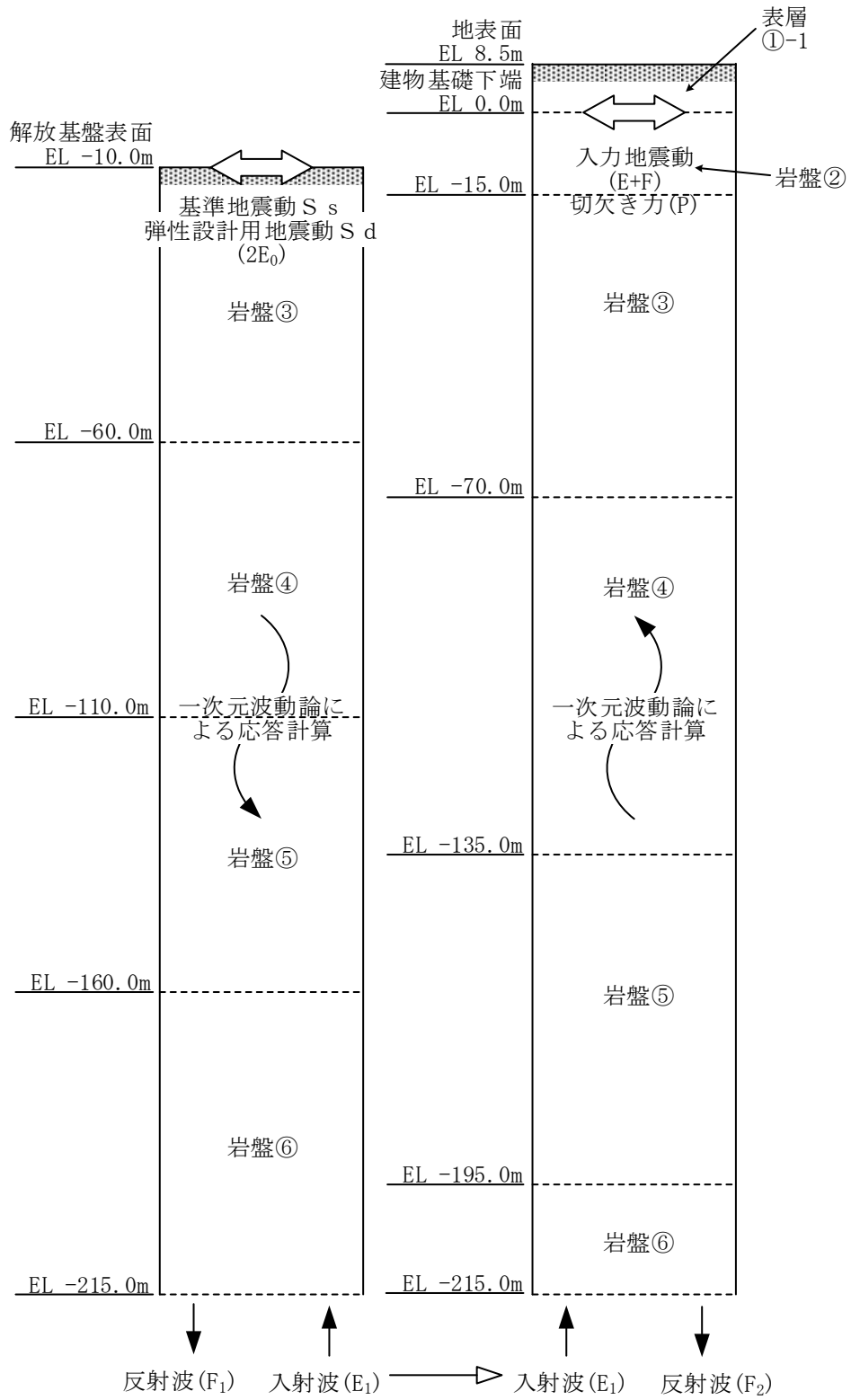


図 3-12 1次元地盤モデル (水平方向)

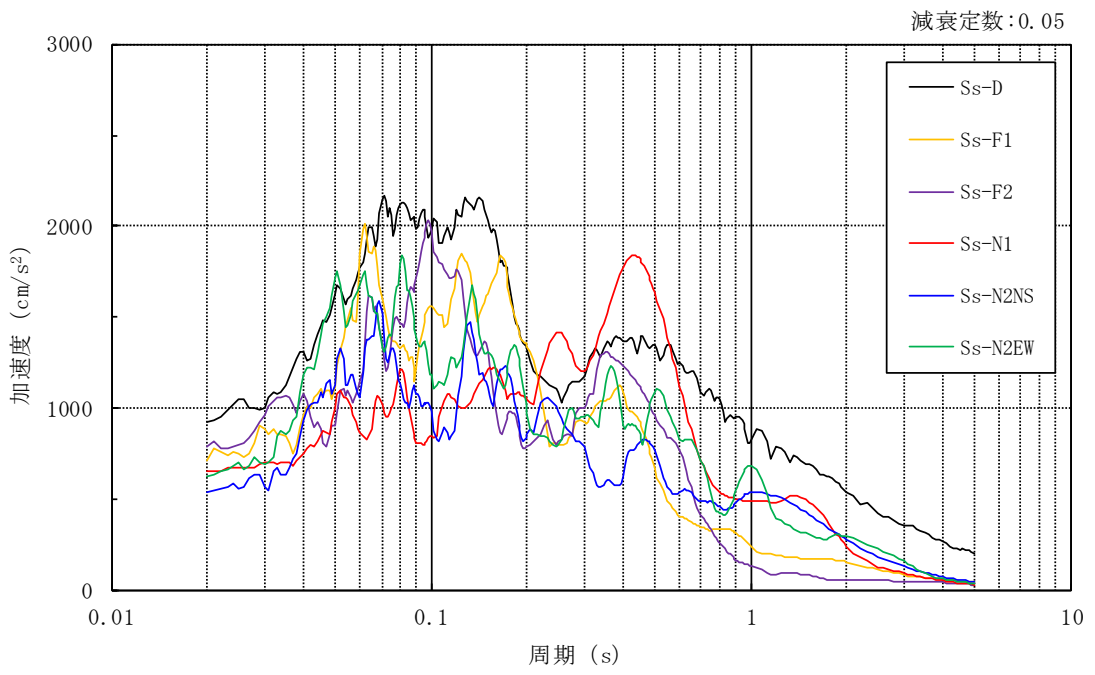
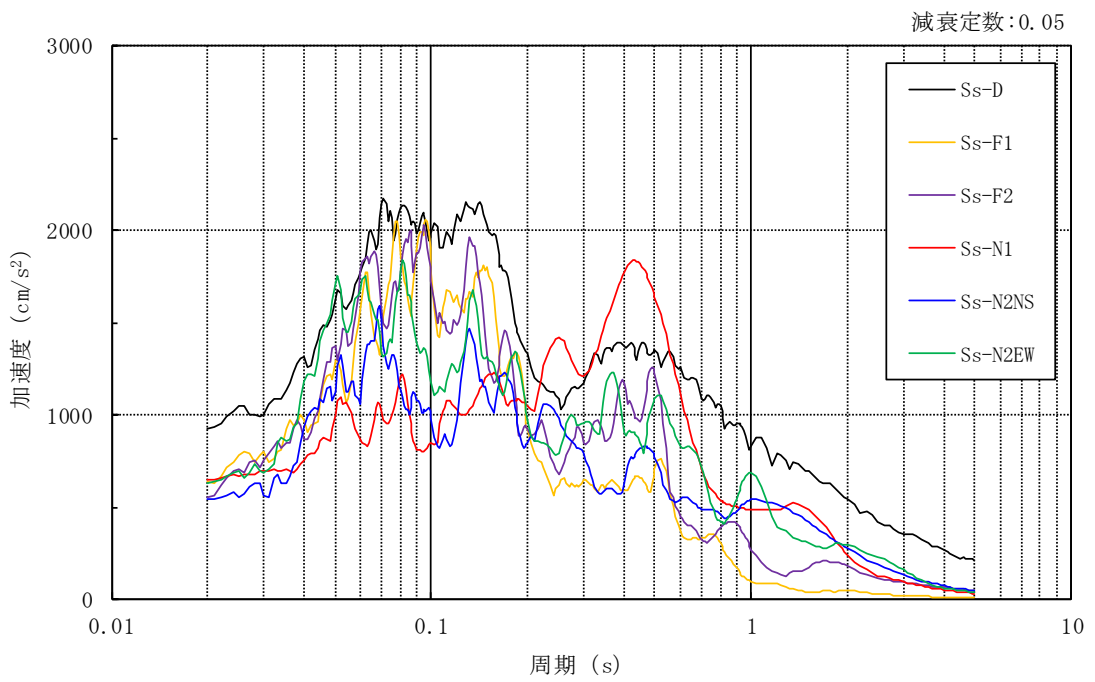


図 3-13 入力地震動の加速度応答スペクトル (基準地震動 S_s , EL 0.0m)

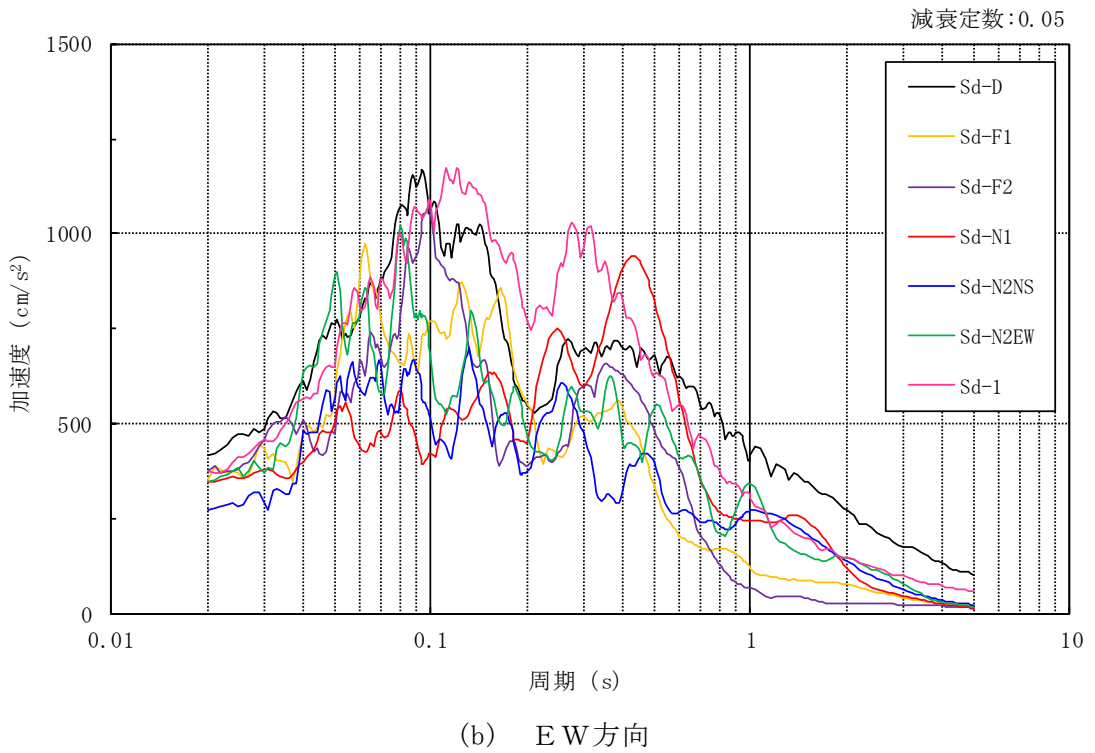
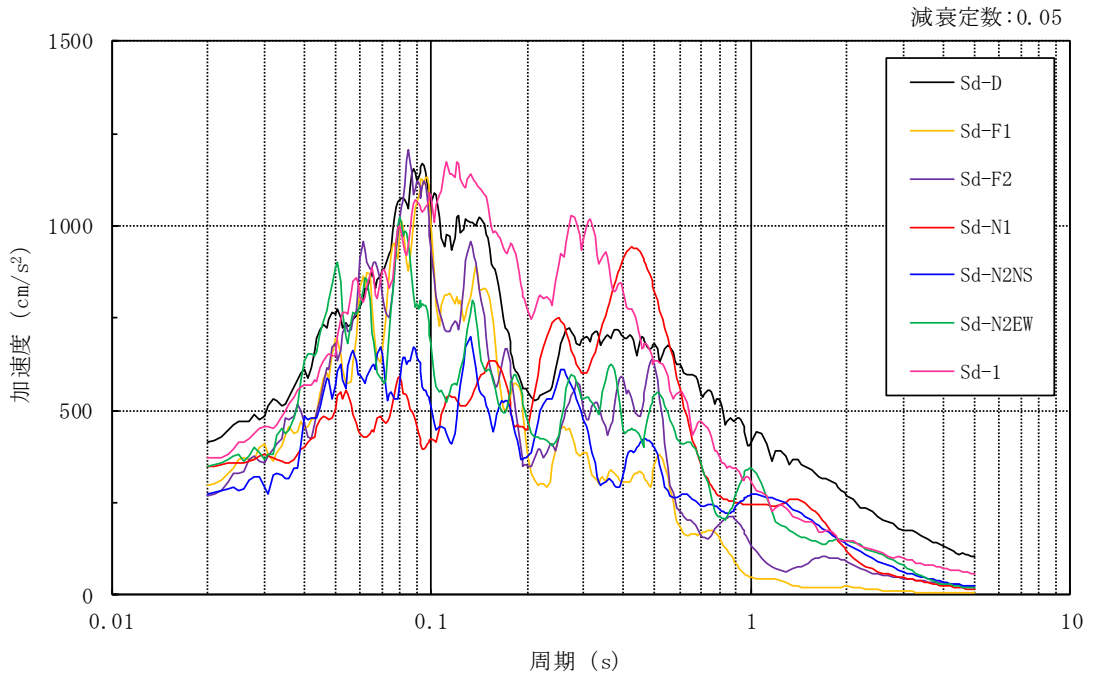


図 3-14 入力地震動の加速度応答スペクトル (弾性設計用地震動 S d, EL 0.0m)

3.2.2 鉛直方向

(1) 地震応答解析モデル

鉛直方向の地震応答解析モデルは、地盤との相互作用を考慮し、耐震壁の軸剛性及び屋根トラスの曲げせん断剛性を考慮した質点系モデルとし、弾性時刻歴応答解析を行う。

鉛直方向の地震応答解析モデルを図 3-15 に示す。

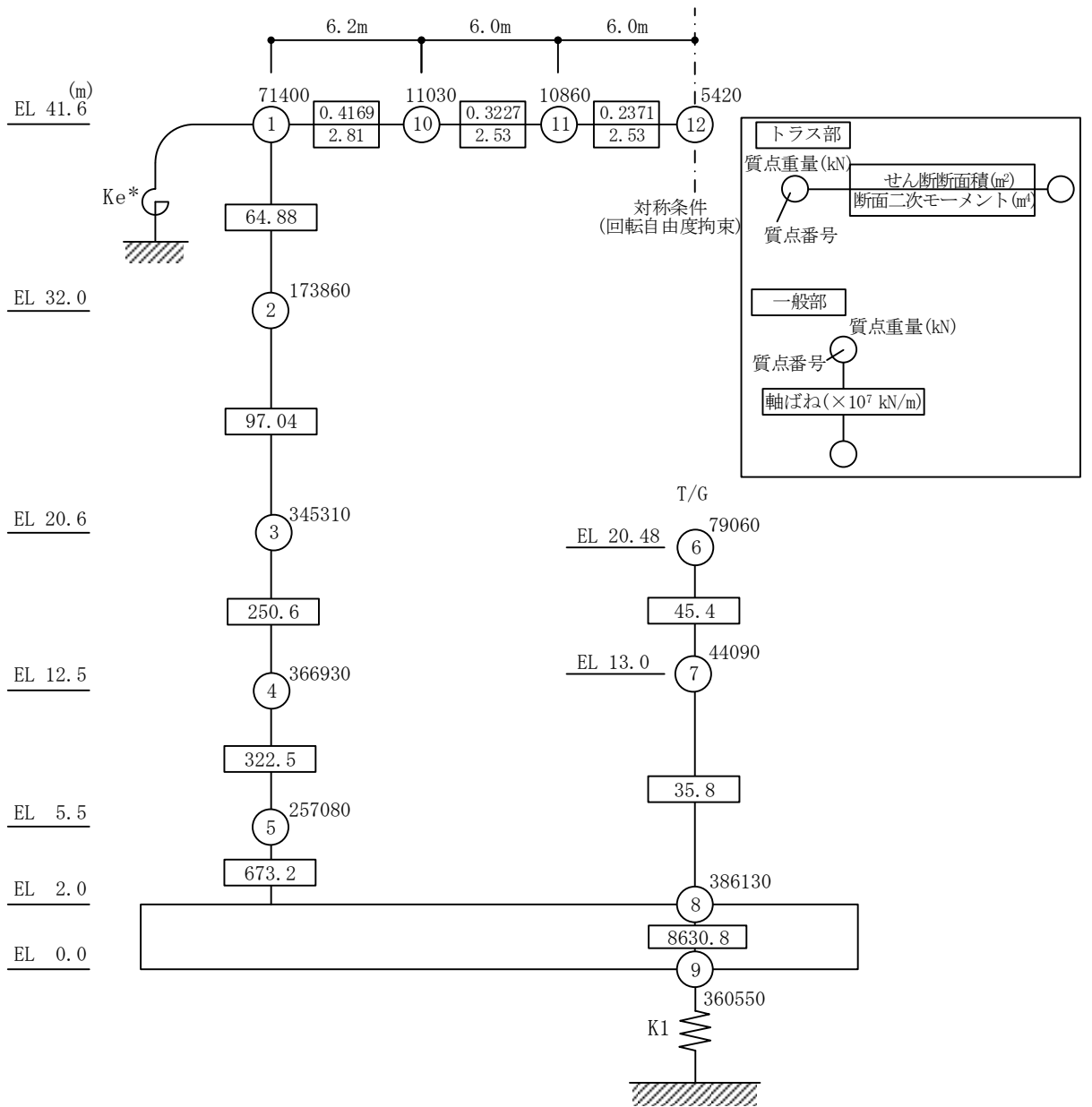
(2) 地盤ばね

基礎底面の地盤ばねについては、スウェイ及びロッキングばね定数の評価法と同様、成層補正を行ったのち、振動アドミタンス理論に基づき求めた鉛直ばねを近似法により定数化して用いる。地盤ばね定数及び減衰係数を表 3-4 に示す。基礎底面ばねの評価には解析コード「ADMITHF」を用いる。評価に用いる解析コードの検証、妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

(3) 入力地震動

鉛直方向モデルへの入力地震動は、解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d から以下の手順で算定する。まず、解放基盤表面以深の地盤を 1 次元地盤としてモデル化し、一次元波動論に基づく評価により、EL-215m の入射波を算定する。算定した EL-215m の入射波を建物位置での地盤をモデル化した 1 次元地盤に入力して一次元波動論に基づく評価を行い、建物基礎底面での地盤応答を評価して入力地震動とする。また、建物基礎底面レベルにおける軸力（以下「切欠き力」という。）を入力地震動に付加することにより、地盤の切欠き効果を考慮する。

地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図を図 3-16 に、1 次元地盤モデルを図 3-17 に、基礎底面位置（EL 0.0m）における入力地震動の加速度応答スペクトルを図 3-18 及び図 3-19 に示す。なお、地盤物性値は表 3-3 に示すとおりである。入力地震動の算定には、解析コード「SHAKE」を用いる。評価に用いる解析コードの検証、妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。



注記* : 屋根トラス端部回転拘束ばね (362.9 × 10⁷ kN · m/rad)

図 3-15 地震応答解析モデル (鉛直方向)

表 3-4 地盤ばね定数と減衰係数（鉛直方向）

ばね 番号	地盤ばね 成分	ばね定数 K c	減衰係数 C c
K1	底面・鉛直	2.08×10^9 (kN/m)	5.52×10^7 (kN・s/m)

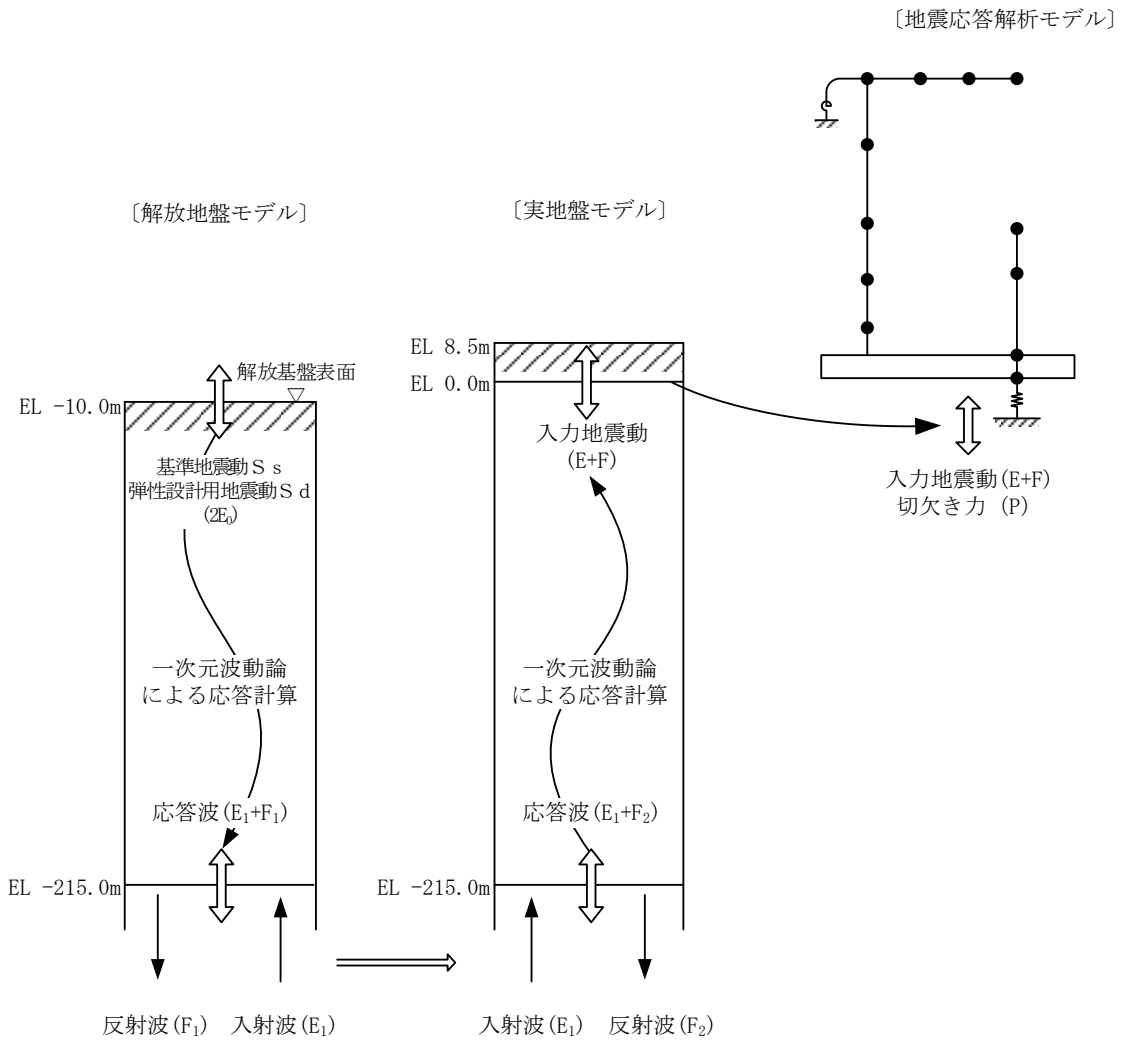


図 3-16 地震応答解析モデルに入力する地震動の概念図（鉛直方向）

[解放地盤モデル]

[実地盤モデル]

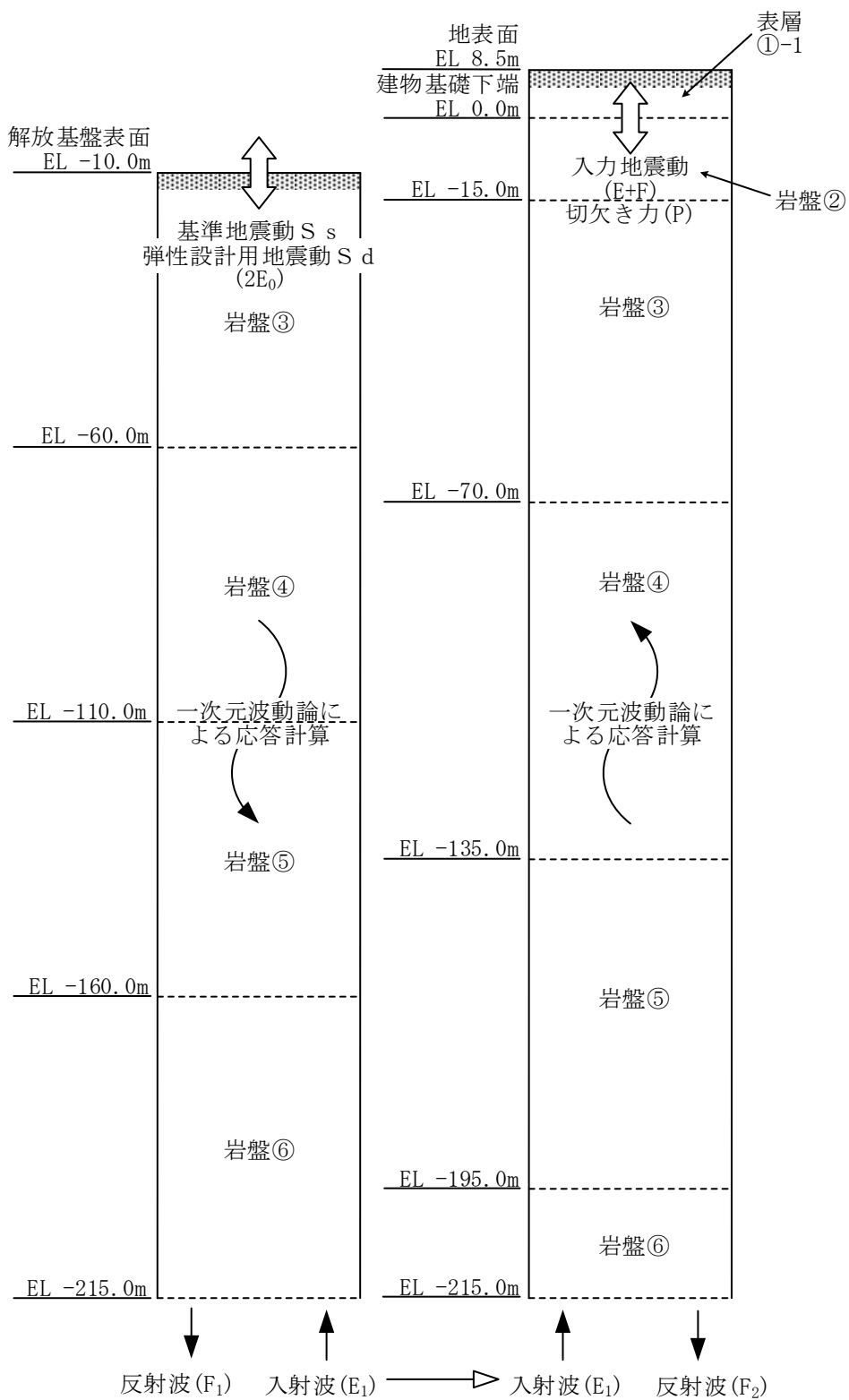


図 3-17 1次元地盤モデル (鉛直方向)

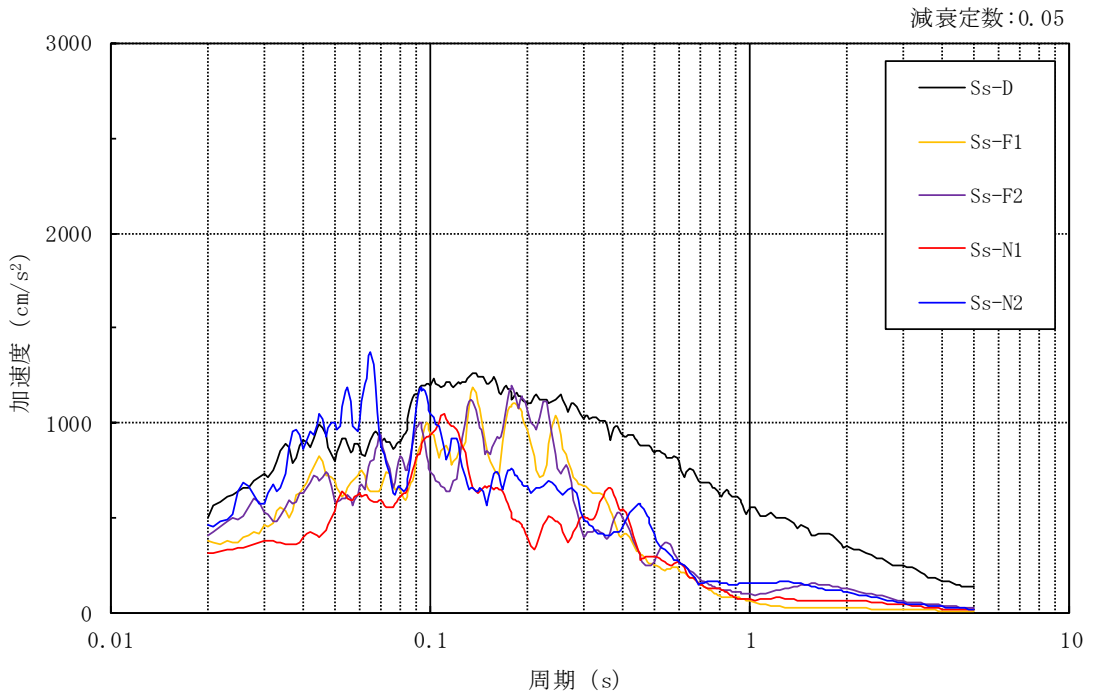


図 3-18 入力地震動の加速度応答スペクトル
(基準地震動 S_s , 鉛直方向, EL 0.0m)

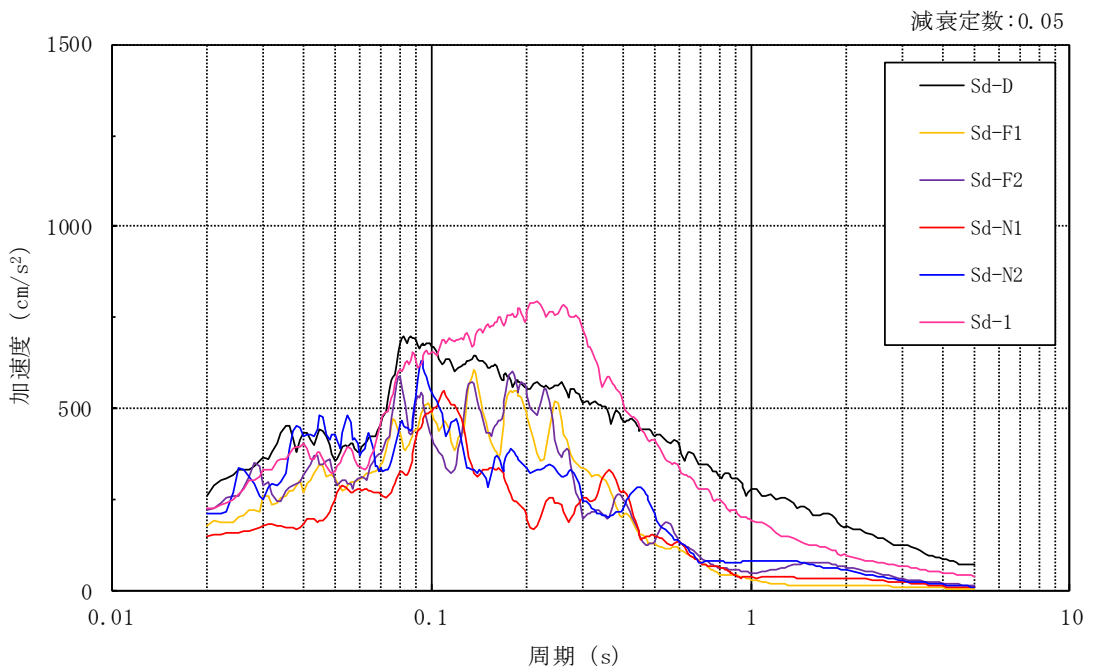


図 3-19 入力地震動の加速度応答スペクトル
(弾性設計用地震動 S_d , 鉛直方向, EL 0.0m)

3.3 解析方法

タービン建物について、動的解析により応答加速度、応答変位、応答せん断力、応答曲げモーメント、応答軸力、応答せん断ひずみ及び接地圧を算定する。また、静的解析により静的地震力、接地圧及び必要保有水平耐力を算定する。

タービン建物の地震応答解析には、解析コード「NUPP4」を用いる。評価に用いる解析コードの検証、妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

3.3.1 動的解析

建物・構築物の動的解析は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」に記載の解析方法に基づき、時刻歴応答解析により実施する。

なお、最大接地圧は、「原子力発電所耐震設計技術規程 J E A C 4 6 0 1 -2008（（社）日本電気協会）」を参考に、水平応答と鉛直応答から組合せ係数法（組合せ係数は1.0と0.4）を用いて算定する。

3.3.2 静的解析

(1) 水平地震力

水平地震力算定用の基準面は基礎スラブ上端（EL 2.0m）とし、基準面より上の部分（地上部分）の地震力は、地震層せん断力係数を用いて、次式により算定する。

$$Q_i = n \cdot C_i \cdot W_i$$

$$C_i = Z \cdot R_t \cdot A_i \cdot C_0$$

ここで、

- Q_i : 第 i 層に生じる水平地震力
- n : 施設の重要度分類に応じた係数 (1.5)
- C_i : 第 i 層の地震層せん断力係数
- W_i : 第 i 層が支える重量
- Z : 地震地域係数 (1.0)
- R_t : 振動特性係数 (0.8)
- A_i : 第 i 層の地震層せん断力係数の高さ方向の分布係数
- C_0 : 標準せん断力係数 (0.2)

基準面（基礎スラブ上端（EL 2.0m））より下の部分（地下部分）の地震力は、当該部分の重量に、次式によって算定する地下震度（基礎スラブ部分（EL 0.0m～EL 2.0m）の震度）を乗じて定める。なお、地下部分の地震力は接地圧の算定に用いる。

$$K = 0.1 \cdot n \cdot (1 - H/40) \cdot Z \cdot \alpha$$

ここで、

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| K | : 地下部分の水平震度 |
| n | : 施設の重要度分類に応じた係数（1.5） |
| H | : 地下の各部分の基準面からの深さ（m） |
| Z | : 地震地域係数（1.0） |
| α | : 建物・構築物側方地盤の影響を考慮した水平地下震度の補正係数（1.0） |

3.3.3 必要保有水平耐力

各層の必要保有水平耐力 Q_{un} は、次式により算定する。

$$Q_{un} = D_s \cdot F_{es} \cdot Q_{ud}$$

ここで、

D_s : 各層の構造特性係数

F_{es} : 各層の形状特性係数

地震力によって各層に生じる水平力 Q_{ud} は、次式により算定する。

$$Q_{ud} = n \cdot C_i \cdot W_i$$

ここで、

n : 施設の重要度分類に応じた係数 (1.0)

C_i : 第 i 層の地震層せん断力係数

W_i : 第 i 層が支える重量

地震層せん断力係数 C_i は、次式により算定する。

$$C_i = Z \cdot R_t \cdot A_i \cdot C_0$$

ここで、

Z : 地震地域係数 (1.0)

R_t : 振動特性係数 (0.8)

A_i : 第 i 層の地震層せん断力係数の高さ方向の分布係数

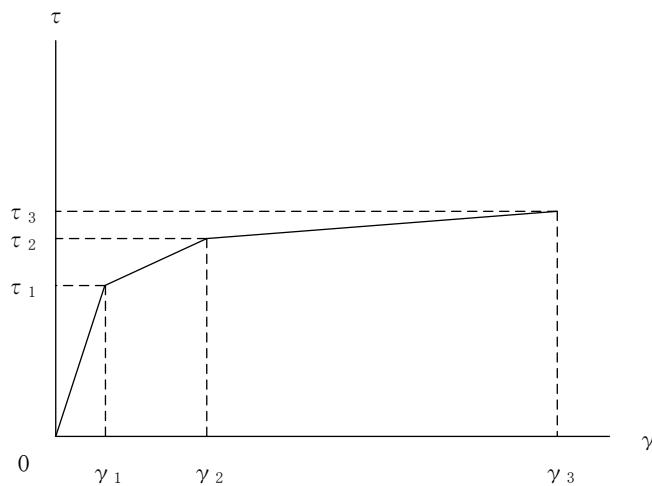
C_0 : 標準せん断力係数 (1.0)

3.4 解析条件

3.4.1 建物・構築物の復元力特性

(1) 耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係（ $\tau - \gamma$ 関係）

耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係（ $\tau - \gamma$ 関係）は、「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」に基づき、トリリニア型スケルトン曲線とする。耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係を図 3-20 に示す。

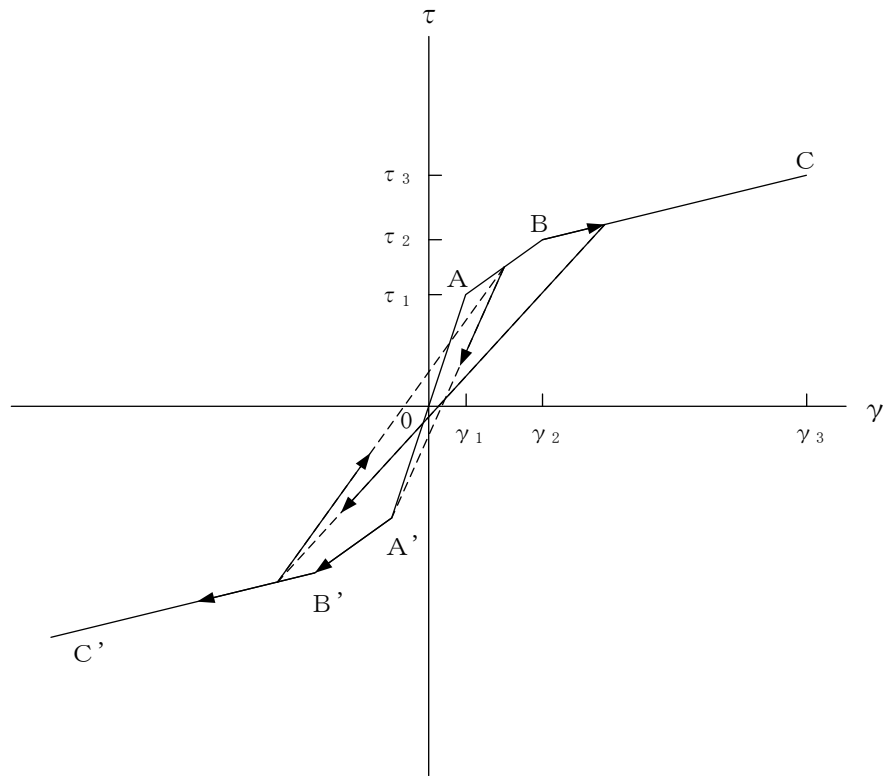


- τ_1 : 第 1 折点のせん断応力度
- τ_2 : 第 2 折点のせん断応力度
- τ_3 : 終局点のせん断応力度
- γ_1 : 第 1 折点のせん断ひずみ
- γ_2 : 第 2 折点のせん断ひずみ
- γ_3 : 終局点のせん断ひずみ (4.0×10^{-3})

図 3-20 耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係

(2) 耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係の履歴特性

耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係の履歴特性は、「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」に基づき、最大点指向型モデルとする。耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係の履歴特性を図 3-21 に示す。

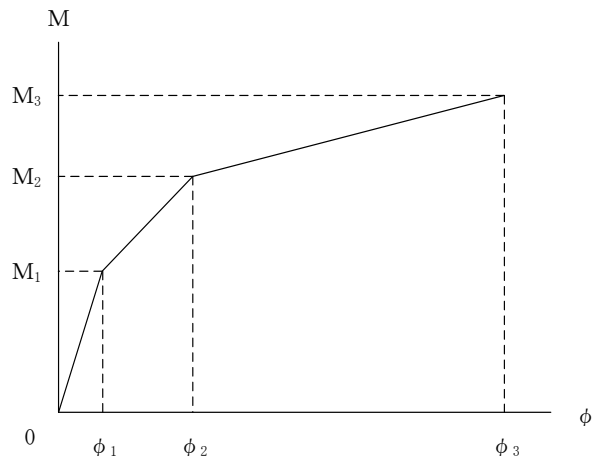


- a. 0-A 間 : 弾性範囲
- b. A-B 間 : 負側スケルトンが経験した最大点に向かう。ただし、負側最大点が第1折点を越えていなければ、負側第1折点に向かう。
- c. B-C 間 : 負側最大点指向
- d. 各最大点は、スケルトン上を移動することにより更新される。
- e. 安定ループは面積を持たない。

図 3-21 耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係の履歴特性

(3) 耐震壁の曲げモーメントー曲率関係 (M- ϕ 関係)

耐震壁の曲げモーメントー曲率関係 (M- ϕ 関係) は, 「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」に基づき, トリリニア型スケルトン曲線とする。耐震壁の曲げモーメントー曲率関係を図 3-22 に示す。



M_1 : 第 1 折点の曲げモーメント

M_2 : 第 2 折点の曲げモーメント

M_3 : 終局点の曲げモーメント

ϕ_1 : 第 1 折点の曲率

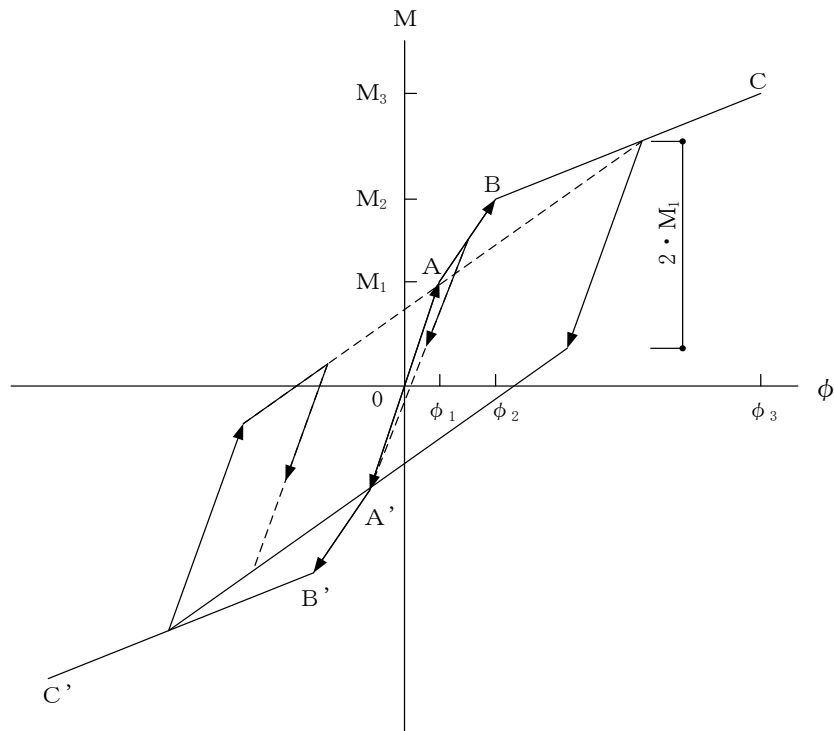
ϕ_2 : 第 2 折点の曲率

ϕ_3 : 終局点の曲率

図 3-22 耐震壁の曲げモーメントー曲率関係

(4) 耐震壁の曲げモーメントー曲率関係の履歴特性

耐震壁の曲げモーメントー曲率関係の履歴特性は、「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」に基づき、ディグレイディングトリリニア型モデルとする。耐震壁の曲げモーメントー曲率関係の履歴特性を図 3-23 に示す。



- a. 0-A 間 : 弾性範囲
- b. A-B 間 : 負側スケルトンが経験した最大点に向かう。ただし、負側最大点が第1折点を超えていなければ、負側第1折点に向かう。
- c. B-C 間 : 負側最大点指向型で、安定ループは最大曲率に応じた等価粘性減衰を与える平行四辺形をしたディグレイディングトリリニア型とする。平行四辺形の折点は、最大値から $2 \cdot M_1$ を減じた点とする。ただし、負側最大点が第2折点を超えていなければ、負側第2折点を最大点とする安定ループを形成する。また、安定ループ内部での繰り返しに用いる剛性は安定ループの戻り剛性に同じとする。
- d. 各最大点は、スケルトン上を移動することにより更新される。

図 3-23 耐震壁の曲げモーメントー曲率関係の履歴特性

(5) スケルトン曲線の諸数値

タービン建物の各耐震壁について算定したせん断及び曲げスケルトン曲線の諸数値を表 3-5～表 3-7 に示す。

表 3-5(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T1-T2

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	1.61	2.17	4.66	0.171	0.514	4.00
20.6~12.5	1.69	2.28	4.55	0.180	0.540	4.00
12.5~9.0	1.74	2.35	4.67	0.186	0.557	4.00
9.0~2.0	1.82	2.45	4.60	0.194	0.581	4.00

T3

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	1.64	2.21	5.10	0.175	0.524	4.00
33.7~20.6	1.80	2.43	4.88	0.192	0.576	4.00

T4-T6 (TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.67	2.25	3.95	0.178	0.534	4.00
32.0~20.6	1.86	2.51	3.73	0.198	0.595	4.00

T4-T6 (TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	—*					
33.7~20.6	1.64	2.21	4.07	0.174	0.523	4.00

T3-T6

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	1.74	2.34	4.77	0.185	0.555	4.00
12.5~5.5	1.93	2.60	4.85	0.205	0.616	4.00
5.5~2.0	1.95	2.63	4.84	0.208	0.624	4.00

注記* : 線形部材

表 3-5(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T7-T10(TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.28	4.06	0.180	0.539	4.00
32.0~20.6	2.00	2.70	4.18	0.213	0.640	4.00
20.6~12.5	1.95	2.64	3.60	0.208	0.625	4.00
12.5~5.5	2.06	2.78	3.69	0.220	0.659	4.00
5.5~2.0	2.14	2.89	3.79	0.228	0.683	4.00

T7-T10(TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					
20.6~12.5	1.56	2.10	4.07	0.166	0.498	4.00
12.5~5.5	1.72	2.32	3.81	0.183	0.549	4.00
5.5~2.0	1.80	2.42	3.61	0.191	0.574	4.00

T11-T13(TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.28	4.17	0.180	0.539	4.00
32.0~20.6	1.68	2.27	3.84	0.179	0.537	4.00

T11-T13(TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					

注記* : 線形部材

表 3-5(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T11-T13

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	1.73	2.33	4.66	0.184	0.552	4.00
12.5~5.5	1.82	2.45	4.46	0.193	0.580	4.00
5.5~2.0	1.96	2.64	4.47	0.209	0.626	4.00

T14

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	1.67	2.26	5.01	0.178	0.535	4.00
30.55~20.6	1.78	2.41	4.31	0.190	0.570	4.00
20.6~12.5	1.83	2.48	3.98	0.195	0.586	4.00
12.5~2.0	1.88	2.53	4.50	0.200	0.600	4.00

表 3-6(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (EW方向)

TX-TZ

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.27	4.95	0.180	0.539	4.00

TX-TZ (T14側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	1.82	2.46	5.49	0.194	0.583	4.00
20.6~12.5	1.76	2.37	5.00	0.187	0.561	4.00
12.5~5.5	1.84	2.48	4.93	0.196	0.587	4.00

TX-TZ (T1側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	1.66	2.24	5.14	0.177	0.531	4.00
20.6~8.8	1.90	2.56	4.13	0.202	0.606	4.00
8.8~5.5	2.06	2.78	4.29	0.220	0.659	4.00

TX-TZ

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
5.5~2.0	1.91	2.57	5.09	0.203	0.609	4.00

TA-TC

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.89	2.55	5.06	0.201	0.604	4.00
32.0~20.6	1.94	2.62	5.25	0.207	0.620	4.00
20.6~12.5	1.94	2.62	5.00	0.207	0.621	4.00

表 3-6(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (EW方向)

TA-TC (T14側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	2.45	3.31	4.49	0.261	0.783	4.00
5.5~2.0	2.47	3.34	4.54	0.263	0.790	4.00

TA-TC (T1側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	1.93	2.61	5.07	0.206	0.617	4.00
5.5~2.0	2.03	2.75	4.91	0.217	0.650	4.00

TC-TF

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	1.85	2.50	5.04	0.197	0.592	4.00
30.55~20.6	1.89	2.56	5.12	0.202	0.605	4.00
20.6~12.5	1.83	2.48	5.01	0.195	0.586	4.00
12.5~5.5	1.92	2.59	5.11	0.204	0.612	4.00
5.5~2.0	2.18	2.94	5.24	0.232	0.695	4.00

TG-TH

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	1.65	2.23	4.91	0.176	0.528	4.00
20.6~12.5	1.71	2.31	4.75	0.182	0.546	4.00
12.5~5.5	1.90	2.56	4.75	0.202	0.607	4.00
5.5~2.0	2.07	2.80	4.80	0.221	0.662	4.00

表 3-7(1) 曲げスケルトン曲線 (M-φ 関係) (NS 方向)

T1-T2

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
33.7~20.6	0.929	2.01	2.91	4.05	44.5	890
20.6~12.5	1.56	2.41	3.38	4.40	42.0	841
12.5~9.0	1.80	3.00	4.18	4.65	42.9	859
9.0~2.0	1.96	3.11	4.32	5.02	43.2	865

T3

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~33.7	0.422	0.824	1.20	5.23	55.4	1110
33.7~20.6	1.05	2.00	3.18	3.44	33.6	390

T4-T6 (TA側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~32.0	0.209	0.344	0.513	12.9	130	2590
32.0~20.6	0.301	0.539	0.776	15.2	131	2620

T4-T6 (TF側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~33.7	—*					
33.7~20.6	0.390	0.614	0.792	10.9	111	2220

T3-T6

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
20.6~12.5	7.89	13.5	20.1	3.22	30.2	604
12.5~5.5	6.52	14.7	20.4	3.88	33.9	415
5.5~2.0	9.29	22.4	31.2	3.65	30.0	600

注記* : 線形部材

表 3-7(2) 曲げスケルトン曲線 (M-φ 関係) (N S 方向)

T7-T10(TA側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~32.0	0.370	0.608	0.824	13.1	132	2630
32.0~20.6	0.702	1.32	1.69	17.4	141	2820
20.6~12.5	1.27	1.84	2.54	12.6	94.2	1880
12.5~5.5	1.55	2.40	3.14	13.8	97.2	1940
5.5~2.0	1.55	2.90	3.76	11.7	94.7	671

T7-T10(TF側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					
20.6~12.5	0.422	0.630	0.959	7.44	106	2110
12.5~5.5	0.625	0.929	1.27	9.40	110	2190
5.5~2.0	0.676	1.01	1.34	10.7	110	2210

T11-T13(TA側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~32.0	0.110	0.195	0.292	13.2	139	2790
32.0~20.6	0.427	0.809	1.15	12.6	135	2690

T11-T13(TF側)

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					

注記* : 線形部材

表 3-7(3) 曲げスケルトン曲線 (M-φ 関係) (N S 方向)

T11-T13

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
20.6~12.5	4.94	8.15	11.1	4.12	39.1	781
12.5~5.5	6.75	11.0	14.3	4.49	39.3	786
5.5~2.0	7.56	12.3	15.6	5.12	40.9	817

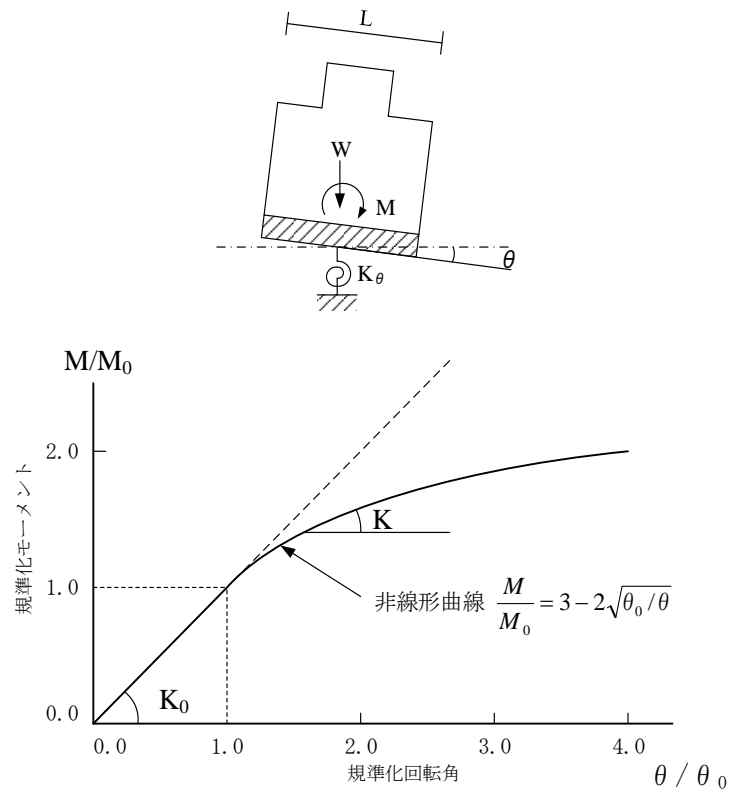
T14

EL (m)	M ₁ (×10 ⁶ kN・m)	M ₂ (×10 ⁶ kN・m)	M ₃ (×10 ⁶ kN・m)	φ ₁ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₂ (×10 ⁻⁶ /m)	φ ₃ (×10 ⁻⁶ /m)
41.6~30.55	0.437	0.822	1.19	5.42	54.8	1100
30.55~20.6	0.650	1.09	1.47	5.98	55.9	1120
20.6~12.5	0.796	1.42	1.98	6.27	56.4	1130
12.5~2.0	1.06	3.36	4.89	4.82	41.6	832

3.4.2 地盤の回転ばねの復元力特性

地盤の回転ばねに関する曲げモーメントー回転角の関係は「J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版」に基づき，浮上りによる幾何学的非線形性を考慮する。地盤の回転ばねの曲げモーメントー回転角の関係を図 3-24 に示す。

浮上り時の地盤の回転ばねの剛性は，図 3-24 の曲線で表され，減衰係数は，回転ばねの接線剛性に比例するものとして考慮する。



M : 転倒モーメント

M_0 : 浮上り限界転倒モーメント ($=W \cdot L / 6$)

θ : 回転角

θ_0 : 浮上り限界回転角

K_0 : 地盤の回転ばね定数 (浮上り前)

K : 地盤の回転ばね定数 (浮上り後)

W : 建物総重量

L : 建物基礎幅

図 3-24 地盤の回転ばねの曲げモーメントー回転角関係

3.4.3 材料物性の不確かさ等

解析においては、「3.2 地震応答解析モデル」に示す物性値及び定数を基本ケースとし、材料物性の不確かさを考慮する。材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析は、建物応答への影響の大きい地震動に対して実施することとし、基本ケースの地震応答解析の応答値のいずれかが最大となる地震動に対して実施することとする。

材料物性の不確かさのうち、地盤物性については、地盤調査結果の平均値を基に設定した数値を基本ケースとし、地盤物性の不確かさ検討にあたっては、S波速度及びP波速度に対して標準偏差に相当するばらつき（ $\pm 1\sigma$ ）を考慮する。なお、建物剛性の不確かさについては、コンクリートの実強度は設計基準強度よりも大きくなること及び建物剛性として考慮していない壁の建物剛性への寄与については構造耐力の向上が見られることから、保守的に考慮しない。

材料物性の不確かさを考慮する地震応答解析ケースを表3-8に、地盤物性の不確かさを考慮した解析用地盤物性値を表3-9に示す。

表3-8 材料物性の不確かさを考慮する地震応答解析ケース

検討ケース	コンクリート 剛性	地盤物性	備考
ケース1 (工認モデル)	設計基準強度	標準地盤	基本ケース
ケース2 (地盤物性 $+\sigma$)	設計基準強度	標準地盤 $+\sigma$ (+10%, +20%) *	
ケース3 (地盤物性 $-\sigma$)	設計基準強度	標準地盤 $-\sigma$ (-10%, -20%) *	
ケース4 (積雪)	設計基準強度	標準地盤	積雪荷重との 組合せを考慮

注記*：VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき、地盤のS波速度 V_s 及びP波速度 V_p の不確かさを設定する。

表 3-9 地盤物性の不確かさを考慮した解析用地盤物性値

(a) S波速度

層番号		地盤の S 波速度 V_s (m/s)		
		基本ケース	+ σ 相当	- σ 相当
表層①-1	S s	127	153	102
	S d	156	187	125
岩盤②		900	1080	720
岩盤③		1600	1760	1440
岩盤④		1950	2145	1755
岩盤⑤		2000	2200	1800
岩盤⑥		2350	2585	2115

(b) P波速度

層番号		地盤の P 波速度 V_p (m/s)		
		基本ケース	+ σ 相当	- σ 相当
表層①-1	S s	422	506	338
	S d	516	620	413
岩盤②		2100	2520	1680
岩盤③		3600	3960	3240
岩盤④		4000	4400	3600
岩盤⑤		4050	4455	3645
岩盤⑥		4950	5445	4455

4. 解析結果

4.1 動的解析

基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の地震応答解析結果を示す。

4.1.1 基本ケースの地震応答解析結果

(1) 固有値解析結果

基本ケースの地震応答解析モデルの固有値解析結果（固有周期，固有振動数及び刺激係数）を表 4-1 に示す。刺激関数図を図 4-1～図 4-3 に示す。

なお，刺激係数は，モードごとに固有ベクトルの最大値を 1 に規準化して得られる値を示す。

(2) 地震応答解析結果

a. 基準地震動 S_s

基準地震動 S_s による最大応答値を図 4-4～図 4-14 及び表 4-2～表 4-14 に示す。また，基準地震動 S_s に対する最大応答値を図 4-15～図 4-17 の耐震壁のスケルトン曲線上にプロットして示す。

接地率を表 4-15 に示す。

b. 弾性設計用地震動 S_d

弾性設計用地震動 S_d による最大応答値を図 4-18～図 4-28 及び表 4-16～表 4-28 に示す。また，弾性設計用地震動 S_d に対する最大応答値を図 4-29～図 4-31 の耐震壁のスケルトン曲線上にプロットして示す。

接地率を表 4-29 に示す。

表 4-1 固有値解析結果

(a) N S 方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.241	4.15	1.537	T/G1 次
2	0.206	4.85	2.460	建物—地盤連成 1 次
3	0.142	7.06	1.789	
4	0.136	7.36	-1.393	
5	0.129	7.75	2.233	
6	0.109	9.15	-2.595	

(b) E W 方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.274	3.65	1.297	T/G1 次
2	0.157	6.37	1.817	建物—地盤連成 1 次
3	0.105	9.53	-0.452	
4	0.084	11.83	0.801	
5	0.080	12.49	-1.661	
6	0.071	14.18	-0.341	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.288	3.48	1.466	屋根トラス 1 次
2	0.087	11.51	-3.118	
3	0.077	12.97	3.171	建物—地盤連成 1 次
4	0.060	16.55	0.549	
5	0.045	22.17	0.522	
6	0.034	29.40	-0.643	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を 1 に規準化して得られる刺激係数を示す。

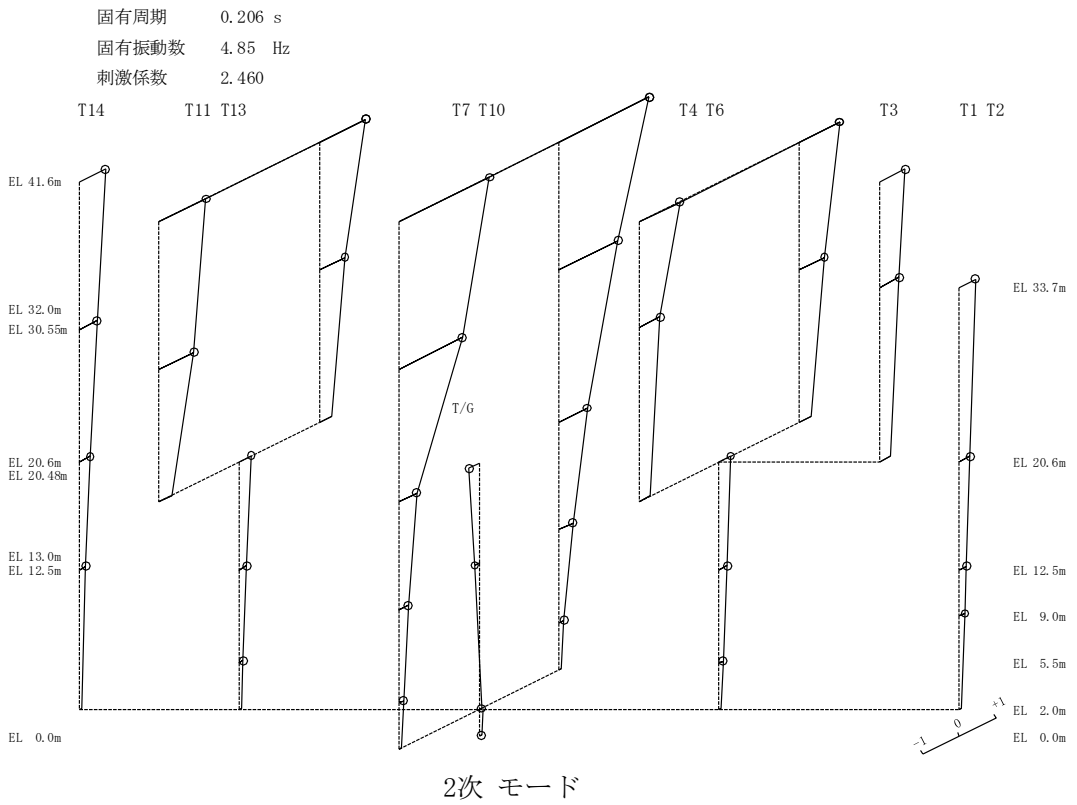
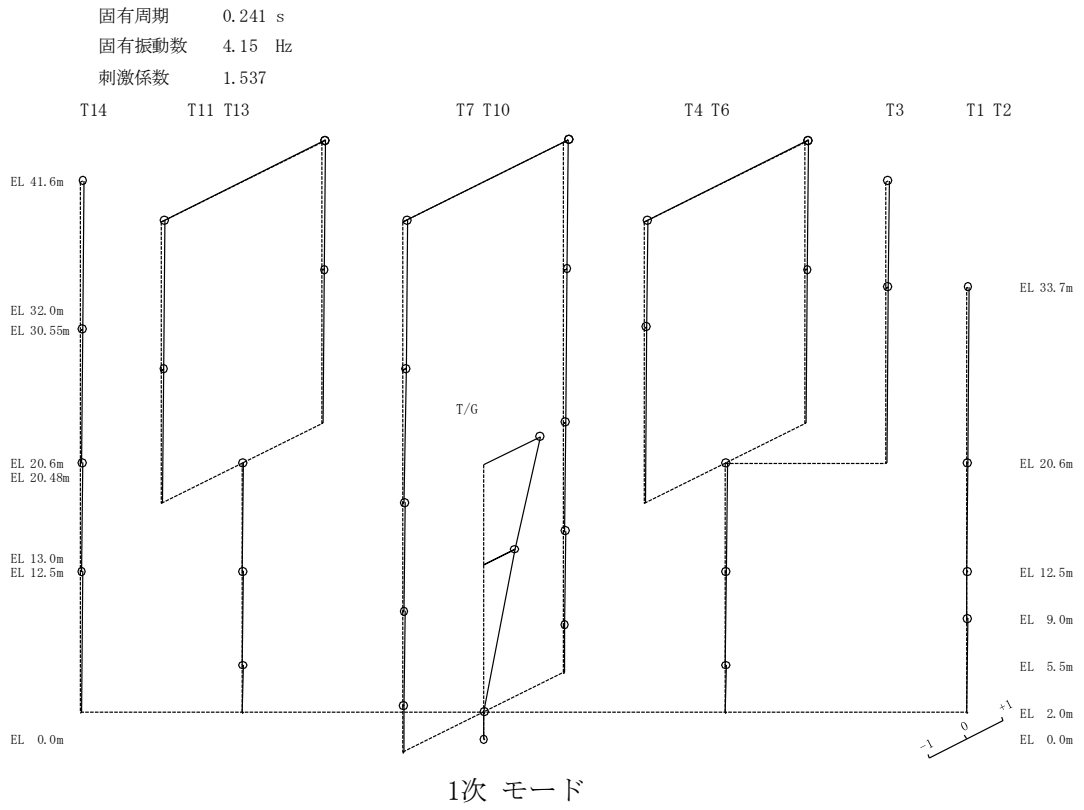
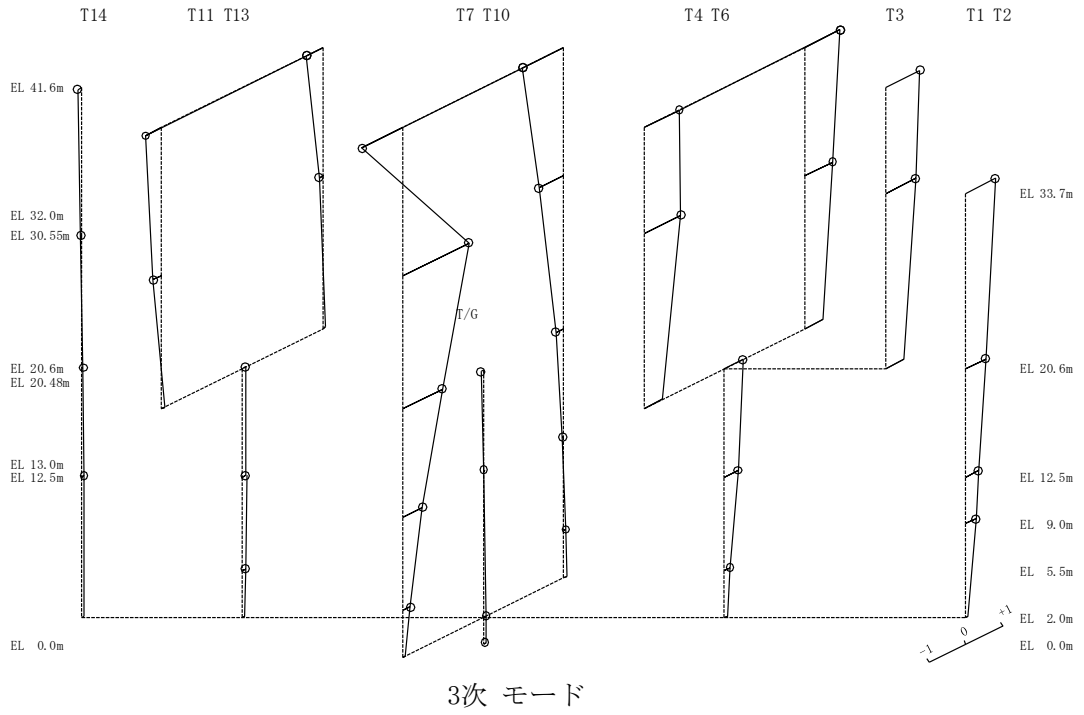


図 4-1(1) 刺激関数図 (NS 方向)

固有周期 0.142 s
 固有振動数 7.06 Hz
 刺激係数 1.789



固有周期 0.136 s
 固有振動数 7.36 Hz
 刺激係数 -1.393

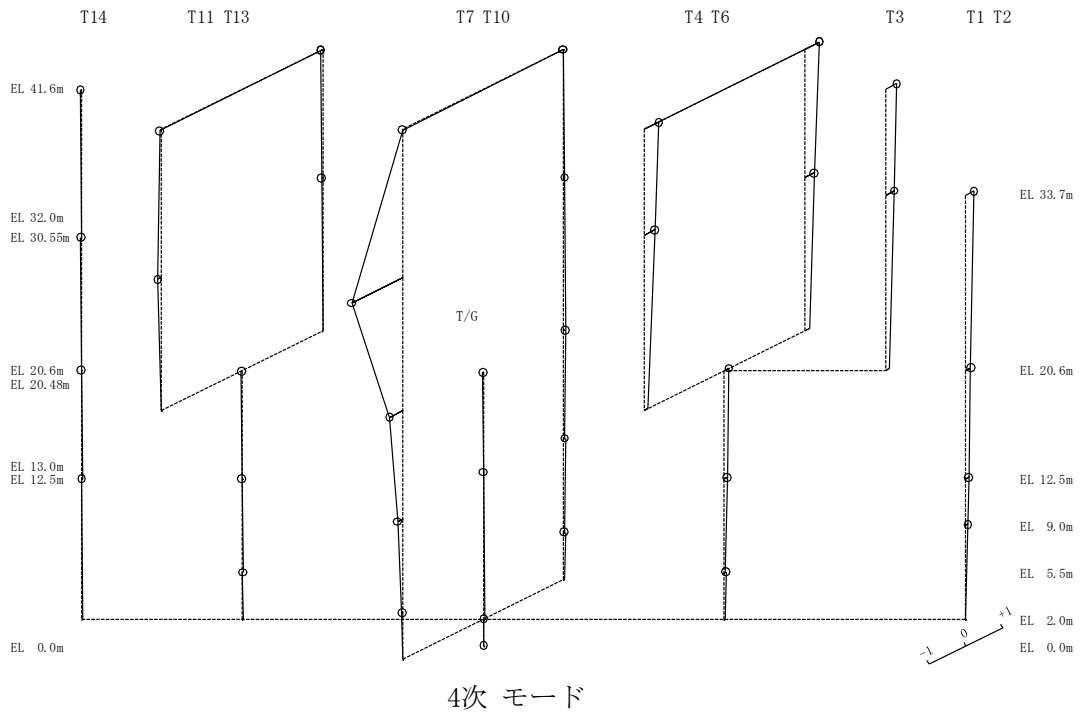


図 4-1(2) 刺激関数図 (NS 方向)

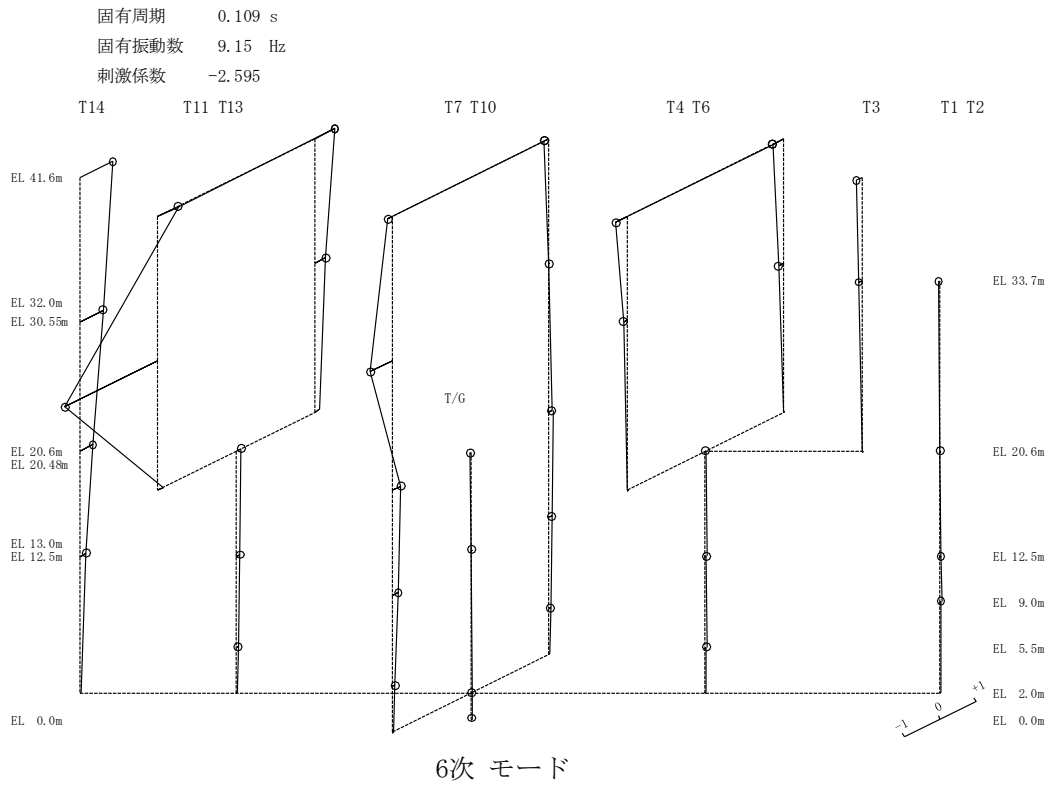
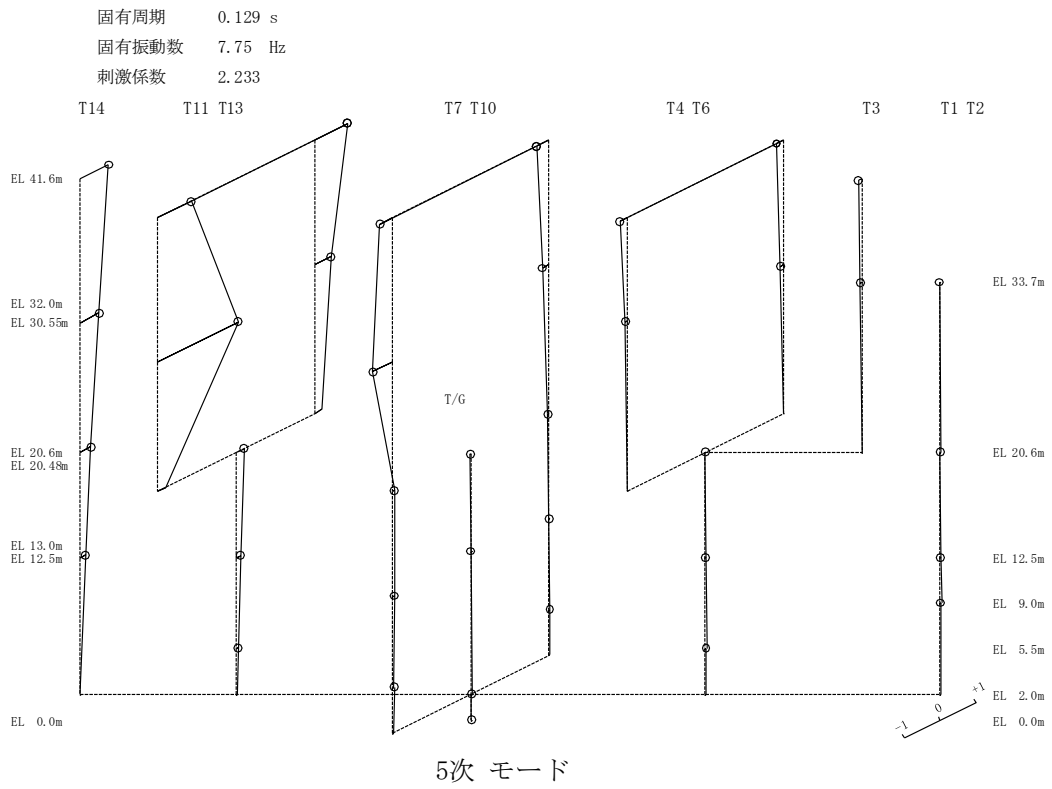


図 4-1(3) 刺激関数図 (NS 方向)

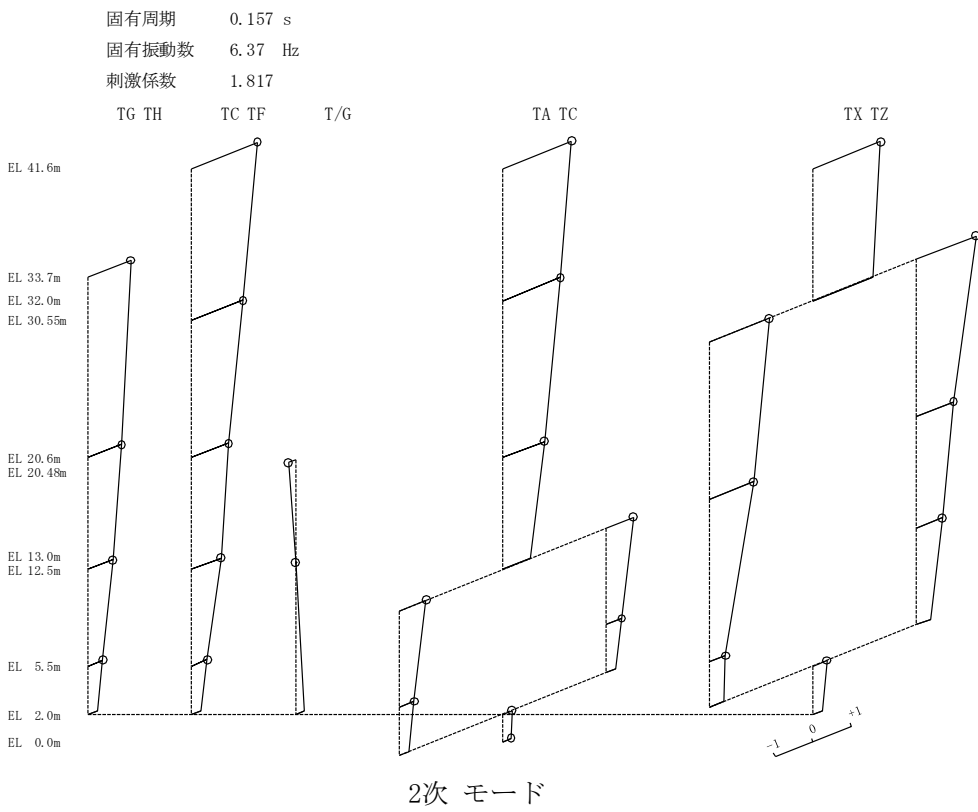
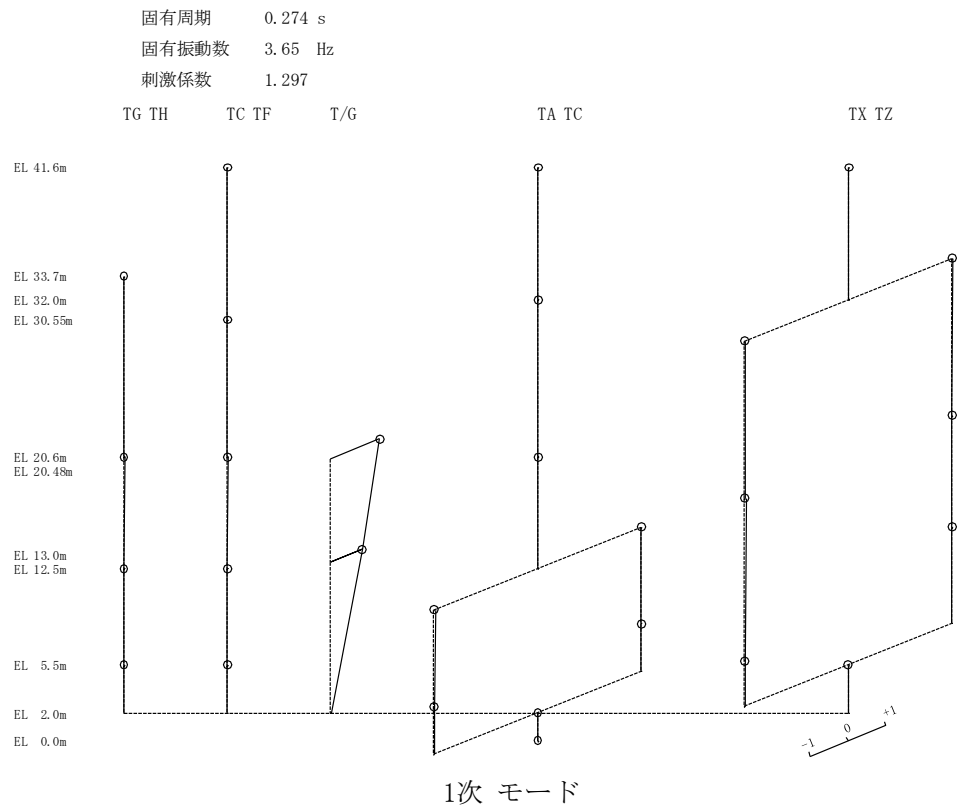


図 4-2(1) 刺激関数図 (EW方向)

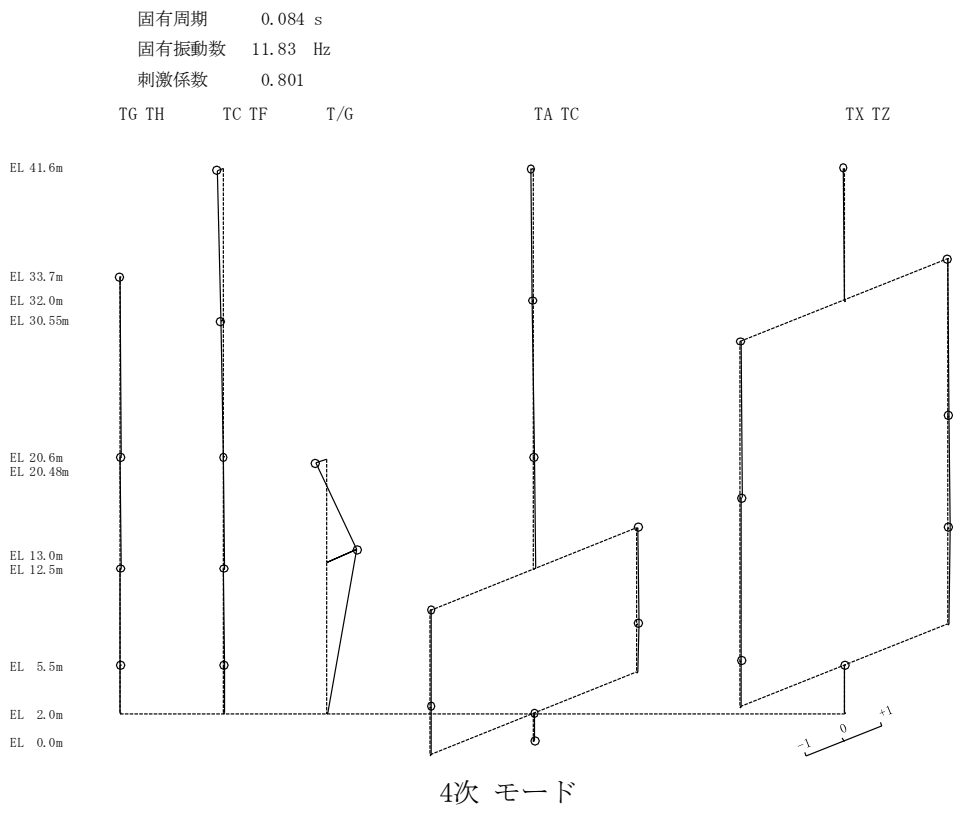
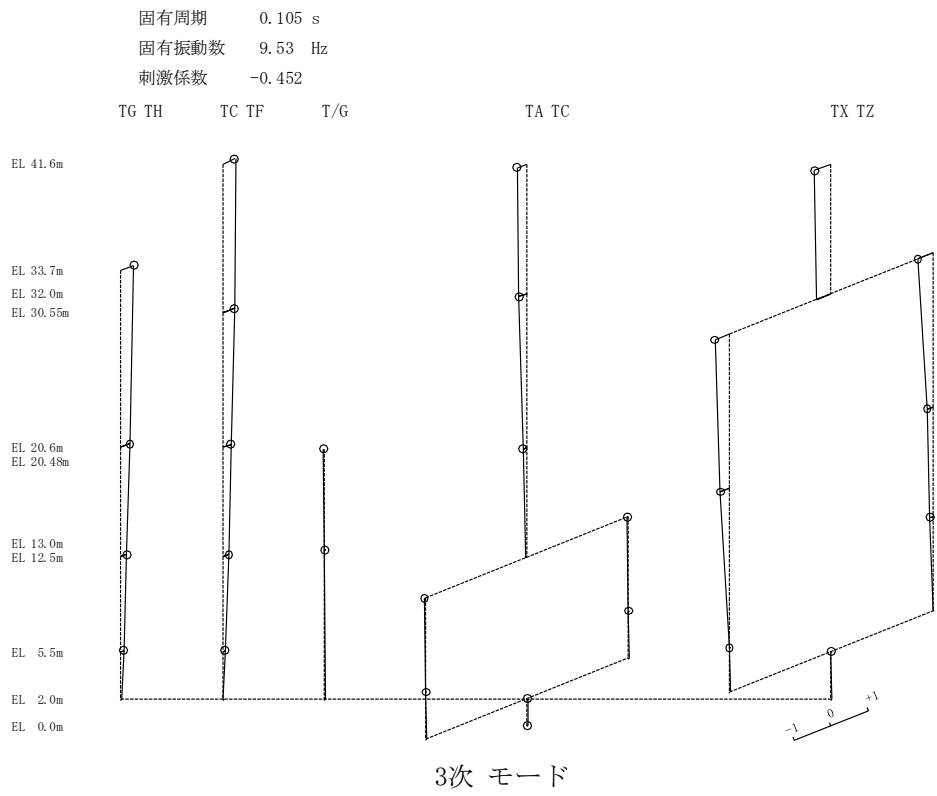


図 4-2(2) 刺激関数図 (EW方向)

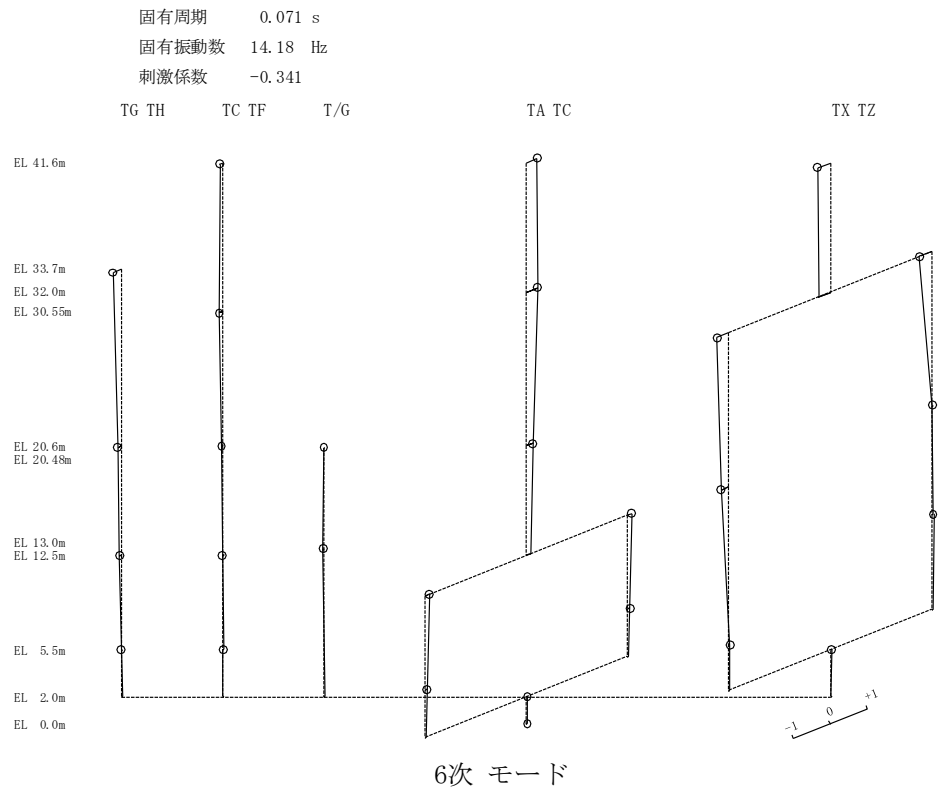
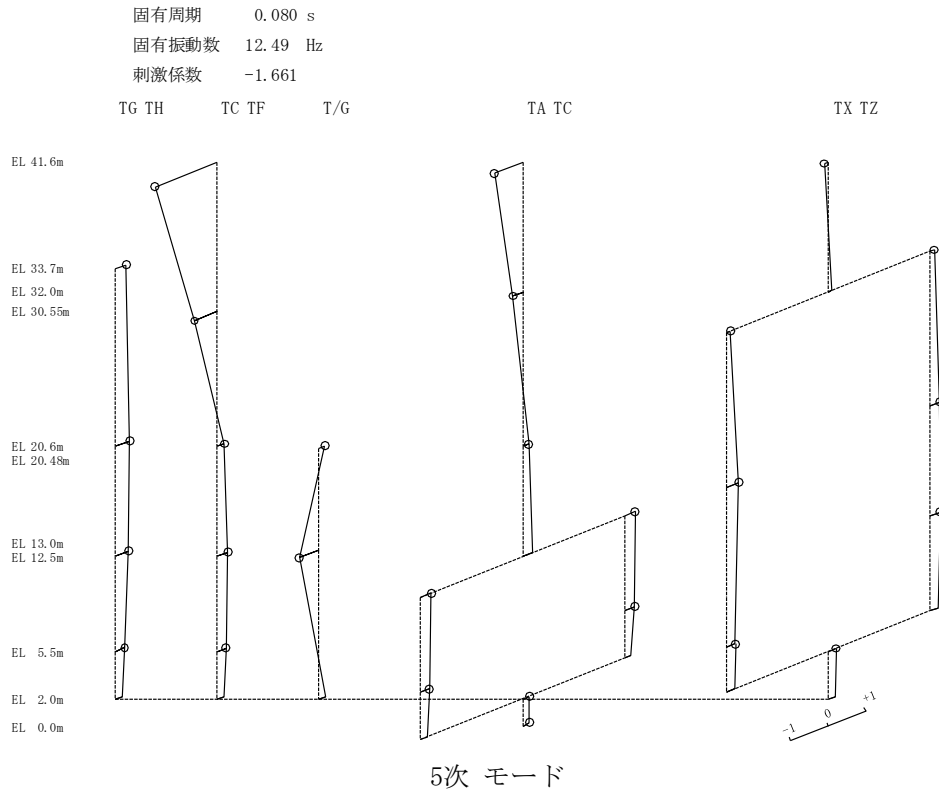


図 4-2(3) 刺激関数図 (EW方向)

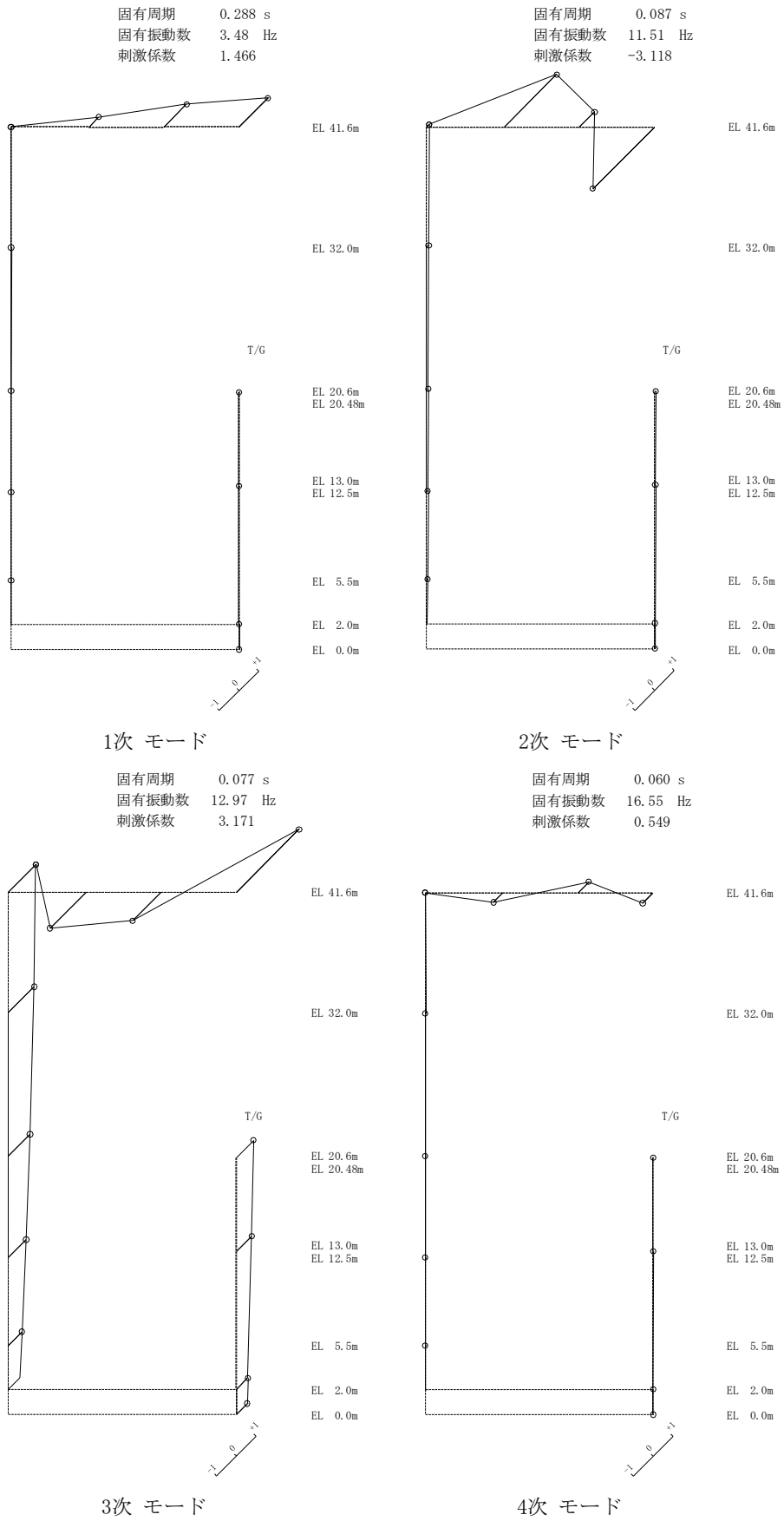


図 4-3(1) 刺激関数図 (鉛直方向)

固有周期 0.045 s
 固有振動数 22.17 Hz
 刺激係数 0.522

固有周期 0.034 s
 固有振動数 29.40 Hz
 刺激係数 -0.643

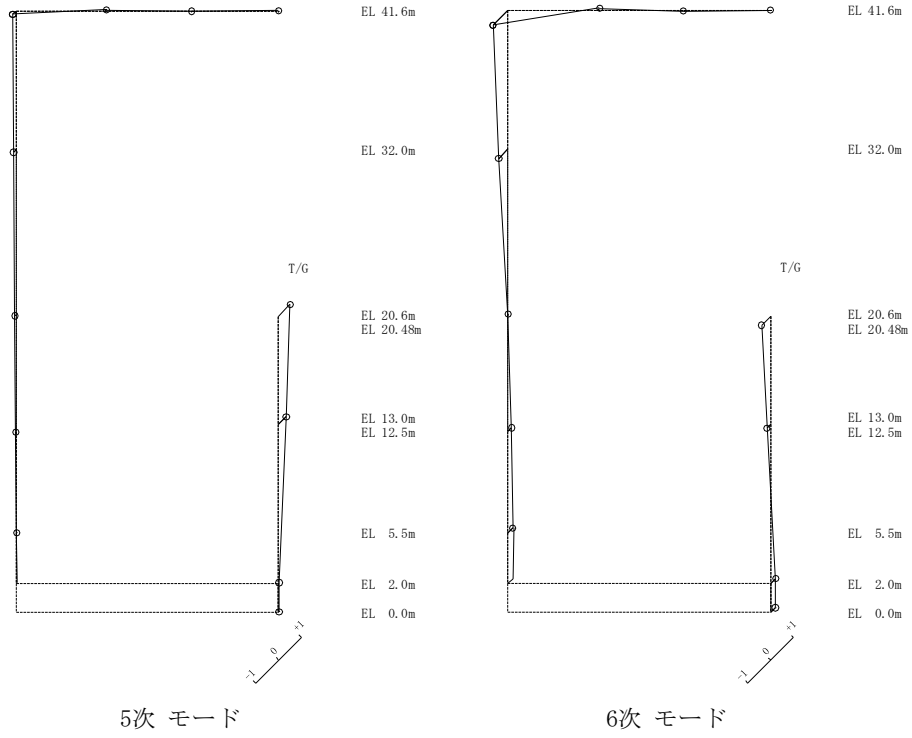


図 4-3(2) 刺激関数図 (鉛直方向)

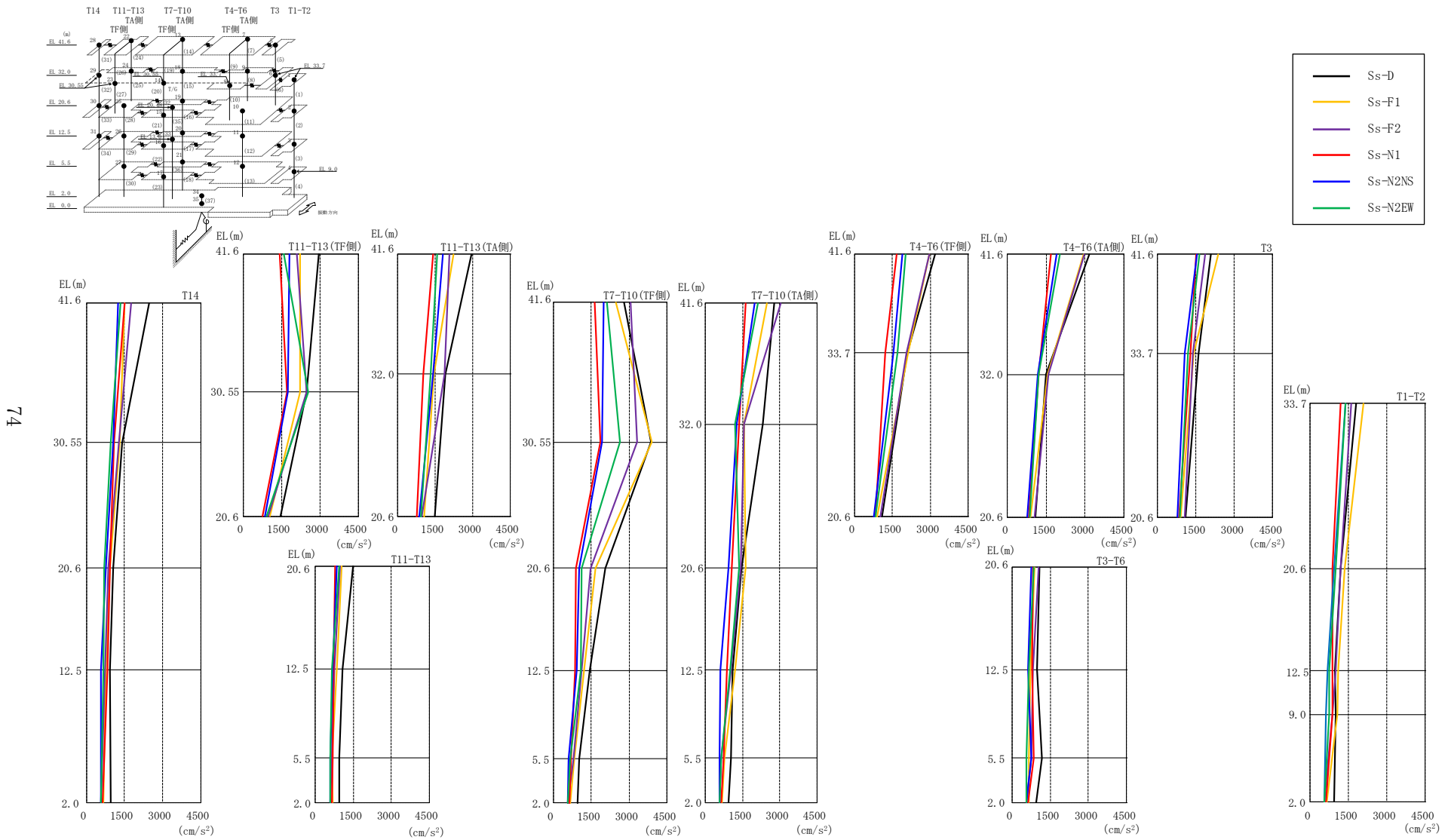
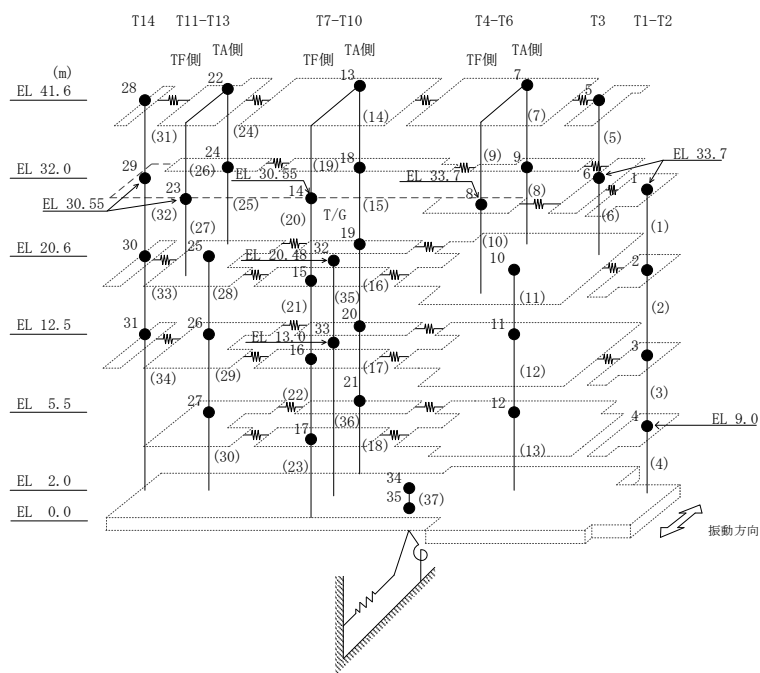


図 4-4 最大応答加速度 (基準地震動 S s , N S 方向)

表 4-2 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S_s, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7	1	1824	2095	1625	1224	1396	1400	2095
	20.6	2	1217	1363	1220	874	943	1012	1363
	12.5	3	995	1113	1003	903	695	769	1113
	9.0	4	1012	1067	887	893	622	748	1067
T3	41.6	5	2085	2376	1866	1503	1536	1642	2376
	33.7	6	1599	1401	1379	1265	1063	1195	1599
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	2958	2963	1670	1896	2031	3183
	32.0	9	1476	1568	1580	1202	1188	1195	1580
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2125	2052	1224	1540	1699	2125
T3-T6	20.6	10	1077	905	1043	832	754	847	1077
	12.5	11	985	740	816	807	628	669	985
	5.5	12	1183	663	774	863	750	583	1183
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2475	3048	1639	1989	2116	3048
	32.0	18	2319	1555	1574	1368	1273	1195	2319
	20.6	19	1466	1633	1417	1063	939	1373	1633
	12.5	20	1106	1217	1041	870	626	1009	1217
	5.5	21	1029	765	649	732	593	658	1029
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3888	3319	1876	1938	2628	3888
	20.6	15	2064	1668	1494	912	1020	1117	2064
	12.5	16	1430	1219	1114	858	945	1102	1430
	5.5	17	1037	823	815	714	600	684	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2246	2091	1438	1820	1590	2969
	32.0	24	1902	1454	1870	1014	1408	1338	1902
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2240	2487	1714	1757	2559	2559
T11-T13	20.6	25	1481	1048	976	781	854	927	1481
	12.5	26	1072	839	756	702	679	651	1072
	5.5	27	927	665	640	685	581	577	927
T14	41.6	28	2478	1499	1762	1500	1243	1340	2478
	30.55	29	1415	1300	1267	1080	1052	970	1415
	20.6	30	1053	940	871	936	770	714	1053
	12.5	31	915	763	733	819	589	663	915
	2.0	34	947	667	576	640	577	573	947

注：ハッチングは S_s-D ~ S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



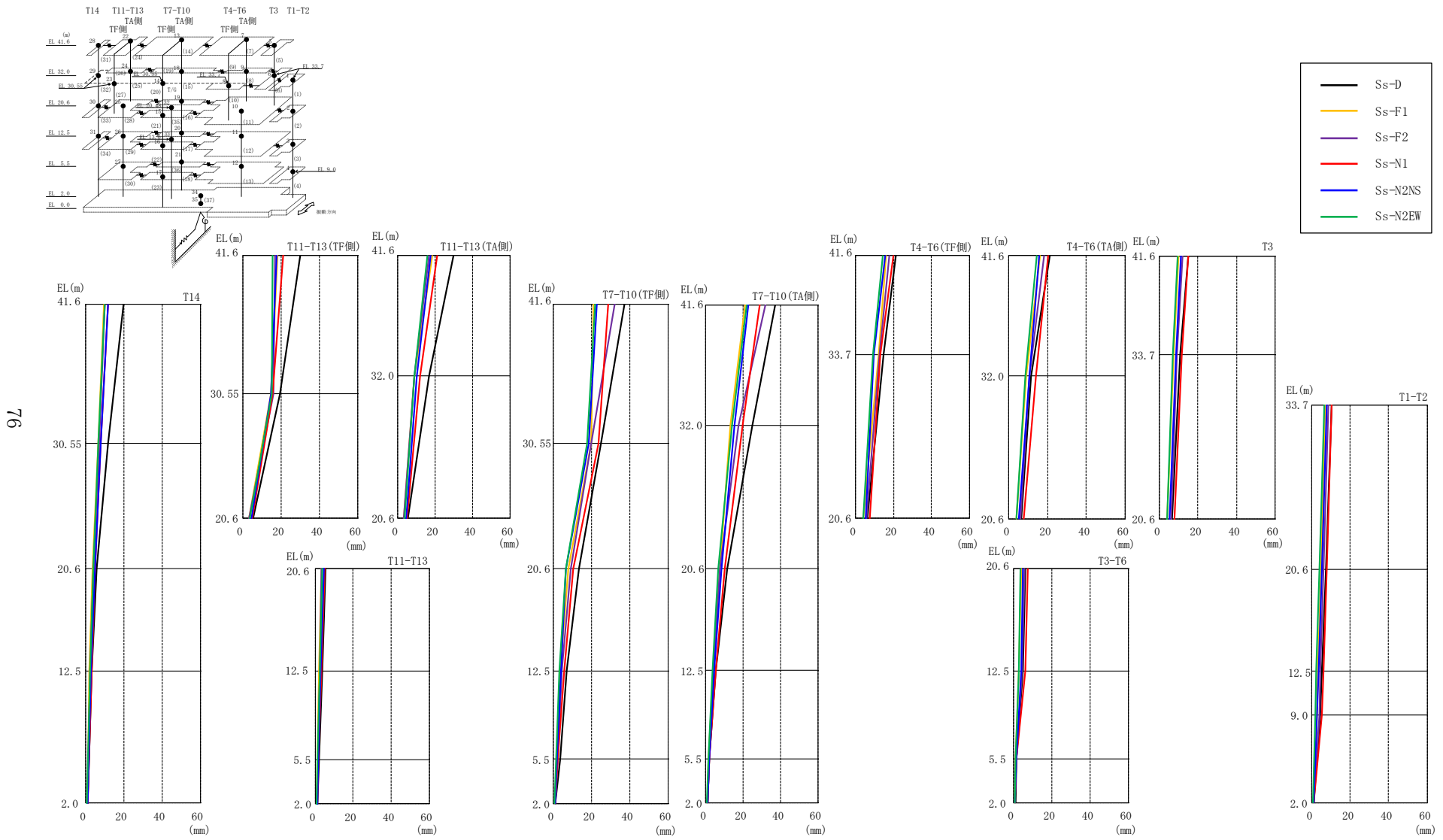
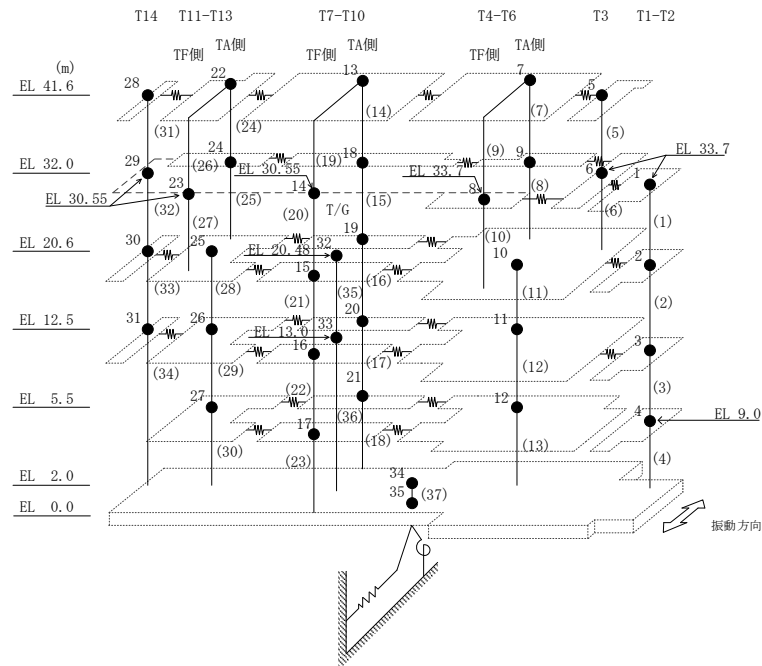


图 4-5 最大応答変位 (基準地震動 S_s, N S 方向)

表 4-3 最大応答変位一覧 (基準地震動 S_s, NS 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7	1	10.33	6.88	8.61	10.49	7.87	6.53	10.49
	20.6	2	7.28	4.71	6.28	7.78	5.21	4.10	7.78
	12.5	3	5.33	3.24	4.65	6.05	3.51	2.54	6.05
	9.0	4	4.57	2.74	3.96	5.29	2.82	1.95	5.29
T3	41.6	5	14.92	9.75	12.16	15.05	11.23	9.48	15.05
	33.7	6	10.87	7.35	9.17	11.55	8.68	7.11	11.55
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	16.12	18.03	20.19	15.59	14.34	21.08
	32.0	9	11.54	9.11	10.79	13.79	10.49	8.61	13.79
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	12.35	12.91	13.07	9.53	9.49	14.93
T3-T6	20.6	10	6.42	4.06	5.98	7.59	5.24	4.00	7.59
	12.5	11	5.22	3.04	4.74	6.21	4.04	2.88	6.21
	5.5	12	1.87	1.42	1.55	1.74	1.67	1.18	1.87
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	20.90	32.08	28.68	22.63	21.82	37.40
	32.0	18	24.81	13.08	17.76	19.62	15.16	13.91	24.81
	20.6	19	11.51	7.48	7.37	9.99	8.23	6.45	11.51
	12.5	20	5.15	3.91	3.99	5.35	4.48	3.45	5.35
	5.5	21	1.88	1.46	1.79	1.97	1.75	1.24	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	19.72	19.74	23.50	18.49	17.75	24.75
	20.6	15	13.26	7.96	8.99	10.18	6.52	6.62	13.26
	12.5	16	6.72	3.66	4.26	5.55	3.78	3.13	6.72
	5.5	17	3.31	1.77	2.05	2.42	1.95	1.30	3.31
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	18.29	16.81	21.02	17.70	15.82	30.02
	32.0	24	16.73	8.74	8.96	12.08	10.35	8.88	16.73
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	14.94	16.13	15.80	14.63	15.17	19.29
T11-T13	20.6	25	5.27	3.18	3.45	4.85	4.41	3.76	5.27
	12.5	26	3.54	1.94	2.41	3.14	2.93	2.35	3.54
	5.5	27	2.09	1.24	1.46	1.73	1.68	1.22	2.09
T14	41.6	28	19.87	9.71	10.06	11.78	11.47	9.73	19.87
	30.55	29	11.51	6.33	6.73	7.97	7.85	6.54	11.51
	20.6	30	5.66	3.61	4.01	5.00	4.81	3.92	5.66
	12.5	31	2.92	1.89	2.28	2.96	2.81	2.21	2.96
	2.0	34	1.12	0.87	0.88	0.89	0.96	0.62	1.12

注：ハッチングは S_s-D ~ S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



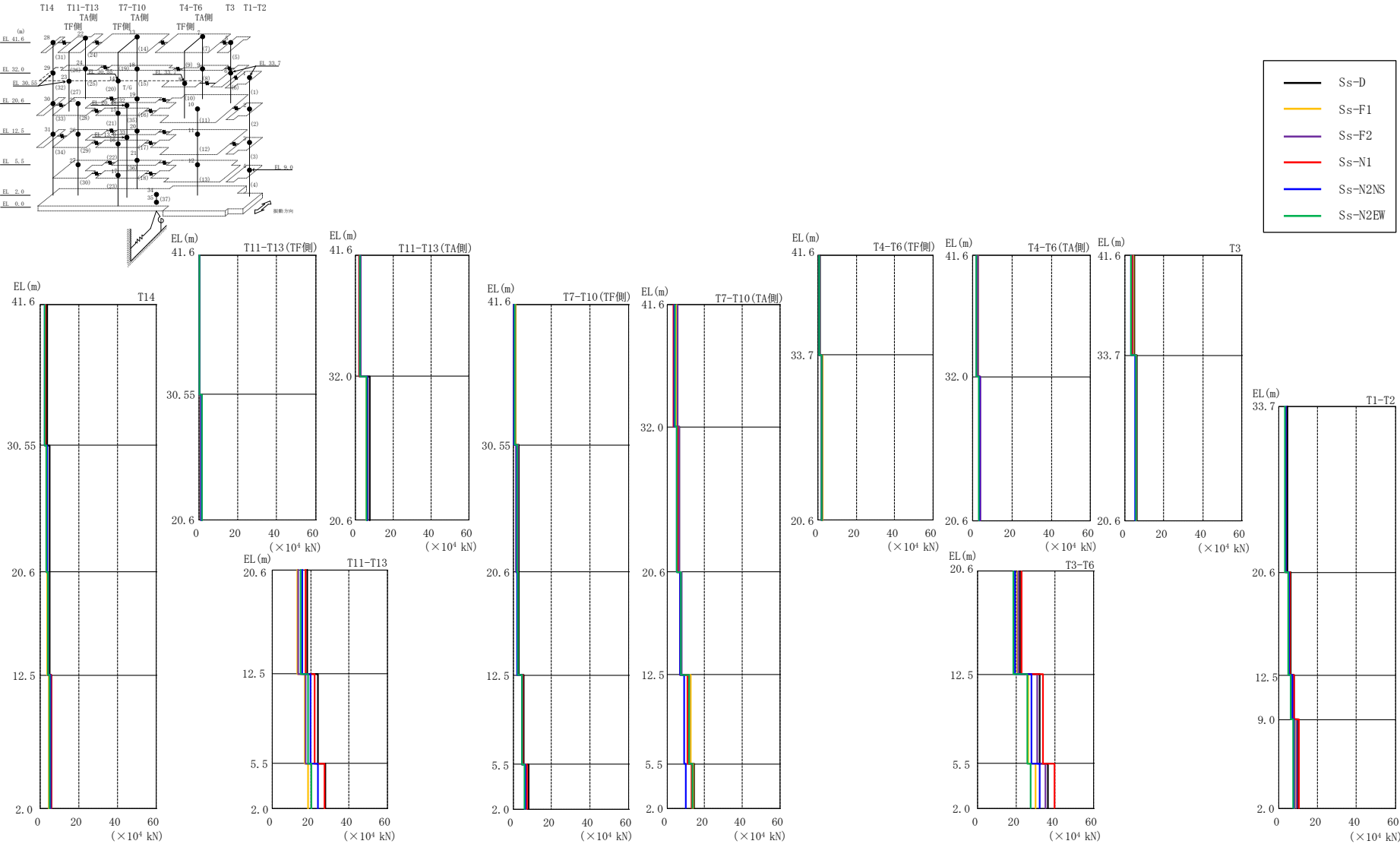
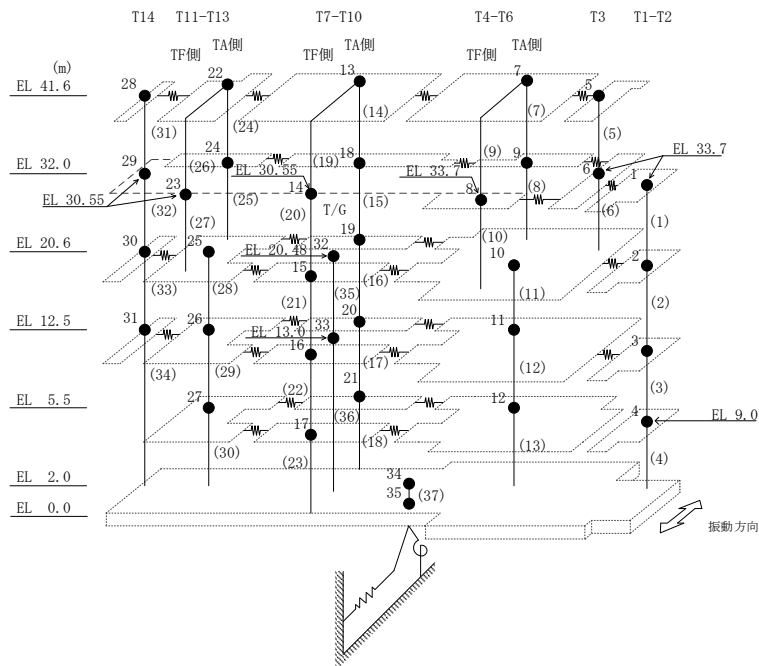


図 4-6 最大応答せん断力 (基準地震動 S s , N S 方向)

表 4-4 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	3.55	3.66	3.52	3.51	3.24	4.37
	20.6~12.5	2	6.26	5.71	5.40	5.80	5.23	4.88	6.26
	12.5~9.0	3	7.84	6.70	7.32	7.91	7.10	6.16	7.91
	9.0~2.0	4	9.87	8.21	9.28	10.3	7.99	7.57	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.18	3.90	3.68	3.27	3.28	4.65
	33.7~20.6	6	6.21	5.75	5.77	5.52	5.35	5.49	6.21
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.54	2.44	1.61	1.81	1.86	2.54
	32.0~20.6	8	3.50	3.44	3.66	3.49	3.38	3.03	3.66
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.711	0.806	0.541	0.569	0.553	0.945
	33.7~20.6	10	2.20	2.16	2.10	1.86	1.74	1.98	2.20
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	20.7	21.2	22.7	19.4	18.7	22.7
	12.5~5.5	12	32.1	26.3	30.8	33.9	28.1	25.7	33.9
	5.5~2.0	13	36.3	30.2	35.0	39.9	32.2	27.7	39.9
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.35	5.46	3.62	4.11	4.13	5.70
	32.0~20.6	15	6.71	6.18	6.70	5.50	5.31	5.13	6.71
	20.6~12.5	16	7.29	7.56	8.03	6.76	6.76	7.23	8.03
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	11.9	10.7	9.26	12.0	12.6
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.05	0.915	0.292	0.593	0.623	1.35
	30.55~20.6	20	3.05	2.72	2.33	1.61	1.57	2.04	3.05
	20.6~12.5	21	2.77	2.66	2.61	2.38	2.30	2.60	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	4.64	4.83	5.00	4.54	4.78	5.59
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.41	2.54	2.02	2.20	2.16	2.56
	32.0~20.6	25	7.37	5.72	6.09	6.06	6.06	5.68	7.37
	41.6~30.55	26	0.421	0.396	0.376	0.178	0.328	0.402	0.421
	30.55~20.6	27	1.41	1.25	1.34	1.01	0.993	1.34	1.41
T11-T13 (TF側)	20.6~12.5	28	18.3	12.9	13.5	17.5	15.4	14.9	18.3
	12.5~5.5	29	23.8	16.7	17.5	22.1	19.8	18.4	23.8
	5.5~2.0	30	27.5	18.5	20.3	27.1	23.6	20.1	27.5
T14	41.6~30.55	31	3.62	2.67	2.59	2.65	2.30	2.30	3.62
	30.55~20.6	32	4.68	3.23	3.35	3.23	3.45	3.16	4.68
	20.6~12.5	33	4.61	3.67	3.94	4.09	4.07	3.74	4.61
	12.5~2.0	34	5.54	4.47	4.80	5.70	5.08	4.64	5.70

注: ハッチングは S_s-D ~ S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



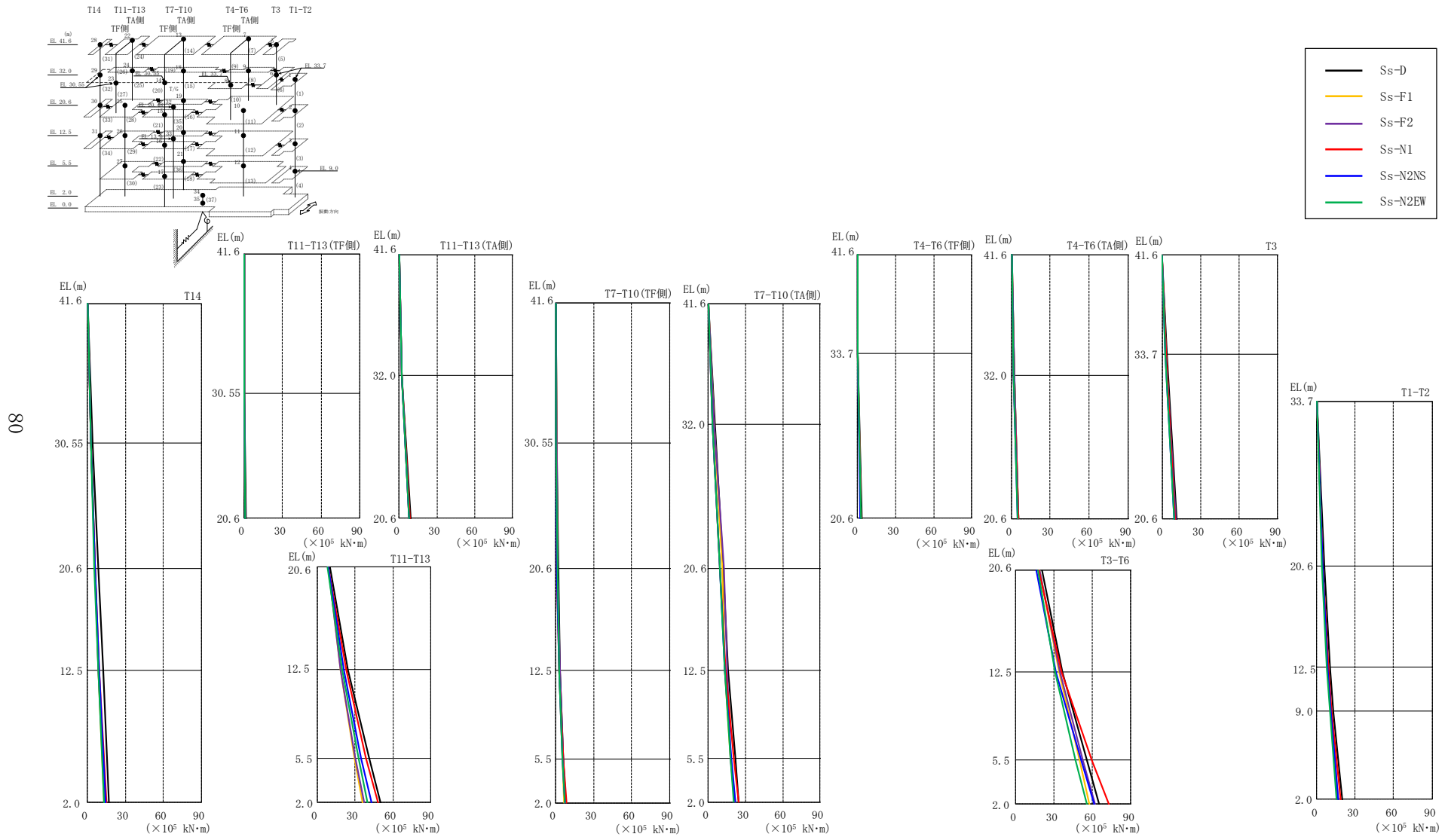


図 4-7 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s , N S 方向)

表 4-5(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s , N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			5.72	4.65	4.80	4.61	4.60	4.25	5.72
	20.6~12.5	2	5.72	4.65	4.80	4.61	4.60	4.25	5.72
			10.5	8.97	9.09	9.29	8.82	8.12	10.5
12.5~9.0	3	10.5	8.97	9.09	9.29	8.82	8.12	10.5	
		13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2	
9.0~2.0	4	13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2	
		20.1	16.4	17.1	19.0	16.9	15.4	20.1	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			3.68	3.30	3.08	2.91	2.58	2.59	3.68
33.7~20.6	6	3.68	3.30	3.08	2.91	2.58	2.59	3.68	
		11.6	10.4	10.6	10.0	9.57	9.70	11.6	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.196	0.185	0.162	0.145	0.139	0.264
			2.17	2.25	2.16	1.39	1.61	1.65	2.25
32.0~20.6	8	2.17	2.25	2.16	1.39	1.61	1.65	2.25	
		5.68	5.44	5.47	5.35	4.96	4.92	5.68	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.213	0.233	0.168	0.171	0.163	0.285
			0.461	0.349	0.404	0.260	0.279	0.274	0.461
33.7~20.6	10	0.461	0.349	0.404	0.260	0.279	0.274	0.461	
		3.17	2.99	2.83	2.68	2.40	2.76	3.17	
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	18.8	18.9	17.8	16.5	17.4	20.4
			36.4	33.7	34.6	36.0	31.7	30.5	36.4
	12.5~5.5	12	36.4	33.7	34.6	36.0	31.7	30.5	36.4
5.5~2.0	13	55.4	49.9	52.4	59.5	51.3	46.9	59.5	
		65.4	57.8	62.0	72.9	61.3	55.8	72.9	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.244	0.344	0.196	0.195	0.181	0.385
			5.24	4.94	4.89	3.36	3.77	3.84	5.24
	32.0~20.6	15	5.24	4.94	4.89	3.36	3.77	3.84	5.24
			12.0	11.5	12.4	9.20	9.46	9.51	12.4
	20.6~12.5	16	12.0	11.5	12.4	9.20	9.46	9.51	12.4
15.8			13.1	15.1	14.1	13.1	13.3	15.8	
12.5~5.5	17	15.8	13.1	15.1	14.1	13.1	13.3	15.8	
		21.6	18.3	18.0	20.4	18.7	18.0	21.6	
		21.6	18.3	18.0	20.4	18.7	18.0	21.6	
5.5~2.0	18	24.7	21.8	21.5	24.4	22.0	20.8	24.7	

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

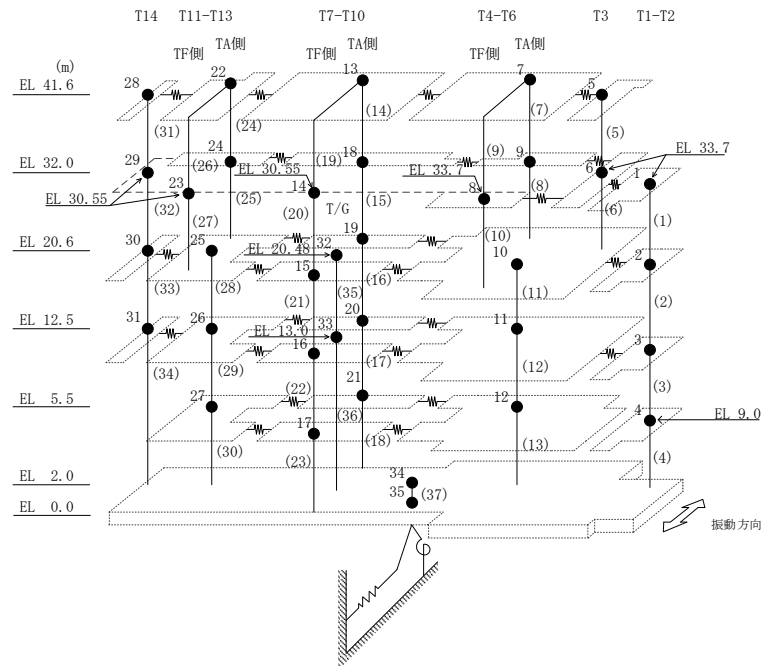


表 4-5(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.340	0.289	0.176	0.221	0.259	0.552
			0.941	0.863	0.752	0.313	0.435	0.497	0.941
	30.55~20.6	20	0.941	0.863	0.752	0.313	0.435	0.497	0.941
			2.44	1.86	1.64	1.34	1.22	1.56	2.44
	20.6~12.5	21	2.44	1.86	1.64	1.34	1.22	1.56	2.44
3.78			2.70	3.32	3.07	2.96	2.97	3.78	
12.5~5.5	22	3.78	2.70	3.32	3.07	2.96	2.97	3.78	
		6.33	5.34	6.22	6.38	5.37	5.41	6.38	
5.5~2.0	23	6.33	5.34	6.22	6.38	5.37	5.41	6.38	
		8.22	6.92	7.93	8.79	7.31	7.42	8.79	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.195	0.230	0.160	0.140	0.160	0.303
			2.25	2.12	2.21	1.79	2.00	1.96	2.25
32.0~20.6	25	2.25	2.12	2.21	1.79	2.00	1.96	2.25	
		9.08	8.04	7.74	8.31	8.02	7.74	9.08	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.139	0.192	0.120	0.118	0.145	0.192
			0.330	0.303	0.307	0.172	0.258	0.334	0.334
30.55~20.6	27	0.330	0.303	0.307	0.172	0.258	0.334	0.334	
		1.18	0.994	1.03	0.836	0.799	1.00	1.18	
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	9.03	8.71	9.08	8.81	8.48	10.3
			24.6	18.4	18.6	23.2	21.2	20.2	24.6
	12.5~5.5	29	24.6	18.4	18.6	23.2	21.2	20.2	24.6
41.0			29.9	30.3	38.6	34.9	32.8	41.0	
5.5~2.0	30	41.0	29.9	30.3	38.6	34.9	32.8	41.0	
		50.2	36.3	37.3	48.0	42.8	39.7	50.2	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			4.00	2.96	2.86	2.93	2.54	2.54	4.00
	30.55~20.6	32	4.00	2.96	2.86	2.93	2.54	2.54	4.00
			8.53	5.94	6.11	6.14	5.95	5.65	8.53
20.6~12.5	33	8.53	5.94	6.11	6.14	5.95	5.65	8.53	
		12.2	8.73	8.78	9.18	9.20	8.54	12.2	
12.5~2.0	34	12.2	8.73	8.78	9.18	9.20	8.54	12.2	
		17.2	13.0	13.4	14.9	14.4	13.1	17.2	

注：ハッチングは S_s-D ~ S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

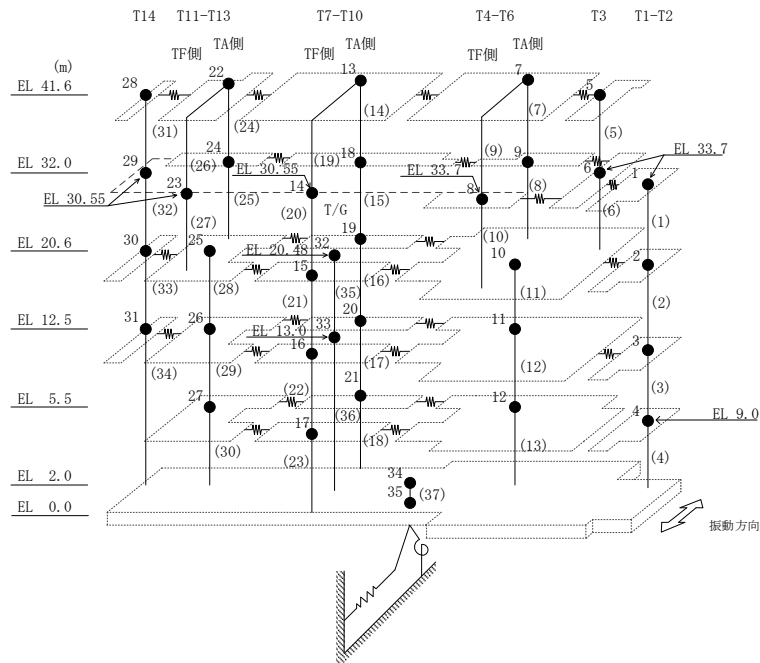
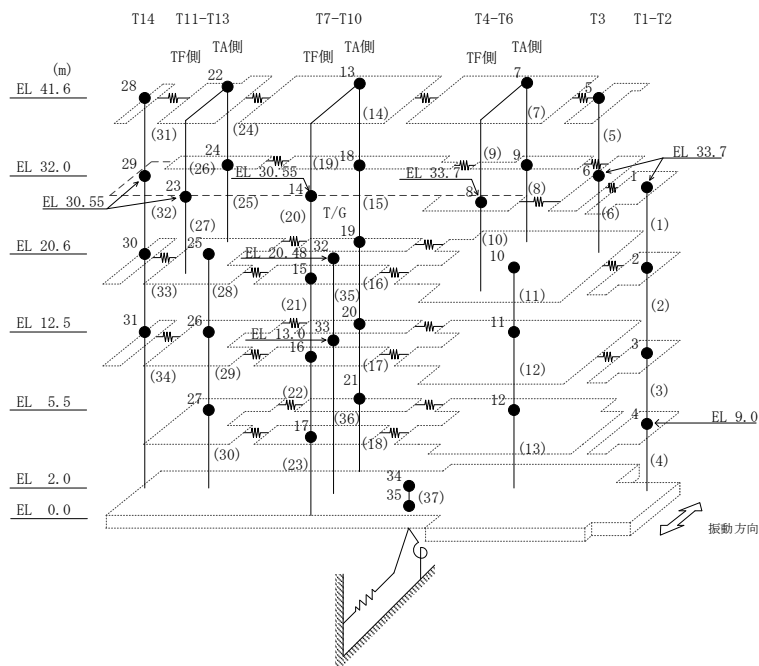


表 4-6 最大応答せん断ひずみ一覧 (基準地震動 S_s, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7~20.6	1	0.16	0.13	0.14	0.13	0.13	0.12	0.16
	20.6~12.5	2	0.18	0.16	0.16	0.17	0.15	0.14	0.18
	12.5~9.0	3	0.17	0.15	0.16	0.17	0.16	0.13	0.17
	9.0~2.0	4	0.54	0.29	0.43	0.64	0.26	0.20	0.64
T3	41.6~33.7	5	0.85	0.55	0.42	0.36	0.24	0.24	0.85
	33.7~20.6	6	0.38	0.28	0.28	0.23	0.20	0.21	0.38
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.09	0.09	0.09	0.06	0.06	0.07	0.09
	32.0~20.6	8	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.09	0.11
T4-T6 (TF側)	33.7~20.6	10	0.74	0.69	0.47	0.35	0.30	0.39	0.74
T3-T6	20.6~12.5	11	0.12	0.11	0.11	0.12	0.10	0.10	0.12
	12.5~5.5	12	0.52	0.25	0.45	0.60	0.33	0.22	0.60
	5.5~2.0	13	0.21	0.17	0.20	0.32	0.19	0.16	0.32
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.37	0.30	0.32	0.14	0.15	0.16	0.37
	32.0~20.6	15	0.17	0.16	0.17	0.14	0.13	0.13	0.17
	20.6~12.5	16	0.13	0.13	0.14	0.12	0.12	0.13	0.14
	12.5~5.5	17	0.20	0.21	0.20	0.18	0.15	0.20	0.21
T7-T10 (TF側)	5.5~2.0	18	0.22	0.21	0.21	0.20	0.15	0.20	0.22
	20.6~12.5	21	0.81	0.65	0.51	0.41	0.37	0.48	0.81
	12.5~5.5	22	0.44	0.22	0.25	0.30	0.20	0.24	0.44
T7-T10 (TF側)	5.5~2.0	23	0.62	0.33	0.30	0.41	0.25	0.19	0.62
	41.6~32.0	24	0.16	0.15	0.15	0.12	0.13	0.13	0.16
	32.0~20.6	25	0.15	0.11	0.12	0.12	0.12	0.11	0.15
T11-T13 (TA側)	20.6~12.5	28	0.17	0.12	0.13	0.16	0.14	0.14	0.17
	12.5~5.5	29	0.18	0.13	0.13	0.17	0.15	0.14	0.18
	5.5~2.0	30	0.27	0.15	0.16	0.25	0.19	0.16	0.27
T14	41.6~30.55	31	0.34	0.15	0.15	0.15	0.13	0.13	0.34
	30.55~20.6	32	0.19	0.13	0.14	0.13	0.14	0.13	0.19
	20.6~12.5	33	0.15	0.12	0.12	0.13	0.13	0.12	0.15
	12.5~2.0	34	0.13	0.11	0.12	0.14	0.12	0.11	0.14

注 1: ハッチングは S_s-D~S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注 2: 要素番号 9, 19, 20, 26, 27 は線形部材。



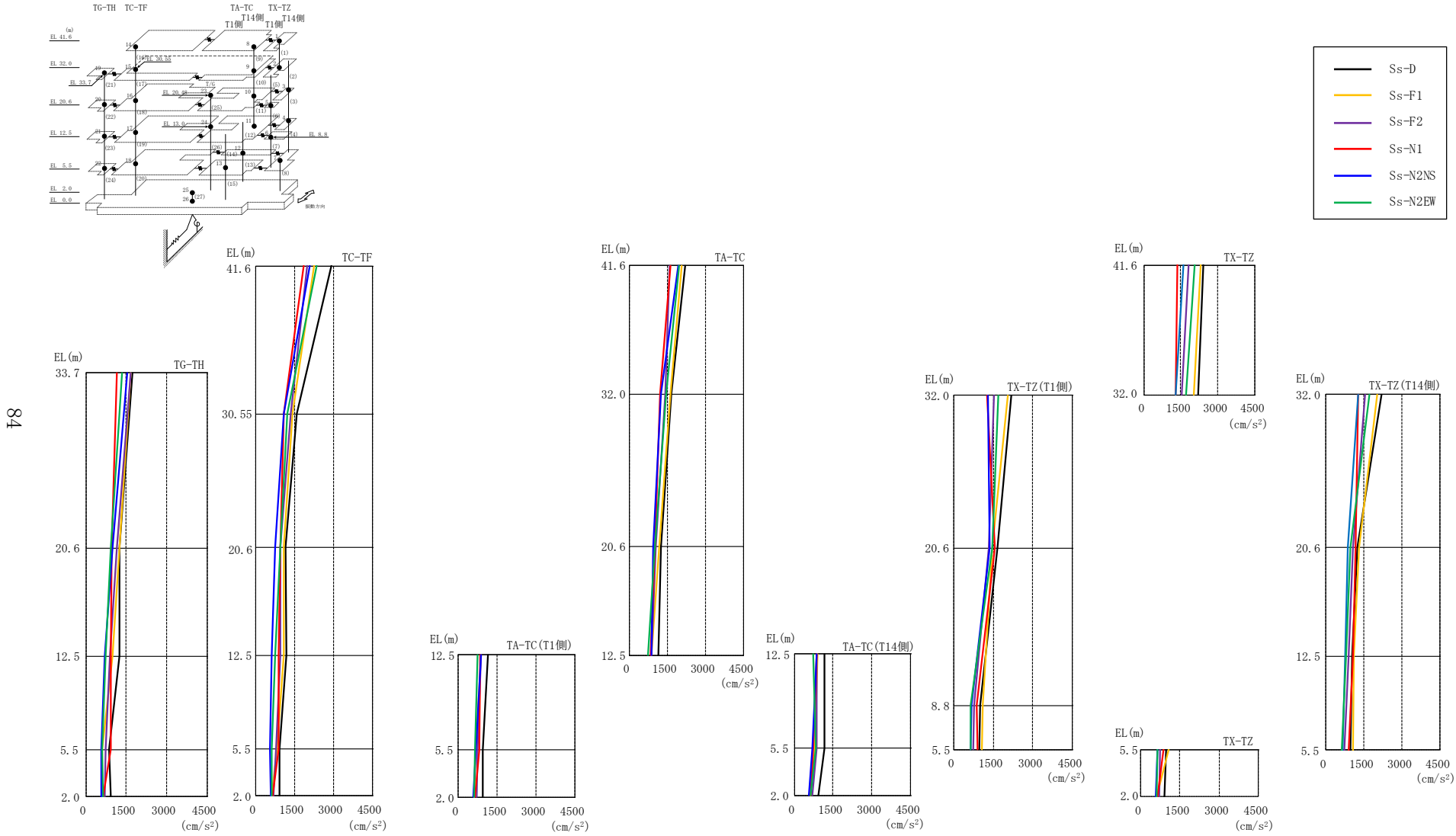
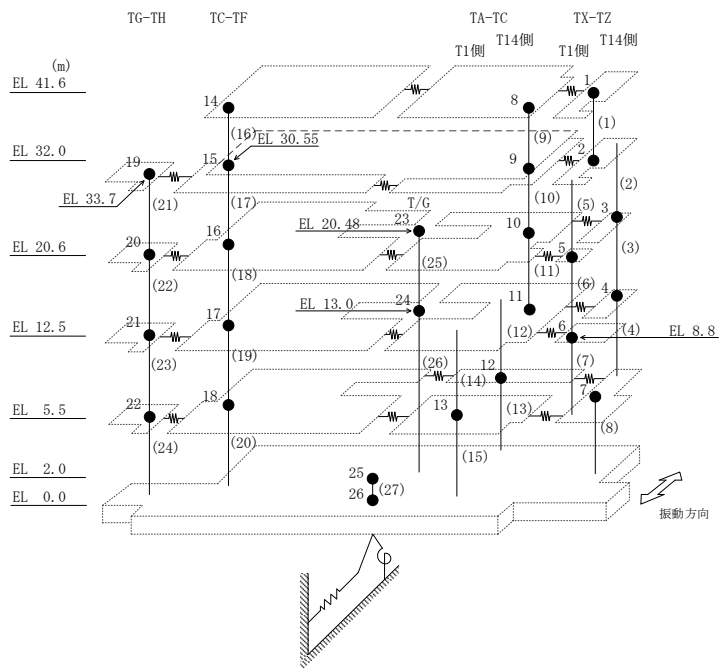


図 4-8 最大応答加速度 (基準地震動 S s , EW 方向)

表 4-7 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S_s , EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)						最大値
			S_s -D	S_s -F1	S_s -F2	S_s -N1	S_s -N2NS	S_s -N2EW	
TX-TZ	41.6	1	2410	2307	1807	1377	1605	2051	2410
	32.0	2	2192	2047	1541	1276	1288	1709	2192
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1313	1065	1181	870	973	1313
	12.5	4	1047	1127	912	1073	759	823	1127
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1461	1340	1568	1353	1468	1656
	8.8	6	1001	1106	777	881	673	649	1106
TX-TZ	5.5	7	967	1081	757	893	660	638	1081
TA-TC	41.6	8	2194	2055	1584	1621	1932	1963	2194
	32.0	9	1671	1615	1407	1232	1251	1460	1671
	20.6	10	1244	1173	1052	1015	959	1019	1244
	12.5	11	1158	892	882	860	880	730	1158
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	803	856	722	709	825	1179
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	694	754	808	685	660	959
TC-TF	41.6	14	2926	2266	1978	1843	2085	2352	2926
	30.55	15	1605	1422	1355	1081	1084	1239	1605
	20.6	16	1167	1097	973	962	741	972	1167
	12.5	17	1185	1092	967	895	606	749	1185
	5.5	18	921	816	802	885	560	606	921
TG-TH	33.7	19	1735	1667	1656	1145	1543	1348	1735
	20.6	20	1249	1258	1147	970	993	924	1258
	12.5	21	1252	1003	886	930	695	738	1252
	5.5	22	856	605	732	940	578	613	940
	2.0	25	928	616	699	647	581	622	928

注：ハッチングは S_s -D ~ S_s -N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



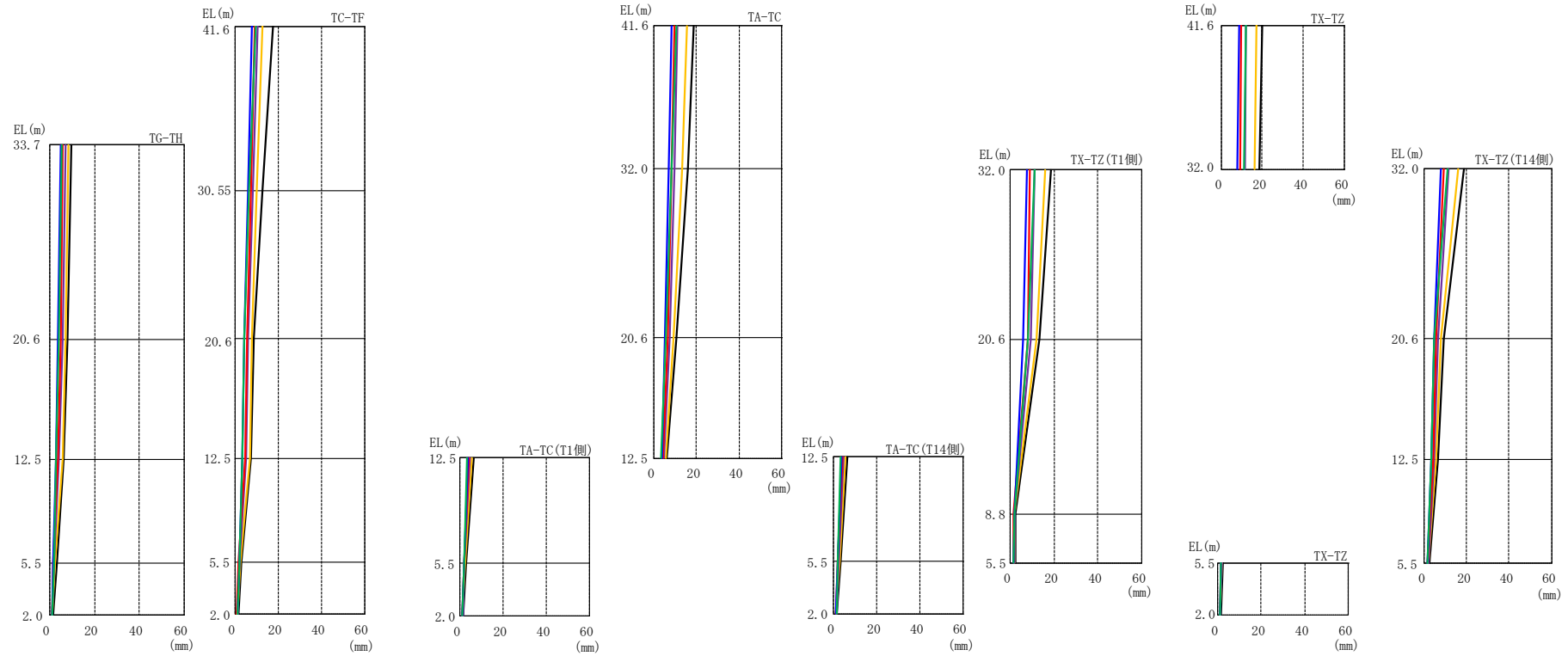
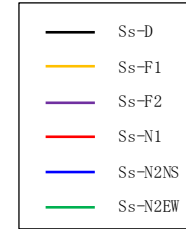
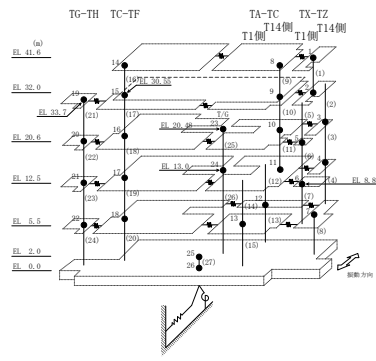
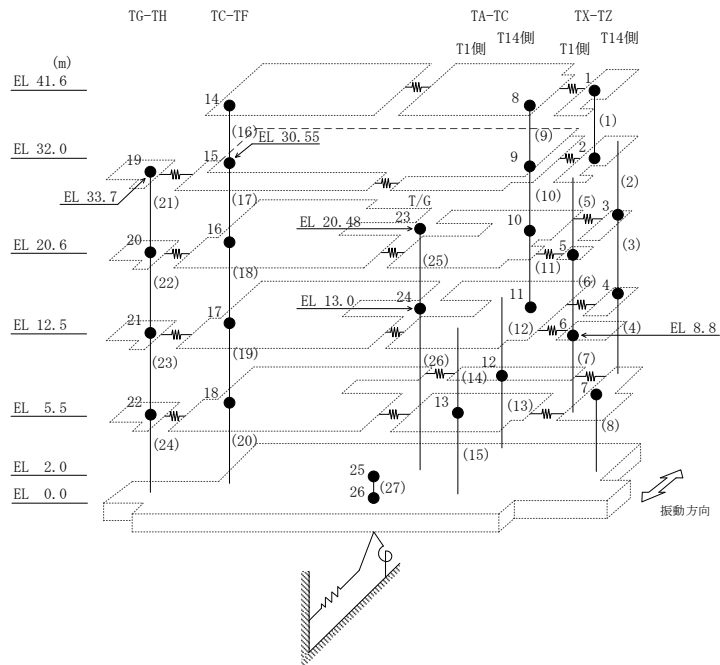


図 4-9 最大応答変位 (基準地震動 S s , E W 方向)

表 4-8 最大応答変位一覧 (基準地震動 S_s , EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
TX-TZ	41.6	1	19.88	17.03	12.31	9.86	8.61	11.94	19.88
	32.0	2	18.85	16.09	11.41	9.23	7.92	11.01	18.85
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	7.98	6.33	5.61	4.63	4.74	9.31
	12.5	4	6.31	5.69	4.63	4.08	3.31	3.30	6.31
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	12.09	9.24	8.00	5.98	8.08	13.31
	8.8	6	2.60	2.24	2.15	1.71	1.92	1.86	2.60
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.88	1.89	1.42	1.67	1.66	2.25
TA-TC	41.6	8	18.88	15.42	11.18	9.63	8.36	10.58	18.88
	32.0	9	15.87	13.24	9.60	8.29	7.08	8.28	15.87
	20.6	10	10.41	9.05	7.29	6.38	5.26	5.76	10.41
	12.5	11	6.16	5.40	4.47	4.05	3.55	3.21	6.16
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	2.67	2.21	2.03	2.03	1.98	2.98
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.34	2.10	1.73	1.89	1.83	2.80
TC-TF	41.6	14	17.58	12.75	10.50	9.29	8.00	9.74	17.58
	30.55	15	12.58	10.14	8.22	7.36	5.96	6.68	12.58
	20.6	16	8.69	7.94	6.14	5.80	4.15	4.41	8.69
	12.5	17	7.47	6.79	5.18	4.86	3.36	3.49	7.47
	5.5	18	3.06	2.40	2.10	1.81	1.85	1.85	3.06
TG-TH	33.7	19	9.54	8.58	7.09	6.03	5.03	5.29	9.54
	20.6	20	7.87	7.21	5.66	5.12	3.80	3.97	7.87
	12.5	21	6.31	5.78	4.31	3.90	2.77	2.90	6.31
	5.5	22	3.06	2.50	2.15	1.75	1.69	1.78	3.06
	2.0	25	1.51	1.14	1.31	0.93	1.16	1.21	1.51

注：ハッチングは $S_s - D \sim S_s - N2EW$ の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



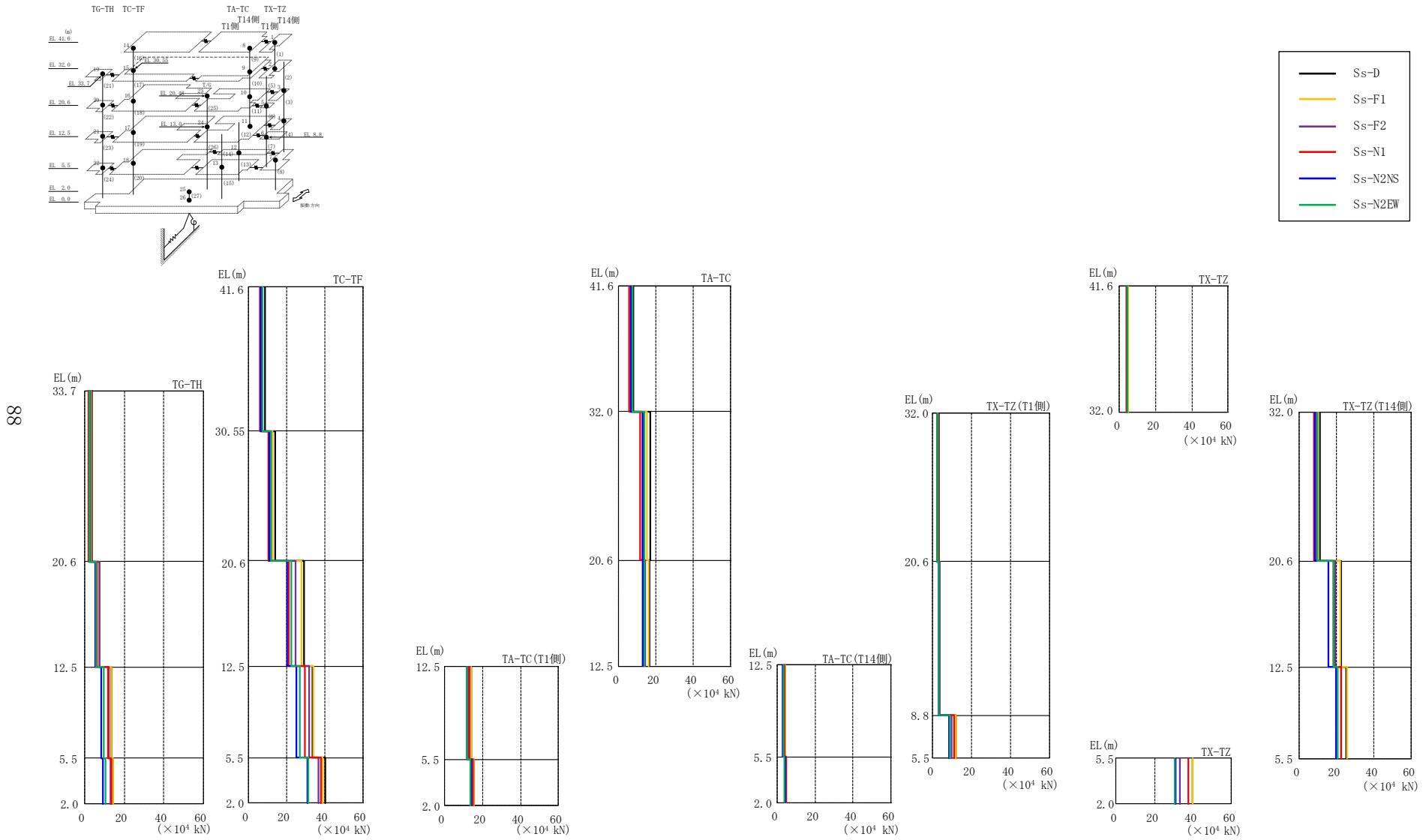
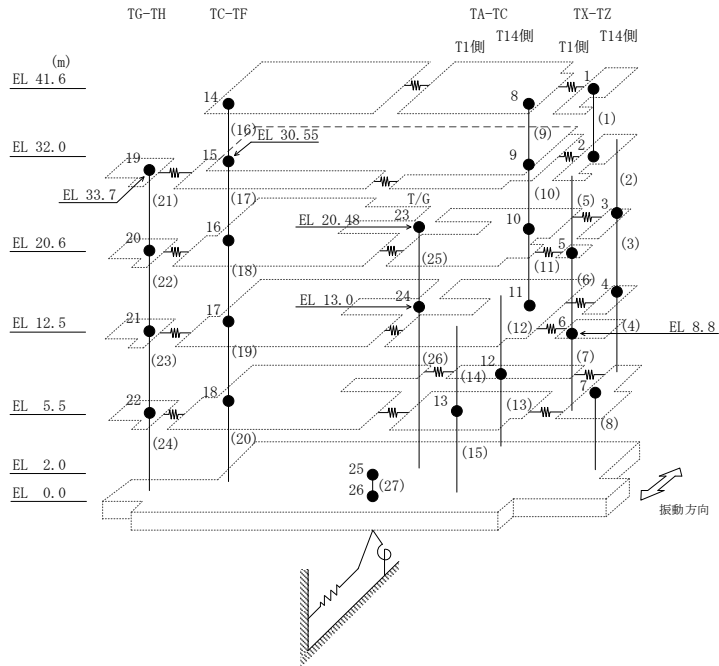


図 4-10 最大応答せん断力 (基準地震動 S s , E W 方向)

表 4-9 最大応答せん断力一覧（基準地震動 S s , E W 方向）

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.99	4.20	3.98	4.27	4.54	4.99
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	11.5	10.5	9.27	8.12	8.32	9.83	11.5
	20.6~12.5	3	22.6	22.1	19.2	18.4	15.9	18.5	22.6
	12.5~5.5	4	25.4	25.6	22.4	22.5	19.8	20.9	25.6
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.50	2.12	1.99	2.16	2.36	2.85
	20.6~8.8	6	3.50	3.53	3.30	3.17	2.92	3.28	3.53
	8.8~5.5	7	11.7	11.8	9.79	10.7	8.45	8.54	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.7	32.9	37.3	30.8	30.4	39.7
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.23	6.49	5.50	6.76	7.26	7.75
	32.0~20.6	10	17.1	15.0	13.0	11.4	12.7	14.0	17.1
	20.6~12.5	11	16.5	16.2	14.3	13.5	12.7	13.8	16.5
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.15	3.87	3.74	2.98	3.42	4.15
	5.5~2.0	13	4.82	4.86	4.55	4.80	4.28	3.87	4.86
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	14.4	13.2	13.0	12.0	12.2	14.4
	5.5~2.0	15	15.7	15.7	14.7	14.9	14.1	13.6	15.7
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	7.30	6.70	6.01	6.49	7.51	8.62
	30.55~20.6	17	13.9	12.8	11.7	10.7	10.8	11.7	13.9
	20.6~12.5	18	29.5	28.0	25.0	21.4	20.2	22.6	29.5
	12.5~5.5	19	33.8	34.1	31.8	29.8	25.1	27.0	34.1
	5.5~2.0	20	40.4	39.1	37.0	38.2	31.0	31.4	40.4
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.26	2.98	2.16	2.51	2.34	3.66
	20.6~12.5	22	7.74	7.60	7.51	6.32	5.50	5.72	7.74
	12.5~5.5	23	13.5	13.7	12.2	11.8	8.27	9.86	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.4	13.1	13.7	9.14	10.5	14.6

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



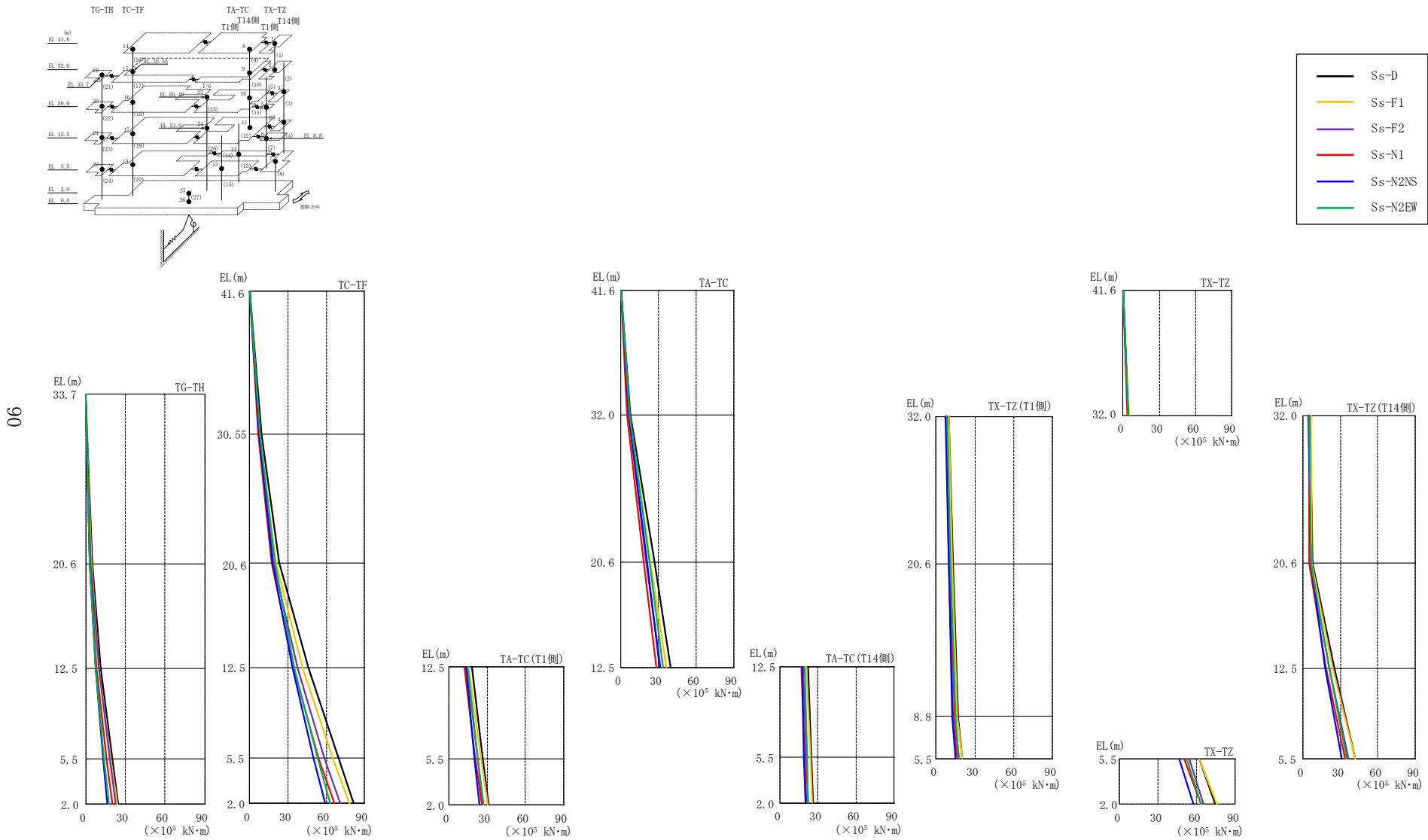


図 4-11 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s , E W 方向)

表 4-10(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						最大値
			S _s -D	S _s -F1	S _s -F2	S _s -N1	S _s -N2NS	S _s -N2EW	
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			4.69	4.79	4.03	3.82	4.10	4.35	4.79
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	6.42	5.25	5.34	4.48	5.05	6.42
			7.54	7.30	6.06	5.00	6.23	6.65	7.54
	20.6~12.5	3	7.54	7.30	6.06	5.00	6.23	6.65	7.54
			25.1	24.0	21.1	18.8	17.8	21.1	25.1
12.5~5.5	4	25.1	24.0	21.1	18.8	17.8	21.1	25.1	
		41.9	41.9	36.6	34.3	31.3	35.1	41.9	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.76	8.35	7.63	7.35	8.44	10.1
			13.0	12.4	10.7	9.89	9.73	11.1	13.0
	20.6~8.8	6	13.0	12.4	10.7	9.89	9.73	11.1	13.0
17.1			16.6	14.6	13.2	12.7	14.8	17.1	
8.8~5.5	7	17.1	16.6	14.6	13.2	12.7	14.8	17.1	
		20.2	20.2	17.4	16.4	15.2	17.5	20.2	
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	62.1	54.0	50.3	46.5	52.5	62.1
			74.2	75.8	65.4	63.1	57.3	63.2	75.8
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			7.44	6.94	6.23	5.28	6.49	6.97	7.44
	32.0~20.6	10	7.44	6.94	6.23	5.28	6.49	6.97	7.44
26.9			23.5	20.3	18.1	21.0	22.9	26.9	
20.6~12.5	11	26.9	23.5	20.3	18.1	21.0	22.9	26.9	
		39.5	36.6	31.7	28.7	30.8	33.8	39.5	

注：ハッチングは S_s-D ~ S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

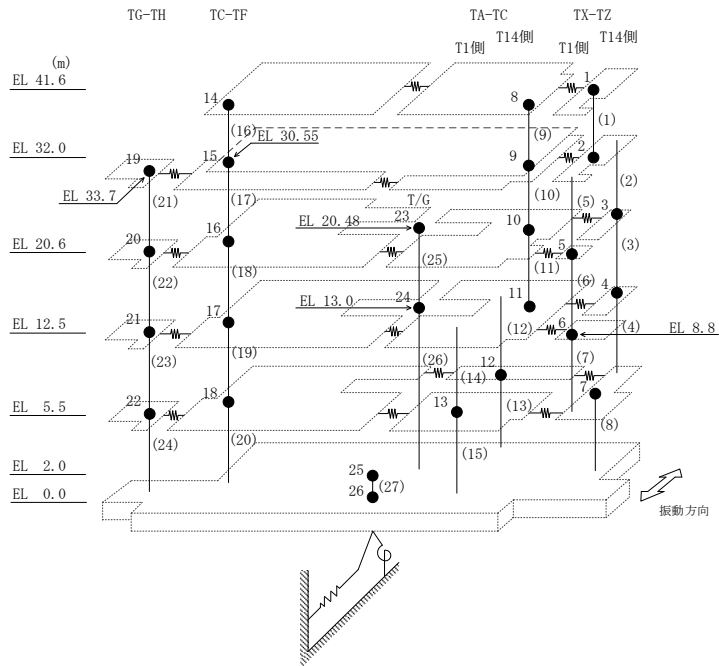


表 4-10(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						
			S _s -D	S _s -F1	S _s -F2	S _s -N1	S _s -N2NS	S _s -N2EW	最大値
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	22.2	20.9	18.2	16.7	17.2	19.2	22.2
	5.5~2.0	13	25.0	23.8	20.9	19.2	18.9	21.1	25.0
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	26.2	25.2	22.1	20.8	19.8	22.4	26.2
	5.5~2.0	15	17.8	15.7	13.9	12.0	13.7	14.7	17.8
TC-TF	41.6~30.55	16	26.6	25.5	22.5	20.7	20.0	22.7	26.6
	30.55~20.6	17	31.4	30.8	26.7	25.8	23.7	27.1	31.4
	20.6~12.5	18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	12.5~5.5	19	9.53	8.06	7.40	6.64	7.17	8.30	9.53
	5.5~2.0	20	22.9	20.8	18.7	17.3	17.9	19.9	22.9
TG-TH	33.7~20.6	21	46.1	41.7	37.7	34.4	33.4	35.0	46.1
	20.6~12.5	22	46.1	41.7	37.7	34.4	33.4	35.0	46.1
	12.5~5.5	23	69.7	65.5	58.9	53.9	50.2	53.7	69.7
	5.5~2.0	24	69.7	65.5	58.9	53.9	50.2	53.7	69.7
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	20.6~12.5	22	4.79	4.26	3.90	2.83	3.29	3.06	4.79
	12.5~5.5	23	11.0	10.0	9.99	7.95	7.73	7.57	11.0
	5.5~2.0	24	20.2	19.1	18.1	15.7	13.5	14.0	20.2

注：ハッチングは S_s-D~S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

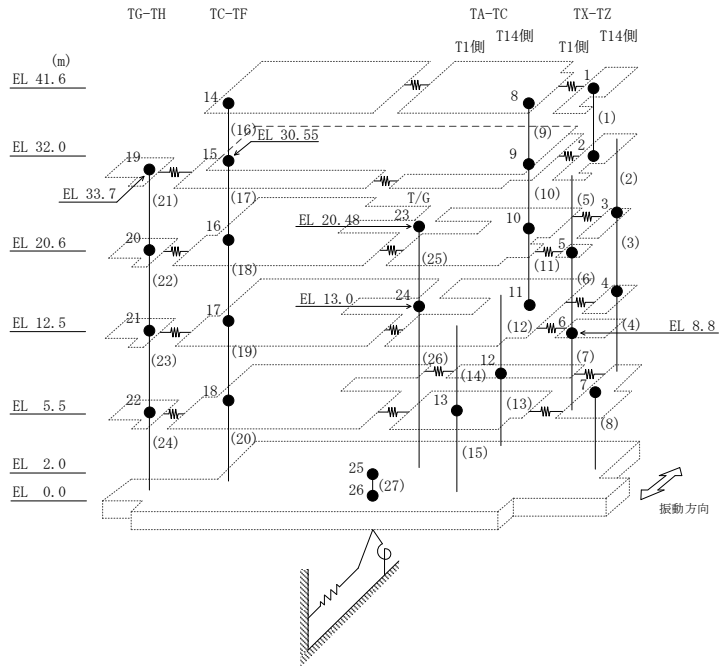
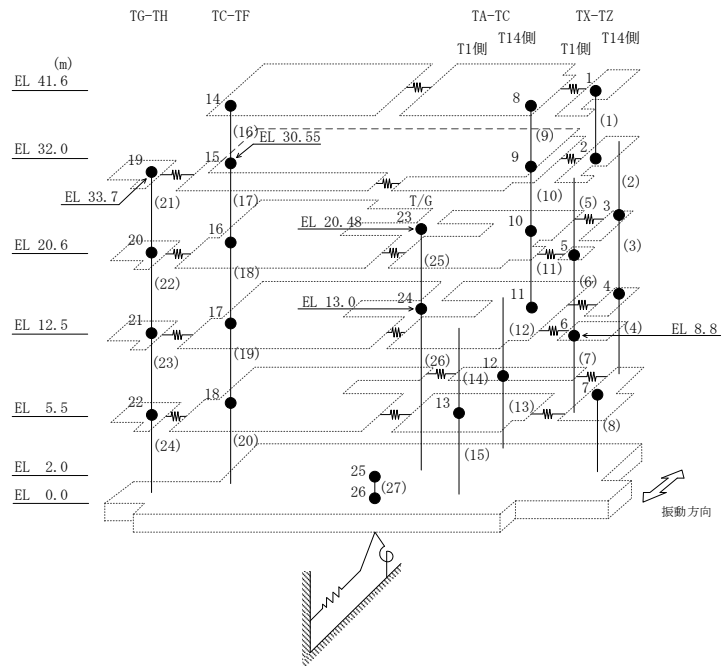


表 4-11 最大応答せん断ひずみ一覧（基準地震動 S_s，EW方向）

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.13	0.13	0.11	0.10	0.11	0.12	0.13
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	1.04	0.72	0.44	0.32	0.33	0.57	1.04
	20.6~12.5	3	0.41	0.34	0.21	0.18	0.16	0.18	0.41
	12.5~5.5	4	0.57	0.54	0.39	0.39	0.23	0.29	0.57
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	0.60	0.38	0.20	0.17	0.21	0.28	0.60
	20.6~8.8	6	0.96	0.87	0.60	0.53	0.38	0.56	0.96
	8.8~5.5	7	0.10	0.10	0.09	0.09	0.07	0.08	0.10
TX-TZ	5.5~2.0	8	0.21	0.20	0.17	0.19	0.16	0.16	0.21
TA-TC	41.6~32.0	9	0.36	0.27	0.19	0.16	0.20	0.25	0.36
	32.0~20.6	10	0.58	0.37	0.21	0.18	0.20	0.27	0.58
	20.6~12.5	11	0.59	0.51	0.35	0.28	0.22	0.32	0.59
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	0.45	0.42	0.32	0.28	0.21	0.24	0.45
	5.5~2.0	13	0.41	0.43	0.30	0.39	0.26	0.23	0.43
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	0.48	0.44	0.34	0.34	0.23	0.26	0.48
	5.5~2.0	15	0.36	0.34	0.24	0.28	0.22	0.21	0.36
TC-TF	41.6~30.55	16	0.60	0.32	0.23	0.19	0.21	0.32	0.60
	30.55~20.6	17	0.48	0.37	0.24	0.19	0.20	0.24	0.48
	20.6~12.5	18	0.16	0.15	0.13	0.11	0.11	0.12	0.16
	12.5~5.5	19	0.63	0.63	0.50	0.43	0.21	0.30	0.63
	5.5~2.0	20	0.44	0.35	0.28	0.35	0.21	0.21	0.44
TG-TH	33.7~20.6	21	0.16	0.14	0.13	0.09	0.11	0.10	0.16
	20.6~12.5	22	0.22	0.19	0.19	0.15	0.13	0.14	0.22
	12.5~5.5	23	0.49	0.48	0.33	0.30	0.16	0.19	0.49
	5.5~2.0	24	0.44	0.39	0.27	0.35	0.16	0.19	0.44

注：ハッチングは S_s-D~S_s-N2EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



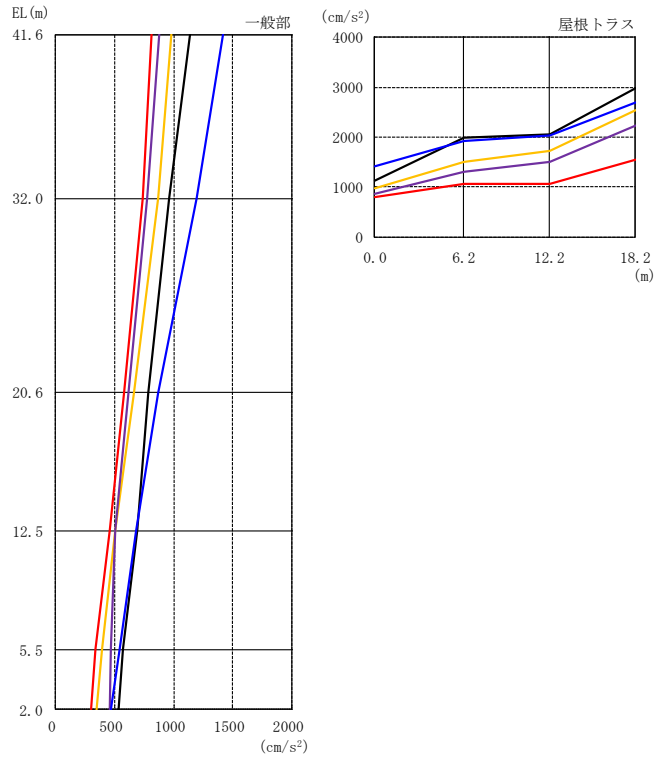
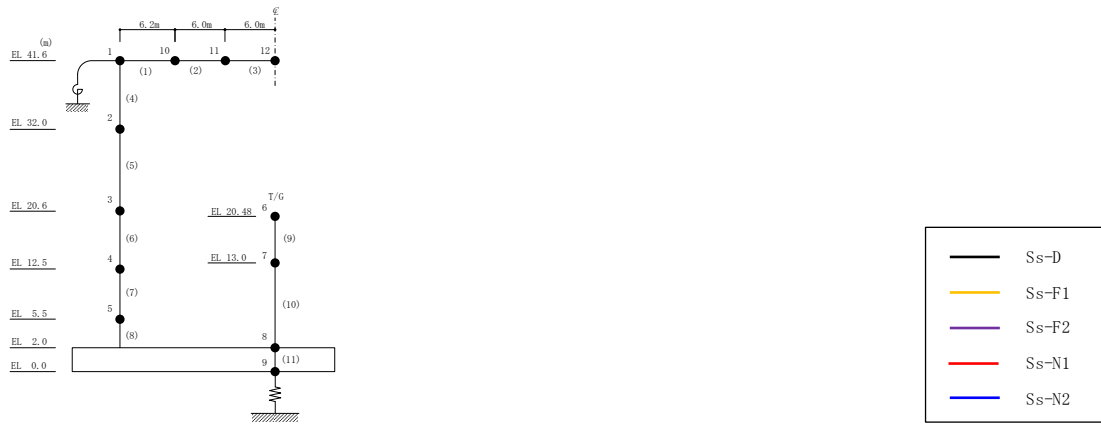


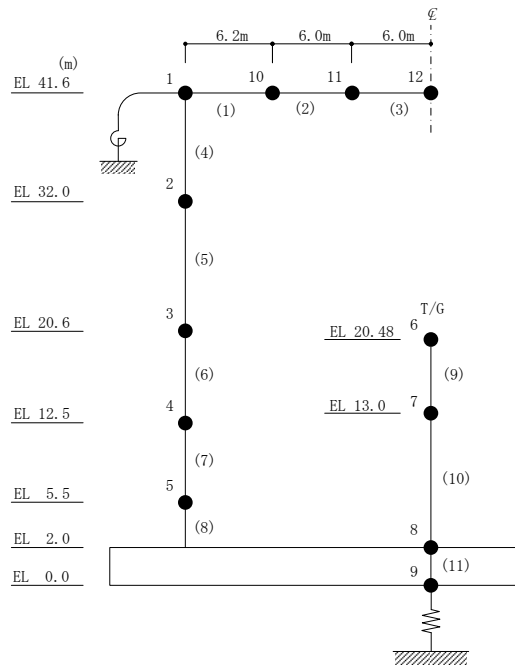
図 4-12 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, 鉛直方向)

表 4-12 最大応答加速度一覧（基準地震動 S_s ，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)					
			S_s -D	S_s -F1	S_s -F2	S_s -N1	S_s -N2	最大値
一般部	41.6	1	1139	983	874	808	1413	1413
	32.0	2	956	872	771	736	1193	1193
	20.6	3	787	661	615	578	863	863
	12.5	4	690	504	504	459	680	690
	5.5	5	571	396	468	337	541	571
	2.0	8	535	349	458	298	467	535
屋根 トラス	0.0	1	1139	983	874	808	1413	1413
	6.2	10	2000	1499	1302	1054	1915	2000
	12.2	11	2060	1716	1507	1066	2038	2060
	18.2	12	2975	2539	2242	1553	2697	2975

注：ハッチングは S_s -D～ S_s -N2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



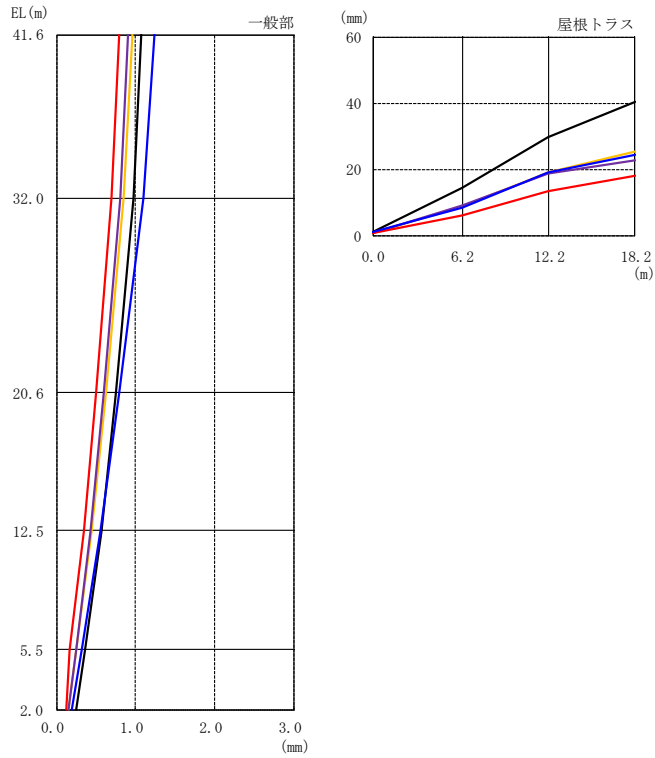
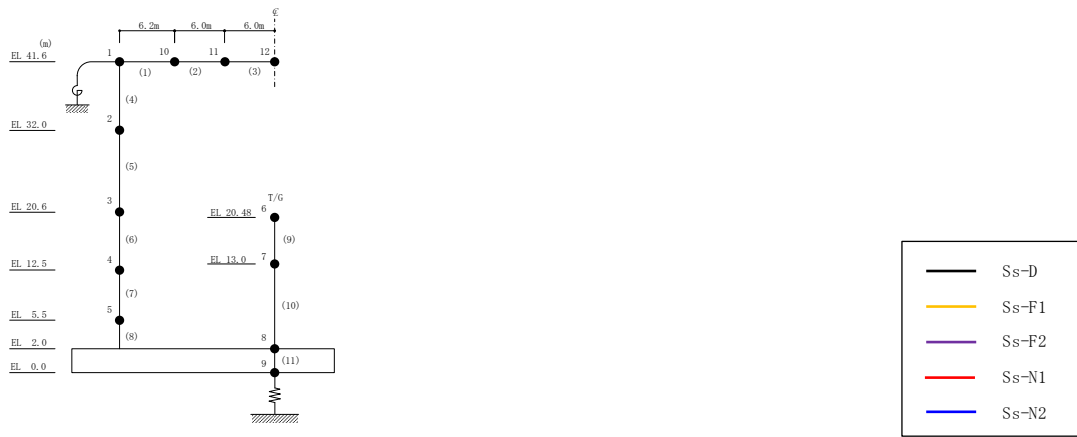


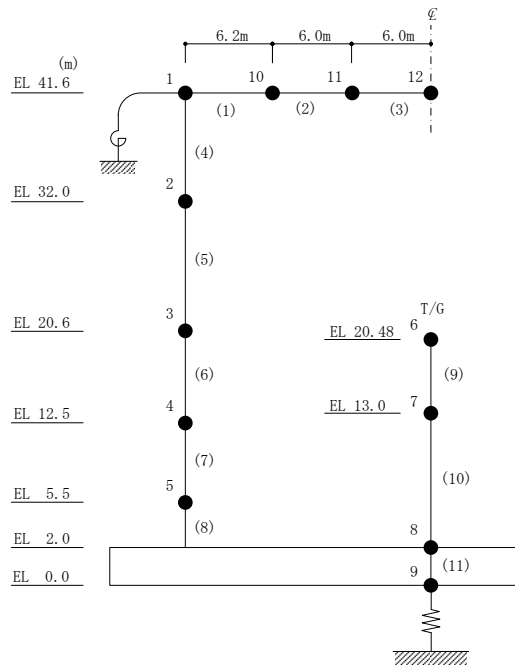
図 4-13 最大応答変位 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

表 4-13 最大応答変位一覧（基準地震動 S_s ，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)					
			S_s -D	S_s -F1	S_s -F2	S_s -N1	S_s -N2	最大値
一般部	41.6	1	1.08	0.96	0.90	0.79	1.24	1.24
	32.0	2	0.98	0.85	0.80	0.70	1.10	1.10
	20.6	3	0.76	0.62	0.59	0.50	0.79	0.79
	12.5	4	0.57	0.44	0.43	0.35	0.55	0.57
	5.5	5	0.36	0.25	0.25	0.17	0.32	0.36
	2.0	8	0.25	0.15	0.16	0.12	0.19	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	0.96	0.90	0.79	1.24	1.24
	6.2	10	14.30	8.72	9.10	5.97	8.63	14.30
	12.2	11	29.92	19.12	18.80	13.37	19.10	29.92
	18.2	12	40.52	25.61	22.86	18.02	24.58	40.52

注：ハッチングは S_s -D～ S_s -N2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



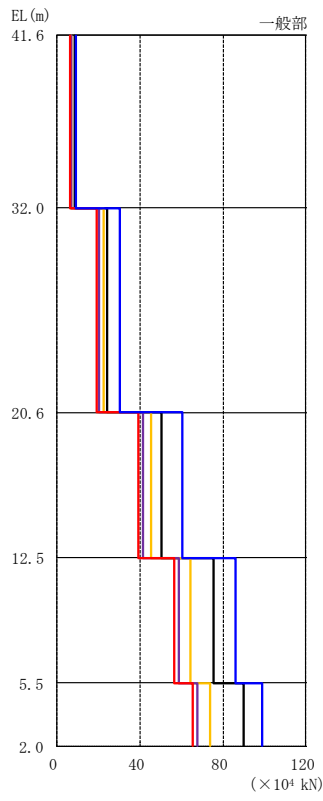
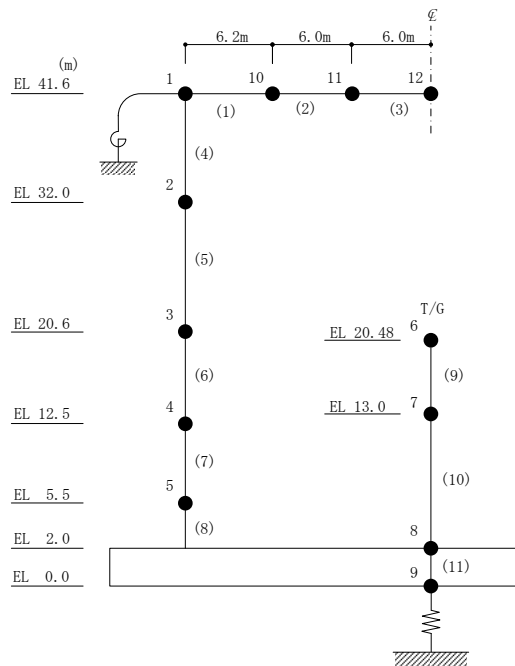


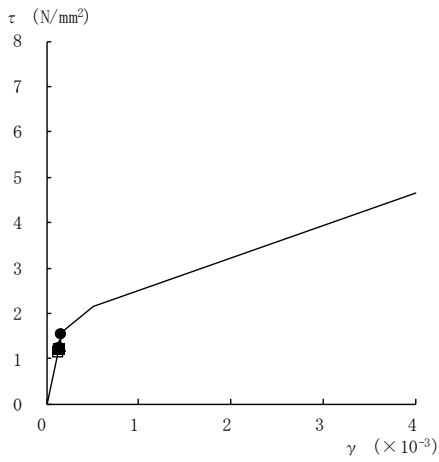
図 4-14 最大応答軸力 (基準地震動 S s , 鉛直方向)

表 4-14 最大応答軸力一覧（基準地震動 S_s ，鉛直方向）

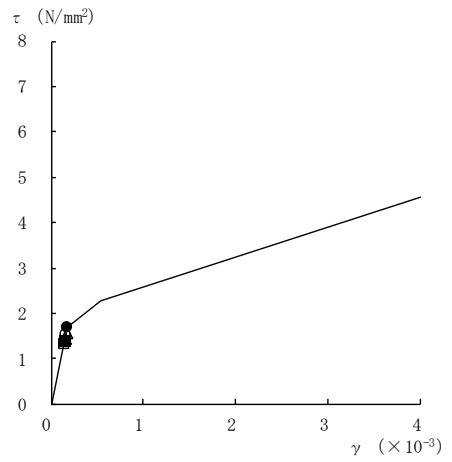
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)					
			S_s -D	S_s -F1	S_s -F2	S_s -N1	S_s -N2	最大値
一般部	41.6~32.0	4	8.65	7.03	6.68	6.07	9.22	9.22
	32.0~20.6	5	24.2	22.4	20.3	19.1	30.2	30.2
	20.6~12.5	6	50.5	45.3	41.1	39.4	60.6	60.6
	12.5~5.5	7	75.6	64.1	58.6	56.5	85.8	85.8
	5.5~2.0	8	89.7	73.7	67.9	65.2	98.8	98.8

注：ハッチングは S_s -D~ S_s -N2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

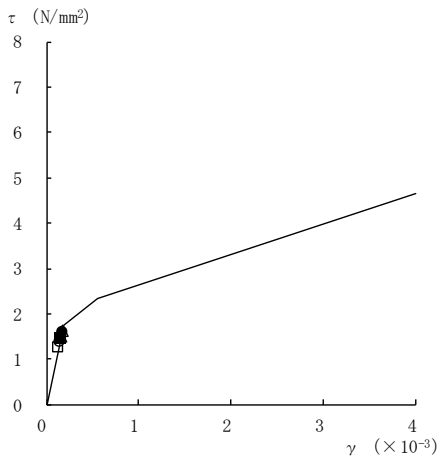




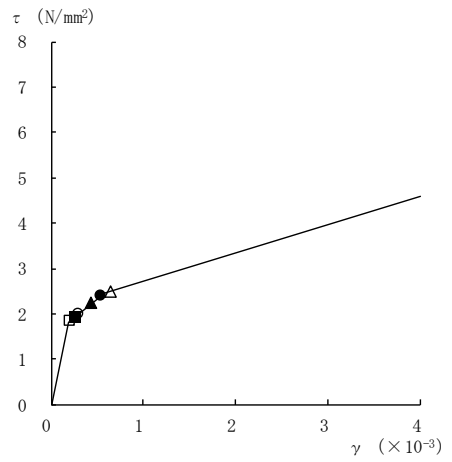
要素番号 (1)



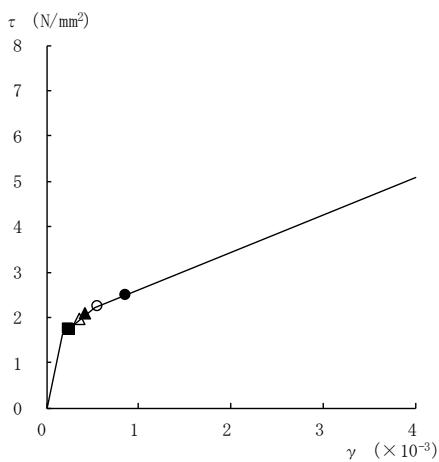
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

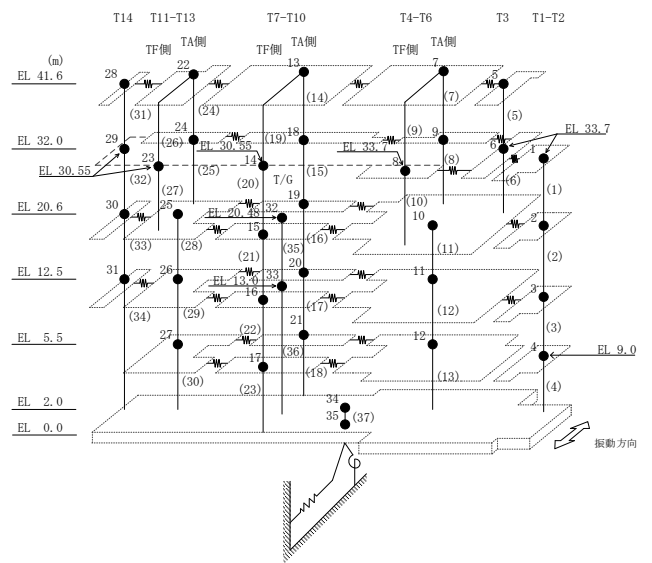
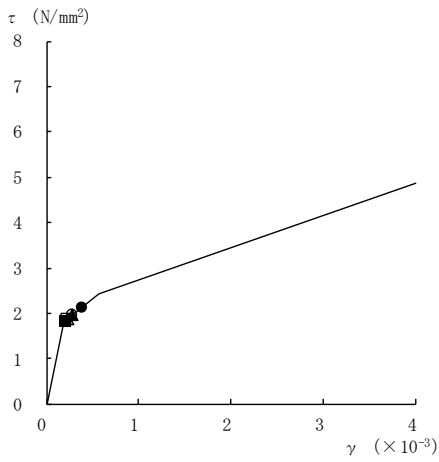
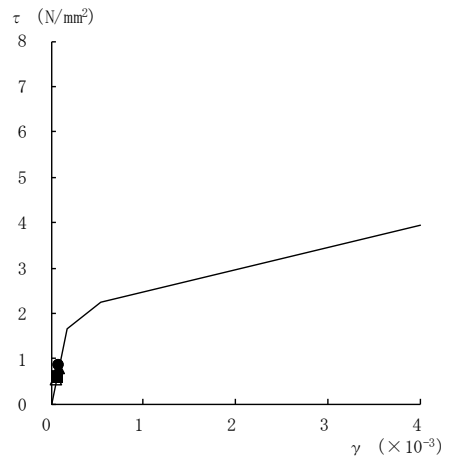


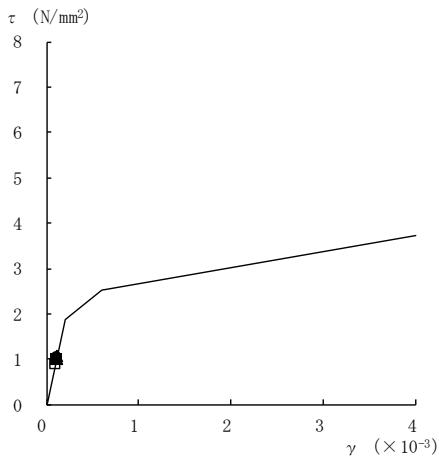
図 4-15(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s, NS 方向)



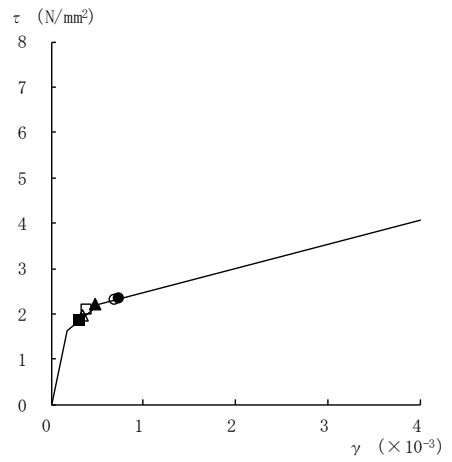
要素番号 (6)



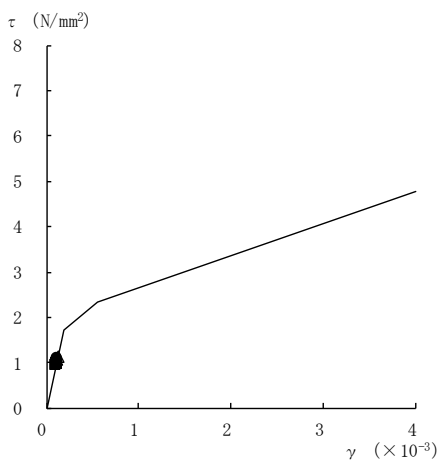
要素番号 (7)



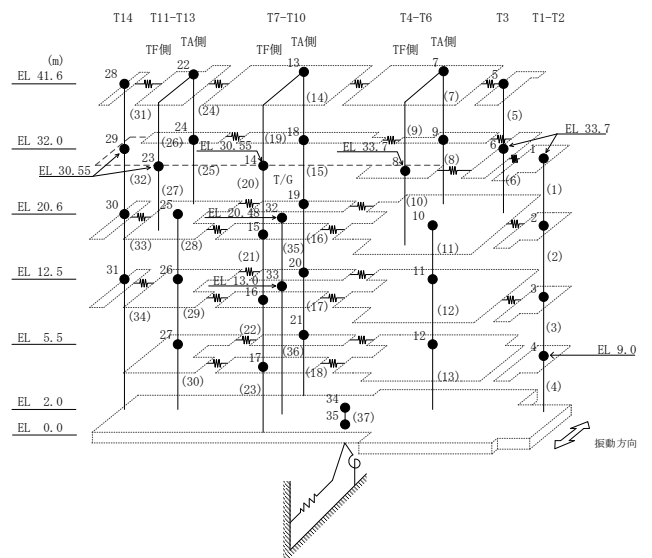
要素番号 (8)



要素番号 (10)

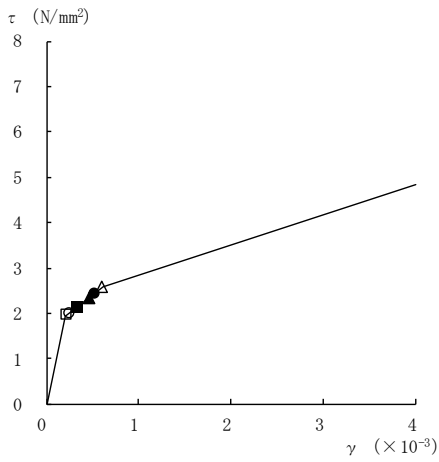


要素番号 (11)

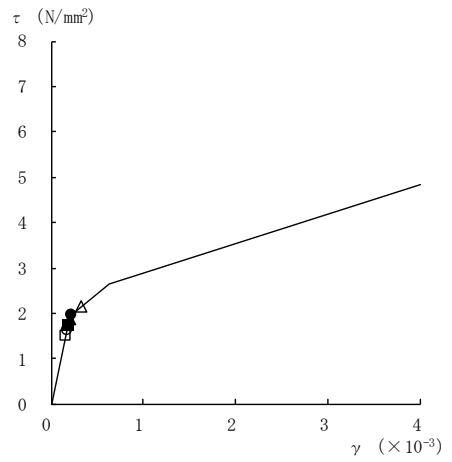


注：要素番号 9 は線形部材。

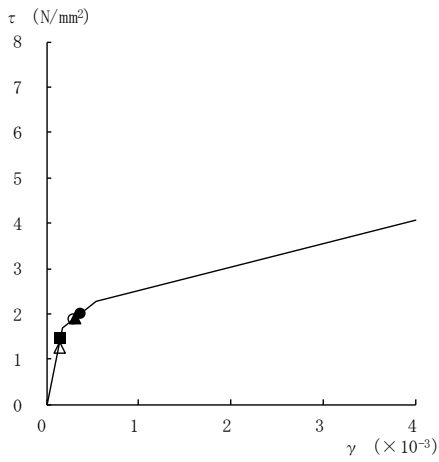
図 4-15(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



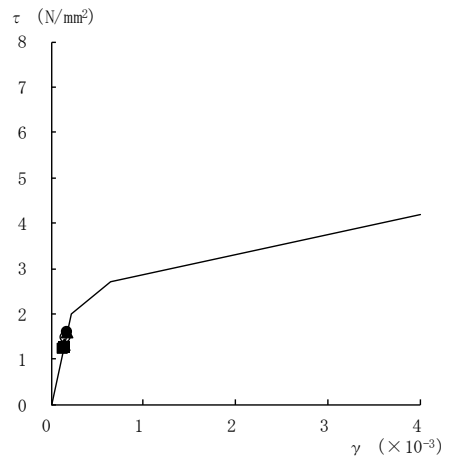
要素番号 (12)



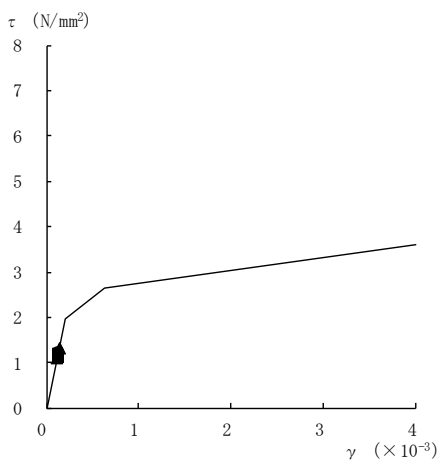
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

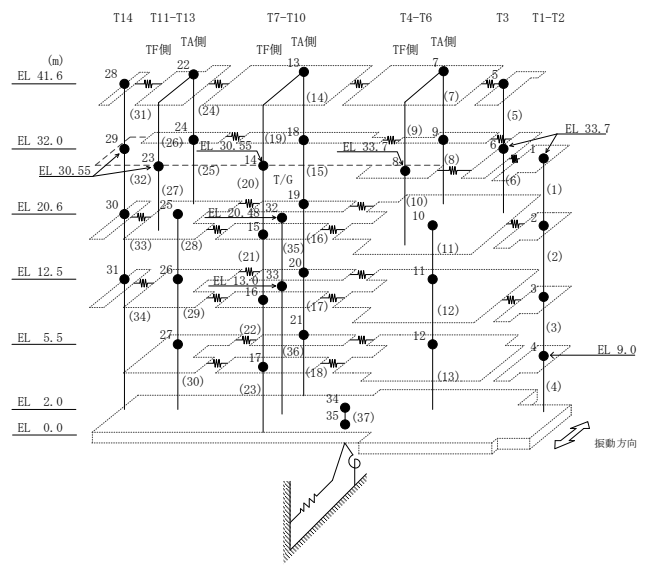
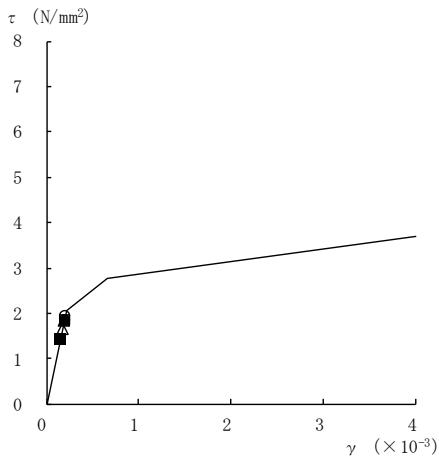
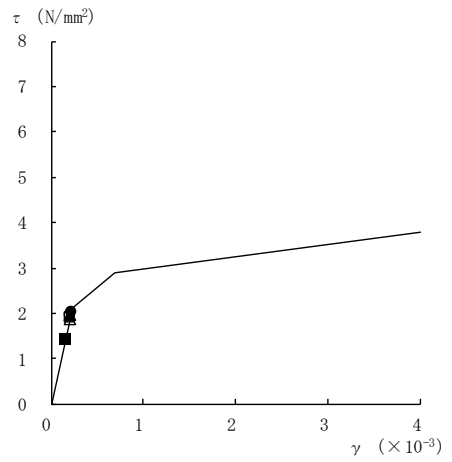


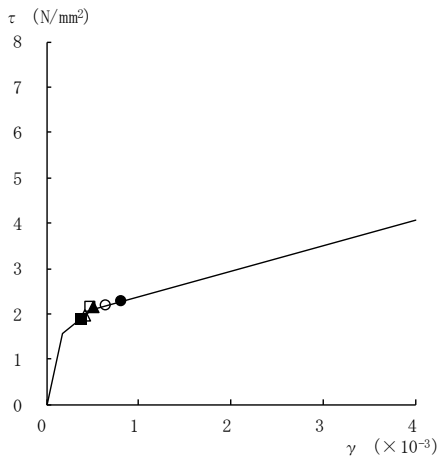
図 4-15(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



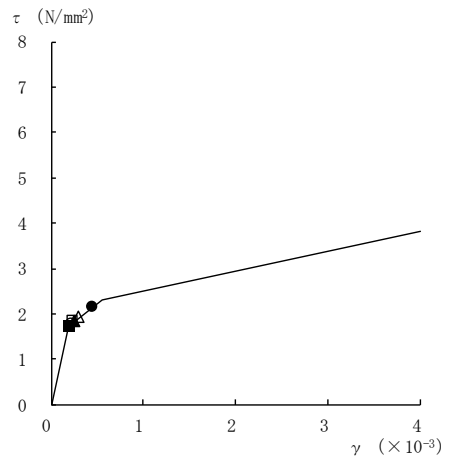
要素番号 (17)



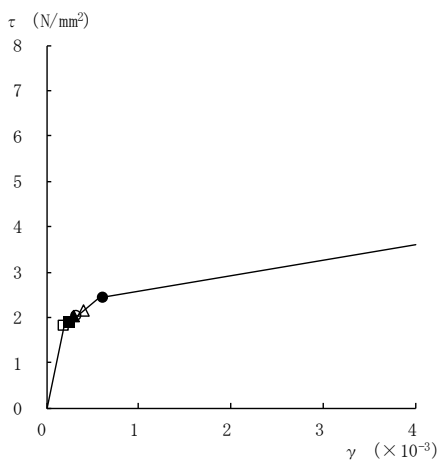
要素番号 (18)



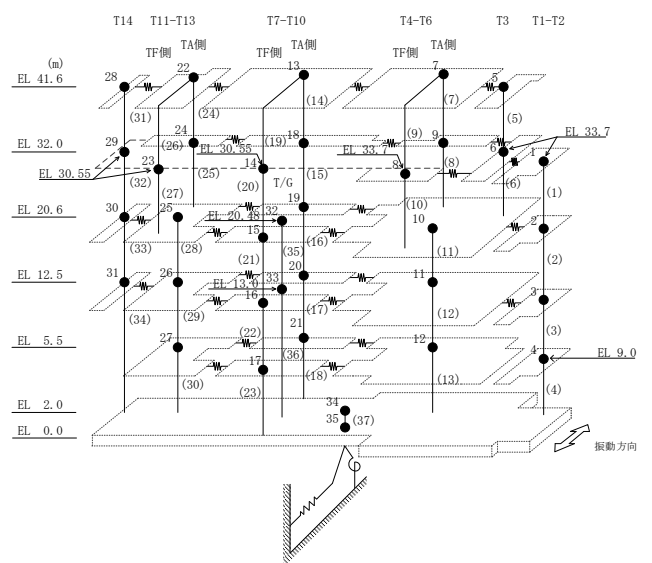
要素番号 (21)



要素番号 (22)



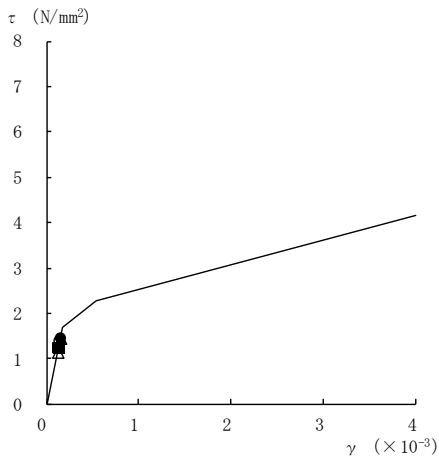
要素番号 (23)



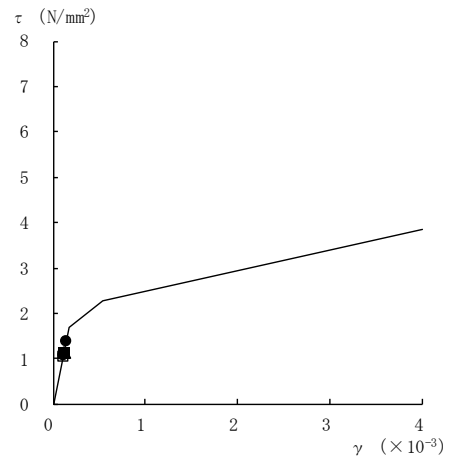
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 4-15(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)

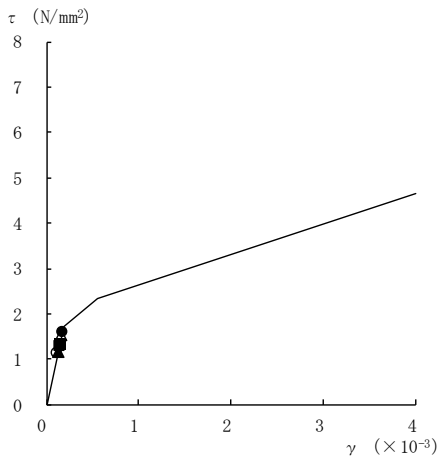
● S_s-D ○ S_s-F1 ▲ S_s-F2 △ S_s-N1 ■ S_s-N2NS □ S_s-N2EW



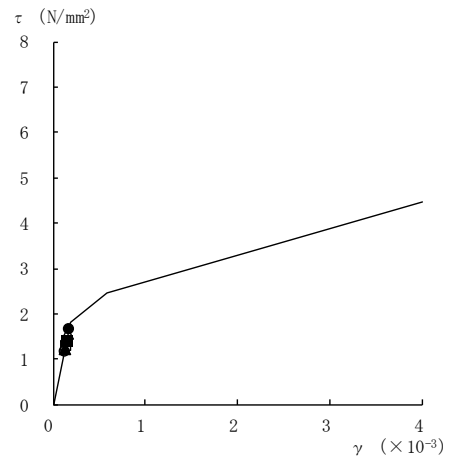
要素番号 (24)



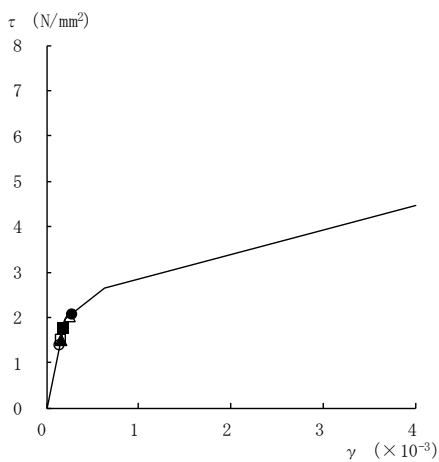
要素番号 (25)



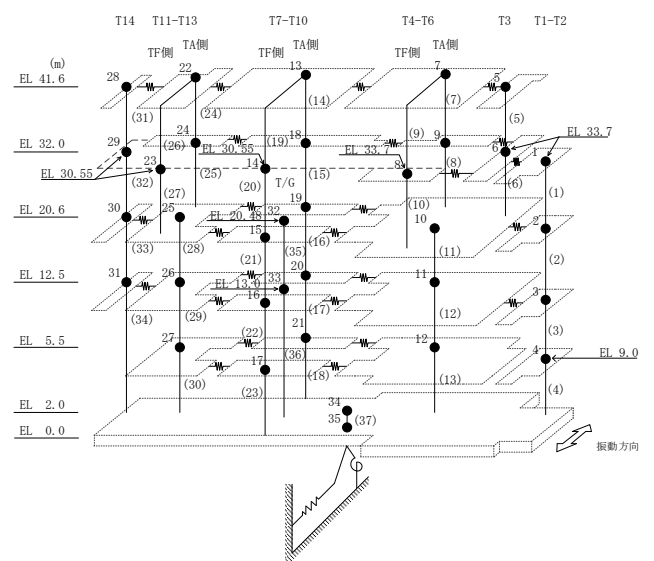
要素番号 (28)



要素番号 (29)



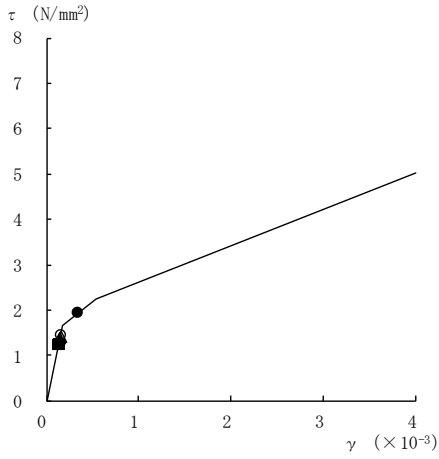
要素番号 (30)



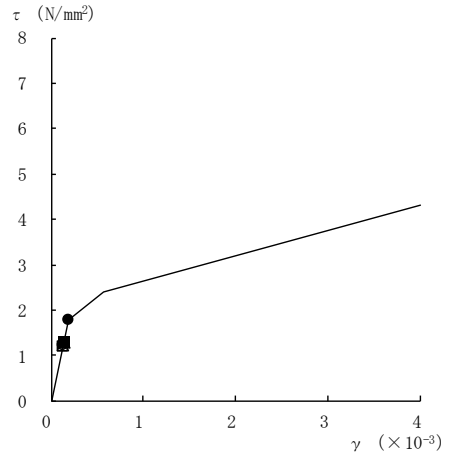
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 4-15(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)

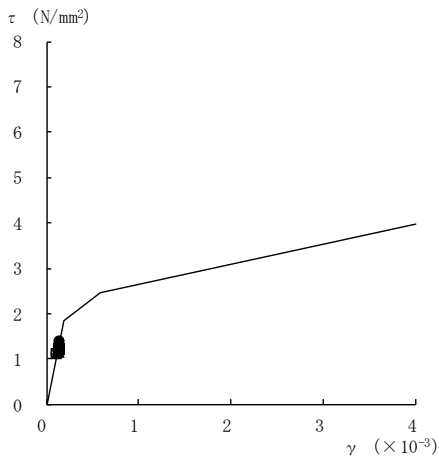
● S_S-D ○ S_S-F1 ▲ S_S-F2 △ S_S-N1 ■ S_S-N2NS □ S_S-N2EW



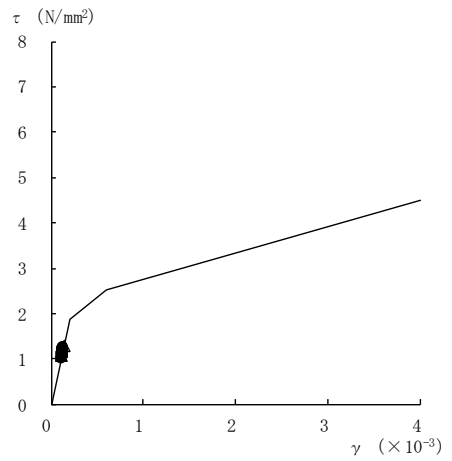
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

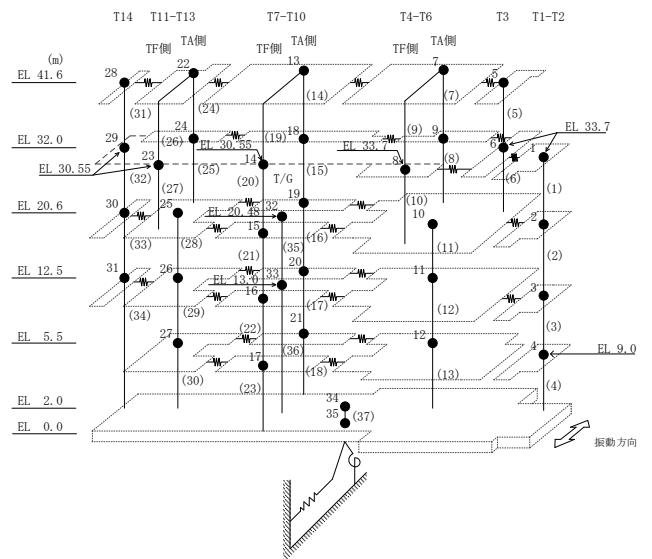
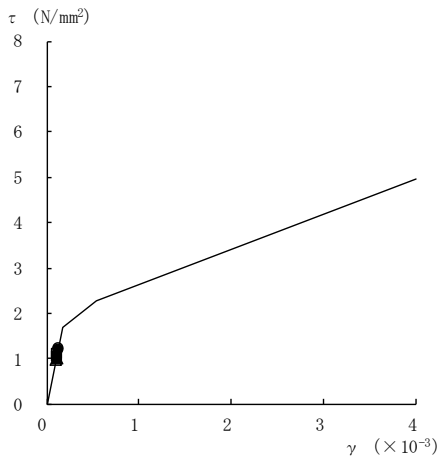
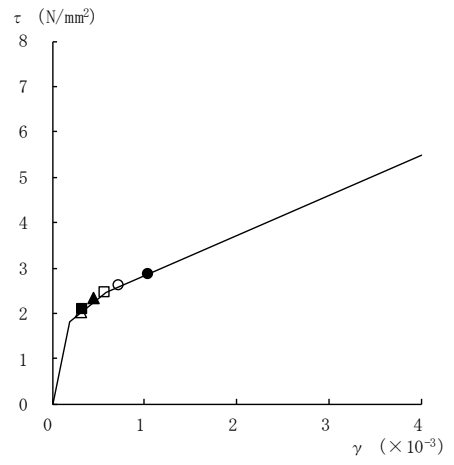


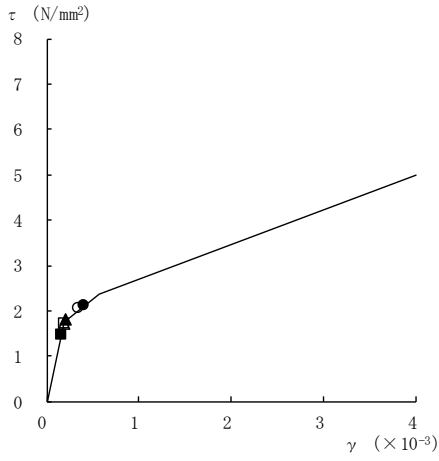
図 4-15(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



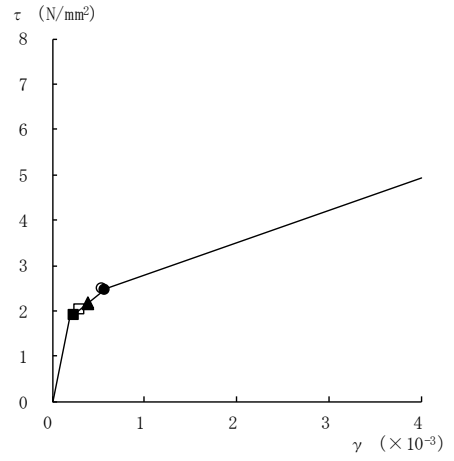
要素番号 (1)



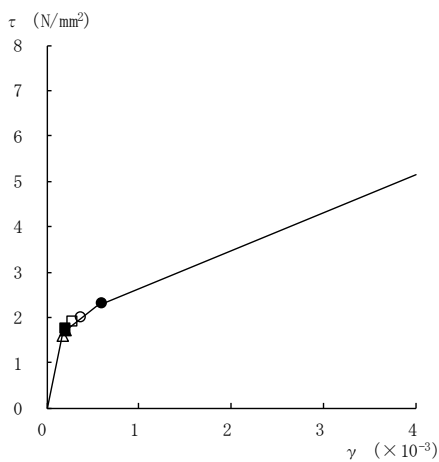
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

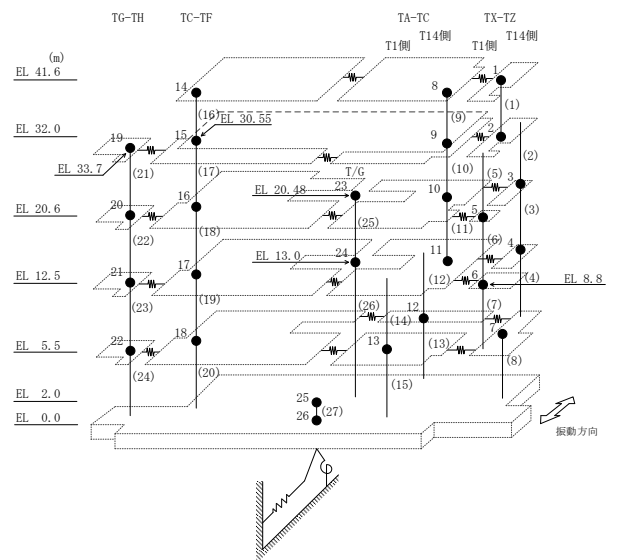
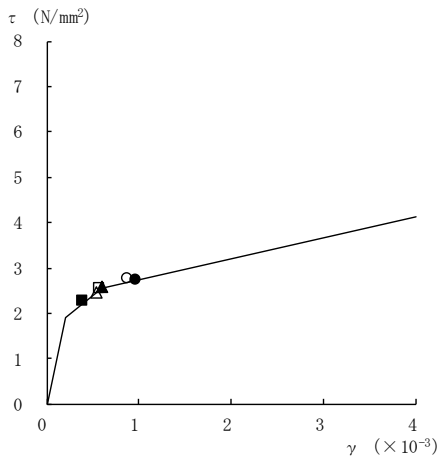
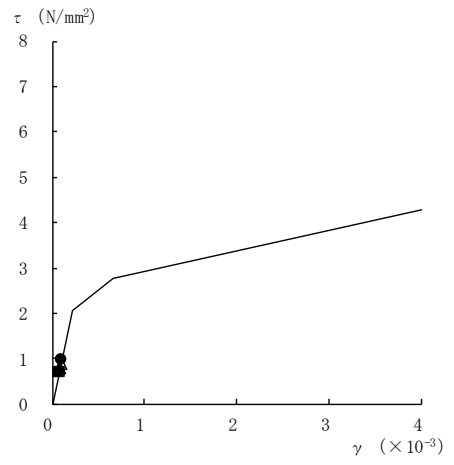


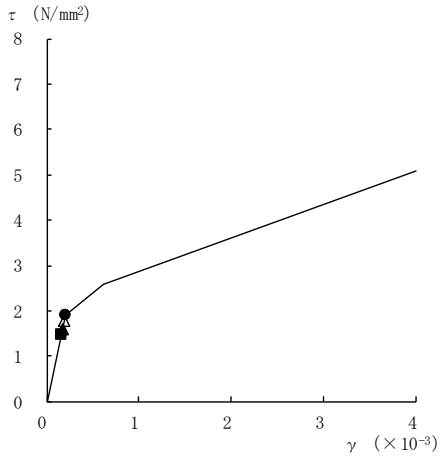
図 4-16(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, E W 方向)



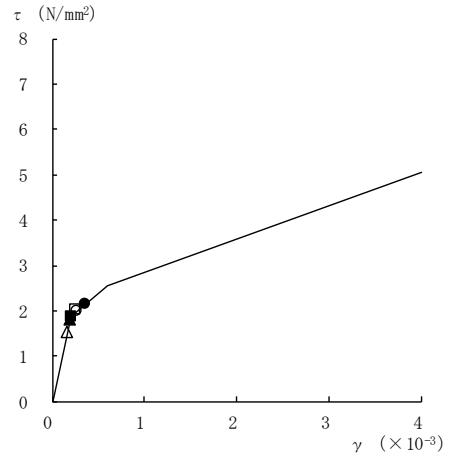
要素番号 (6)



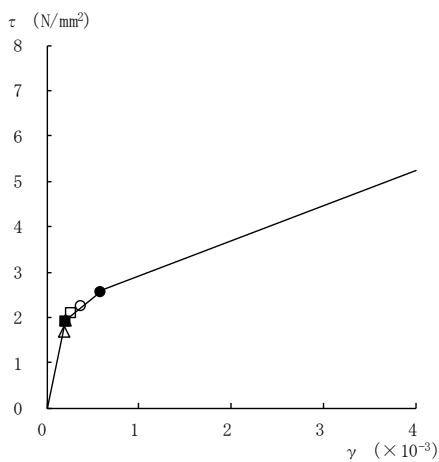
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

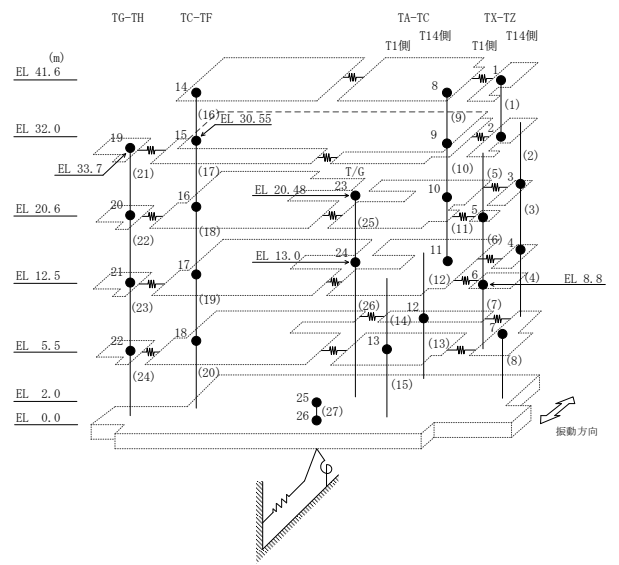
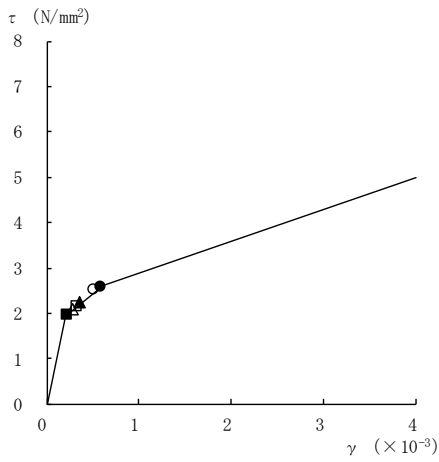
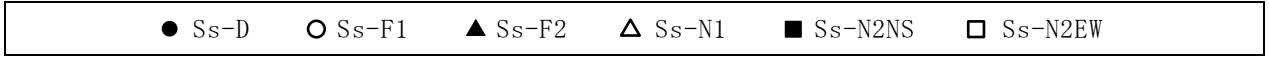
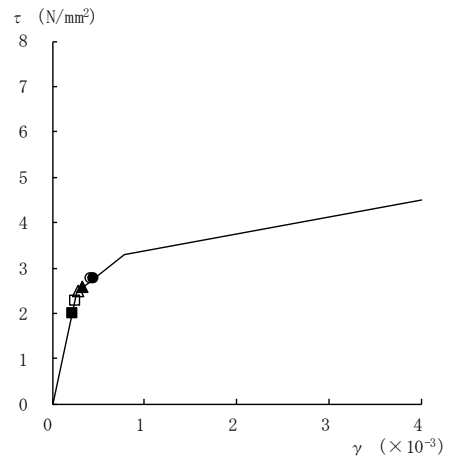


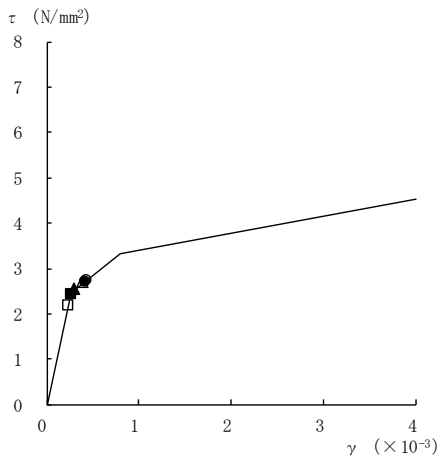
図 4-16(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, E W 方向)



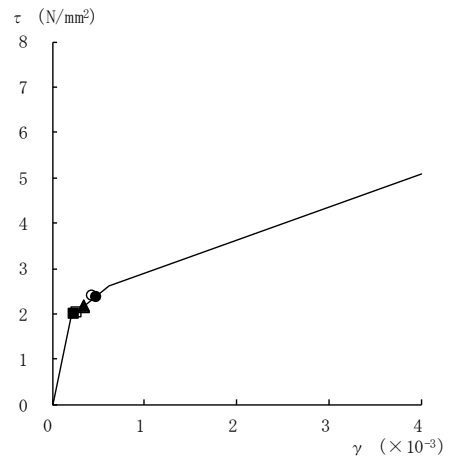
要素番号 (11)



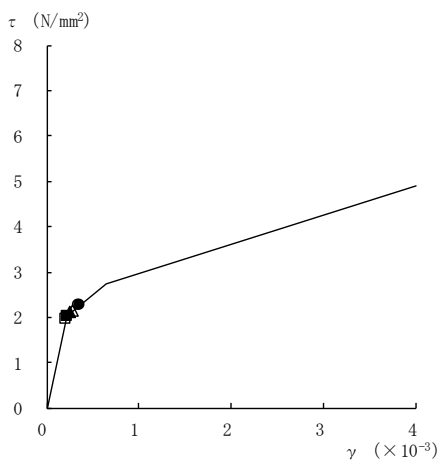
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

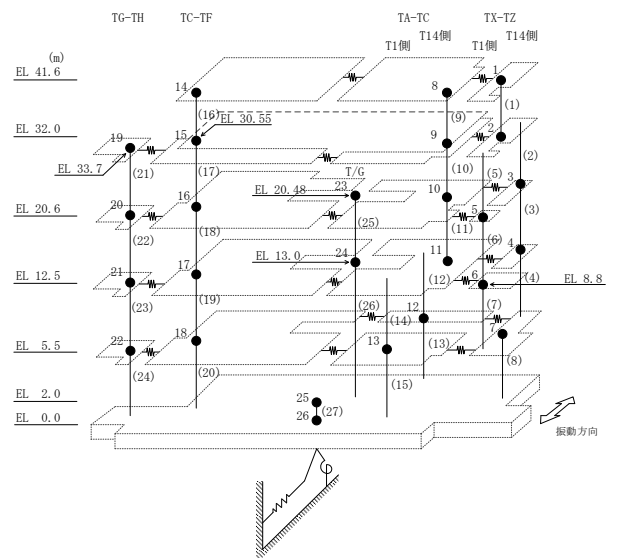
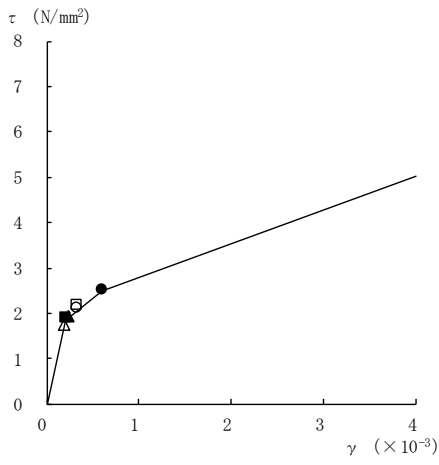
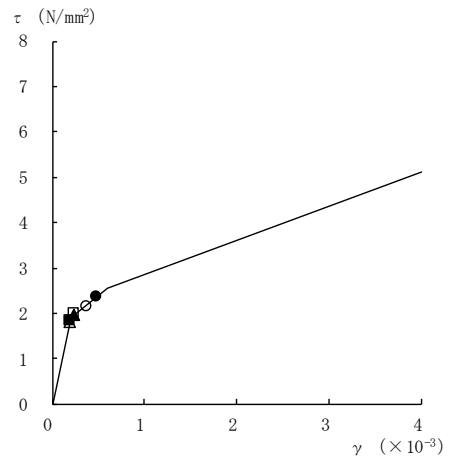


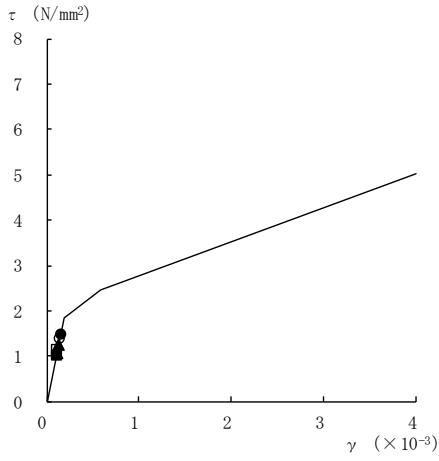
図 4-16(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, E W 方向)



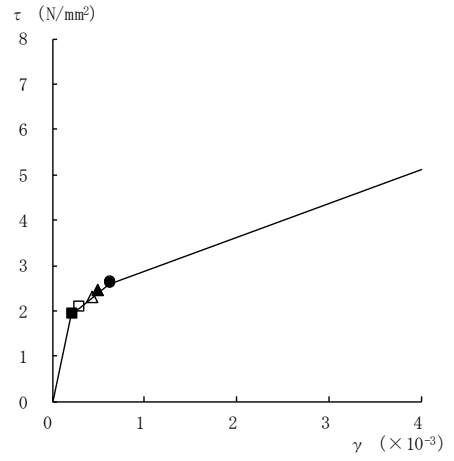
要素番号 (16)



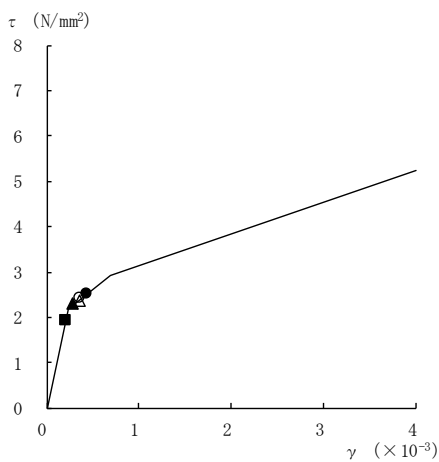
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

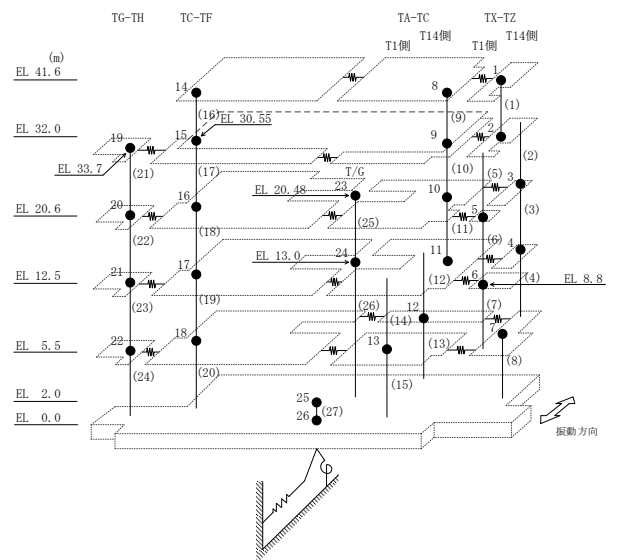
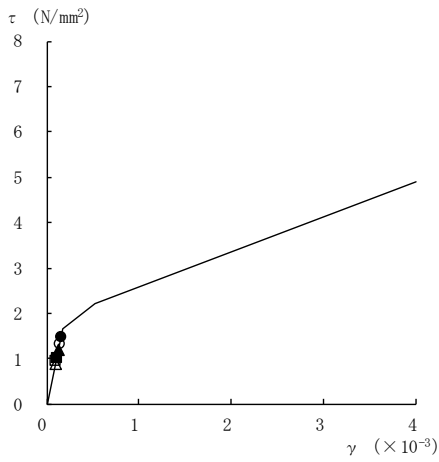
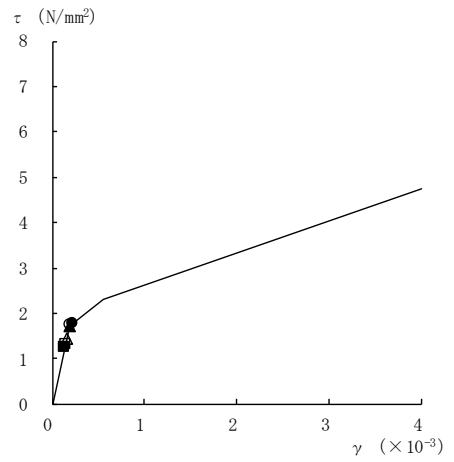


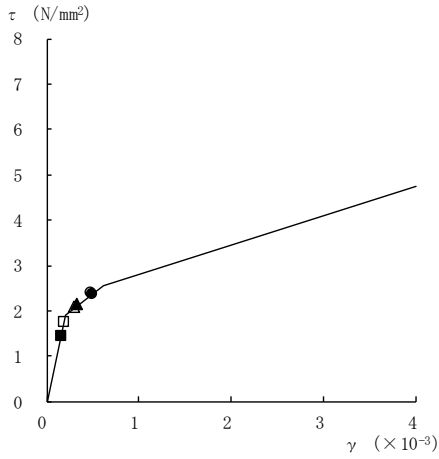
図 4-16(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, E W 方向)



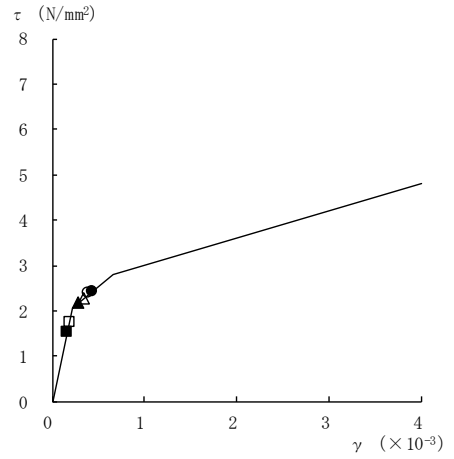
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

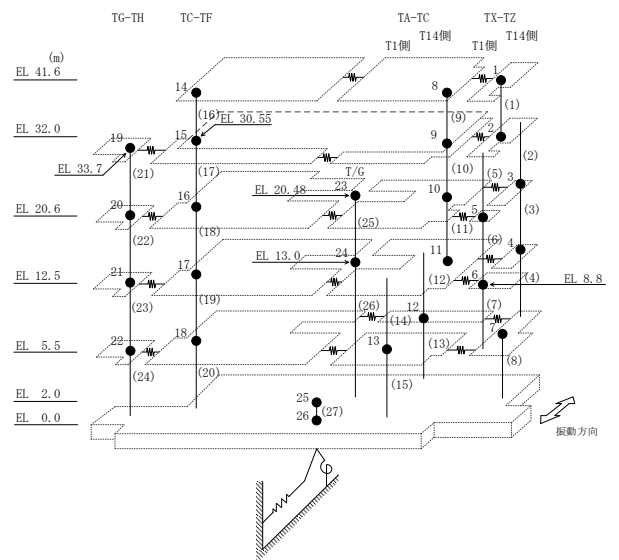
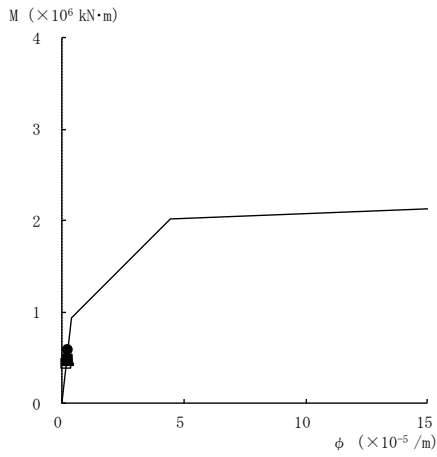
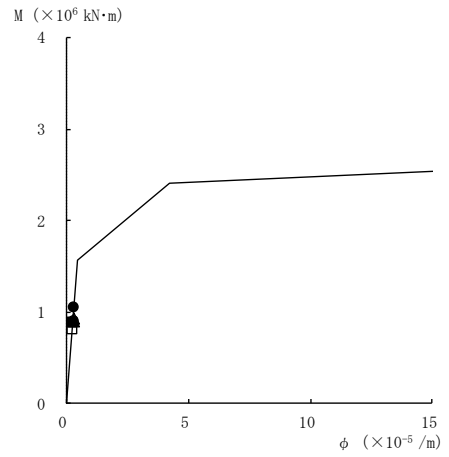


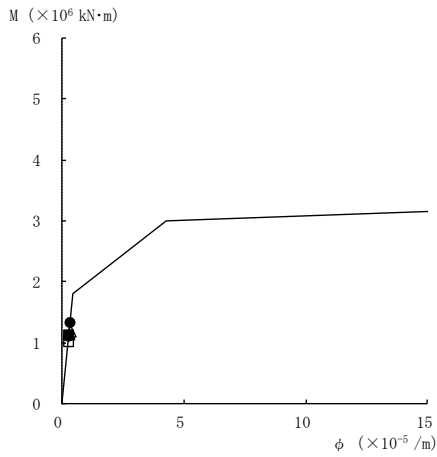
図 4-16(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, E W 方向)



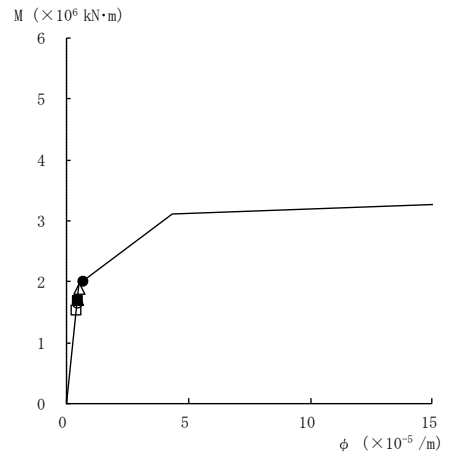
要素番号 (1)



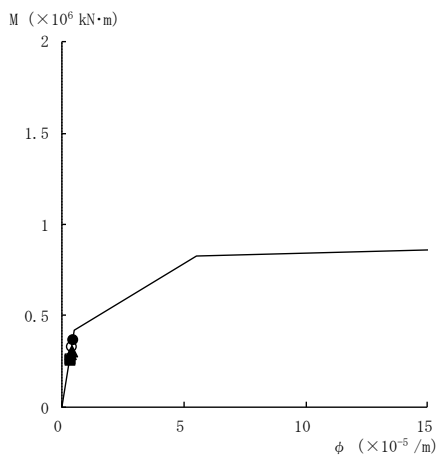
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

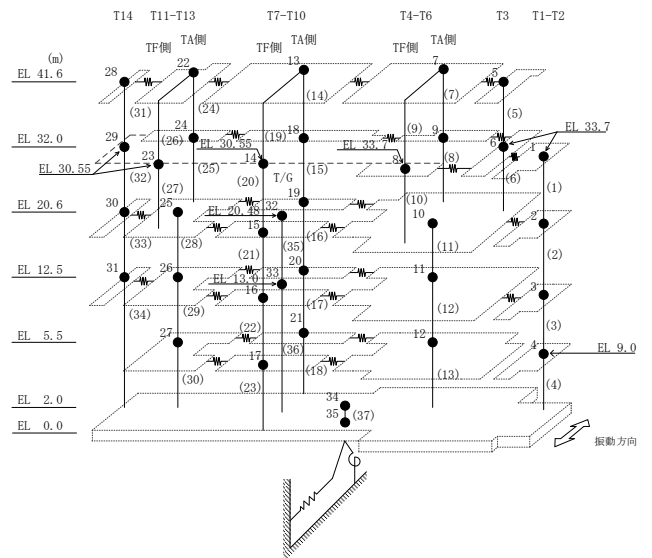
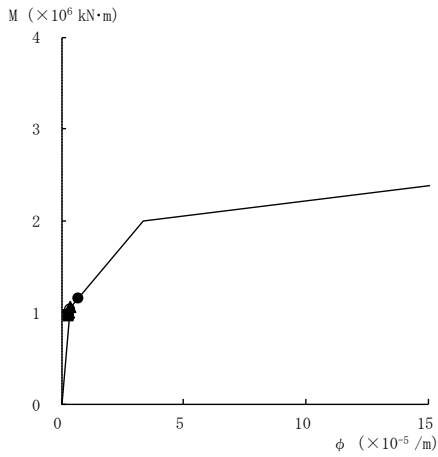
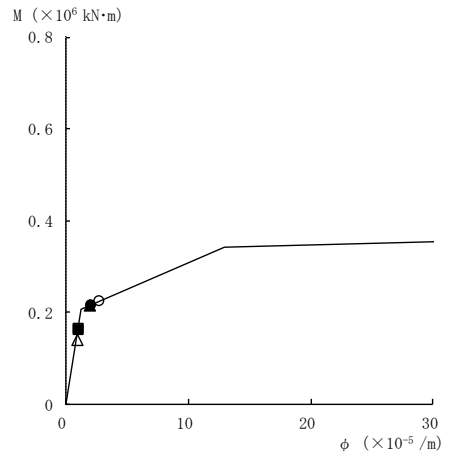


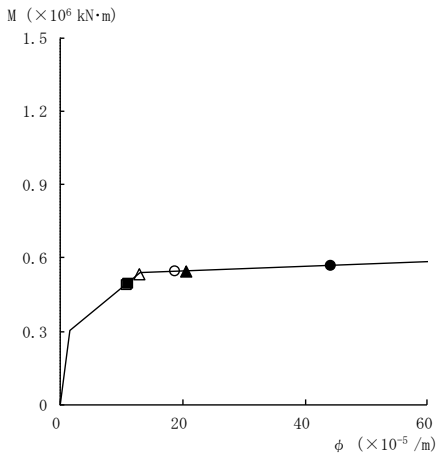
図 4-17(1) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



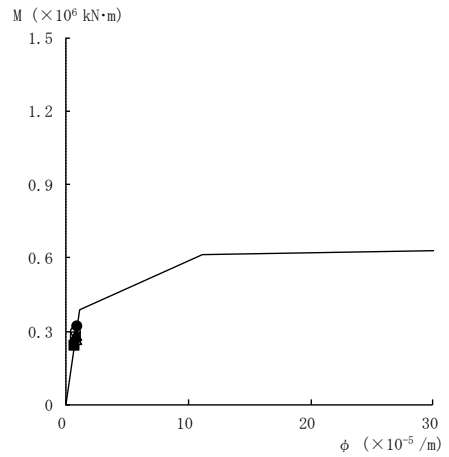
要素番号 (6)



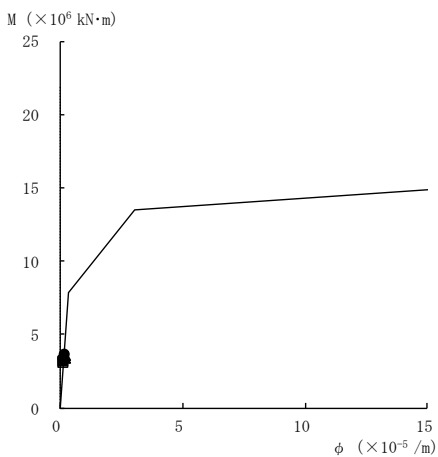
要素番号 (7)



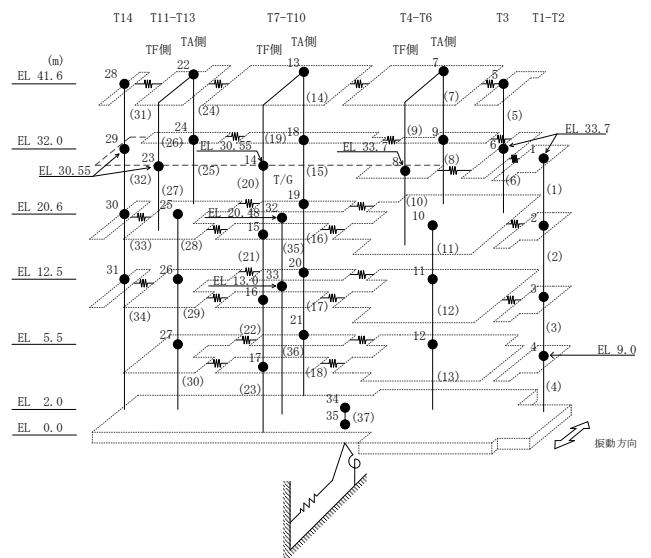
要素番号 (8)



要素番号 (10)

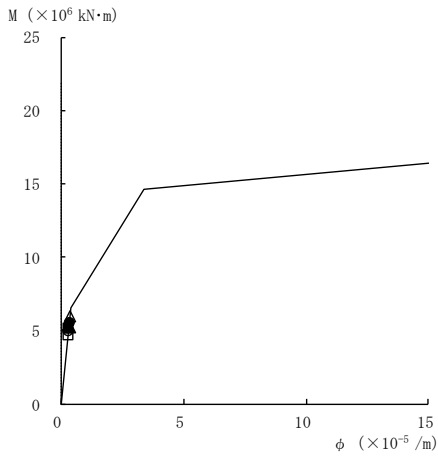
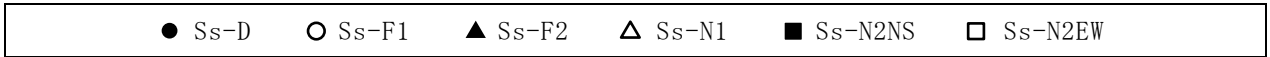


要素番号 (11)

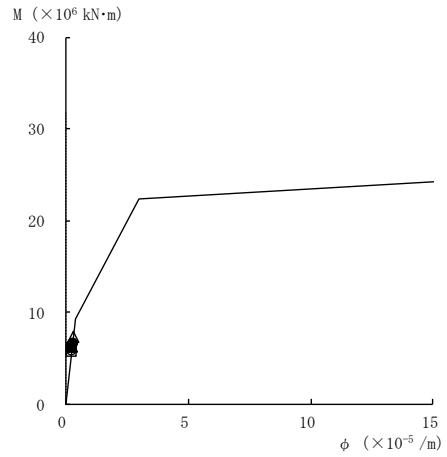


注：要素番号 9 は線形部材。

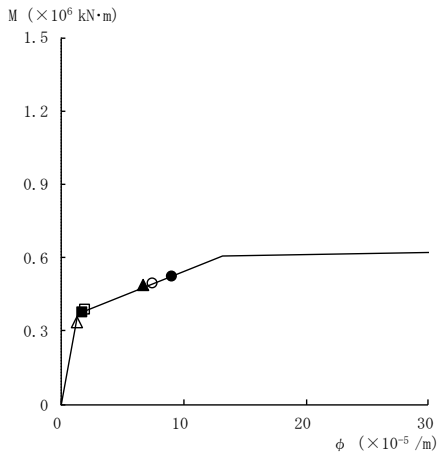
図 4-17(2) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



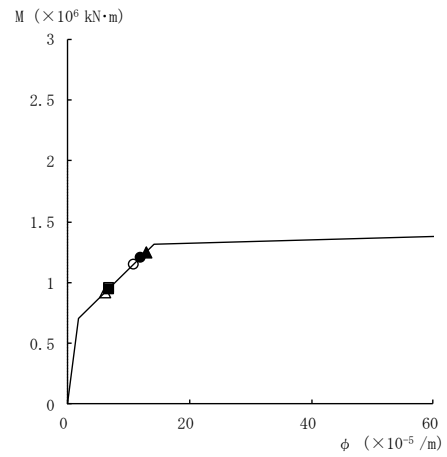
要素番号 (12)



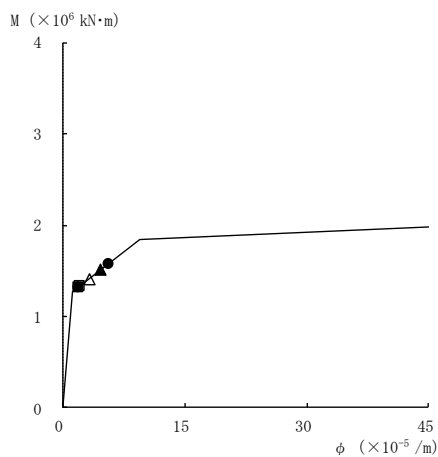
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

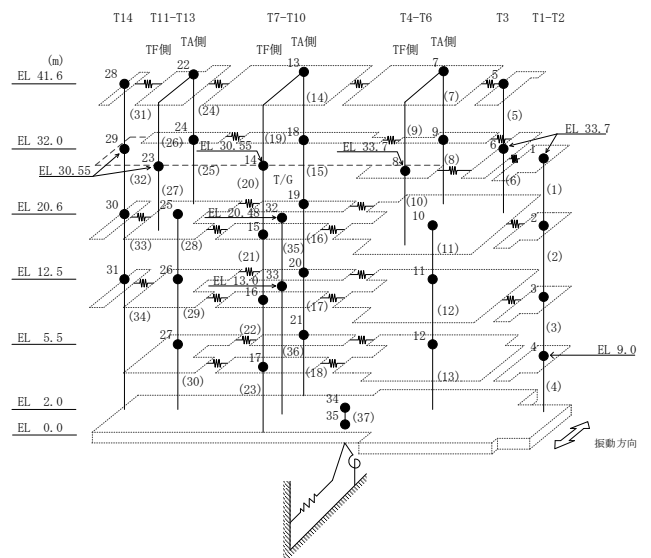
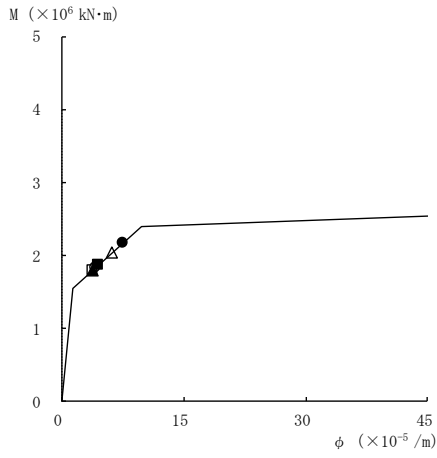
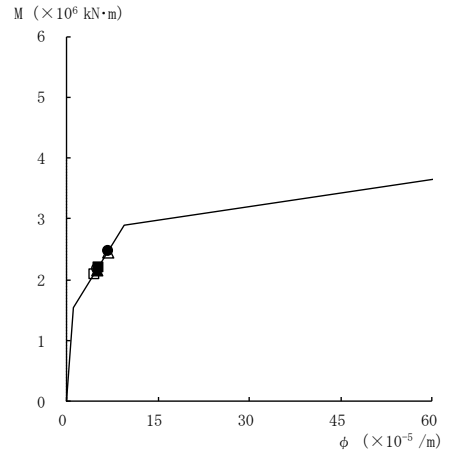


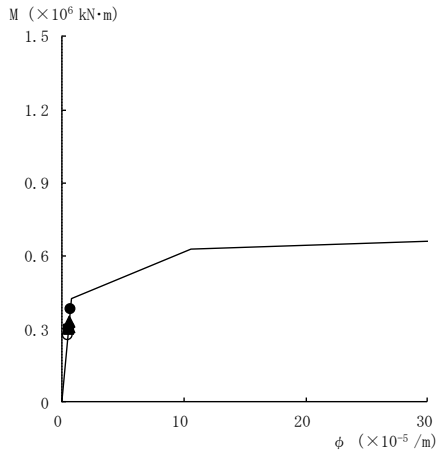
図 4-17(3) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



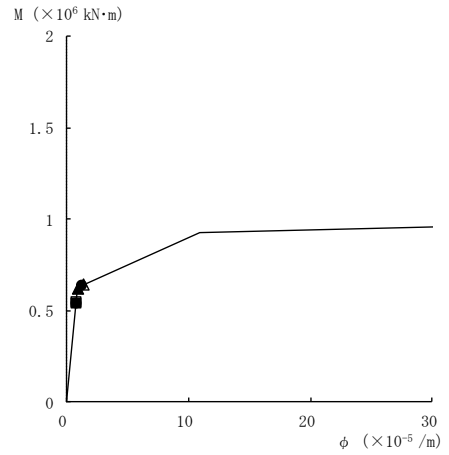
要素番号 (17)



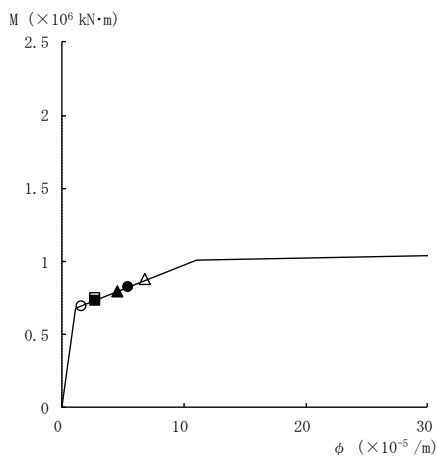
要素番号 (18)



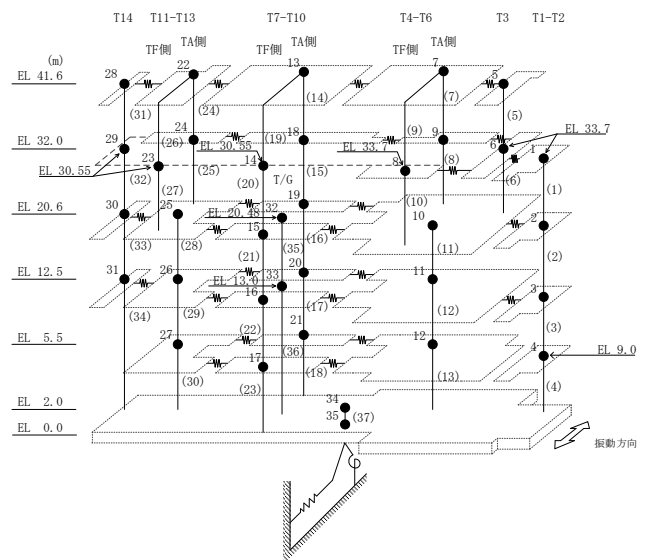
要素番号 (21)



要素番号 (22)

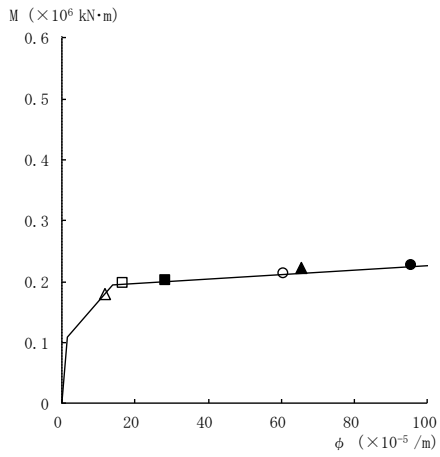
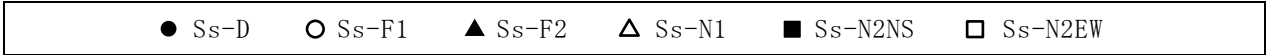


要素番号 (23)

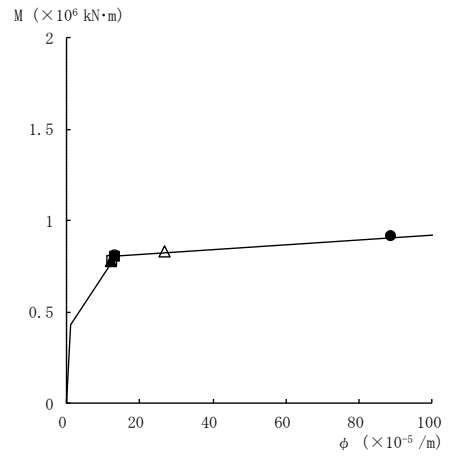


注：要素番号 19, 20 は線形部材。

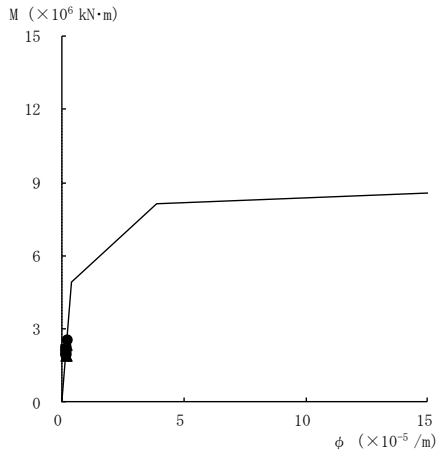
図 4-17(4) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



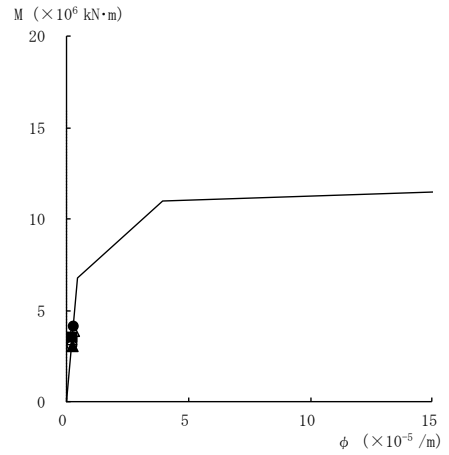
要素番号 (24)



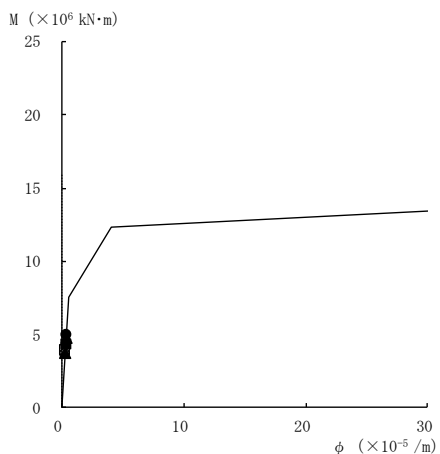
要素番号 (25)



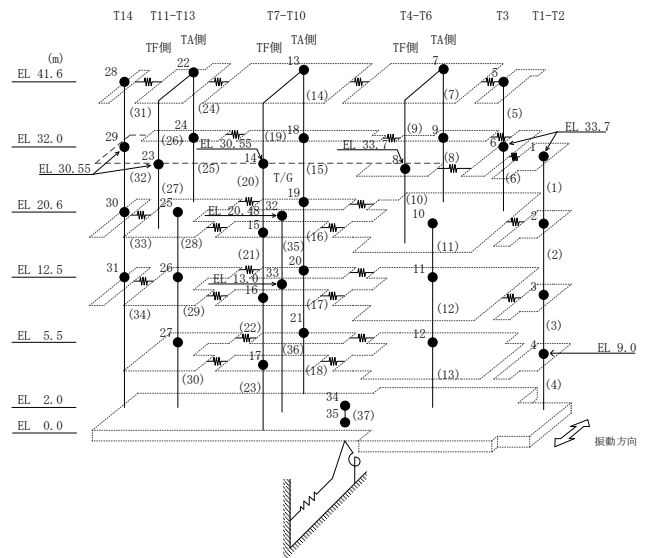
要素番号 (28)



要素番号 (29)



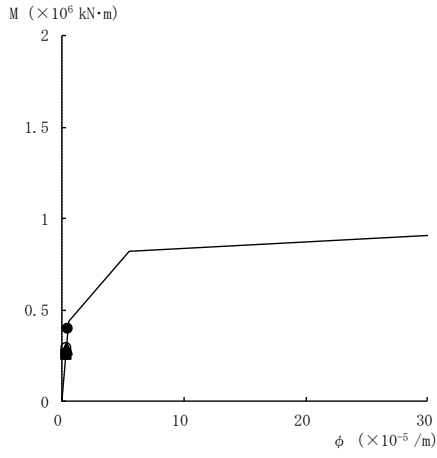
要素番号 (30)



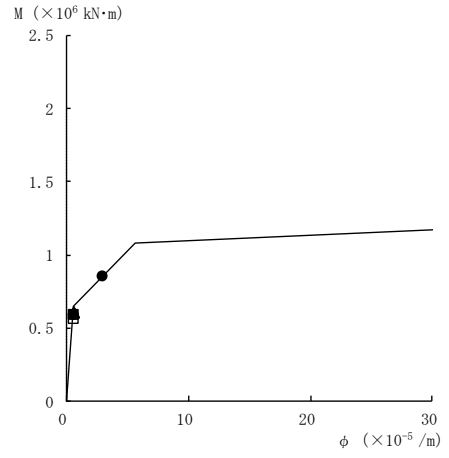
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 4-17(5) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)

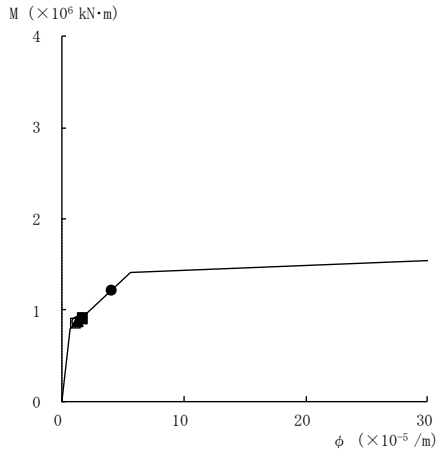
● S_S-D ○ S_S-F1 ▲ S_S-F2 △ S_S-N1 ■ S_S-N2NS □ S_S-N2EW



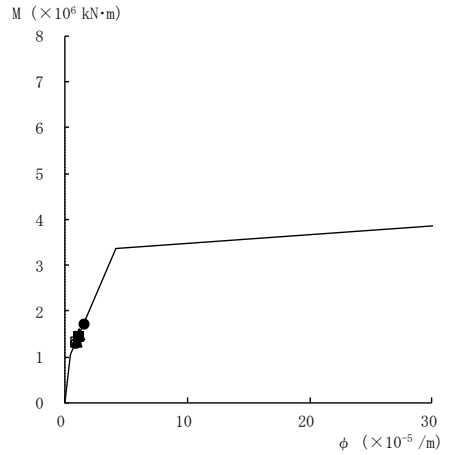
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

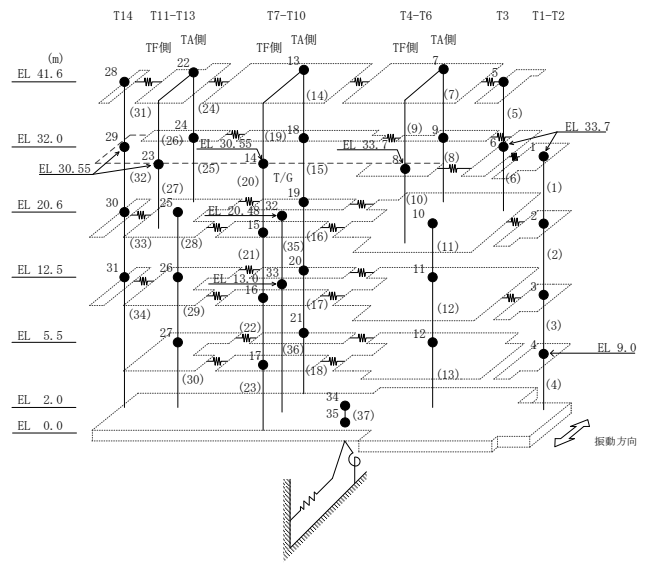


図 4-17(6) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)

表 4-15 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	浮上り限界転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.623	21.5	21.4	99.8
$S_s - F1$	0.523	15.0	21.4	100
$S_s - F2$	0.558	17.7	21.4	100
$S_s - N1$	0.640	24.7	21.4	92.3
$S_s - N2NS$	0.621	21.1	21.4	100
$S_s - N2EW$	0.593	18.9	21.4	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	浮上り限界転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.518	26.4	44.4	100
$S_s - F1$	0.514	28.7	44.4	100
$S_s - F2$	0.503	26.4	44.4	100
$S_s - N1$	0.484	25.1	44.4	100
$S_s - N2NS$	0.479	20.0	44.4	100
$S_s - N2EW$	0.495	22.3	44.4	100

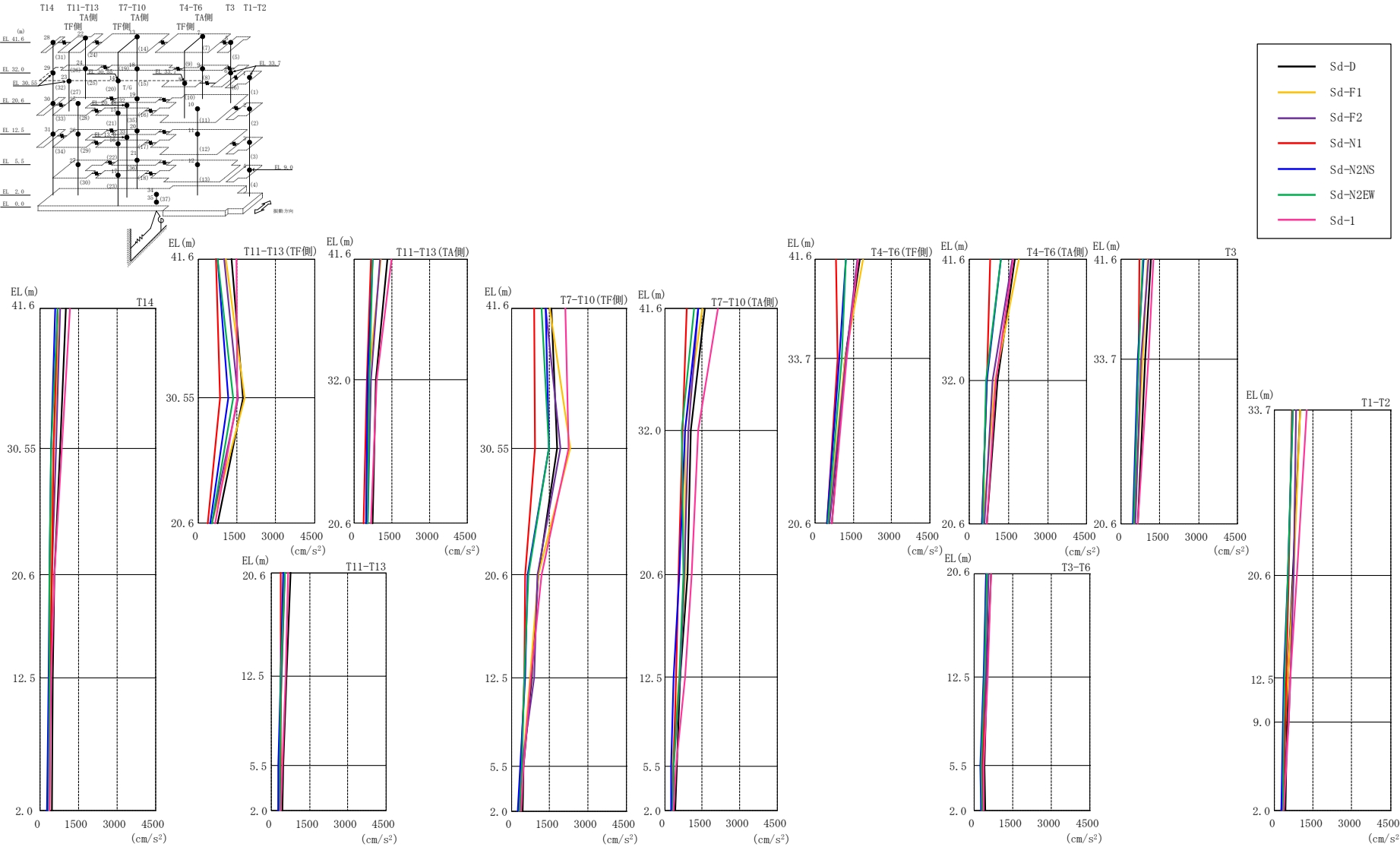
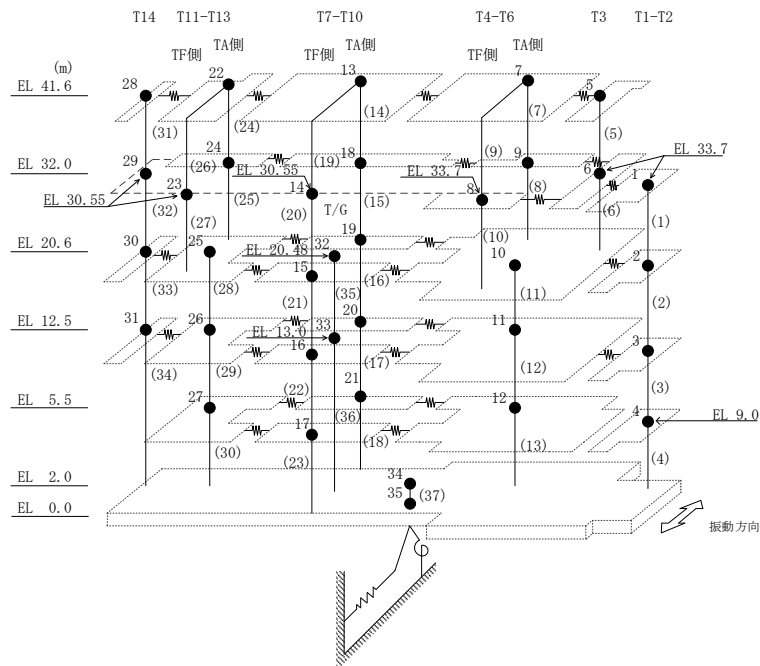


図 4-18 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

表 4-16 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d , N S 方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
T1-T2	33.7	1	1014	997	831	685	703	704	1239	1239
	20.6	2	709	734	731	544	507	526	870	870
	12.5	3	536	509	619	474	374	386	614	619
	9.0	4	480	418	543	436	341	368	563	563
T3	41.6	5	1145	1033	1055	722	854	836	1238	1238
	33.7	6	942	842	763	666	646	682	1045	1045
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1889	1648	805	1212	1202	1678	1889
	32.0	9	1080	988	887	654	680	628	1026	1080
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1166	1198	888	949	1052	1239	1239
T3-T6	20.6	10	651	516	560	481	468	492	651	651
	12.5	11	500	405	470	418	390	396	530	530
	5.5	12	411	287	311	348	264	280	387	411
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1499	1343	896	1341	1175	2129	2129
	32.0	18	1048	815	942	715	826	693	1332	1332
	20.6	19	930	814	781	541	588	757	1081	1081
	12.5	20	627	593	607	441	372	578	821	821
	5.5	21	497	308	349	363	259	345	440	497
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	2313	1918	920	1460	1481	2231	2313
	20.6	15	1071	1051	1010	546	648	668	1200	1200
	12.5	16	817	750	899	503	550	517	767	899
	5.5	17	489	442	416	367	345	419	482	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1064	1014	667	735	737	1482	1482
	32.0	24	842	558	654	514	528	606	875	875
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1803	1552	833	1162	1338	1506	1803
T11-T13	20.6	25	734	511	530	376	450	519	664	734
	12.5	26	583	389	393	354	352	376	549	583
	5.5	27	451	311	291	351	281	321	430	451
T14	41.6	28	1001	770	767	666	582	686	1162	1162
	30.55	29	760	503	610	527	433	430	837	837
	20.6	30	540	404	459	447	357	362	548	548
	12.5	31	476	346	380	392	315	365	431	476
	2.0	34	439	297	278	344	270	316	369	439

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



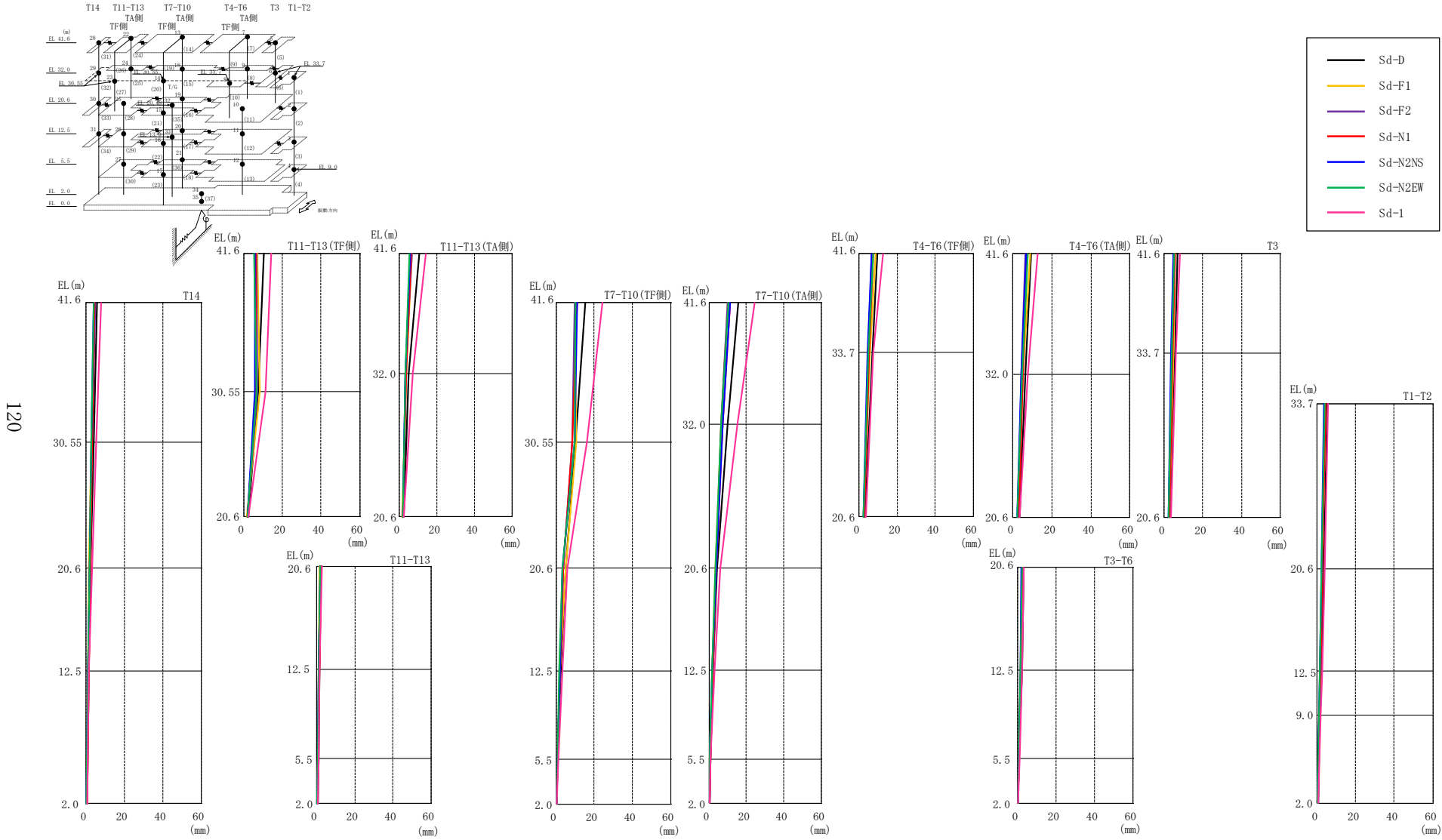
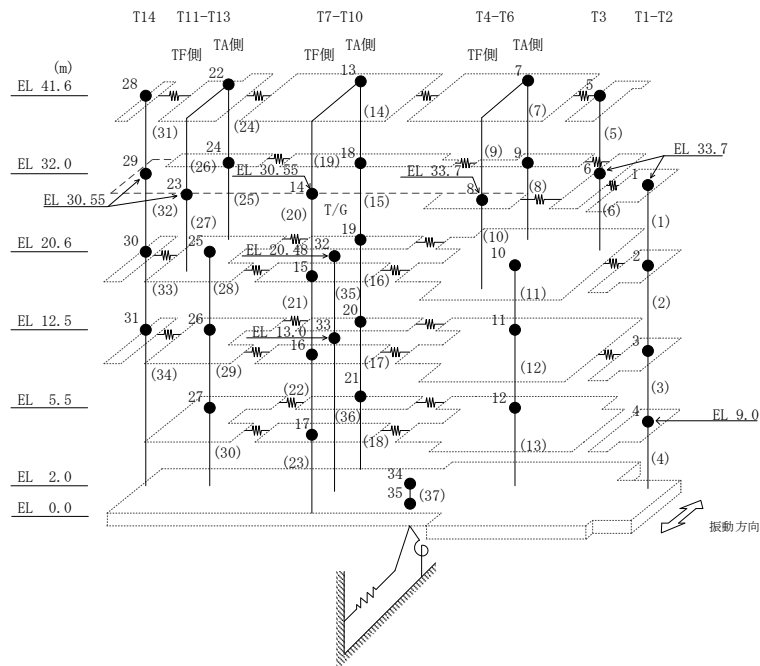


図 4-19 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S_d, N S 方向)

表 4-17 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
T1-T2	33.7	1	5.26	4.23	3.89	4.25	3.44	3.81	5.82	5.82
	20.6	2	3.43	2.70	2.93	2.92	2.35	2.42	3.91	3.91
	12.5	3	2.16	1.65	2.04	1.92	1.54	1.47	2.54	2.54
	9.0	4	1.64	1.26	1.63	1.48	1.20	1.09	1.98	1.98
T3	41.6	5	6.98	5.81	4.82	5.52	4.64	5.20	8.10	8.10
	33.7	6	5.63	4.57	3.78	4.56	3.72	4.11	6.08	6.08
T4-T6 (TA側)	41.6	7	9.46	8.68	6.55	7.34	6.59	7.50	12.69	12.69
	32.0	9	6.18	5.21	4.21	5.05	4.29	4.70	7.69	7.69
T4-T6 (TF側)	33.7	8	6.87	5.88	5.08	5.42	4.72	4.78	7.57	7.57
T3-T6	20.6	10	3.21	2.46	2.65	2.81	2.24	2.32	3.51	3.51
	12.5	11	2.28	1.66	2.00	2.01	1.60	1.61	2.53	2.53
	5.5	12	0.87	0.64	0.85	0.76	0.62	0.56	1.07	1.07
T7-T10 (TA側)	41.6	13	15.60	9.87	9.90	11.13	11.31	10.34	24.34	24.34
	32.0	18	9.88	6.62	6.72	7.60	7.52	6.60	15.24	15.24
	20.6	19	4.26	3.60	3.75	3.93	3.75	3.26	6.10	6.10
	12.5	20	2.21	1.83	2.03	2.01	1.85	1.76	3.02	3.02
	5.5	21	0.90	0.61	0.73	0.75	0.58	0.60	1.02	1.02
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.04	10.78	8.34	8.72	9.78	9.62	16.32	16.32
	20.6	15	4.98	4.93	4.02	3.98	3.30	3.46	6.12	6.12
	12.5	16	2.38	2.30	2.33	2.20	1.94	1.86	3.27	3.27
	5.5	17	0.95	0.74	0.99	0.87	0.76	0.71	1.32	1.32
T11-T13 (TA側)	41.6	22	10.36	6.83	6.47	6.22	5.80	5.50	14.13	14.13
	32.0	24	5.10	3.42	3.26	3.71	3.19	3.37	7.14	7.14
T11-T13 (TF側)	30.55	23	7.47	8.11	6.85	6.23	5.84	6.69	11.10	11.10
T11-T13	20.6	25	2.42	1.54	1.72	2.08	1.84	1.92	2.48	2.48
	12.5	26	1.54	0.89	1.04	1.32	1.15	1.16	1.44	1.54
	5.5	27	0.77	0.46	0.64	0.67	0.55	0.53	0.79	0.79
T14	41.6	28	5.44	4.29	4.58	4.42	3.76	3.73	7.88	7.88
	30.55	29	3.70	2.76	3.14	3.16	2.67	2.64	5.14	5.14
	20.6	30	2.25	1.50	1.86	2.02	1.69	1.67	2.85	2.85
	12.5	31	1.30	0.85	1.00	1.20	0.98	0.96	1.39	1.39
	2.0	34	0.45	0.29	0.42	0.31	0.27	0.23	0.52	0.52

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



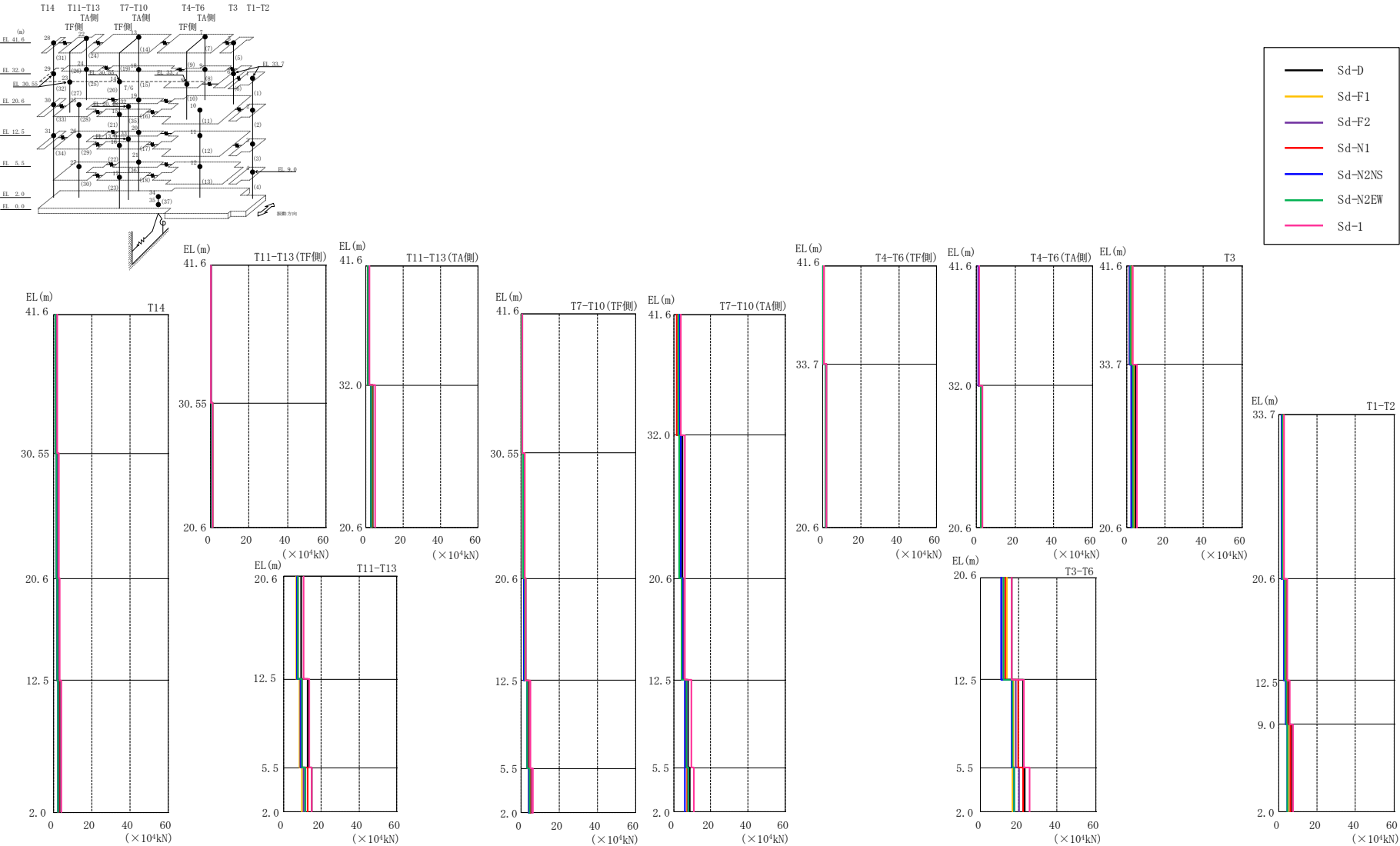
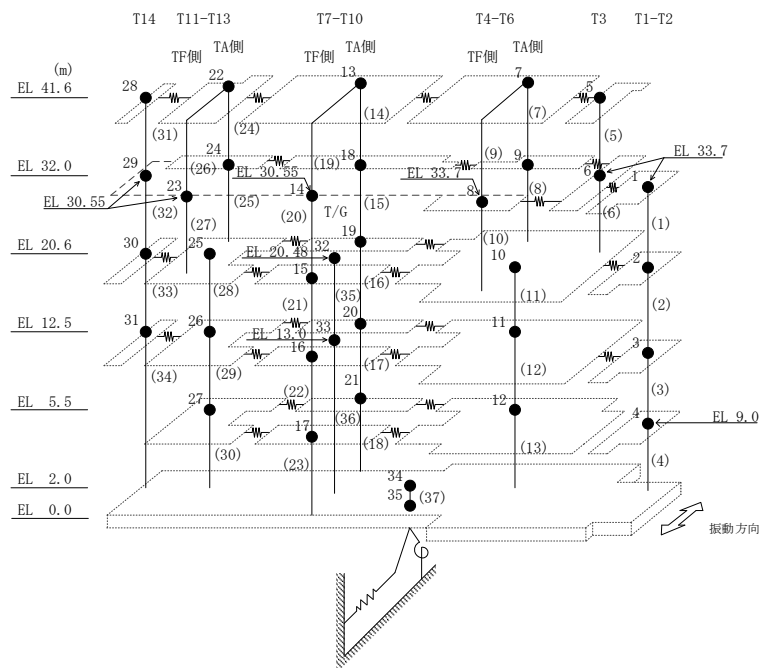


図 4-20 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

表 4-18 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							Sd-1	最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW			
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.12	1.59	1.68	1.55	1.84	2.80	2.80	
	20.6~12.5	2	4.16	3.44	2.94	3.14	2.72	3.00	4.44	4.44	
	12.5~9.0	3	5.41	4.33	4.49	4.57	3.69	3.88	5.85	5.85	
	9.0~2.0	4	6.37	5.12	6.19	5.98	4.64	4.55	7.34	7.34	
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.72	1.82	1.45	1.64	1.86	3.18	3.18	
	33.7~20.6	6	4.39	3.62	2.89	2.64	2.51	3.15	5.15	5.15	
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.61	1.55	1.09	1.19	1.38	1.66	1.66	
	32.0~20.6	8	2.71	2.59	2.18	2.31	2.22	2.33	3.05	3.05	
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.412	0.342	0.206	0.271	0.276	0.513	0.513	
	33.7~20.6	10	1.67	1.62	1.37	1.29	1.29	1.36	1.73	1.73	
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	13.9	11.3	12.9	10.7	11.8	16.5	16.5	
	12.5~5.5	12	22.3	16.9	18.5	19.5	16.2	16.5	22.8	22.8	
	5.5~2.0	13	23.1	16.8	20.3	22.1	17.7	17.4	25.5	25.5	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.62	3.31	1.85	3.06	2.52	3.96	3.96	
	32.0~20.6	15	4.85	4.05	3.70	3.36	4.10	3.23	5.92	5.92	
	20.6~12.5	16	5.22	4.88	5.03	4.76	4.88	4.23	6.01	6.01	
	12.5~5.5	17	7.65	6.86	7.23	6.51	6.08	6.90	9.70	9.70	
T7-T10(TF側)	5.5~2.0	18	8.60	7.41	7.94	7.36	6.24	7.69	10.9	10.9	
	41.6~30.55	19	0.507	0.608	0.553	0.155	0.324	0.309	0.555	0.608	
	30.55~20.6	20	1.36	1.64	1.31	0.775	1.09	1.13	1.76	1.76	
	20.6~12.5	21	2.22	2.10	2.04	1.77	1.55	1.70	2.25	2.25	
	12.5~5.5	22	3.77	4.17	4.08	3.33	3.11	2.97	4.64	4.64	
T11-T13(TA側)	5.5~2.0	23	4.85	4.07	5.27	4.67	3.86	4.25	5.98	5.98	
	41.6~32.0	24	1.87	1.65	1.64	1.37	1.56	1.45	1.95	1.95	
T11-T13(TF側)	32.0~20.6	25	4.02	3.28	3.05	3.08	3.01	2.95	5.13	5.13	
	41.6~30.55	26	0.294	0.292	0.261	0.112	0.199	0.208	0.242	0.294	
T11-T13	30.55~20.6	27	0.853	0.906	0.772	0.441	0.571	0.680	0.857	0.906	
	20.6~12.5	28	9.43	6.81	7.16	7.52	7.08	7.84	10.6	10.6	
	12.5~5.5	29	12.7	8.58	9.12	10.0	9.47	10.0	13.5	13.5	
T14	5.5~2.0	30	15.1	9.91	10.9	12.6	11.4	11.4	15.1	15.1	
	41.6~30.55	31	1.41	1.11	1.03	0.796	0.868	0.791	1.98	1.98	
	30.55~20.6	32	1.97	1.58	1.65	1.35	1.16	1.16	2.82	2.82	
	20.6~12.5	33	2.26	1.70	1.98	1.86	1.60	1.62	3.23	3.23	
T14	12.5~2.0	34	3.06	2.07	2.52	2.72	2.33	2.34	3.77	3.77	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



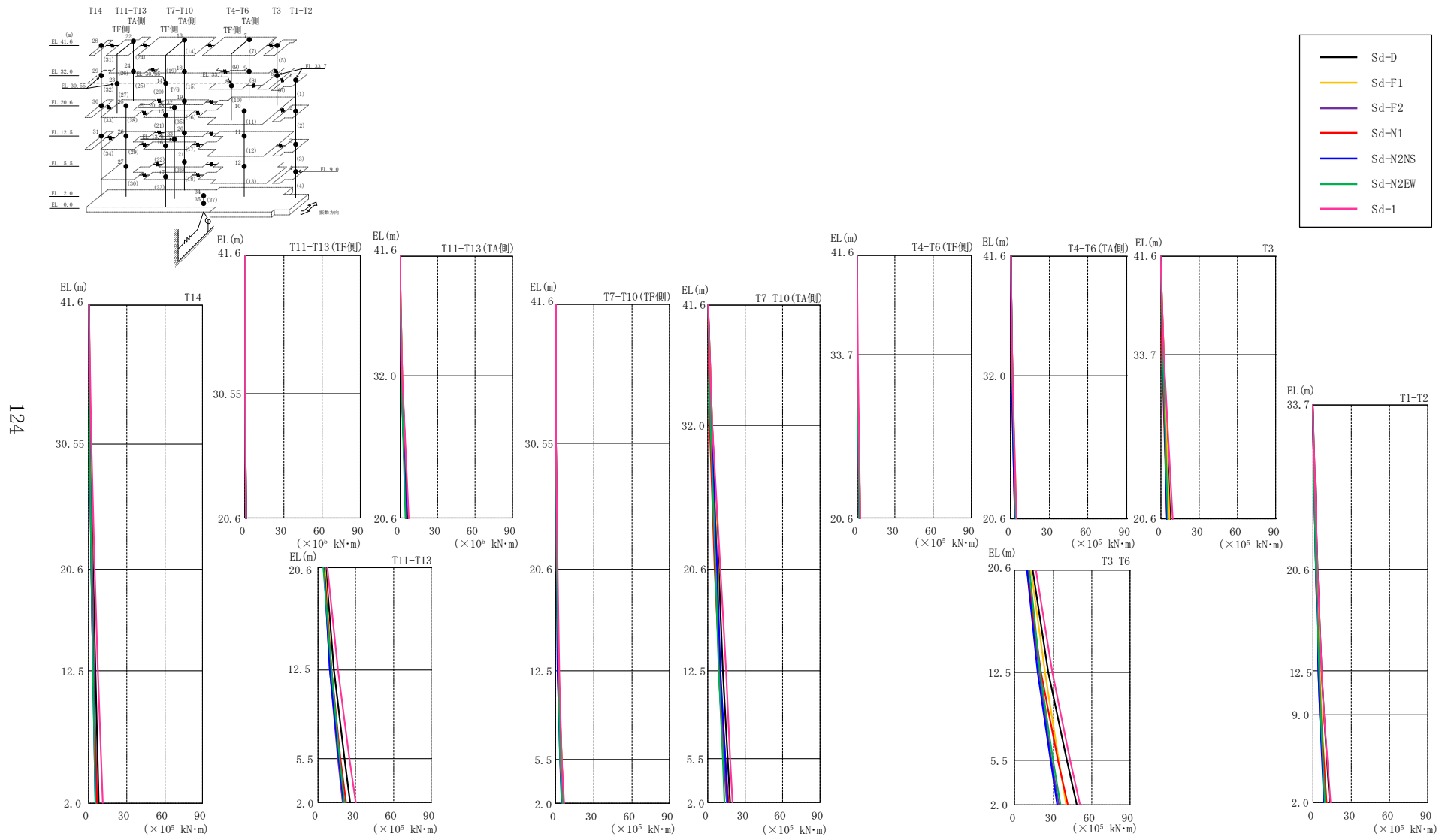


図 4-21 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d , NS 方向)

表 4-19(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							Sd-1	最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW			
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	20.6~12.5	2	3.30	2.78	2.08	2.20	2.03	2.41	3.67	3.67	3.67
			6.61	5.51	4.25	4.71	4.21	4.79	6.83	6.83	
	12.5~9.0	3	6.61	5.51	4.25	4.71	4.21	4.79	6.83	6.83	6.83
8.45			6.98	5.64	6.28	5.47	6.12	8.87	8.87		
9.0~2.0	4	8.45	6.98	5.64	6.28	5.47	6.12	8.87	8.87	8.87	
		12.8	10.4	9.70	10.4	8.46	9.28	14.0	14.0		
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
	33.7~20.6	6	1.93	2.15	1.44	1.15	1.29	1.47	2.51	2.51	2.51
7.61			6.57	5.08	4.51	4.56	5.51	9.21	9.21		
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.107	0.0764	0.0569	0.0612	0.0716	0.133	0.133	
	32.0~20.6	8	1.45	1.44	1.42	0.994	1.08	1.25	1.46	1.46	
4.21			4.30	3.64	3.57	3.60	3.80	4.82	4.82		
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.124	0.0993	0.0633	0.0781	0.0832	0.154	0.154	
	33.7~20.6	10	0.217	0.202	0.171	0.0996	0.136	0.135	0.251	0.251	
2.29			2.21	1.86	1.75	1.73	1.87	2.44	2.44		
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	12.8	10.4	9.73	9.59	11.2	16.4	16.4	
	12.5~5.5	12	26.2	23.3	19.0	20.2	18.0	19.8	29.3	29.3	
			40.6	34.4	29.0	33.8	28.1	30.1	43.5	43.5	
5.5~2.0	13	48.3	39.9	34.3	41.5	33.4	36.0	51.2	51.2		
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.120	0.0923	0.0683	0.106	0.0865	0.220	0.220	
	32.0~20.6	15	3.32	3.37	3.09	1.72	2.83	2.36	3.60	3.60	
			8.47	7.80	7.30	5.54	7.45	5.90	10.3	10.3	
	20.6~12.5	16	12.2	8.95	8.93	9.31	9.86	8.38	14.4	14.4	
			15.8	12.8	12.5	13.8	13.9	11.6	18.1	18.1	
5.5~2.0	18	17.9	15.4	15.2	16.3	16.0	13.6	19.9	19.9		

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

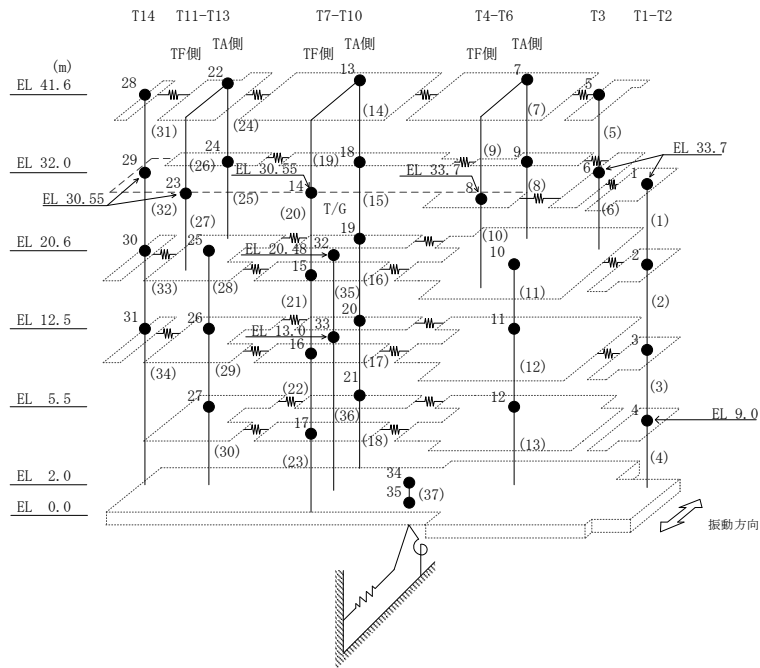


表 4-19(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.177	0.178	0.173	0.0653	0.111	0.112	0.236	0.236
			0.393	0.504	0.440	0.154	0.288	0.283	0.421	0.504
	30.55~20.6	20	0.393	0.504	0.440	0.154	0.288	0.283	0.421	0.504
			0.999	1.13	0.870	0.629	0.810	0.852	1.35	1.35
	20.6~12.5	21	0.999	1.13	0.870	0.629	0.810	0.852	1.35	1.35
2.27			1.93	1.91	1.80	1.74	1.88	2.71	2.71	
12.5~5.5	22	2.27	1.93	1.91	1.80	1.74	1.88	2.71	2.71	
		4.46	4.46	4.06	4.06	3.45	3.69	5.02	5.02	
		4.46	4.46	4.06	4.06	3.45	3.69	5.02	5.02	
5.5~2.0	23	5.81	5.86	5.38	5.69	4.77	5.17	6.80	6.80	
		0.0903	0.0554	0.0610	0.0315	0.0504	0.0524	0.143	0.143	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.73	1.56	1.52	1.28	1.46	1.38	1.76	1.76
			6.23	5.18	4.79	4.79	4.88	4.53	7.38	7.38
32.0~20.6	25	1.73	1.56	1.52	1.28	1.46	1.38	1.76	1.76	
		0.0928	0.0953	0.0770	0.0308	0.0565	0.0666	0.118	0.118	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.248	0.250	0.221	0.107	0.167	0.184	0.205	0.250
			0.601	0.652	0.548	0.332	0.401	0.493	0.688	0.688
30.55~20.6	27	0.601	0.652	0.548	0.332	0.401	0.493	0.688	0.688	
		6.59	5.53	5.02	5.10	5.23	4.68	7.76	7.76	
T11-T13	20.6~12.5	28	13.0	10.6	9.74	10.9	9.69	10.7	16.2	16.2
			21.0	16.5	16.0	17.9	16.3	17.6	25.1	25.1
	12.5~5.5	29	21.0	16.5	16.0	17.9	16.3	17.6	25.1	
5.5~2.0	30	25.9	19.9	19.8	22.3	20.3	21.4	30.3	30.3	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
T14	41.6~30.55	31	1.56	1.22	1.14	0.879	0.959	0.874	2.19	2.19
			3.33	2.80	2.75	2.20	2.03	1.98	4.93	4.93
	30.55~20.6	32	3.33	2.80	2.75	2.20	2.03	1.98	4.93	4.93
			5.09	4.18	4.30	3.71	3.21	3.21	7.53	7.53
20.6~12.5	33	5.09	4.18	4.30	3.71	3.21	3.21	7.53	7.53	
		8.03	5.95	6.78	6.55	5.65	5.58	11.4	11.4	
12.5~2.0	34	8.03	5.95	6.78	6.55	5.65	5.58	11.4	11.4	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

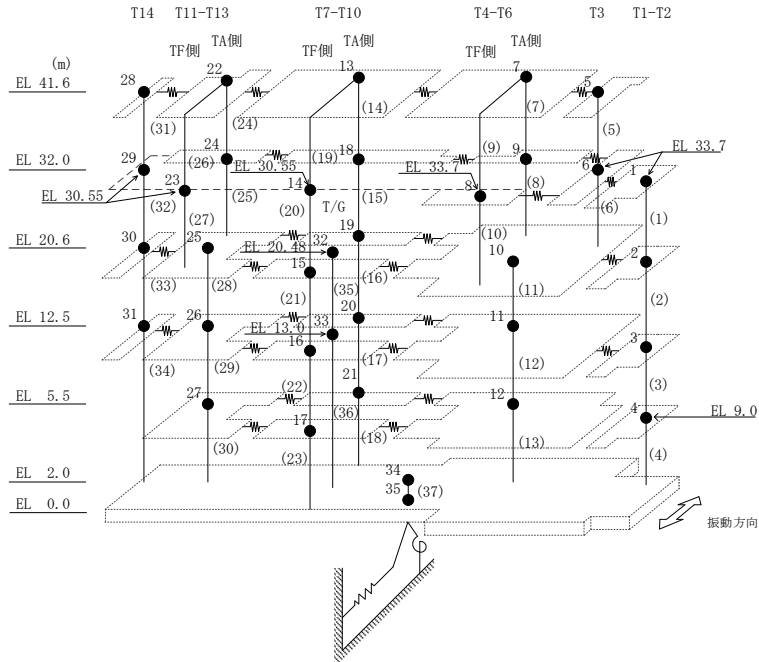
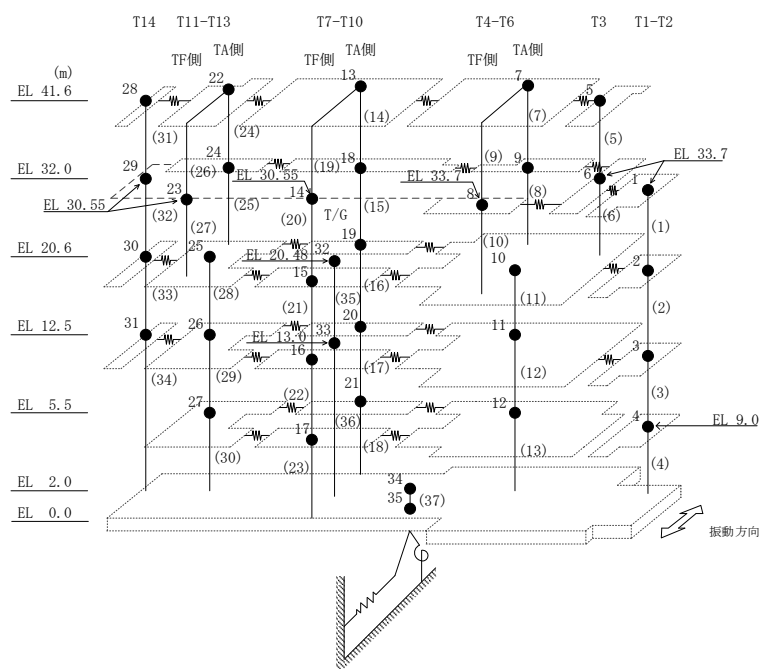


表 4-20 最大応答せん断ひずみ一覧 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
T1-T2	33.7~20.6	1	0.09	0.08	0.06	0.06	0.06	0.07	0.10	0.10
	20.6~12.5	2	0.12	0.10	0.08	0.09	0.08	0.09	0.13	0.13
	12.5~9.0	3	0.12	0.09	0.10	0.10	0.08	0.08	0.13	0.13
	9.0~2.0	4	0.16	0.13	0.16	0.15	0.12	0.12	0.19	0.19
T3	41.6~33.7	5	0.14	0.16	0.10	0.08	0.09	0.11	0.21	0.21
	33.7~20.6	6	0.16	0.13	0.10	0.10	0.09	0.11	0.19	0.19
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.06	0.06	0.05	0.04	0.04	0.05	0.06	0.06
	32.0~20.6	8	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.10
T4-T6 (TF側)	33.7~20.6	10	0.24	0.22	0.16	0.15	0.15	0.15	0.28	0.28
T3-T6	20.6~12.5	11	0.09	0.08	0.06	0.07	0.06	0.06	0.09	0.09
	12.5~5.5	12	0.18	0.14	0.15	0.16	0.13	0.13	0.19	0.19
	5.5~2.0	13	0.13	0.10	0.12	0.13	0.10	0.10	0.15	0.15
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.13	0.14	0.12	0.07	0.11	0.09	0.15	0.15
	32.0~20.6	15	0.12	0.10	0.09	0.09	0.10	0.08	0.15	0.15
	20.6~12.5	16	0.09	0.09	0.09	0.08	0.09	0.07	0.11	0.11
	12.5~5.5	17	0.13	0.11	0.12	0.11	0.10	0.11	0.16	0.16
	5.5~2.0	18	0.13	0.11	0.12	0.11	0.10	0.12	0.17	0.17
T7-T10 (TF側)	20.6~12.5	21	0.30	0.27	0.22	0.16	0.14	0.15	0.30	0.30
	12.5~5.5	22	0.15	0.17	0.17	0.14	0.13	0.12	0.22	0.22
	5.5~2.0	23	0.16	0.13	0.17	0.15	0.13	0.14	0.20	0.20
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.11	0.10	0.10	0.08	0.09	0.09	0.12	0.12
	32.0~20.6	25	0.08	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.10	0.10
T11-T13	20.6~12.5	28	0.09	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.10
	12.5~5.5	29	0.10	0.06	0.07	0.08	0.07	0.08	0.10	0.10
	5.5~2.0	30	0.12	0.08	0.09	0.10	0.09	0.09	0.12	0.12
T14	41.6~30.55	31	0.08	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.11	0.11
	30.55~20.6	32	0.08	0.06	0.07	0.06	0.05	0.05	0.11	0.11
	20.6~12.5	33	0.07	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	0.10	0.10
	12.5~2.0	34	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06	0.06	0.09	0.09

注 1 : ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注 2 : 要素番号 9, 19, 20, 26, 27 は線形部材。



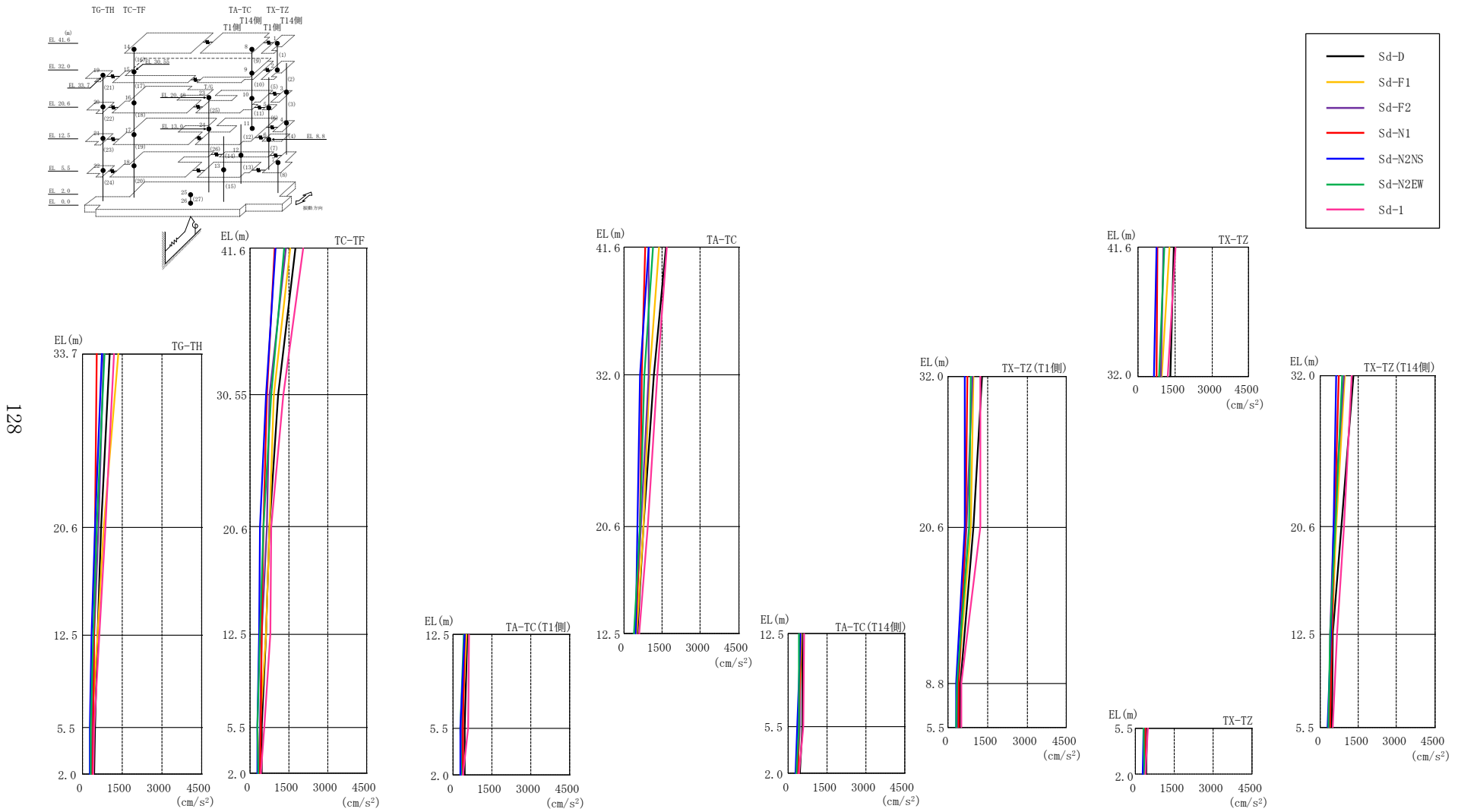
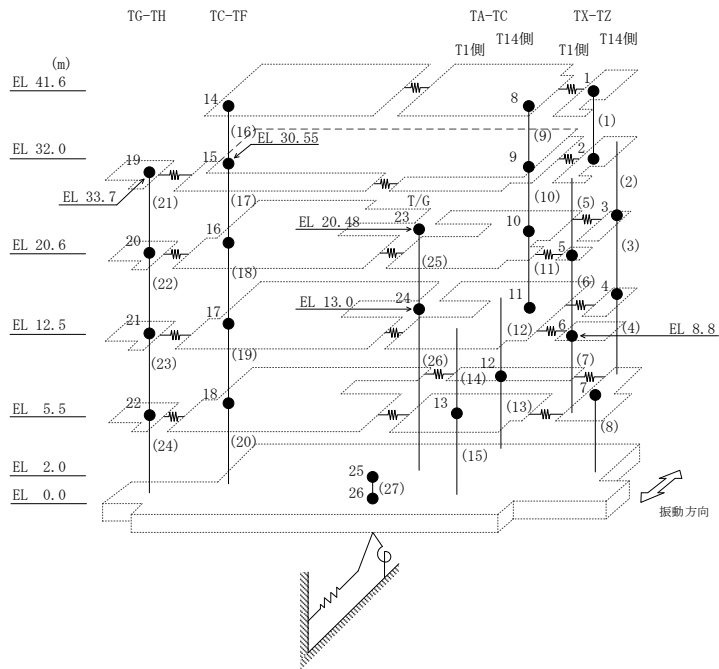


図 4-22 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

表 4-21 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d , E W 方向）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
TX-TZ	41.6	1	1464	1273	1030	773	756	1077	1531	1531
	32.0	2	1296	975	937	735	633	861	1220	1296
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	630	520	571	538	580	923	923
	12.5	4	492	453	400	453	426	377	656	656
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	874	710	656	626	807	1235	1235
	8.8	6	459	365	370	403	308	331	501	501
TX-TZ	5.5	7	448	346	359	390	291	311	505	505
TA-TC	41.6	8	1636	1372	963	832	965	1152	1682	1682
	32.0	9	1177	1004	987	713	644	795	1314	1314
	20.6	10	766	770	674	620	520	643	925	925
	12.5	11	541	515	448	461	463	403	604	604
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	404	423	417	354	419	579	579
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	362	362	392	288	295	570	570
TC-TF	41.6	14	1729	1534	1369	931	963	1311	2037	2037
	30.55	15	1083	924	756	634	594	795	1285	1285
	20.6	16	727	755	646	500	388	497	822	822
	12.5	17	594	604	458	437	331	377	770	770
	5.5	18	443	365	367	400	270	291	550	550
	TC-TF	2.0	19	1020	1356	813	533	734	840	1189
TG-TH	33.7	19	1020	1356	813	533	734	840	1189	1356
	20.6	20	709	802	587	457	477	554	879	879
	12.5	21	556	559	439	450	345	397	637	637
	5.5	22	466	330	366	395	284	318	447	466
	2.0	25	435	316	340	366	278	313	395	435

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



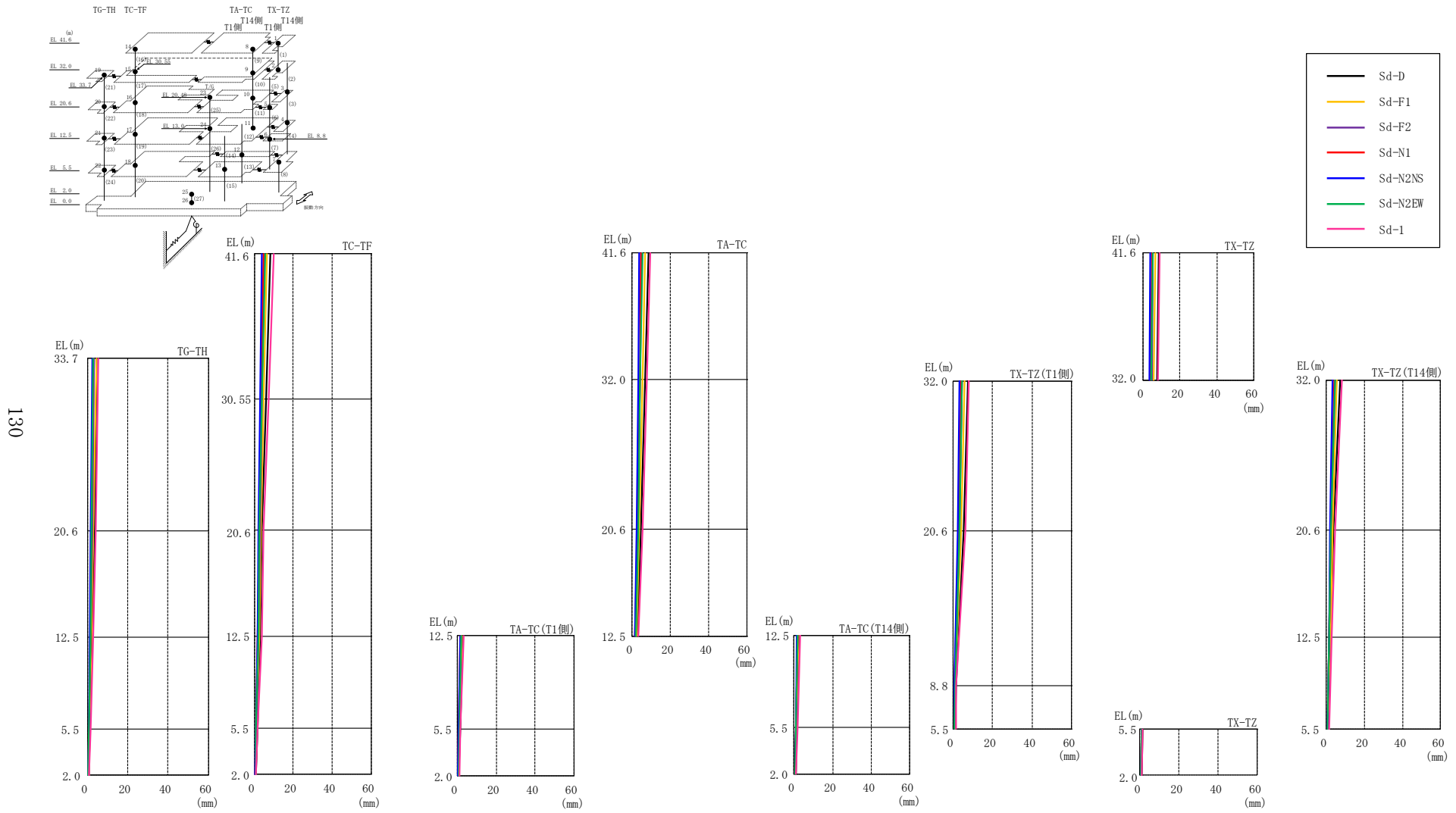
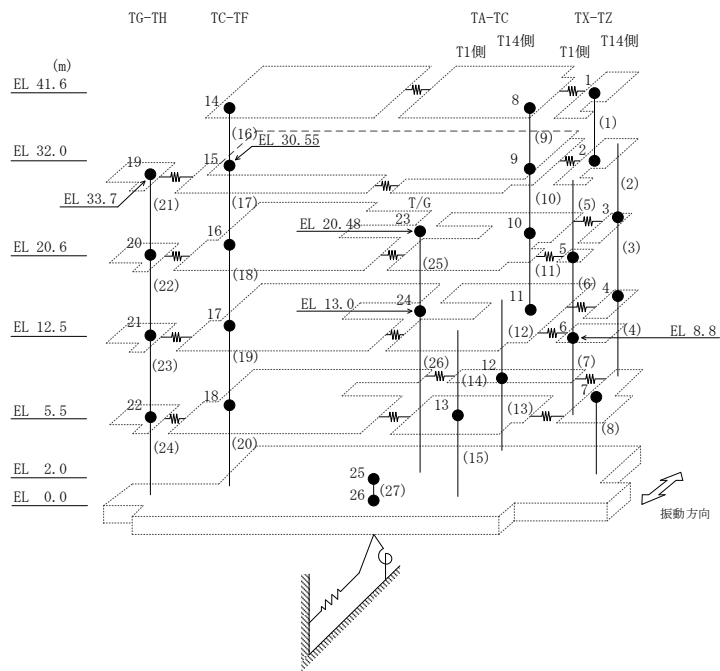


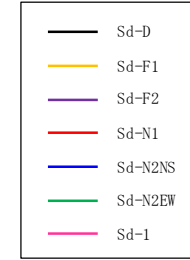
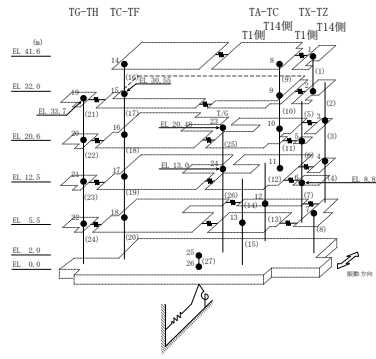
図 4-23 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

表 4-22 最大応答変位一覧（弾性設計用地震動 S d , E W 方向）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
TX-TZ	41.6	1	8.55	6.61	5.27	4.68	3.93	5.22	9.08	9.08
	32.0	2	7.58	5.78	4.65	4.14	3.46	4.62	8.19	8.19
TX-TZ(T14側)	20.6	3	3.95	3.45	2.60	2.49	2.18	2.74	4.53	4.53
	12.5	4	2.67	2.34	1.80	1.60	1.51	1.83	3.16	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	5.58	4.33	3.33	3.03	2.59	3.47	6.58	6.58
	8.8	6	1.50	1.33	1.08	0.81	0.84	1.03	1.69	1.69
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.15	0.94	0.71	0.73	0.88	1.48	1.48
TA-TC	41.6	8	8.57	6.72	5.19	4.73	3.98	5.38	9.60	9.60
	32.0	9	6.81	5.58	4.36	4.00	3.30	4.36	7.85	7.85
	20.6	10	4.62	3.98	3.00	2.88	2.44	3.13	5.53	5.53
	12.5	11	2.85	2.51	1.90	1.74	1.60	1.94	3.28	3.28
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.52	1.33	1.11	0.84	0.87	1.00	1.74	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.46	1.29	1.04	0.79	0.81	0.98	1.68	1.68
TC-TF	41.6	14	8.18	6.26	5.19	4.56	3.78	5.44	10.14	10.14
	30.55	15	5.94	4.76	4.01	3.50	2.84	3.81	7.44	7.44
	20.6	16	3.95	3.49	2.77	2.45	1.93	2.55	4.74	4.74
	12.5	17	3.05	2.72	2.04	1.85	1.52	1.99	3.85	3.85
	5.5	18	1.47	1.36	1.04	0.86	0.83	1.00	1.69	1.69
TG-TH	33.7	19	4.76	4.40	3.31	2.79	2.47	2.99	5.29	5.29
	20.6	20	3.55	3.08	2.46	2.13	1.84	2.23	4.03	4.03
	12.5	21	2.51	2.22	1.68	1.44	1.33	1.61	2.89	2.89
	5.5	22	1.38	1.24	0.99	0.80	0.79	0.91	1.63	1.63
	2.0	25	0.86	0.73	0.63	0.49	0.51	0.57	0.97	0.97

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。





132

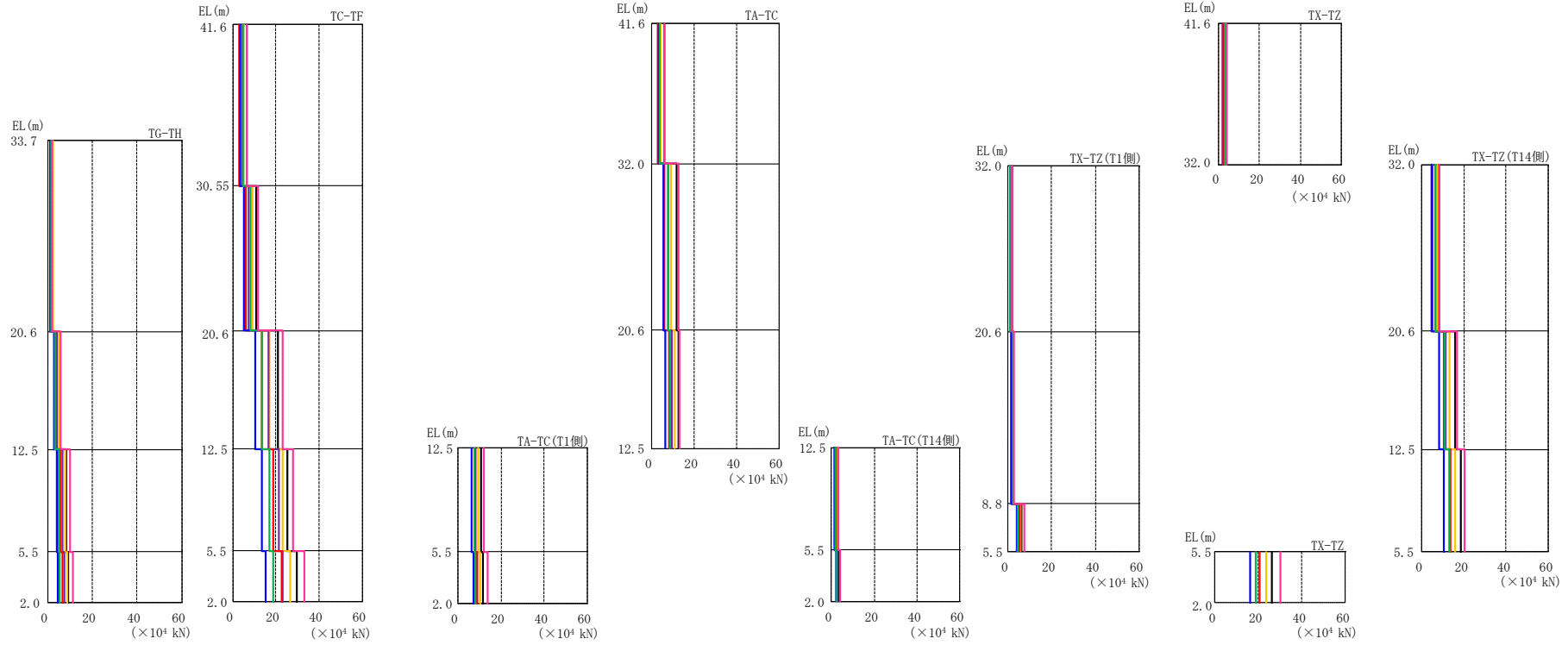
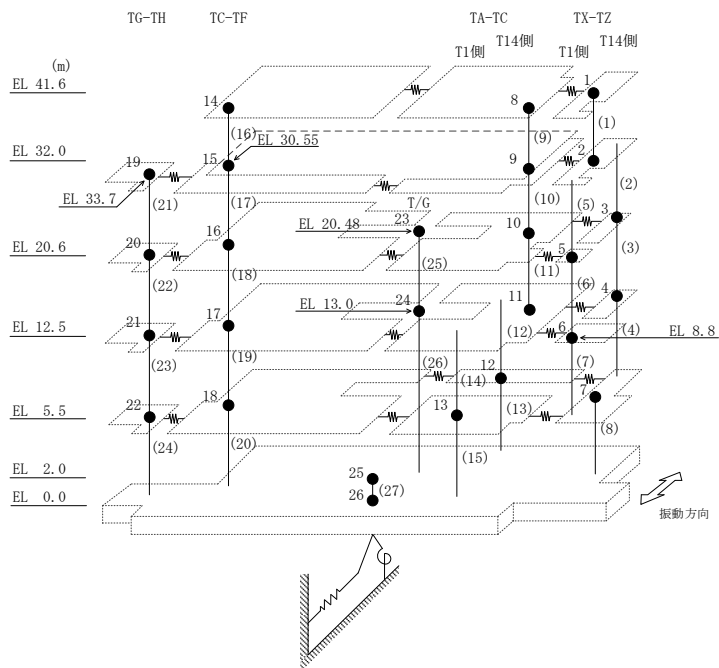


図 4-24 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

表 4-23 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.37	2.60	2.15	2.30	2.96	4.14	4.14
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	8.27	7.48	6.67	5.31	4.62	6.46	8.19	8.27
	20.6~12.5	3	15.8	13.3	11.4	10.6	8.14	11.0	16.8	16.8
	12.5~5.5	4	18.6	16.1	13.3	13.5	10.7	13.2	20.2	20.2
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.06	1.58	1.34	1.15	1.11	1.38	1.96	2.06
	20.6~8.8	6	2.75	2.56	2.45	2.25	1.75	2.44	2.90	2.90
	8.8~5.5	7	6.29	6.02	4.87	5.51	4.30	4.81	7.80	7.80
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	23.4	18.8	20.7	16.3	18.7	29.9	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	4.34	3.53	2.85	3.17	3.85	6.20	6.20
	32.0~20.6	10	11.7	9.08	7.56	6.02	5.73	7.65	12.6	12.6
	20.6~12.5	11	12.8	10.7	9.38	8.27	6.39	8.69	13.2	13.2
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.33	2.07	1.89	1.45	1.87	3.19	3.19
	5.5~2.0	13	3.24	2.82	2.43	2.62	2.13	2.23	4.06	4.06
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	10.9	9.58	8.07	8.01	6.29	7.71	12.2	12.2
	5.5~2.0	15	11.6	10.5	8.43	9.17	7.17	8.18	13.9	13.9
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	5.12	4.31	3.18	3.19	4.65	6.60	6.60
	30.55~20.6	17	11.0	9.02	7.36	5.83	5.34	8.06	11.9	11.9
	20.6~12.5	18	20.7	17.2	16.4	13.3	10.2	13.6	23.3	23.3
	12.5~5.5	19	25.4	23.3	21.4	18.6	13.5	17.0	27.9	27.9
	5.5~2.0	20	29.7	26.8	23.1	22.7	15.4	18.8	33.0	33.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.32	1.50	1.09	1.28	1.59	2.17	2.32
	20.6~12.5	22	5.15	5.08	4.18	3.31	2.72	3.49	5.91	5.91
	12.5~5.5	23	8.44	7.95	6.78	5.85	4.14	5.14	10.2	10.2
	5.5~2.0	24	9.38	8.73	7.33	6.81	4.62	5.55	11.2	11.2

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



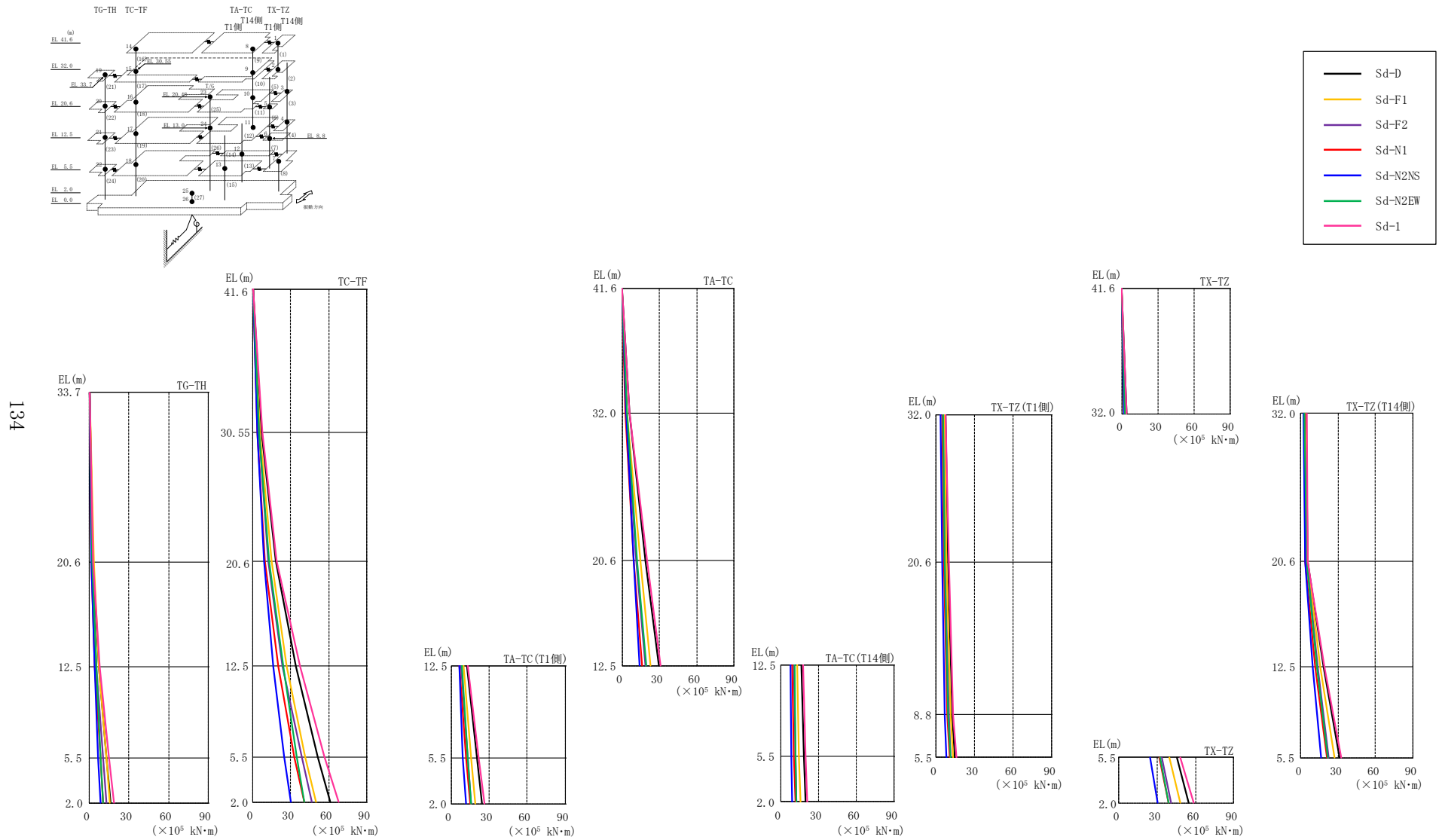


図 4-25 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S_d, E-W 方向)

表 4-24(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			3.64	3.23	2.49	2.06	2.21	2.84	3.97	3.97
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.62	3.17	2.83	2.16	3.05	4.65	4.65
			5.55	5.21	4.64	3.30	3.39	4.71	5.24	5.55
	20.6~12.5	3	5.55	5.21	4.64	3.30	3.39	4.71	5.24	5.55
			18.1	15.6	13.5	11.8	9.48	13.2	18.8	18.8
12.5~5.5	4	18.1	15.6	13.5	11.8	9.48	13.2	18.8	18.8	
		31.0	26.8	22.6	21.3	16.5	21.9	32.6	32.6	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	6.58	5.53	4.74	3.89	5.45	7.73	7.73
			9.69	8.36	7.02	6.04	5.15	6.97	9.96	9.96
	20.6~8.8	6	9.69	8.36	7.02	6.04	5.15	6.97	9.96	9.96
			12.9	11.3	9.89	8.65	6.95	9.70	13.2	13.2
8.8~5.5	7	12.9	11.3	9.89	8.65	6.95	9.70	13.2	13.2	
		14.9	13.2	11.4	10.5	8.28	11.1	15.8	15.8	
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	39.8	34.1	31.7	24.8	32.8	48.4	48.4
			55.0	47.9	40.7	39.0	30.3	39.3	58.7	58.7
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			5.77	4.17	3.39	2.74	3.04	3.70	5.95	5.95
	32.0~20.6	10	5.77	4.17	3.39	2.74	3.04	3.70	5.95	5.95
			19.1	14.5	11.5	9.45	9.56	12.3	20.3	20.3
20.6~12.5	11	19.1	14.5	11.5	9.45	9.56	12.3	20.3	20.3	
		29.3	22.8	18.8	15.9	14.0	19.2	30.9	30.9	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

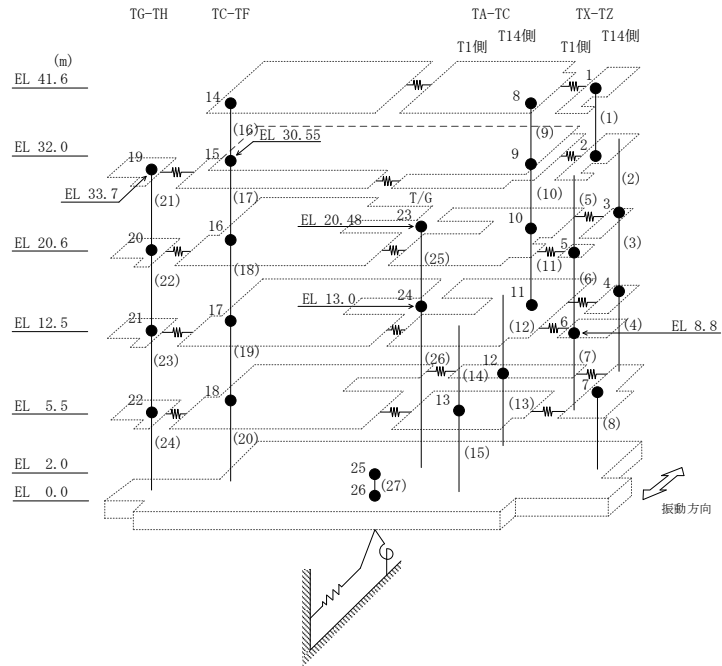


表 4-24(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8 18.6	13.2 14.7	10.8 12.2	9.55 10.9	7.82 8.69	11.0 12.2	17.8 20.0	17.8 20.0
	5.5~2.0	13	18.6 19.8	14.7 15.7	12.2 12.9	10.9 11.8	8.69 9.32	12.2 12.9	20.0 21.4	20.0 21.4
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.5 20.1	9.56 15.9	7.97 13.2	6.38 11.9	6.21 9.40	8.26 13.1	13.1 21.5	13.1 21.5
	5.5~2.0	15	20.1 24.1	15.9 19.4	13.2 16.0	11.9 15.1	9.40 11.7	13.1 15.7	21.5 26.3	21.5 26.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.12	0.00 5.66	0.00 4.76	0.00 3.52	0.00 3.53	0.00 5.13	0.00 7.29	— 7.29
	30.55~20.6	17	7.12 18.0	5.66 14.5	4.76 12.1	3.52 9.28	3.53 8.78	5.13 13.1	7.29 19.1	7.29 19.1
	20.6~12.5	18	18.0 33.8	14.5 26.9	12.1 23.6	9.28 19.8	8.78 16.2	13.1 23.8	19.1 37.5	19.1 37.5
	12.5~5.5	19	33.8 51.3	26.9 41.4	23.6 38.6	19.8 32.6	16.2 25.0	23.8 34.7	37.5 56.4	37.5 56.4
	5.5~2.0	20	51.3 60.8	41.4 50.1	38.6 46.5	32.6 40.4	25.0 29.8	34.7 40.7	56.4 67.7	56.4 67.7
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.74	0.00 3.04	0.00 1.96	0.00 1.43	0.00 1.68	0.00 2.09	0.00 2.85	— 3.04
	20.6~12.5	22	2.74 6.91	3.04 7.10	1.96 5.26	1.43 4.11	1.68 3.87	2.09 4.91	2.85 7.64	3.04 7.64
	12.5~5.5	23	6.91 12.7	7.10 12.6	5.26 10.0	4.11 8.21	3.87 6.70	4.91 8.50	7.64 14.6	7.64 14.6
	5.5~2.0	24	12.7 16.0	12.6 15.6	10.0 12.6	8.21 10.6	6.70 8.19	8.50 10.4	14.6 18.4	14.6 18.4

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

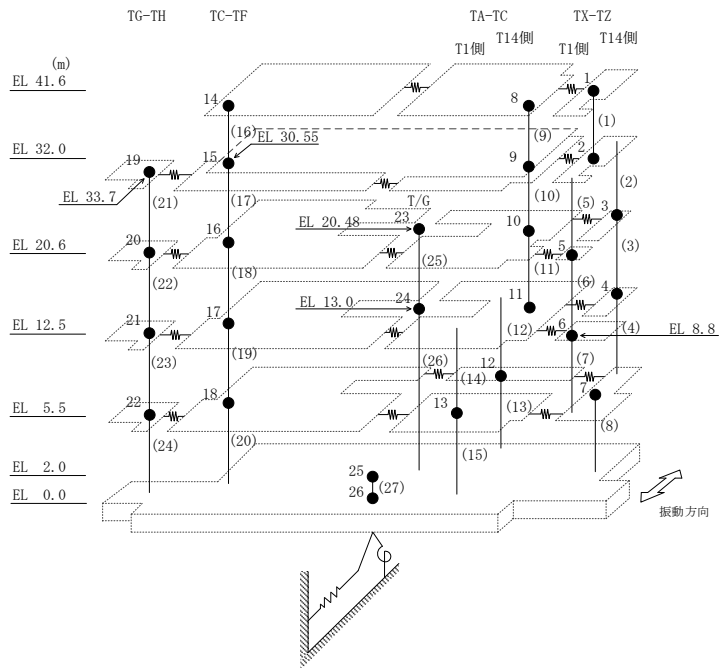
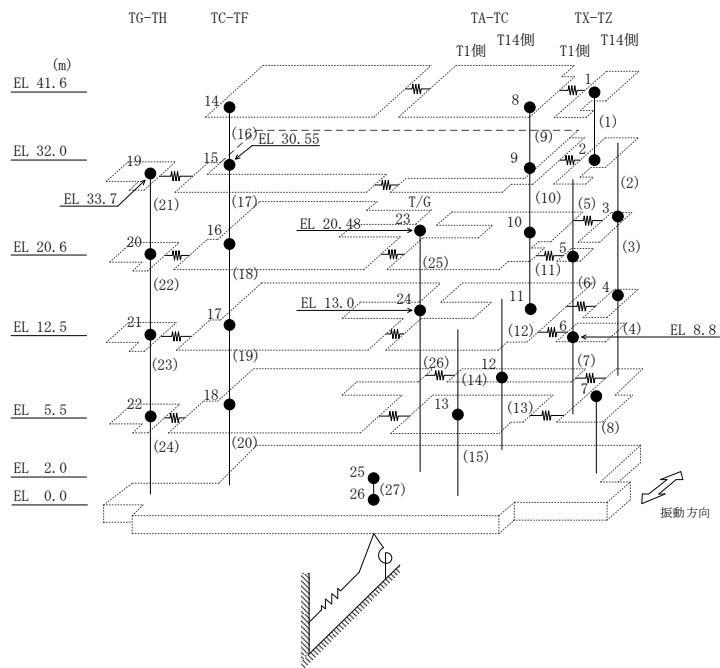


表 4-25 最大応答せん断ひずみ一覧 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)							Sd-1	最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW			
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.10	0.09	0.07	0.06	0.06	0.08	0.11	0.11	
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	0.32	0.21	0.18	0.14	0.12	0.17	0.32	0.32	
	20.6~12.5	3	0.16	0.13	0.11	0.11	0.08	0.11	0.17	0.17	
TX-TZ (T1側)	12.5~5.5	4	0.19	0.17	0.14	0.14	0.11	0.14	0.26	0.26	
	32.0~20.6	5	0.18	0.14	0.12	0.10	0.10	0.12	0.17	0.18	
TX-TZ (T1側)	20.6~8.8	6	0.34	0.25	0.21	0.19	0.15	0.21	0.42	0.42	
	8.8~5.5	7	0.06	0.05	0.04	0.05	0.04	0.04	0.07	0.07	
TX-TZ	5.5~2.0	8	0.13	0.12	0.10	0.11	0.08	0.10	0.15	0.15	
TA-TC	41.6~32.0	9	0.18	0.13	0.10	0.08	0.09	0.11	0.18	0.18	
	32.0~20.6	10	0.19	0.14	0.12	0.10	0.09	0.12	0.20	0.20	
TA-TC (T14側)	20.6~12.5	11	0.22	0.18	0.16	0.14	0.11	0.14	0.27	0.27	
	12.5~5.5	12	0.19	0.17	0.15	0.13	0.10	0.13	0.23	0.23	
TA-TC (T1側)	5.5~2.0	13	0.20	0.17	0.15	0.16	0.13	0.13	0.24	0.24	
	12.5~5.5	14	0.19	0.17	0.14	0.14	0.11	0.14	0.25	0.25	
TA-TC (T1側)	5.5~2.0	15	0.18	0.16	0.13	0.14	0.11	0.13	0.21	0.21	
	41.6~30.55	16	0.20	0.16	0.13	0.10	0.10	0.14	0.24	0.24	
TC-TF	30.55~20.6	17	0.20	0.16	0.13	0.11	0.10	0.15	0.27	0.27	
	20.6~12.5	18	0.11	0.09	0.09	0.07	0.05	0.07	0.12	0.12	
TC-TF	12.5~5.5	19	0.22	0.19	0.18	0.15	0.11	0.14	0.33	0.33	
	5.5~2.0	20	0.20	0.18	0.15	0.15	0.10	0.12	0.22	0.22	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.09	0.10	0.06	0.05	0.06	0.07	0.09	0.10	
	20.6~12.5	22	0.13	0.12	0.10	0.08	0.07	0.09	0.14	0.14	
TG-TH	12.5~5.5	23	0.16	0.15	0.13	0.11	0.08	0.10	0.19	0.19	
	5.5~2.0	24	0.17	0.16	0.13	0.12	0.08	0.10	0.20	0.20	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



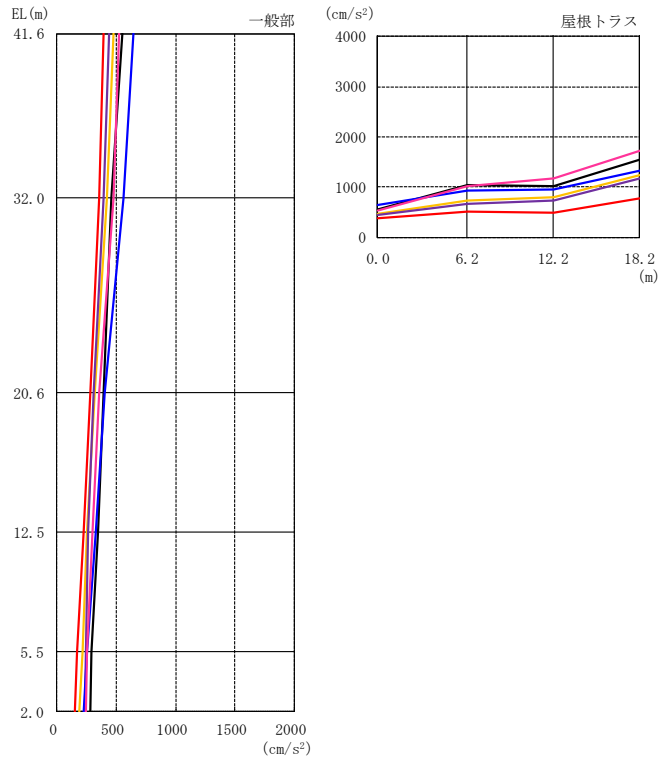
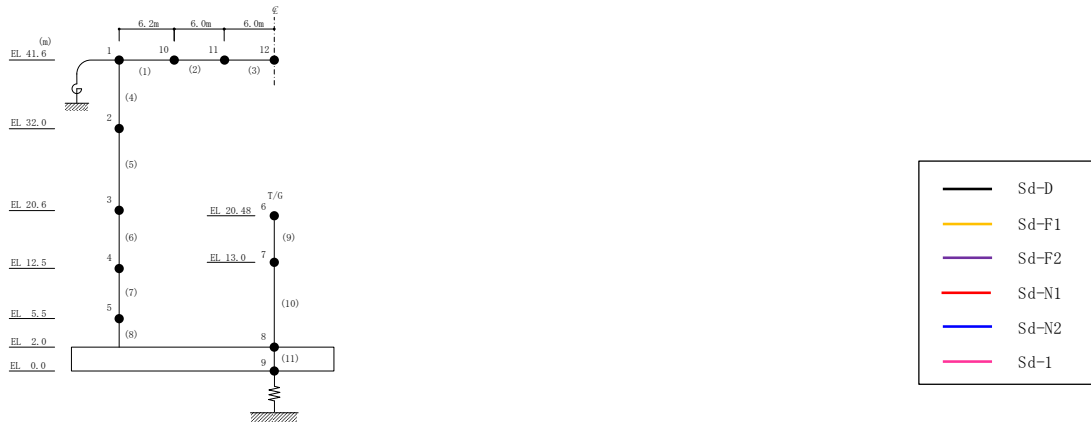


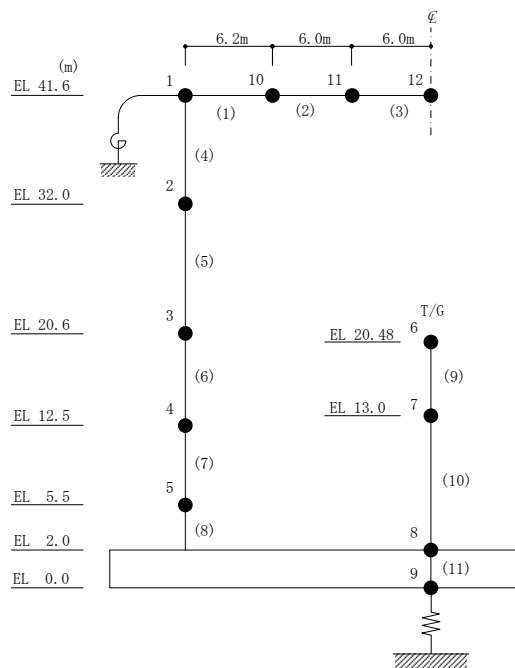
図 4-26 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

表 4-26 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)						最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	
一般部	41.6	1	553	473	442	388	642	525	642
	32.0	2	461	420	391	355	559	473	559
	20.6	3	394	320	310	281	402	355	402
	12.5	4	348	253	257	228	324	300	348
	5.5	5	289	214	246	169	254	257	289
	2.0	8	277	189	235	147	220	238	277
屋根 トラス	0.0	1	553	473	442	388	642	525	642
	6.2	10	1030	732	663	514	921	1011	1030
	12.2	11	1008	805	735	498	962	1183	1183
	18.2	12	1544	1230	1166	770	1317	1723	1723

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



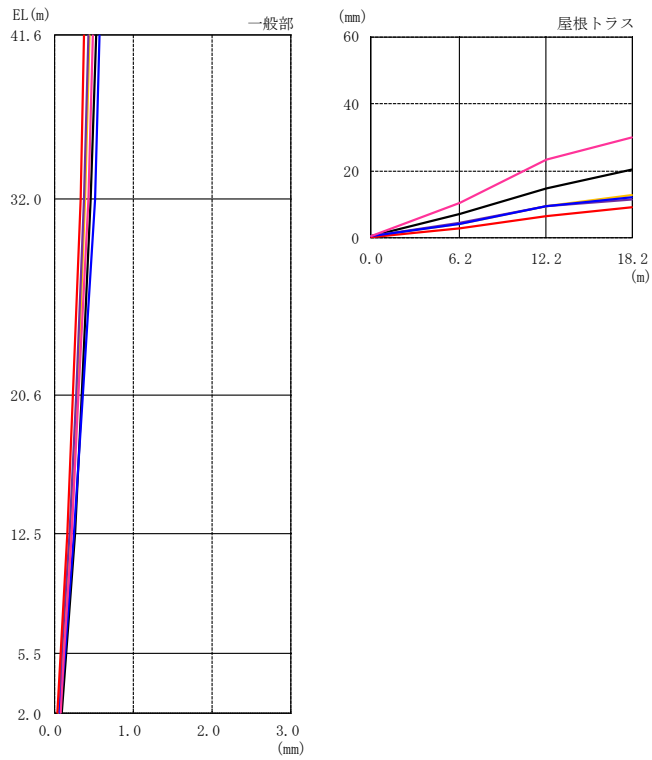
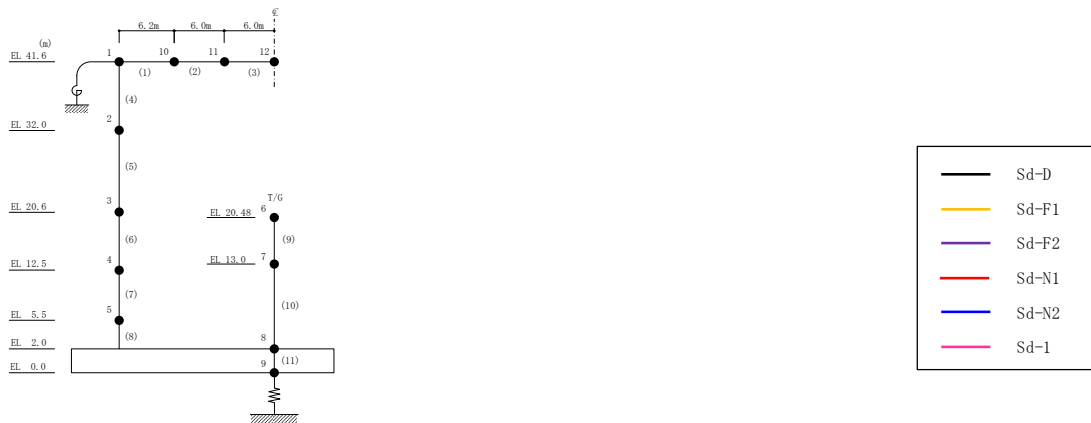


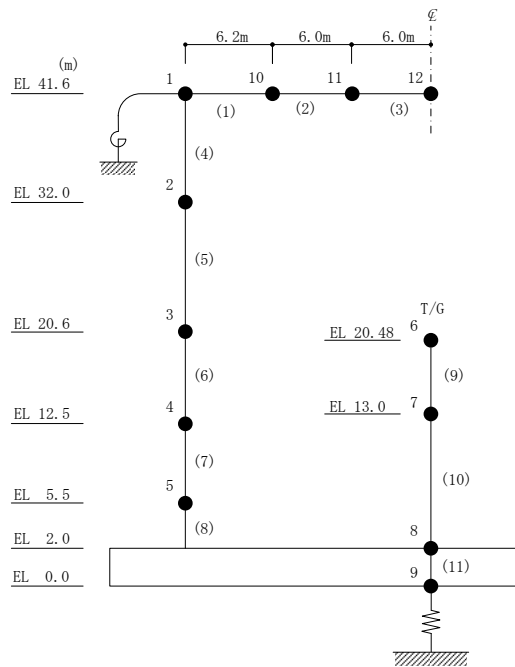
図 4-27 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

表 4-27 最大応答変位一覧（弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)						最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	
一般部	41.6	1	0.52	0.45	0.43	0.38	0.57	0.50	0.57
	32.0	2	0.47	0.40	0.38	0.33	0.51	0.43	0.51
	20.6	3	0.35	0.29	0.27	0.24	0.37	0.31	0.37
	12.5	4	0.26	0.20	0.19	0.16	0.26	0.22	0.26
	5.5	5	0.15	0.11	0.10	0.08	0.14	0.13	0.15
	2.0	8	0.09	0.05	0.07	0.04	0.07	0.08	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.45	0.43	0.38	0.57	0.50	0.57
	6.2	10	7.24	4.28	4.55	2.96	4.30	10.34	10.34
	12.2	11	14.94	9.60	9.42	6.67	9.49	23.29	23.29
	18.2	12	20.29	12.84	11.48	9.01	12.28	29.86	29.86

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



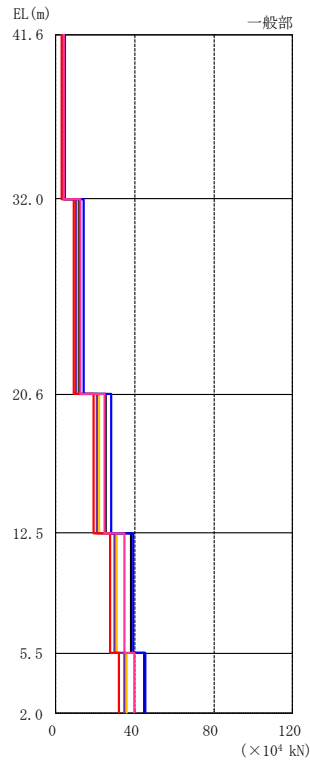
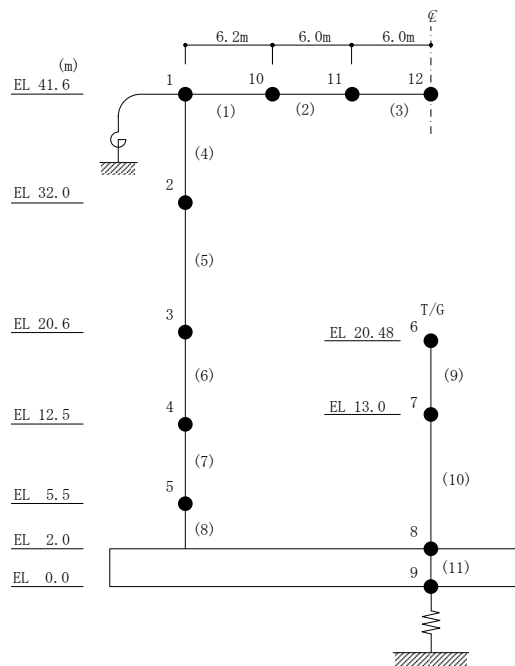


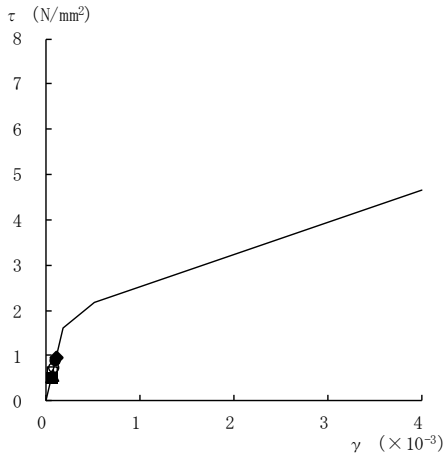
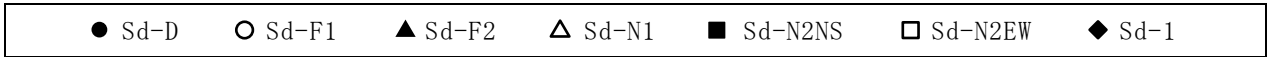
図 4-28 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）

表 4-28 最大応答軸力一覧（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）

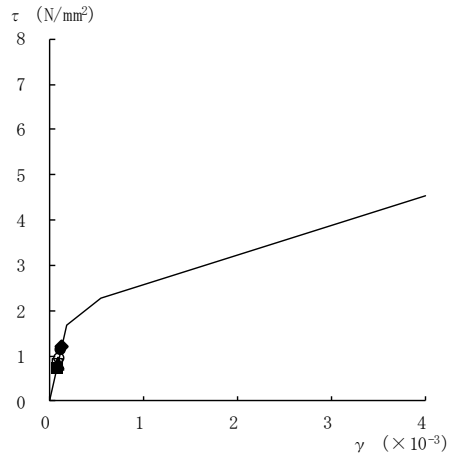
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 ⁴ kN)						
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	最大値
一般部	41.6~32.0	4	4.20	3.40	3.35	2.93	4.35	4.02	4.35
	32.0~20.6	5	12.0	10.8	10.2	9.21	13.9	12.4	13.9
	20.6~12.5	6	25.2	21.6	20.6	19.1	27.9	24.8	27.9
	12.5~5.5	7	37.9	31.0	29.7	27.6	39.2	34.9	39.2
	5.5~2.0	8	44.9	35.8	34.5	31.9	45.3	39.7	45.3

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

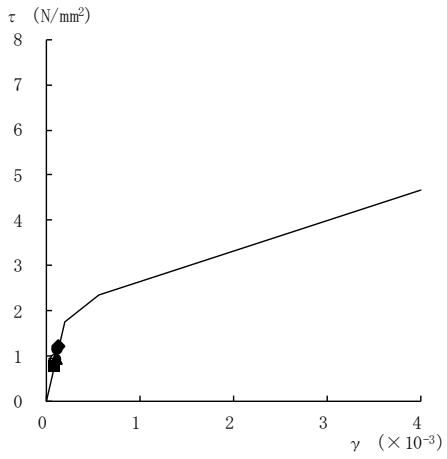




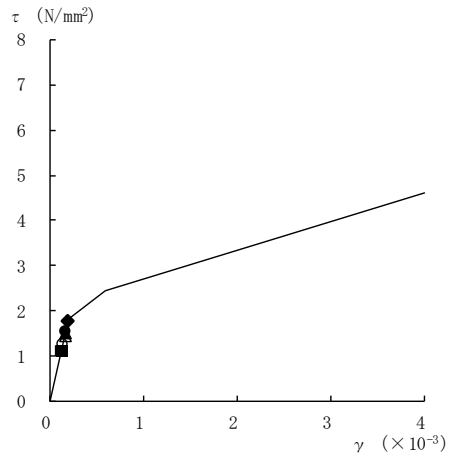
要素番号 (1)



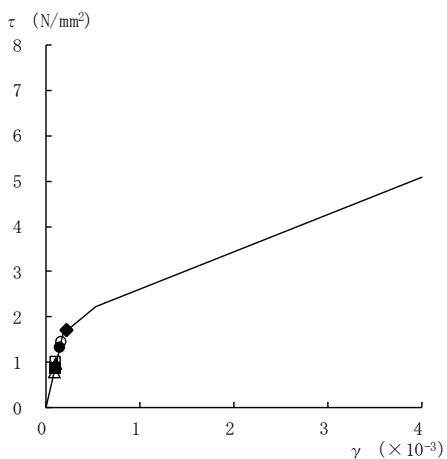
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

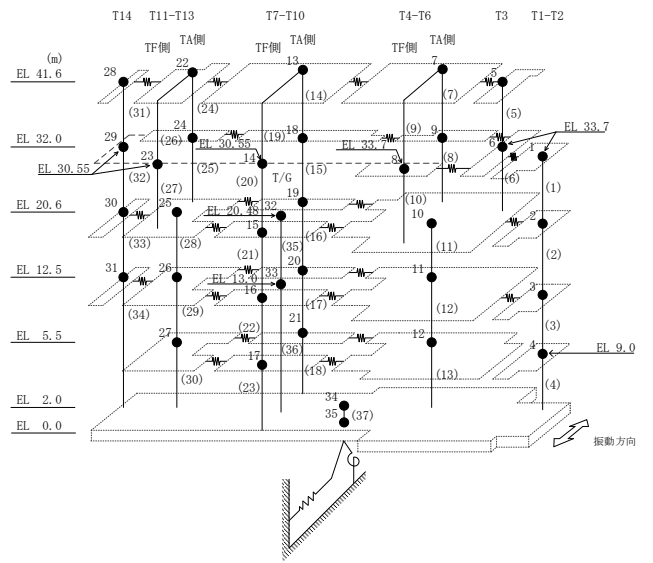
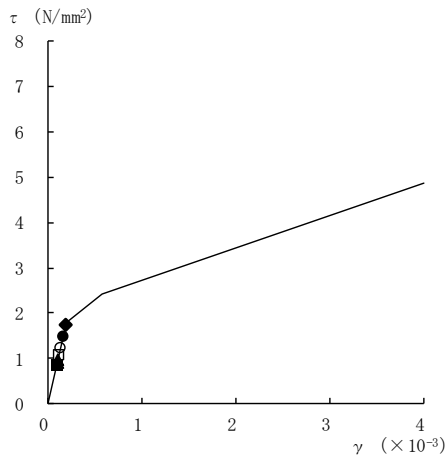
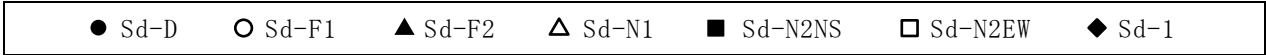
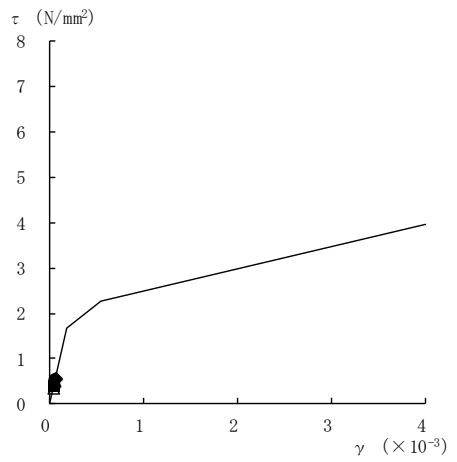


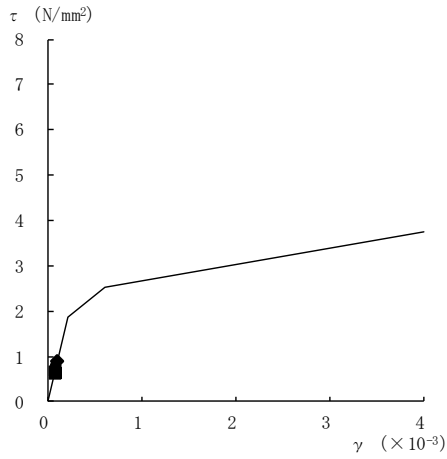
図 4-29(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, NS 方向)



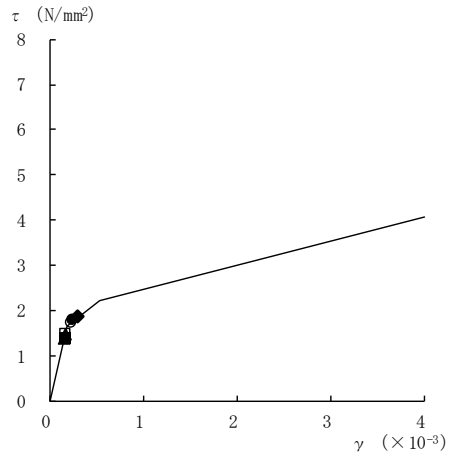
要素番号 (6)



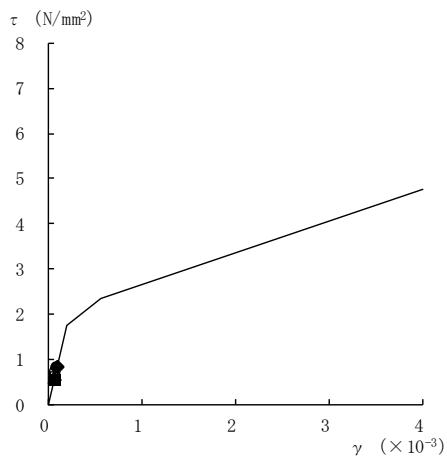
要素番号 (7)



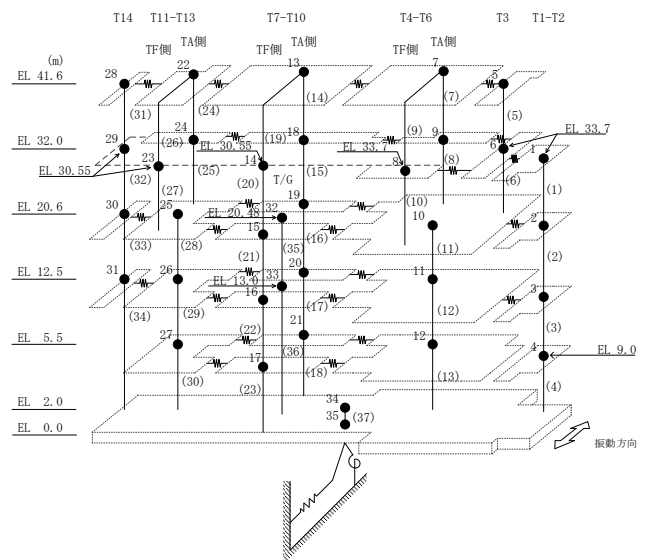
要素番号 (8)



要素番号 (10)

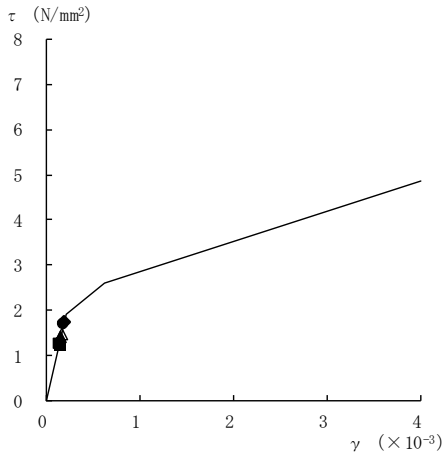
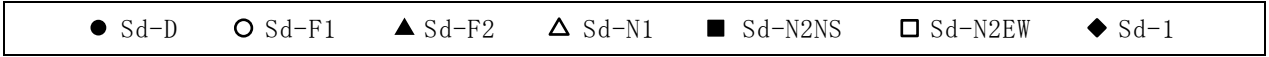


要素番号 (11)

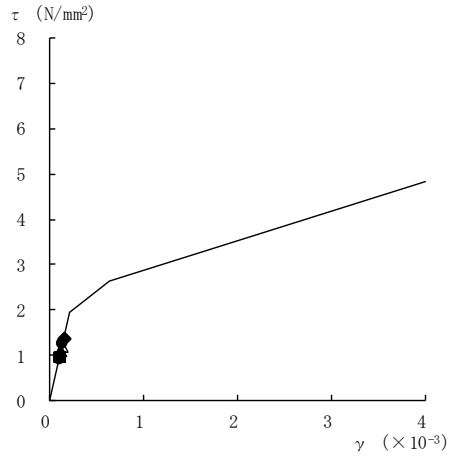


注：要素番号 9 は線形部材。

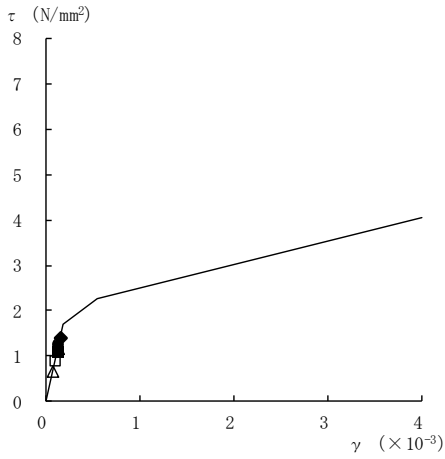
図 4-29(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S_d, NS 方向)



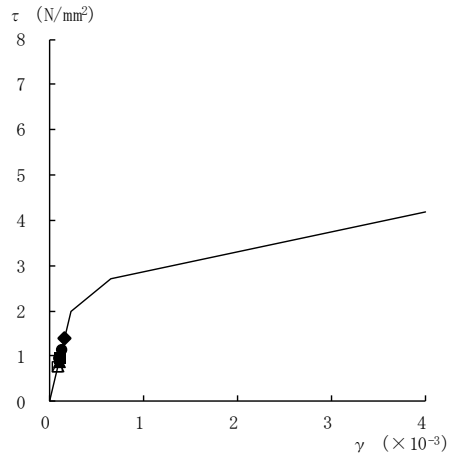
要素番号 (12)



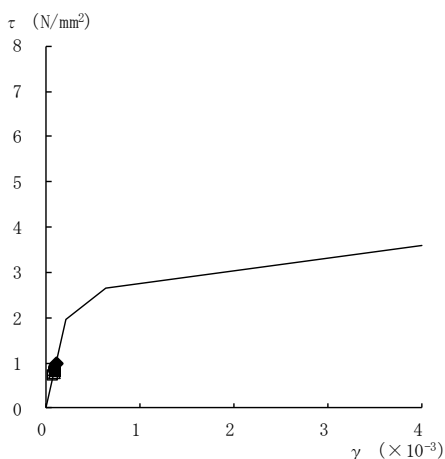
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

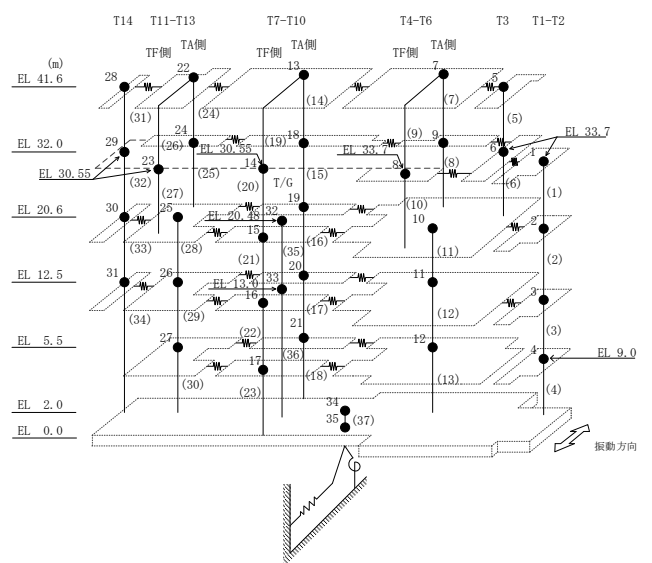
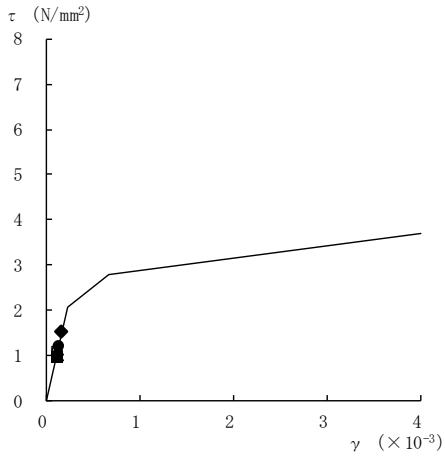
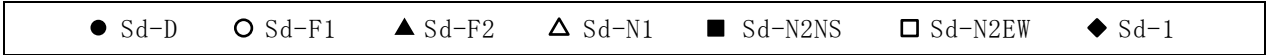
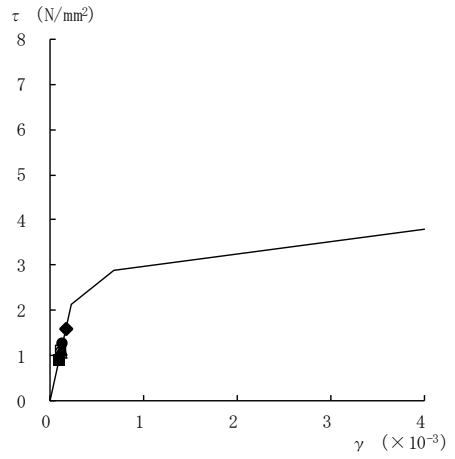


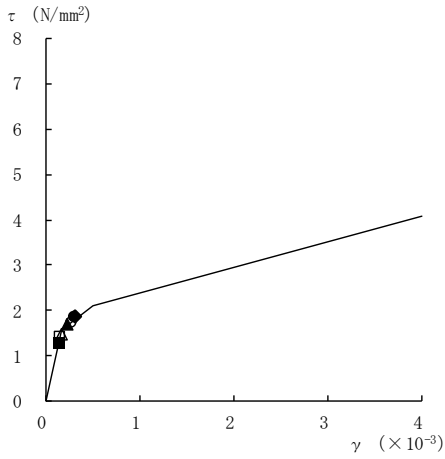
図 4-29(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, NS 方向)



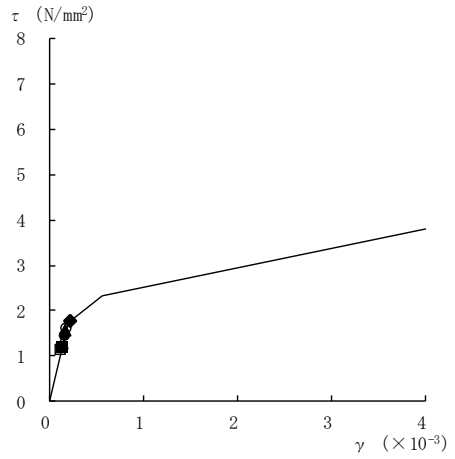
要素番号 (17)



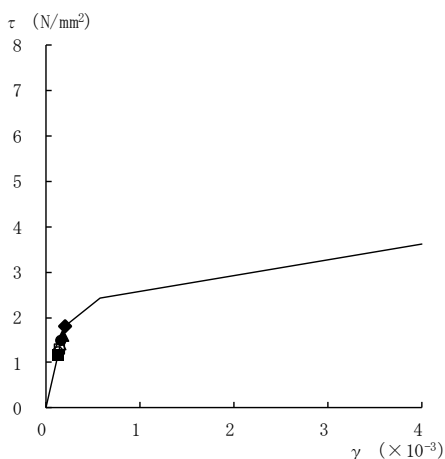
要素番号 (18)



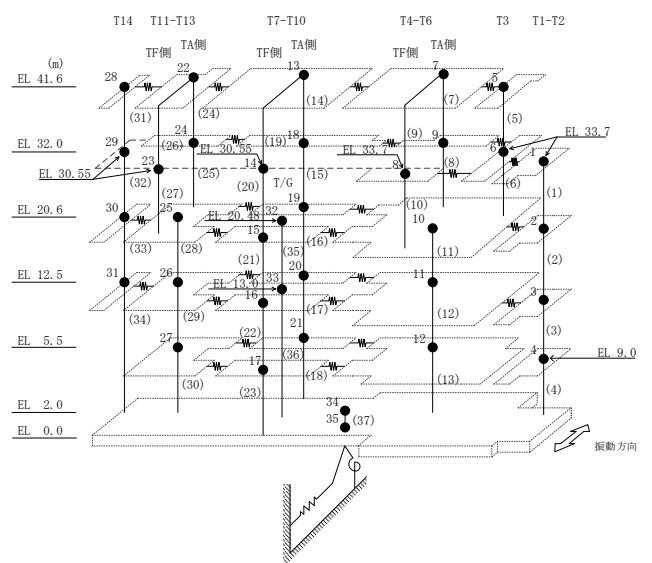
要素番号 (21)



要素番号 (22)

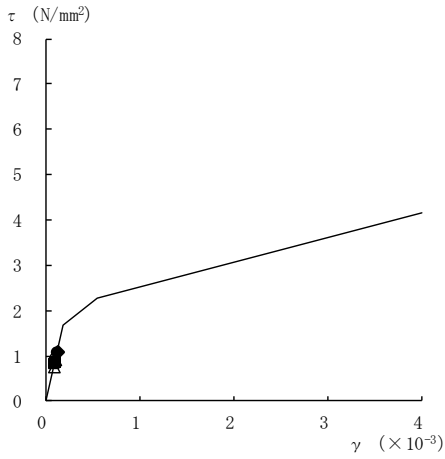
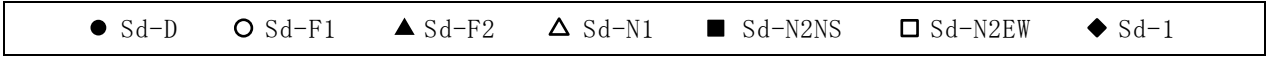


要素番号 (23)

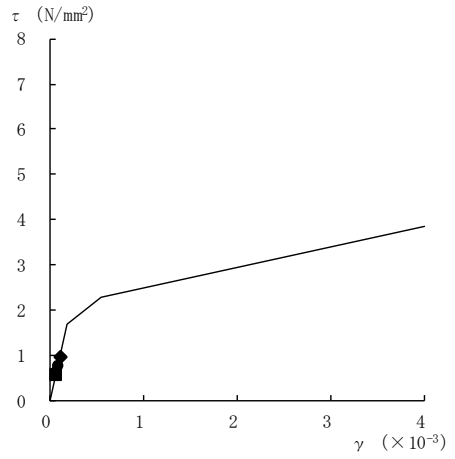


注：要素番号 19, 20 は線形部材。

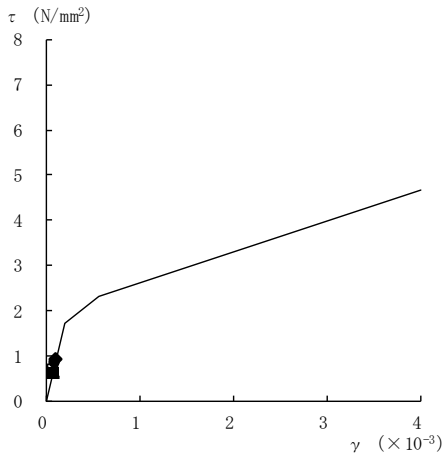
図 4-29(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S_d, NS 方向)



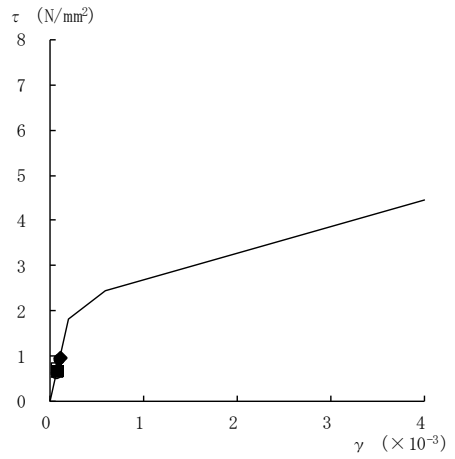
要素番号 (24)



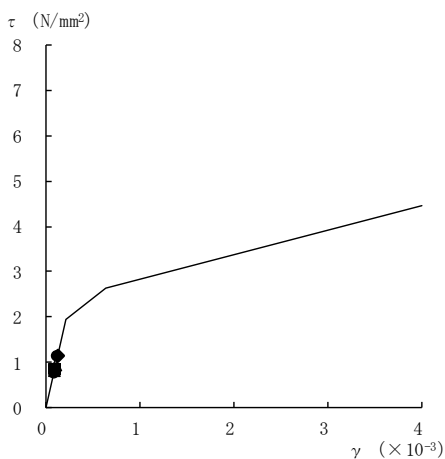
要素番号 (25)



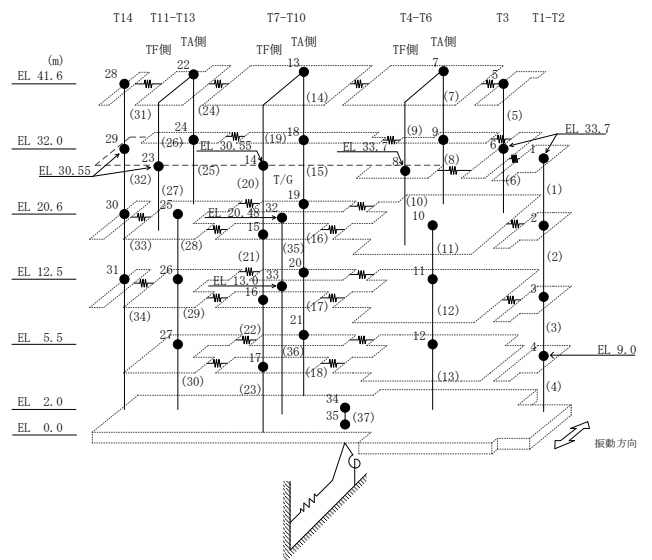
要素番号 (28)



要素番号 (29)

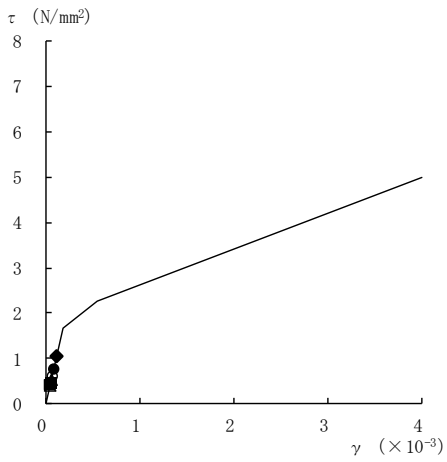
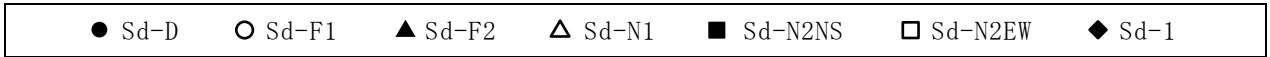


要素番号 (30)

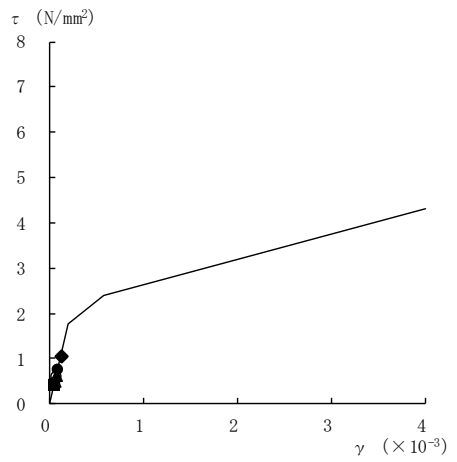


注：要素番号 26, 27 は線形部材。

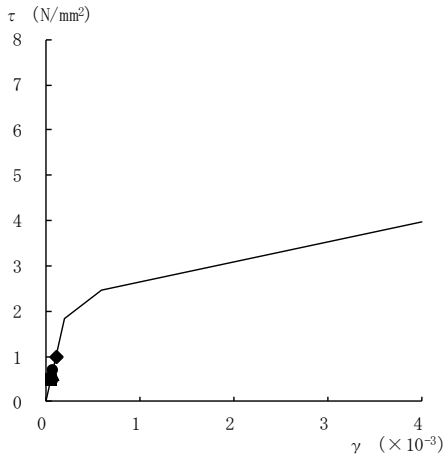
図 4-29(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, NS 方向)



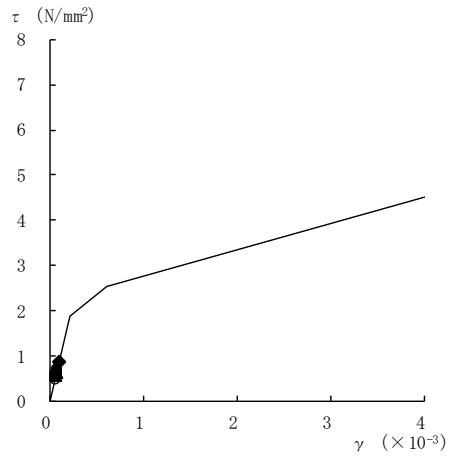
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

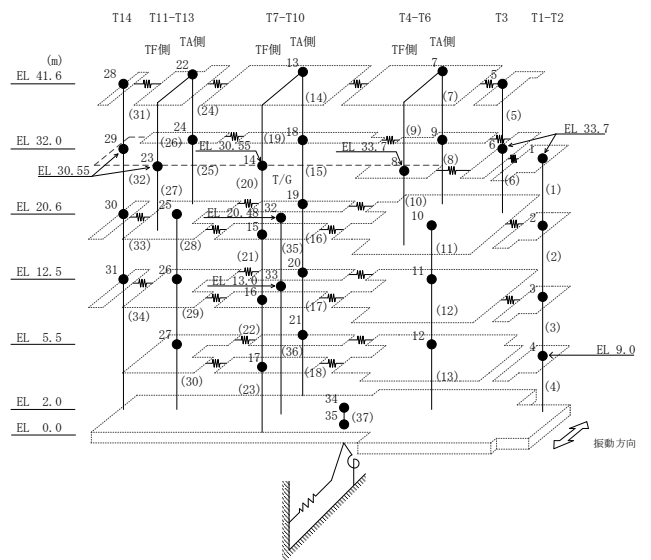
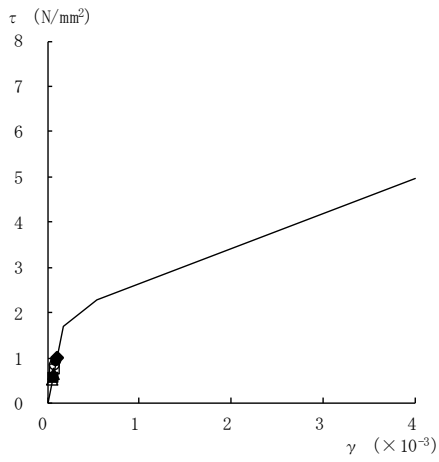
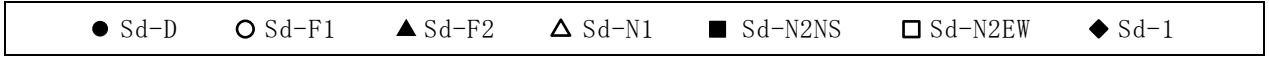
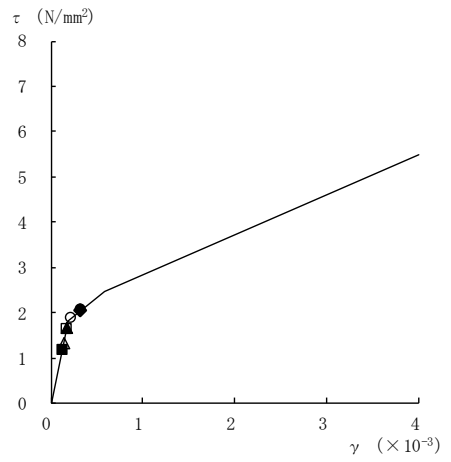


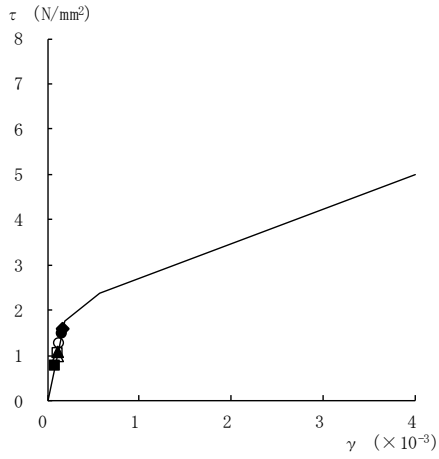
図 4-29(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d , N S 方向)



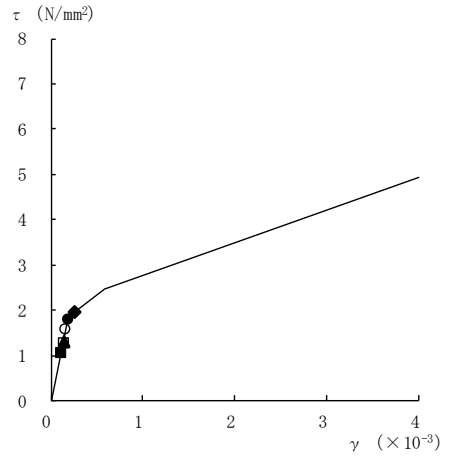
要素番号 (1)



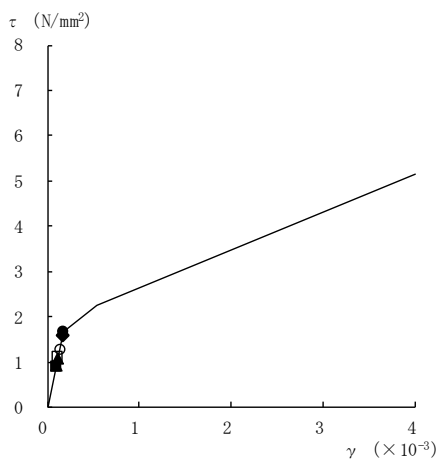
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

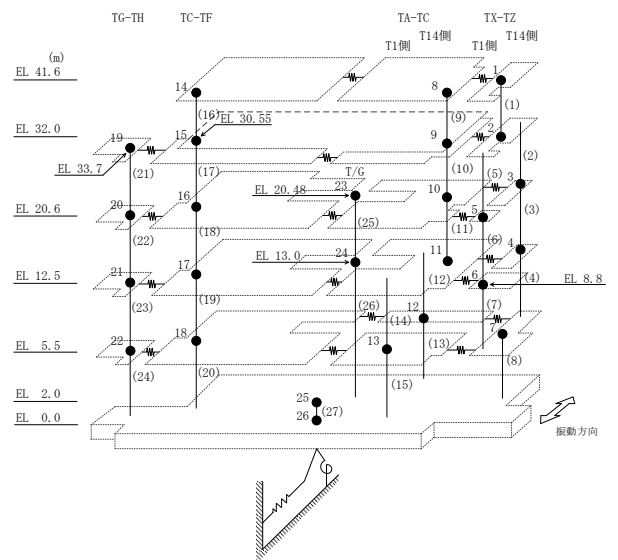
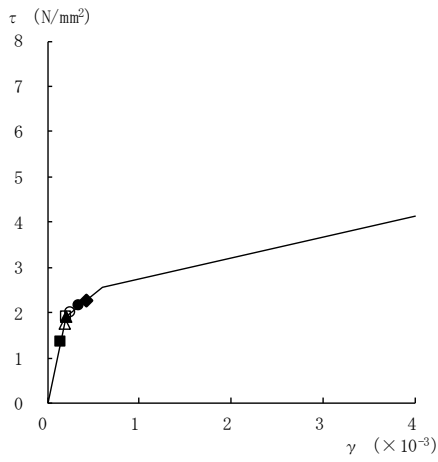
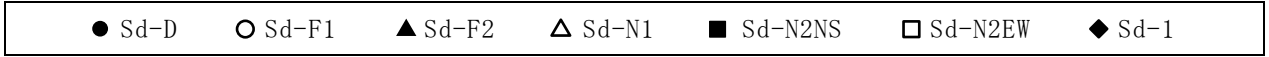
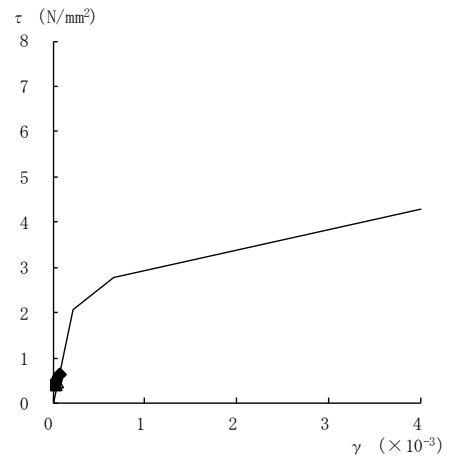


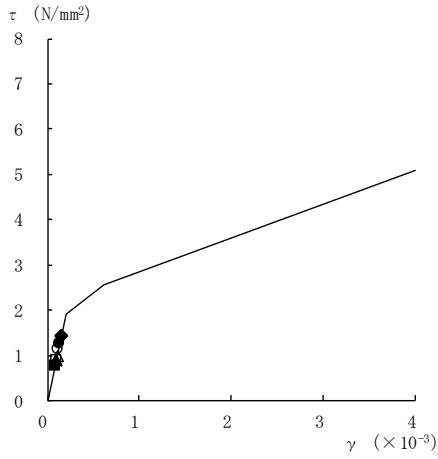
図 4-30(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



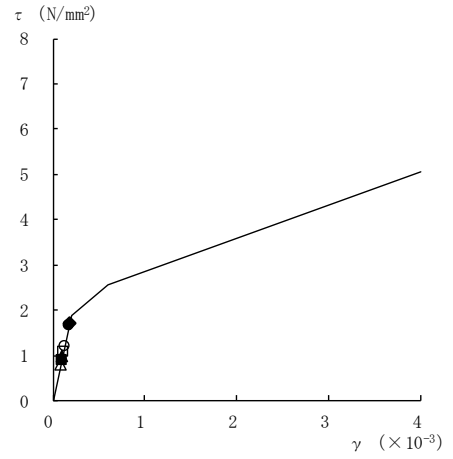
要素番号 (6)



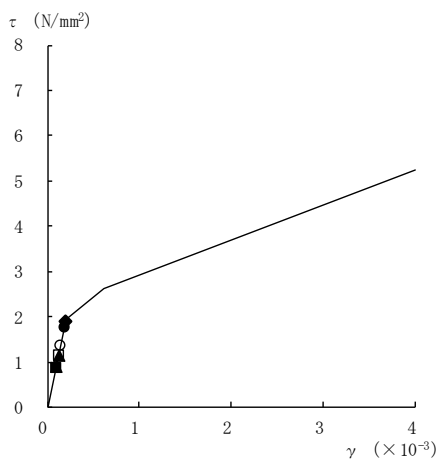
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

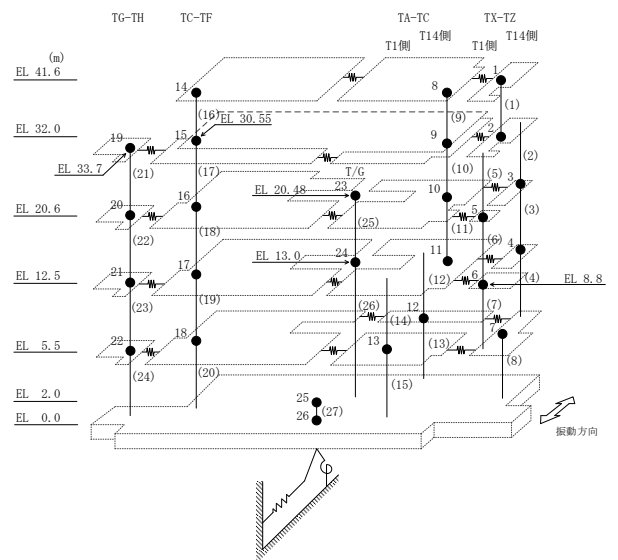
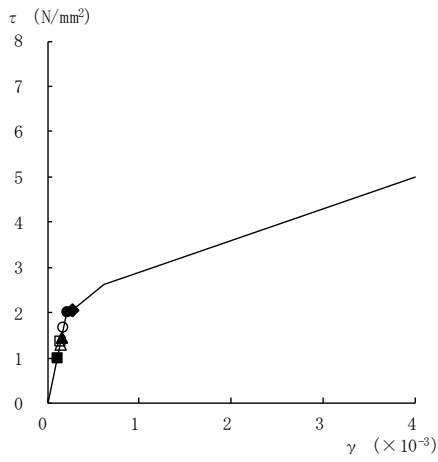
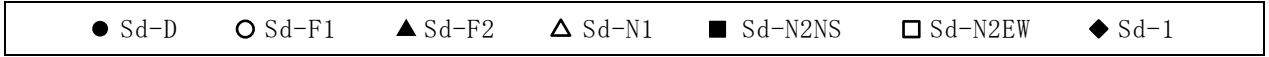
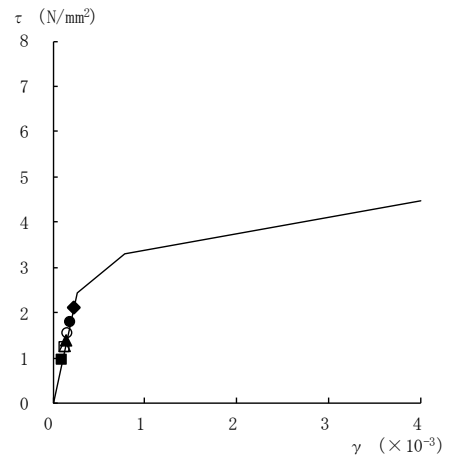


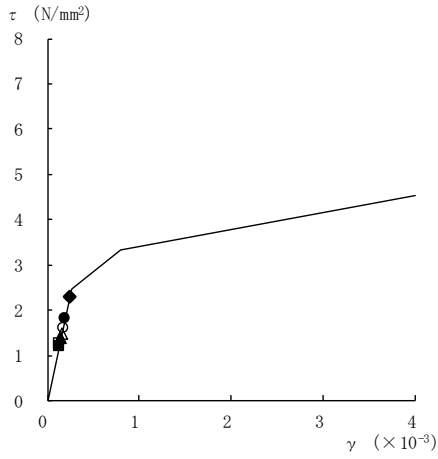
図 4-30(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



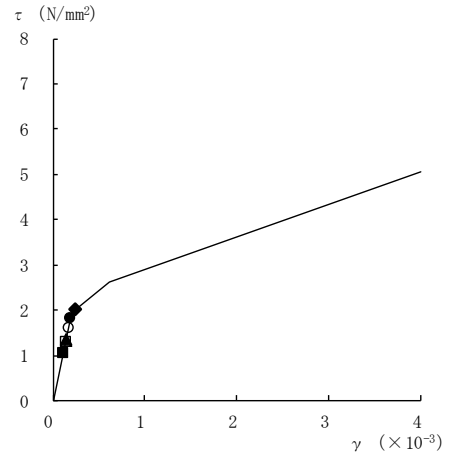
要素番号 (11)



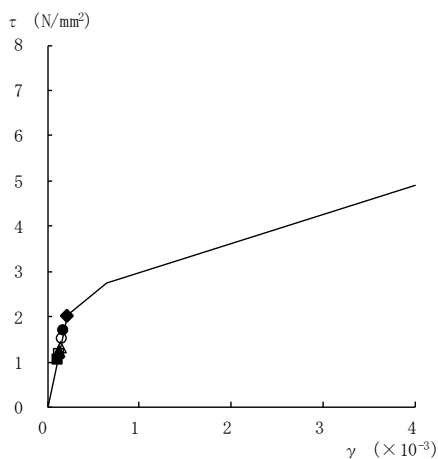
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

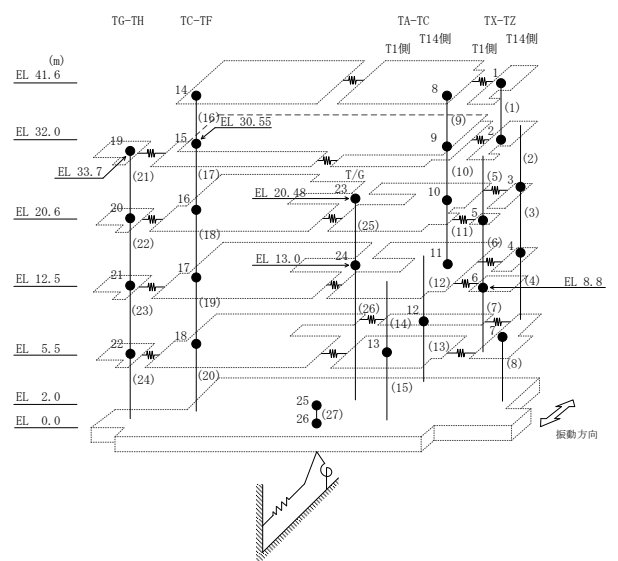
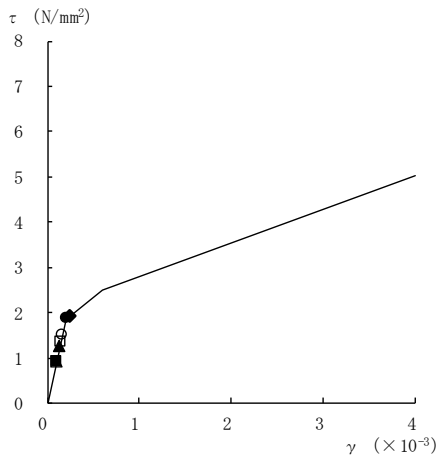
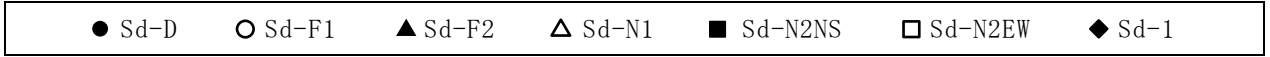
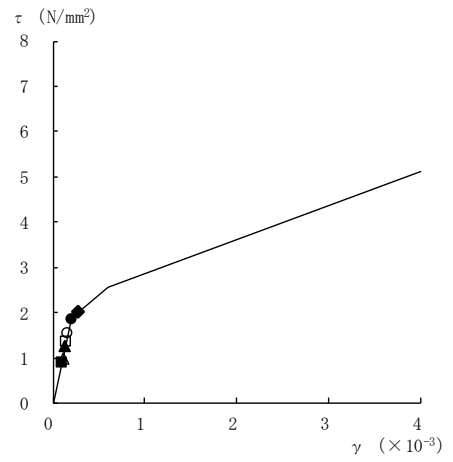


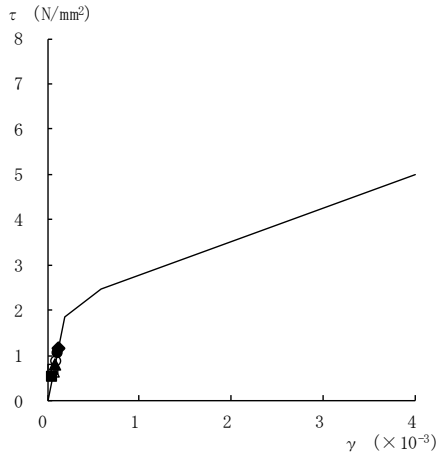
図 4-30(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



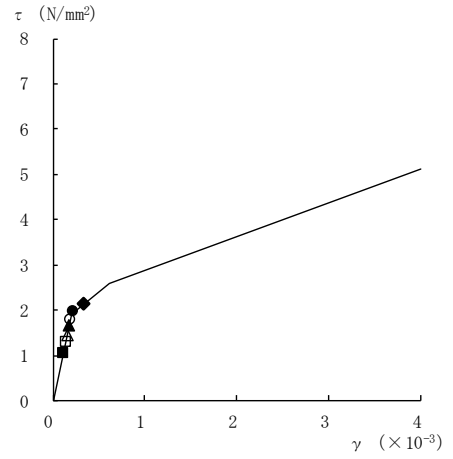
要素番号 (16)



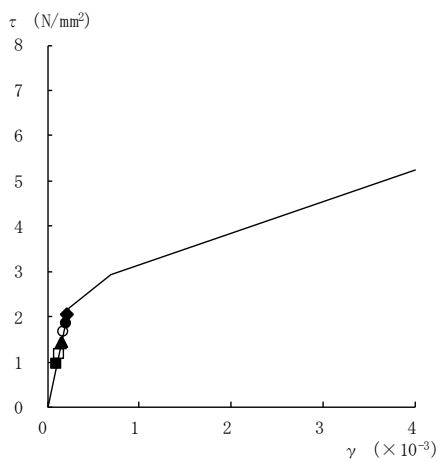
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

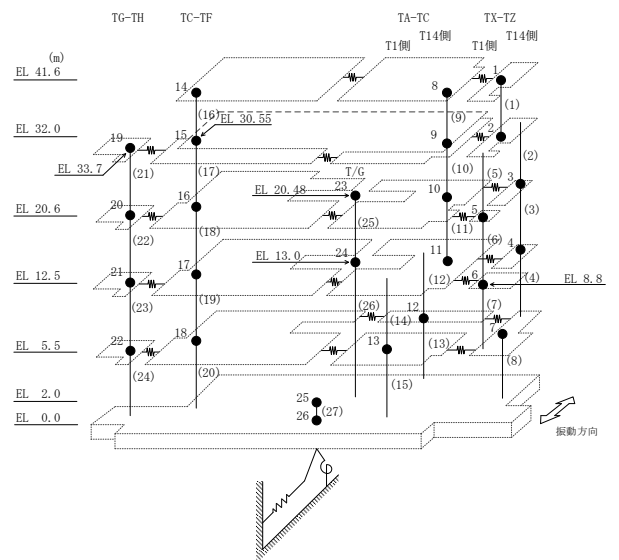
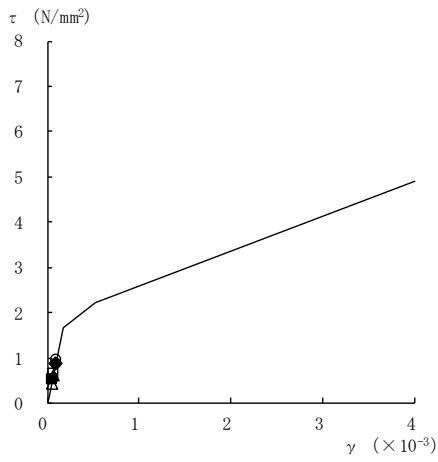
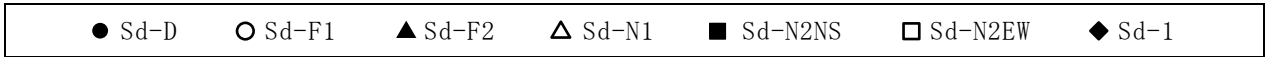
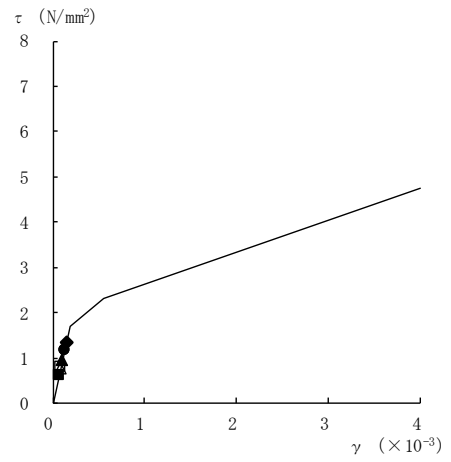


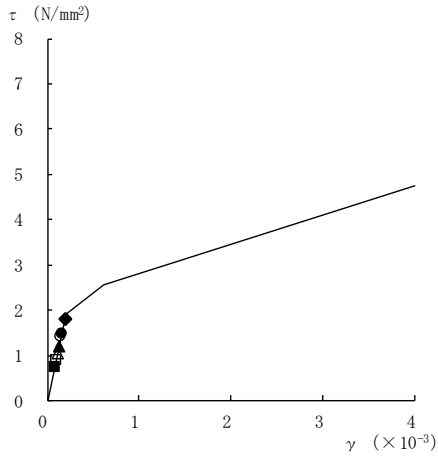
図 4-30(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, E W 方向)



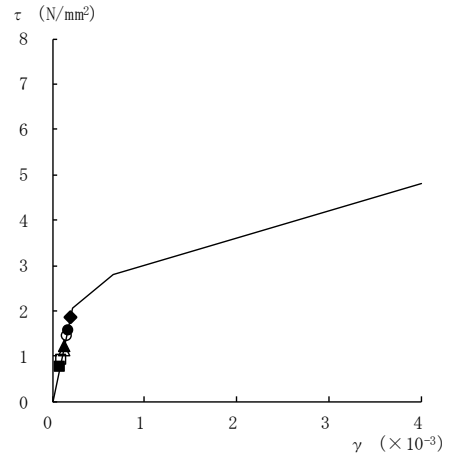
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

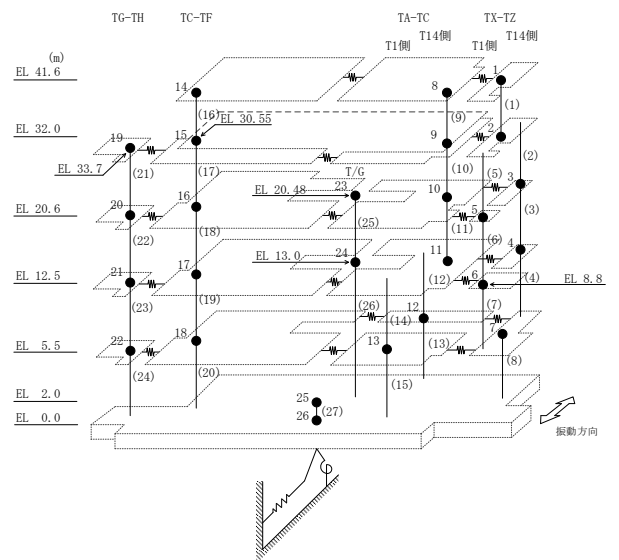
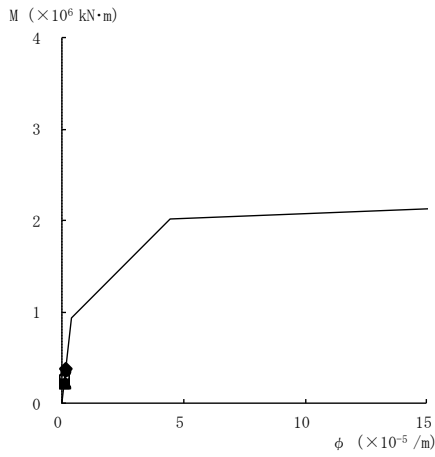
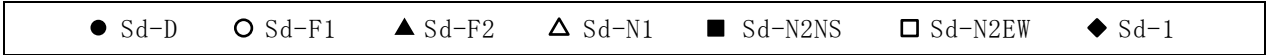
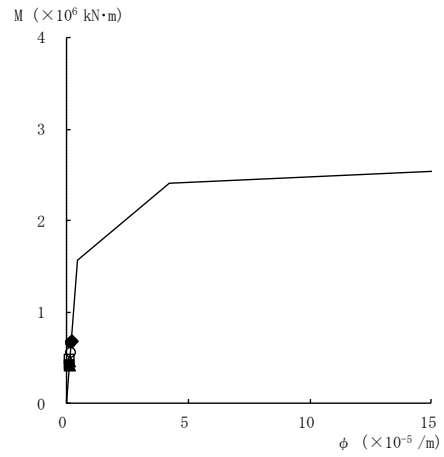


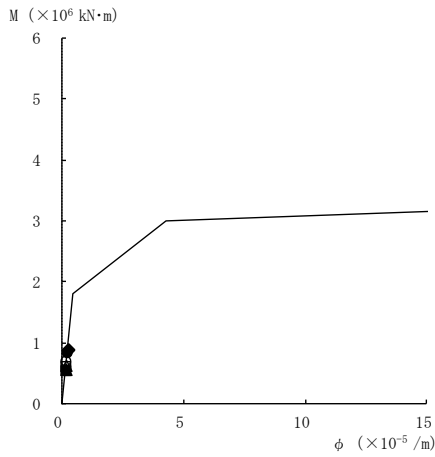
図 4-30(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d , E W 方向)



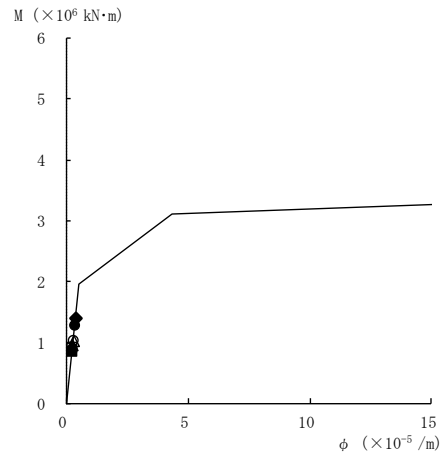
要素番号 (1)



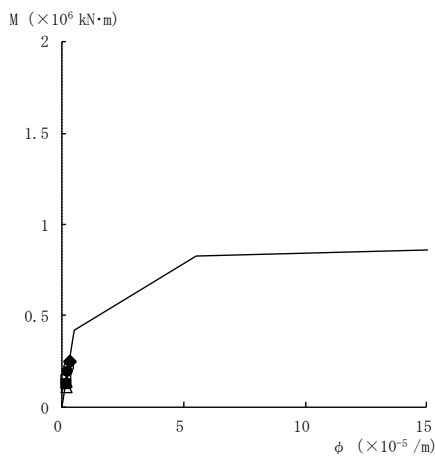
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

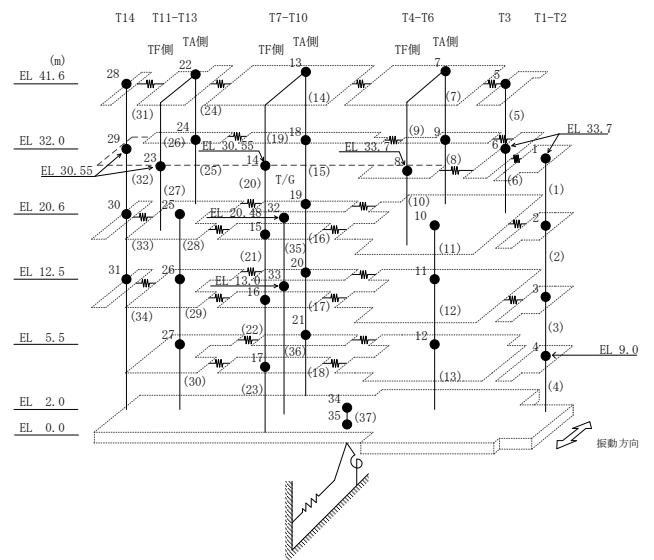
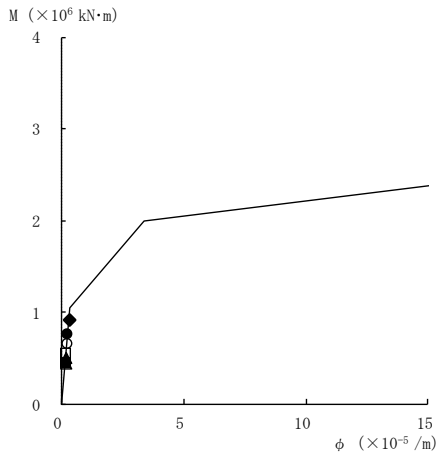
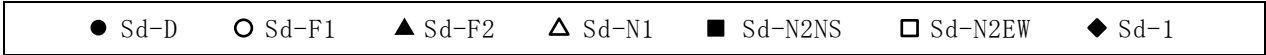
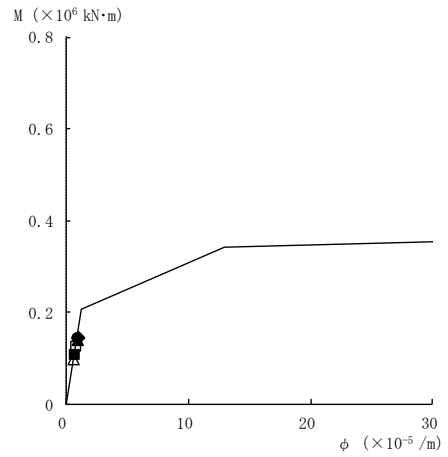


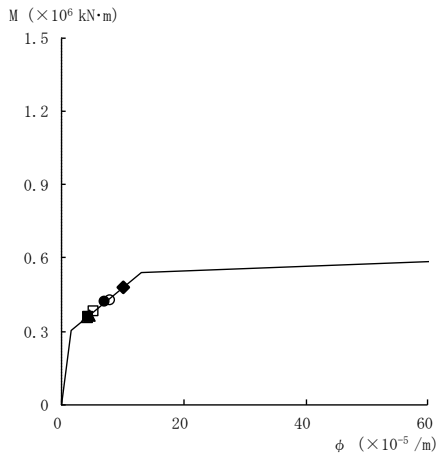
図 4-31(1) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



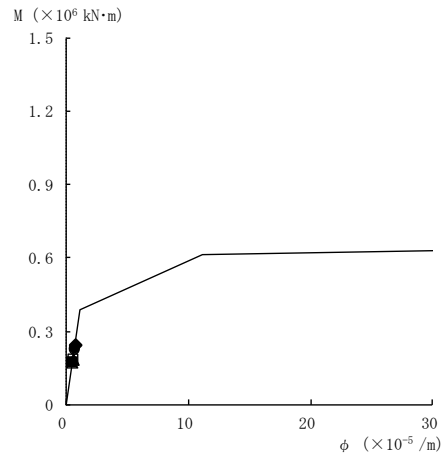
要素番号 (6)



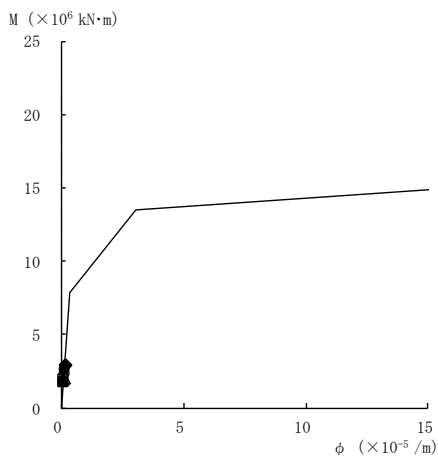
要素番号 (7)



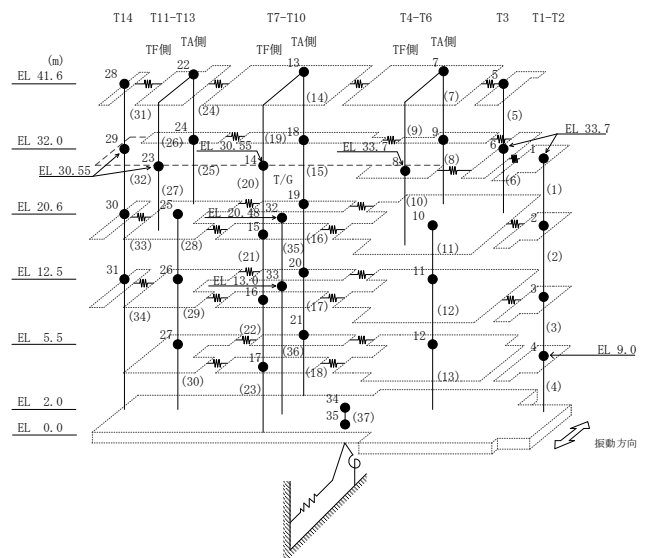
要素番号 (8)



要素番号 (10)

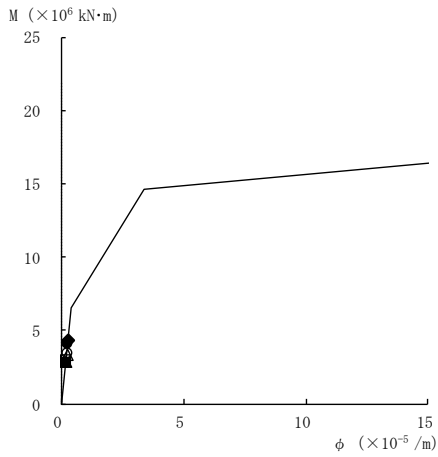
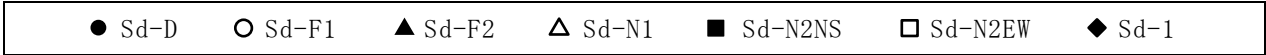


要素番号 (11)

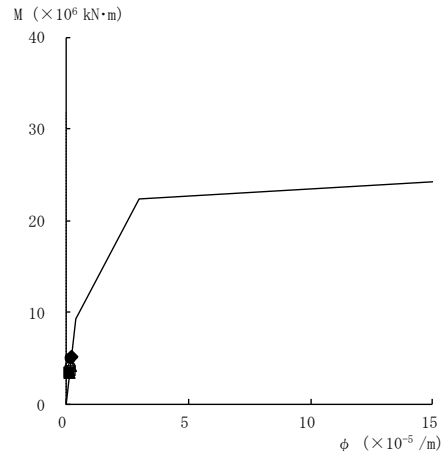


注：要素番号 9 は線形部材。

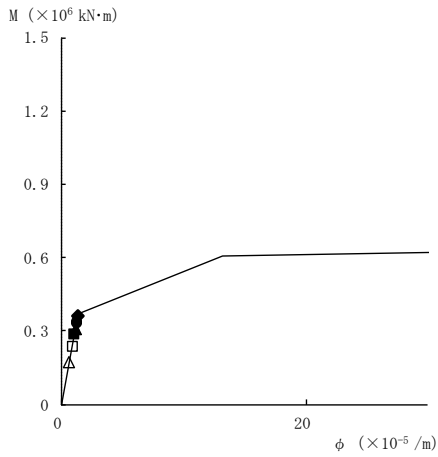
図 4-31(2) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



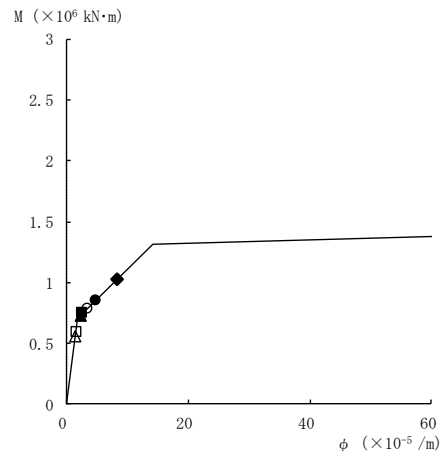
要素番号 (12)



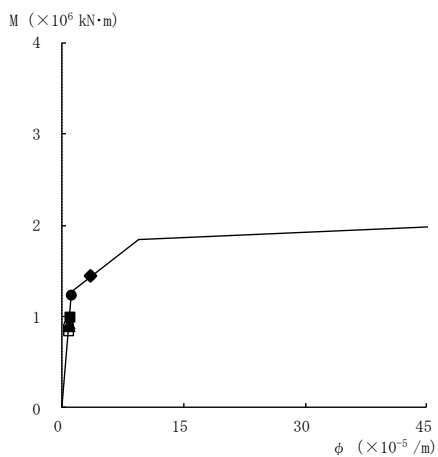
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

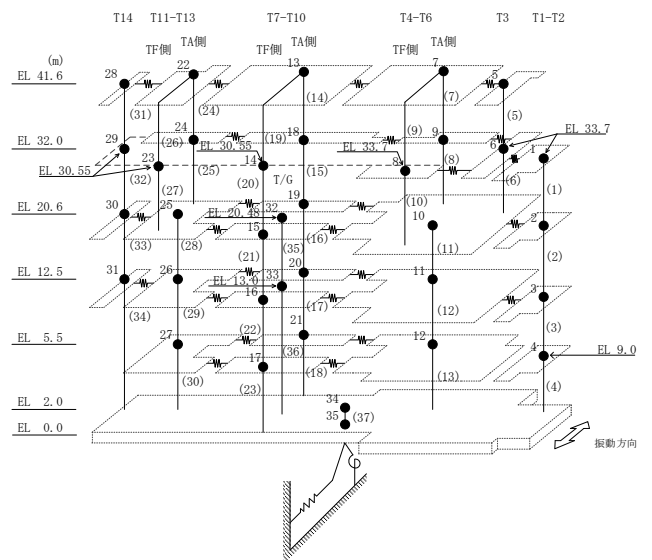
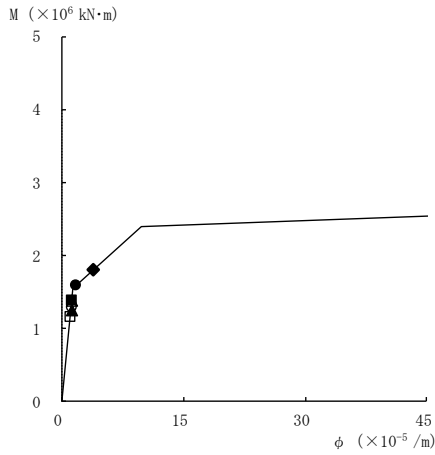
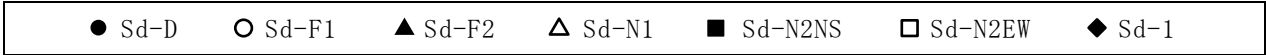
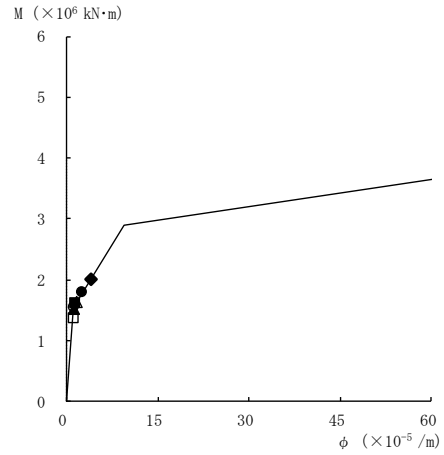


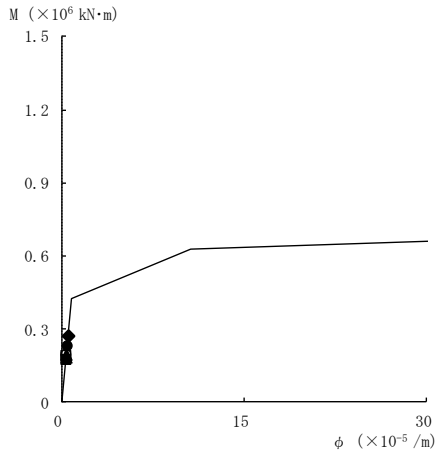
図 4-31 (3) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



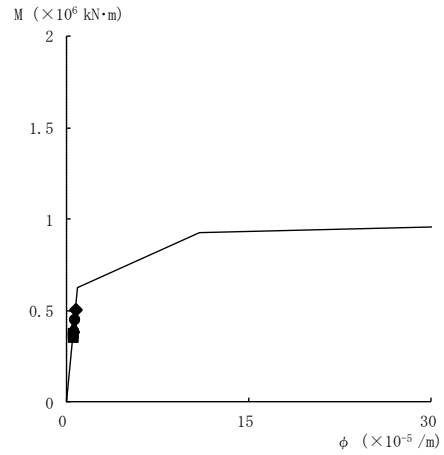
要素番号 (17)



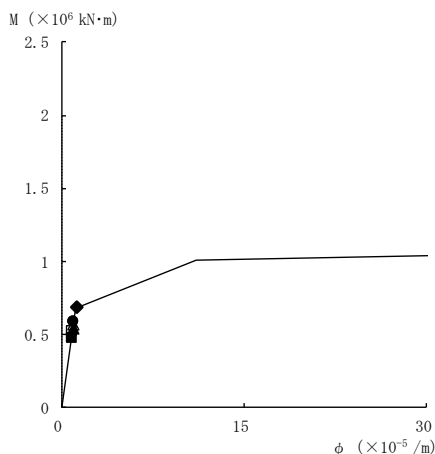
要素番号 (18)



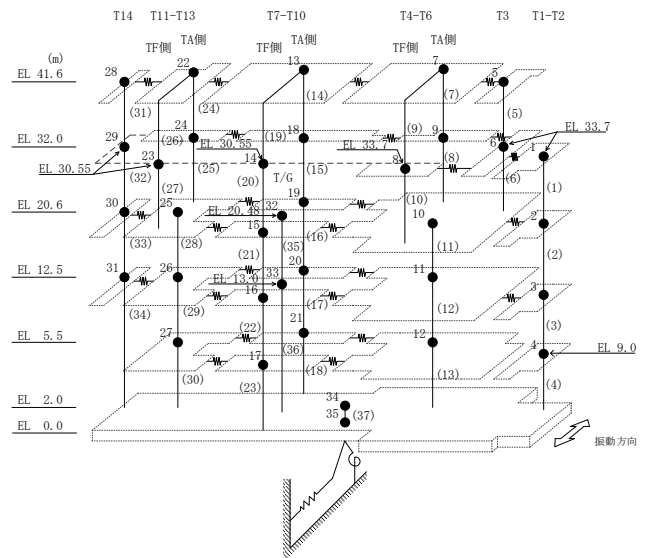
要素番号 (21)



要素番号 (22)

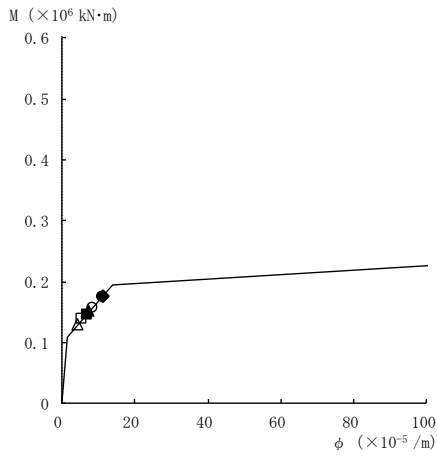
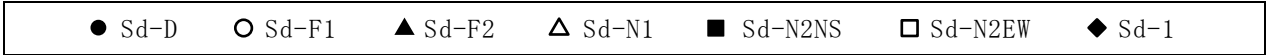


要素番号 (23)

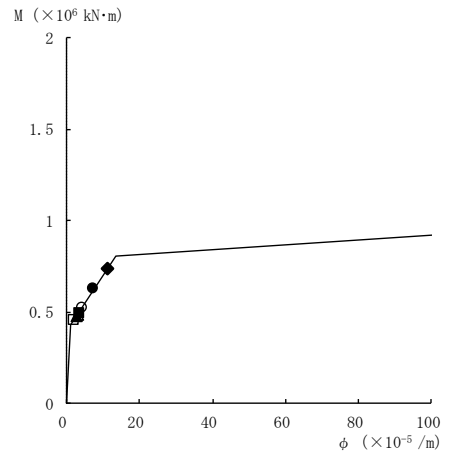


注：要素番号 19, 20 は線形部材。

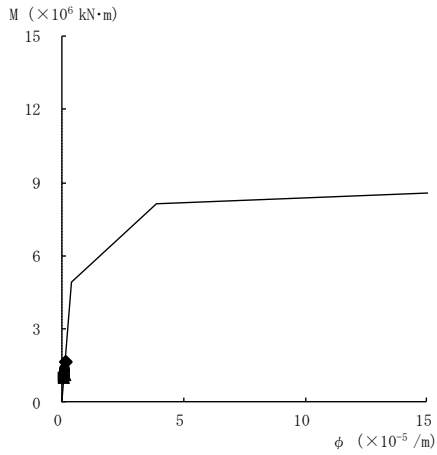
図 4-31(4) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, NS 方向)



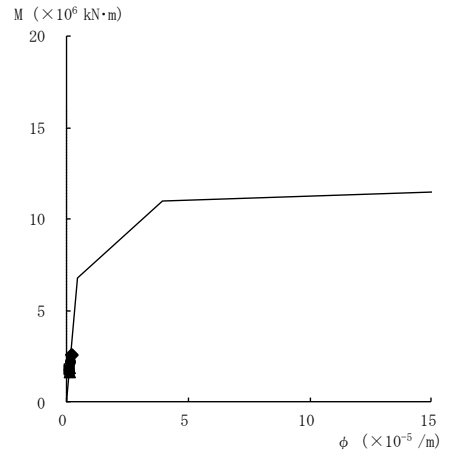
要素番号 (24)



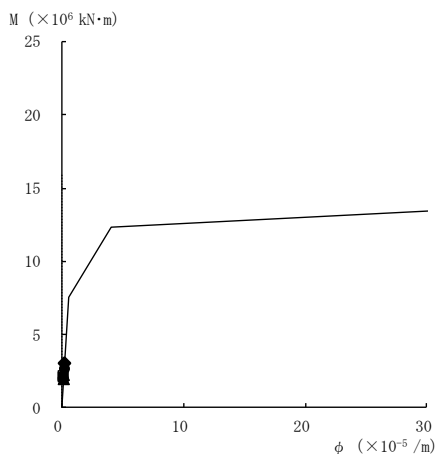
要素番号 (25)



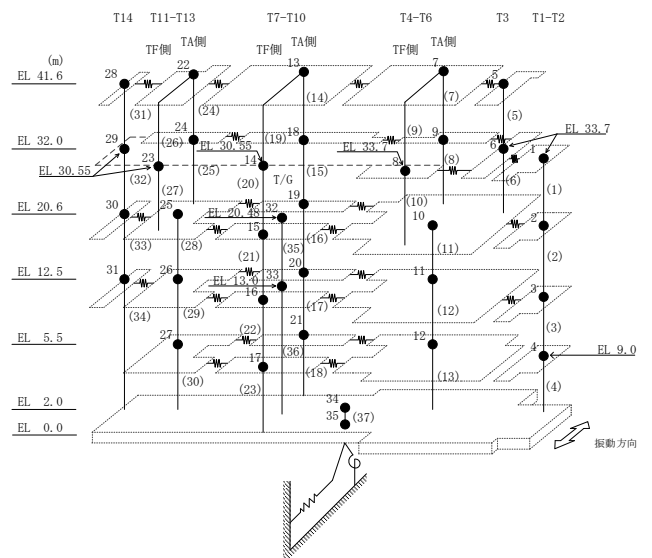
要素番号 (28)



要素番号 (29)

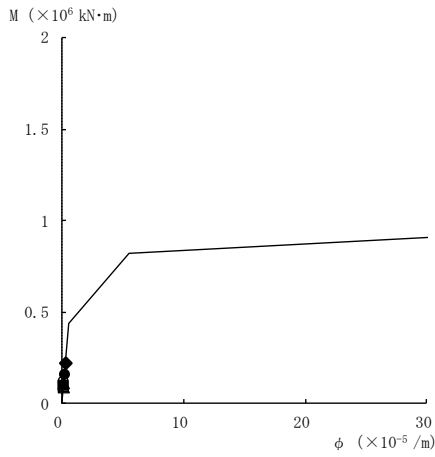
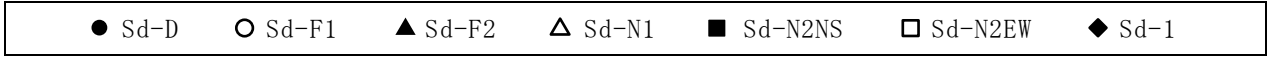


要素番号 (30)

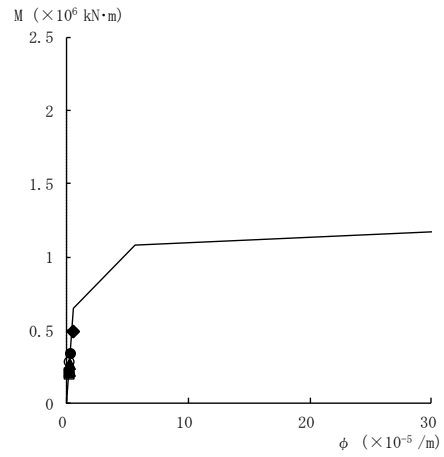


注：要素番号 26, 27 は線形部材。

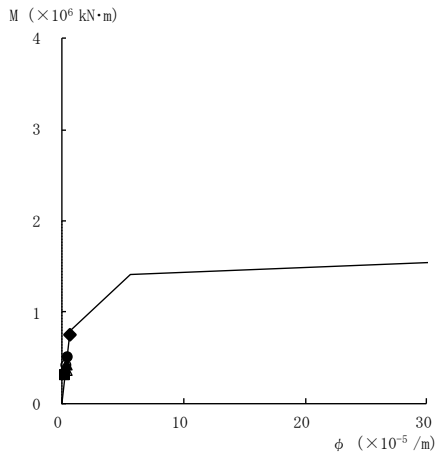
図 4-31(5) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d, N S 方向)



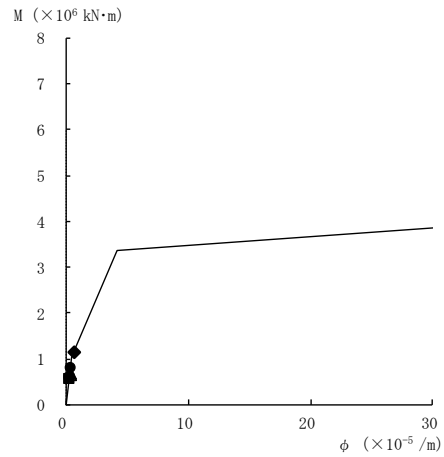
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

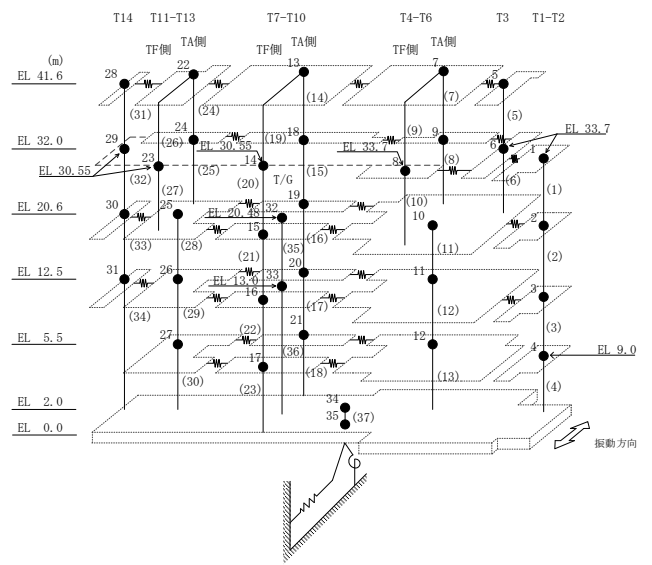


図 4-31(6) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

表 4-29 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率

(a) N S 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	浮上り限界転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.464	11.8	21.4	100
S d - F 1	0.427	9.66	21.4	100
S d - F 2	0.409	8.20	21.4	100
S d - N 1	0.462	12.6	21.4	100
S d - N 2 N S	0.444	10.4	21.4	100
S d - N 2 E W	0.453	11.1	21.4	100
S d - 1	0.511	15.9	21.4	100

(b) E W 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	浮上り限界転倒 モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.448	20.9	44.4	100
S d - F 1	0.414	17.2	44.4	100
S d - F 2	0.405	15.5	44.4	100
S d - N 1	0.391	14.5	44.4	100
S d - N 2 N S	0.375	10.2	44.4	100
S d - N 2 E W	0.403	14.3	44.4	100
S d - 1	0.455	22.7	44.4	100

4.1.2 材料物性の不確かさを考慮したケースの地震応答解析結果

(1) 地震応答解析結果

a. 基準地震動 S_s

基準地震動 S_s による最大応答値を表 4-30～表 4-40 に示す。

b. 弾性設計用地震動 S_d

弾性設計用地震動 S_d による最大応答値を表 4-41～表 4-51 に示す。

表 4-30(1) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1824	1794	1952	1858	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1217	1231	1360	1246	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	995	955	992	1003	1113	999	1078	1121
	9.0	4	1012	971	929	1014	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	2085	2120	2179	2064	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1599	1563	1721	1615	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3132	3166	3157	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1476	1486	1544	1441	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2015	2138	2052	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	1077	1061	1161	1092	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	985	956	1062	994	985	956	1062	994
	5.5	12	1183	1041	1250	1206	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2549	2983	2749	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	2319	2258	2421	2337	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1466	1528	1607	1449	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1106	1149	1159	1095	1217	1208	1260	1219
T7-T10 (TF側)	5.5	21	1029	980	1001	1035	1029	980	1001	1035
	30.55	14	3868	3746	4046	3832	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	2064	1949	2182	2078	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1430	1428	1576	1429	1430	1428	1576	1429
T11-T13 (TA側)	5.5	17	1037	962	1166	1037	1037	962	1166	1037
	41.6	22	2969	2824	2914	2923	2969	2824	2914	2923
T11-T13 (TF側)	32.0	24	1902	1773	2021	1857	1902	1782	2021	1868
T11-T13	30.55	23	2482	2566	2428	2371	2559	2658	2487	2508
	20.6	25	1481	1431	1524	1451	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	1072	1064	1212	1059	1072	1064	1212	1059
T14	5.5	27	927	852	1012	928	927	852	1012	928
	41.6	28	2478	2378	2392	2363	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1415	1362	1470	1353	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	1053	991	1120	1059	1053	991	1120	1059
	12.5	31	915	896	934	911	915	896	934	911
	2.0	34	947	878	960	948	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-30(2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	2095	1995	1962	2104	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1363	1333	1270	1338	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	1113	983	1078	1121	1113	999	1078	1121
	9.0	4	1067	944	1032	1071	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	2376	2264	2161	2316	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1401	1352	1560	1425	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2958	2935	3061	2954	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1568	1535	1439	1521	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2125	2110	2062	2150	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	905	940	955	875	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	740	722	829	749	985	956	1062	994
	5.5	12	663	668	753	667	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2475	2448	2506	2425	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1555	1486	1695	1571	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1633	1610	1744	1632	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1217	1208	1260	1219	1217	1208	1260	1219
T7-T10 (TF側)	5.5	21	765	732	748	768	1029	980	1001	1035
	30.55	14	3888	3919	3666	3801	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1668	1680	1714	1663	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1219	1285	1227	1212	1430	1428	1576	1429
T11-T13 (TA側)	5.5	17	823	869	783	826	1037	962	1166	1037
	41.6	22	2246	2144	2330	2278	2969	2824	2914	2923
T11-T13 (TF側)	32.0	24	1454	1513	1529	1498	1902	1782	2021	1868
T11-T13	30.55	23	2240	2327	2035	2202	2559	2658	2487	2508
	20.6	25	1048	1044	1084	1066	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	839	837	837	854	1072	1064	1212	1059
T14	5.5	27	665	669	649	662	927	852	1012	928
	41.6	28	1499	1571	1584	1518	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1300	1298	1253	1312	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	940	959	900	943	1053	991	1120	1059
	12.5	31	763	768	726	771	915	896	934	911
	2.0	34	667	667	641	668	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-30(3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1625	1715	1684	1624	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1220	1323	1253	1237	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	1003	999	1040	1012	1113	999	1078	1121
	9.0	4	887	892	906	886	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1866	1764	1889	1833	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1379	1339	1305	1333	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2963	2896	2887	2976	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1580	1660	1558	1554	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2052	2069	2306	2246	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	1043	1015	1079	1023	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	816	780	872	806	985	956	1062	994
	5.5	12	774	841	828	750	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	3048	2843	3236	3061	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1574	1533	1524	1568	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1417	1424	1561	1438	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1041	1071	1134	1019	1217	1208	1260	1219
T7-T10 (TF側)	5.5	21	649	621	680	648	1029	980	1001	1035
	30.55	14	3319	3300	3377	3350	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1494	1508	1560	1544	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1114	1212	995	1103	1430	1428	1576	1429
T11-T13 (TA側)	5.5	17	815	821	775	816	1037	962	1166	1037
	41.6	22	2091	1970	2281	2095	2969	2824	2914	2923
T11-T13 (TF側)	32.0	24	1870	1782	1734	1868	1902	1782	2021	1868
	30.55	23	2487	2452	2487	2474	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	976	926	985	963	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	756	721	788	757	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	640	648	708	641	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1762	1735	1956	1771	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1267	1246	1168	1224	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	871	898	887	862	1053	991	1120	1059
	12.5	31	733	731	712	720	915	896	934	911
	2.0	34	576	588	621	577	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-30(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1224	1221	1285	1221	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	874	792	950	869	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	903	892	890	903	1113	999	1078	1121
	9.0	4	893	876	878	886	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1503	1385	1626	1557	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1265	1211	1348	1272	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1670	1618	1687	1681	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1202	1171	1188	1176	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1224	1259	1305	1228	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	832	820	879	829	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	807	787	851	806	985	956	1062	994
	5.5	12	863	833	897	869	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1639	1509	1749	1637	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1368	1244	1511	1364	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1063	1028	1138	1045	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	870	863	908	867	1217	1208	1260	1219
T7-T10 (TF側)	5.5	21	732	713	737	730	1029	980	1001	1035
	30.55	14	1876	1799	1950	1920	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	912	894	937	911	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	858	829	925	858	1430	1428	1576	1429
T11-T13 (TA側)	5.5	17	714	689	728	717	1037	962	1166	1037
	41.6	22	1438	1345	1532	1451	2969	2824	2914	2923
T11-T13 (TF側)	32.0	24	1014	1033	1141	1048	1902	1782	2021	1868
T11-T13	30.55	23	1714	1628	1909	1732	2559	2658	2487	2508
	20.6	25	781	764	789	792	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	702	671	715	711	1072	1064	1212	1059
T14	5.5	27	685	672	726	689	927	852	1012	928
	41.6	28	1500	1471	1492	1513	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1080	1044	1140	1091	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	936	886	987	950	1053	991	1120	1059
	12.5	31	819	801	828	823	915	896	934	911
	2.0	34	640	648	649	641	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-30(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1396	1316	1431	1406	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	943	951	977	942	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	695	757	752	691	1113	999	1078	1121
	9.0	4	622	638	666	618	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1536	1321	1737	1595	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1063	1166	1242	1089	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1896	1968	2031	1959	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1188	1163	1225	1184	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1540	1636	1572	1515	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	754	776	751	755	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	628	616	672	621	985	956	1062	994
	5.5	12	750	687	807	742	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1989	2175	2231	1979	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1273	1316	1423	1353	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	939	885	1054	921	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	626	688	753	639	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	593	523	612	593	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1938	2203	2133	1987	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1020	1063	1138	1049	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	945	880	841	947	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	600	624	610	604	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1820	1605	1893	1863	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1408	1303	1195	1402	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1757	2085	1816	1741	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	854	787	862	838	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	679	655	723	681	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	581	561	623	578	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1243	1381	1483	1284	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1052	996	1137	1062	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	770	804	851	773	1053	991	1120	1059
	12.5	31	589	576	678	588	915	896	934	911
	2.0	34	577	551	603	578	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-30(6) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1400	1455	1591	1405	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1012	1012	1119	999	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	769	791	768	777	1113	999	1078	1121
	9.0	4	748	760	671	746	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1642	1703	1585	1597	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1195	1197	1178	1187	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2031	2028	2090	2024	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1195	1230	1215	1145	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1699	1853	1875	1762	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	847	806	751	833	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	669	659	704	666	985	956	1062	994
	5.5	12	583	656	581	545	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2116	2103	2218	2072	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1195	1313	1202	1191	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1373	1341	1576	1367	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1009	1037	1122	1000	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	658	740	595	662	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2628	2669	2666	2564	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1117	1134	1208	1127	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1102	1037	955	1116	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	684	741	646	686	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1590	1547	1529	1617	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1338	1477	1252	1352	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2559	2658	2410	2508	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	927	887	840	927	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	651	710	656	649	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	577	620	570	574	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1340	1399	1410	1353	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	970	971	942	978	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	714	717	685	711	1053	991	1120	1059
	12.5	31	663	729	590	662	915	896	934	911
	2.0	34	573	646	564	572	947	878	960	948

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(a) S_s - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.33	10.18	12.50	10.61	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	7.28	7.16	9.05	7.47	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	5.33	5.24	6.77	5.47	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	4.57	4.49	5.95	4.70	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	14.92	13.93	18.16	14.94	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	10.87	10.72	13.16	11.16	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	19.63	22.86	20.80	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	11.54	11.32	14.16	11.78	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	14.46	17.55	15.23	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	6.42	6.33	8.04	6.58	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	5.22	5.16	6.66	5.35	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.87	1.56	2.50	1.88	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	32.59	41.47	37.20	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	24.81	21.60	27.66	24.62	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	11.51	9.93	12.89	11.36	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	5.15	4.41	6.03	5.07	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.88	1.52	2.74	1.90	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	22.75	25.49	24.05	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	13.26	12.62	15.51	13.54	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	6.72	6.58	8.35	6.93	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	3.31	2.86	3.97	3.33	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	26.93	33.79	30.12	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	16.73	14.76	19.10	16.60	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	17.99	20.91	19.25	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	5.27	4.45	5.70	5.22	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	3.54	2.79	3.91	3.50	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	2.09	1.53	2.58	2.06	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	19.87	17.27	23.12	19.93	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	11.51	10.34	13.14	11.48	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	5.66	4.96	6.70	5.61	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.92	2.50	3.33	2.86	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	1.12	0.79	1.83	1.12	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.88	7.18	8.25	6.95	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	4.71	4.79	5.89	4.74	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	3.24	3.07	4.32	3.22	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	2.74	2.41	3.69	2.71	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	9.75	9.73	11.90	9.77	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	7.35	7.54	9.01	7.12	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	16.12	15.97	15.31	15.94	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	9.11	9.06	9.99	8.89	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	12.35	12.28	11.52	12.29	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	4.06	3.99	5.49	4.07	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	3.04	2.87	4.30	3.04	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.42	1.06	1.89	1.44	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	20.90	19.60	22.84	20.64	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	13.08	11.43	14.54	12.97	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	7.48	6.51	8.35	7.41	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.91	3.37	4.40	3.86	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.46	1.10	1.78	1.47	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	19.72	19.29	19.65	19.31	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	7.96	8.23	8.74	7.95	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.66	3.23	4.33	3.69	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.77	1.51	2.31	1.79	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	18.29	15.78	19.48	18.63	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.74	7.92	9.65	8.67	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	14.94	14.47	15.10	14.78	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.18	2.67	3.70	3.12	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	1.94	1.62	2.62	1.90	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.24	0.89	1.71	1.27	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	9.71	8.74	10.09	9.65	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.33	5.63	6.55	6.26	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	3.61	3.26	4.09	3.56	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	1.89	1.72	2.60	1.91	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.87	0.54	1.24	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	8.61	7.75	9.12	8.42	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	6.28	5.64	6.72	6.08	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	4.65	4.11	5.01	4.40	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	3.96	3.46	4.30	3.70	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	12.16	10.69	14.15	12.74	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	9.17	8.11	9.66	8.92	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	18.03	16.31	20.19	18.97	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	10.79	9.85	12.30	11.21	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	12.91	11.56	13.86	12.78	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	5.98	5.25	6.31	5.74	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	4.74	4.11	5.04	4.48	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.55	1.26	1.88	1.56	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	32.08	27.53	34.92	32.20	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	17.76	14.91	19.02	17.50	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	7.37	6.59	7.70	7.45	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.99	3.63	4.69	4.03	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.79	1.32	2.19	1.80	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	19.74	18.02	22.28	20.41	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	8.99	7.93	9.42	8.99	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	4.26	3.66	4.52	4.15	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	2.05	1.41	2.18	2.11	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	16.81	14.85	19.41	17.49	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.96	6.75	9.84	9.16	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	16.13	14.23	17.46	16.43	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.45	2.99	4.17	3.53	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.41	1.96	2.82	2.42	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.46	1.06	1.75	1.46	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	10.06	8.79	11.90	10.45	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.73	5.70	8.07	6.98	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	4.01	3.21	4.92	4.14	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.28	1.71	2.86	2.29	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.88	0.54	1.28	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(d) S_s - N 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.49	9.06	12.29	10.57	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	7.78	6.54	9.22	7.78	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	6.05	4.94	7.27	6.03	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	5.29	4.24	6.43	5.26	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	15.05	12.81	17.77	15.61	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	11.55	9.93	13.57	11.73	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	20.19	17.85	22.96	20.85	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	13.79	12.08	15.88	14.09	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	13.07	11.60	15.20	13.36	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	7.59	6.44	9.01	7.59	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	6.21	5.16	7.53	6.20	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.74	1.21	2.45	1.78	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	28.68	25.49	32.81	29.96	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	19.62	17.29	22.53	20.43	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	9.99	8.79	11.62	10.30	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	5.35	4.47	6.32	5.43	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.97	1.39	2.53	1.97	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	23.50	21.15	26.06	24.05	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	10.18	8.84	11.65	10.24	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	5.55	4.70	6.87	5.59	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	2.42	1.83	3.17	2.43	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	21.02	18.01	24.41	21.95	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	12.08	10.19	14.47	12.62	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	15.80	13.99	18.09	16.13	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	4.85	3.99	5.76	4.90	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	3.14	2.43	3.96	3.17	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.73	1.14	2.44	1.75	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	11.78	9.70	14.39	12.23	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	7.97	6.58	9.71	8.19	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	5.00	4.04	6.06	5.10	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.96	2.27	3.64	2.99	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.89	0.42	1.36	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	7.87	6.88	9.19	7.92	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	5.21	4.32	6.34	5.20	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	3.51	2.77	4.58	3.49	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	2.82	2.19	3.87	2.79	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	11.23	9.38	13.61	11.61	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	8.68	7.53	10.21	8.77	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	15.59	13.00	17.98	16.05	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	10.49	8.78	12.09	10.69	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	9.53	9.11	11.34	9.62	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	5.24	4.31	6.24	5.23	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	4.04	3.16	4.95	4.03	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.67	1.02	2.07	1.66	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	22.63	21.15	26.13	23.02	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	15.16	13.63	18.72	15.83	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	8.23	6.40	10.33	8.45	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	4.48	3.35	5.70	4.53	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.75	1.06	2.32	1.74	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	18.49	15.71	21.78	19.15	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	6.52	5.83	7.68	6.61	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.78	2.94	4.27	3.80	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.95	1.20	2.29	1.95	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	17.70	13.85	21.17	18.50	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	10.35	8.09	12.29	10.70	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	14.63	12.64	16.44	14.90	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	4.41	3.48	5.05	4.43	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.93	2.15	3.40	2.94	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.68	1.01	2.04	1.68	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	11.47	9.21	13.95	11.89	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	7.85	6.23	9.50	8.08	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	4.81	3.68	5.78	4.89	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.81	1.98	3.36	2.82	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.96	0.38	1.55	0.95	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-31(6) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, N S 方向)

(f) S_s - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.53	6.23	7.17	6.43	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	4.10	3.91	5.02	4.01	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	2.54	2.44	3.51	2.50	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	1.95	1.85	2.90	1.93	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	9.48	9.30	10.60	9.21	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	7.11	6.86	8.00	7.00	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6 (TA側)	41.6	7	14.34	14.18	15.93	14.20	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	8.61	8.49	9.86	8.48	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	9.49	9.61	10.70	9.50	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	4.00	3.69	4.65	3.92	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	2.88	2.58	3.48	2.82	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.18	0.87	1.83	1.17	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	21.82	22.01	25.72	21.91	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	13.91	14.04	16.81	13.94	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	6.45	6.47	8.15	6.44	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.45	3.34	4.93	3.46	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.24	1.12	2.29	1.24	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	17.75	17.79	19.01	17.59	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	6.62	6.54	7.23	6.55	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.13	2.99	3.63	3.12	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.30	0.98	1.79	1.30	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13 (TA側)	41.6	22	15.82	14.87	19.43	16.52	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.88	8.17	10.84	9.12	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13 (TF側)	30.55	23	15.17	14.95	16.65	15.34	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.76	3.32	4.40	3.76	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.35	1.97	2.95	2.34	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.22	0.89	1.78	1.21	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	9.73	9.05	11.61	10.03	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.54	6.03	7.83	6.68	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	3.92	3.51	4.83	3.97	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.21	1.86	2.90	2.22	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.62	0.35	1.25	0.62	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(1) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.47	4.62	4.34	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	6.26	6.23	6.45	6.29	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.84	7.80	8.47	7.94	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	9.87	9.70	10.4	10.0	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.57	4.80	4.69	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	6.21	6.21	6.17	6.17	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.51	2.59	2.61	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.50	3.53	3.63	3.49	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.877	1.02	0.984	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.20	2.18	2.20	2.18	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.9	23.3	21.4	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	32.1	31.7	34.3	32.5	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	36.3	36.2	37.7	36.4	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.62	5.99	5.79	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.71	6.44	7.07	6.69	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.29	7.72	7.71	7.22	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	12.8	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	14.2	14.9	14.9	14.1	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.29	1.40	1.37	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	3.05	3.06	3.14	3.10	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.77	2.76	2.80	2.77	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	5.56	5.79	5.64	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	8.01	7.80	8.16	8.01	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.56	2.61	2.57	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	7.37	7.09	7.48	7.32	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.424	0.409	0.403	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.41	1.43	1.40	1.35	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	17.8	18.4	18.1	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	23.8	23.3	23.6	23.6	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.0	28.7	27.3	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.35	3.83	3.65	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	4.68	4.55	4.77	4.69	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.61	4.47	4.75	4.60	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.54	5.48	5.92	5.47	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(2) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, N S 方向)

(b) S_s - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.55	3.62	3.35	3.57	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.71	5.70	5.52	5.67	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	6.70	6.88	6.79	6.63	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	8.21	8.41	8.63	8.16	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.18	4.19	4.15	4.19	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.75	5.86	5.62	5.70	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.50	2.58	2.56	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.44	3.48	3.23	3.36	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.711	0.686	0.773	0.693	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.16	2.18	2.15	2.17	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	20.7	21.9	19.1	20.0	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	26.3	27.1	27.6	26.4	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	30.2	30.4	32.1	30.2	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	5.35	5.22	5.57	5.39	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.18	6.24	6.12	6.05	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.56	7.23	8.11	7.59	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.6	12.2	12.8	12.5	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.7	13.4	13.5	13.6	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	1.05	1.05	0.968	1.03	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.72	2.76	2.58	2.65	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.66	2.72	2.67	2.65	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.64	4.72	4.83	4.66	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.64	6.58	6.99	6.69	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.41	2.36	2.54	2.47	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	5.72	5.56	5.79	5.62	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.396	0.420	0.355	0.388	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.25	1.27	1.18	1.24	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	12.9	11.9	12.8	12.7	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	16.7	15.6	16.2	16.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	18.5	17.6	18.6	18.0	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.67	2.37	2.76	2.70	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.23	3.10	3.27	3.22	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.67	3.60	3.74	3.73	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.47	4.51	4.58	4.51	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(3) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, N S 方向)

(c) S_s - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.66	3.46	3.80	3.70	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.40	5.39	5.46	5.44	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.32	6.98	7.39	7.36	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	9.28	8.95	9.46	9.38	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.90	3.59	4.07	4.08	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.77	5.55	5.83	5.94	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	2.44	2.30	2.59	2.46	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.66	3.50	3.60	3.65	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.806	0.676	0.864	0.800	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.10	1.95	2.09	2.08	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.2	20.6	21.1	21.3	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	30.8	29.9	31.4	30.7	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	35.0	34.3	35.6	34.7	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	5.46	5.31	5.67	5.58	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.70	6.36	6.72	6.70	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	8.03	8.00	8.03	8.01	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	11.9	11.4	12.9	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.6	13.1	14.7	13.7	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.915	0.921	0.893	0.899	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.33	2.31	2.40	2.38	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.61	2.51	2.57	2.64	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.83	4.94	4.70	4.94	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.63	6.54	6.50	6.68	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.54	2.42	2.49	2.54	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.09	5.42	6.40	6.30	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.376	0.398	0.364	0.364	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.34	1.29	1.37	1.35	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	13.5	12.1	14.3	13.5	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	17.5	16.0	18.4	17.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	20.3	18.6	21.1	20.2	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.59	2.39	2.54	2.55	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.35	3.20	3.62	3.41	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.94	3.68	4.04	3.95	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.80	4.66	5.00	4.78	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(4) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, N S 方向)

(d) S_s - N 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.52	3.30	3.80	3.64	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.80	5.46	6.12	5.89	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.91	7.59	8.39	7.95	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	10.3	10.0	10.6	10.3	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.68	3.42	3.94	3.83	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.52	5.40	5.74	5.67	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.52	1.70	1.69	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.49	3.35	3.53	3.48	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.541	0.484	0.596	0.571	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.86	1.83	1.91	1.88	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	22.7	21.9	23.6	23.0	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	33.9	32.8	34.8	34.1	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	39.9	38.4	40.9	40.0	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.42	3.89	3.68	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.50	5.36	5.63	5.60	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	6.76	6.64	7.06	6.70	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	10.7	10.5	11.1	10.6	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.2	12.9	13.6	13.1	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.292	0.277	0.323	0.304	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	1.61	1.50	1.68	1.60	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.38	2.38	2.43	2.39	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	5.00	4.87	5.21	5.00	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	7.08	6.94	7.33	7.09	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.02	1.91	2.02	2.04	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.06	5.89	6.37	6.17	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.178	0.154	0.228	0.196	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.01	0.944	1.13	1.03	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	17.5	16.4	18.2	17.7	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	22.1	21.1	23.5	22.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	27.1	25.8	28.5	27.3	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.65	2.37	2.87	2.74	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.23	2.93	3.57	3.32	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.09	3.83	4.34	4.15	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.70	5.45	6.11	5.75	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(5) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.51	3.44	3.64	3.60	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.23	5.24	5.42	5.28	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.10	6.94	7.37	7.12	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	7.99	7.93	8.54	7.97	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.27	3.13	3.60	3.38	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.35	5.26	5.50	5.39	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.81	1.70	1.81	1.85	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.38	3.21	3.55	3.41	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.569	0.496	0.650	0.591	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.74	1.81	1.81	1.75	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	19.4	19.1	20.4	19.5	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	28.1	27.5	29.5	28.1	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	32.2	31.6	33.3	32.2	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	4.11	4.15	4.42	4.21	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.31	5.76	5.58	5.37	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	6.76	6.58	7.19	6.75	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	9.26	9.19	9.99	9.11	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	9.99	9.81	10.7	9.88	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.593	0.541	0.571	0.581	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	1.57	1.65	1.76	1.62	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.30	2.23	2.46	2.34	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.54	4.53	4.61	4.55	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.20	6.03	6.24	6.19	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.20	2.14	2.17	2.22	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.06	5.37	6.14	6.11	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.328	0.367	0.282	0.300	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	0.993	1.04	1.07	1.01	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	15.4	14.1	16.4	15.6	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	19.8	18.5	21.1	20.0	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	23.6	22.1	25.4	23.7	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.01	2.72	2.44	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.45	3.06	3.85	3.58	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.07	3.76	4.34	4.13	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.08	4.78	5.44	5.10	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-32(6) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.24	3.15	3.03	3.22	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	4.88	4.92	4.74	4.79	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	6.16	6.27	6.07	5.99	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	7.57	7.62	7.62	7.55	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.28	3.32	3.38	3.24	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.49	5.40	5.43	5.45	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.86	1.86	1.90	1.85	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.03	3.07	3.09	3.01	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.553	0.532	0.563	0.538	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.98	1.91	1.95	1.93	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	18.7	18.9	18.5	18.6	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	25.7	25.8	25.4	25.7	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	27.7	28.0	27.1	27.3	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	4.13	4.15	4.40	4.16	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.13	5.25	5.47	5.16	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.23	7.11	7.99	7.25	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.0	12.1	13.2	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.3	13.6	14.4	13.3	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.623	0.623	0.631	0.626	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.04	2.06	2.08	1.99	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.60	2.51	2.56	2.61	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.78	4.69	4.61	4.81	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	5.90	5.92	5.56	5.89	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	2.16	2.08	2.08	2.19	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	5.68	5.38	5.90	5.77	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.402	0.399	0.388	0.400	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.34	1.38	1.28	1.32	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	14.9	14.5	14.6	14.9	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	18.4	17.9	17.9	18.4	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	20.1	20.1	19.6	20.0	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.21	2.57	2.39	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.16	3.09	3.37	3.24	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.74	3.70	3.82	3.77	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.64	4.62	4.64	4.64	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.72	5.86	6.05	5.69	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	5.72	5.86	6.05	5.69	5.72	5.86	6.05	5.69
			10.5	10.5	11.2	10.7	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	10.5	10.5	11.2	10.7	10.5	10.5	11.2	10.7
			13.2	13.2	14.0	13.4	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	13.2	13.2	14.0	13.4	13.2	13.2	14.0	13.4
			20.1	20.0	21.2	20.4	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.68	3.61	3.79	3.71	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.68	3.61	3.79	3.71	3.68	3.61	3.79	3.71
			11.6	11.4	11.4	11.5	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.250	0.280	0.271	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.17	2.16	2.23	2.23	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.17	2.16	2.23	2.23	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.68	5.63	5.72	5.68	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.266	0.306	0.296	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.461	0.427	0.498	0.482	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.461	0.427	0.498	0.482	0.461	0.427	0.498	0.482
			3.17	3.12	3.16	3.15	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.0	19.9	20.1	20.4	20.0	19.9	20.1
			36.4	36.3	36.7	35.9	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	36.4	36.3	36.7	35.9	36.4	36.3	37.4	36.6
			55.4	54.8	58.1	54.4	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	55.4	54.8	58.1	54.4	59.5	57.2	61.4	60.3
			65.4	64.4	69.5	65.0	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.341	0.454	0.387	0.385	0.341	0.454	0.387
			5.24	5.19	5.44	5.32	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	5.24	5.19	5.44	5.32	5.24	5.19	5.44	5.32
			12.0	11.7	12.7	12.1	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	12.0	11.7	12.7	12.1	12.4	12.0	12.7	12.5
			15.8	15.3	16.4	15.7	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	15.8	15.3	16.4	15.7	15.8	15.3	16.4	15.7
			21.6	20.9	22.0	21.5	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	21.6	20.9	22.0	21.5	21.6	20.9	22.0	21.5
			24.7	24.0	25.1	24.6	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.522	0.581	0.563	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.941	0.912	0.973	0.954	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.941	0.912	0.973	0.954	0.941	0.912	0.973	0.954
			2.44	2.41	2.58	2.48	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	2.44	2.41	2.58	2.48	2.44	2.41	2.58	2.48
			3.78	3.65	3.87	3.74	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	3.78	3.65	3.87	3.74	3.78	3.65	3.87	3.74
			6.33	6.28	6.50	6.24	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	6.33	6.28	6.50	6.24	6.38	6.28	6.55	6.42
			8.22	8.11	8.72	8.30	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.281	0.344	0.309	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.25	2.22	2.23	2.26	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	2.25	2.22	2.23	2.26	2.25	2.22	2.23	2.26
			9.08	8.96	9.18	9.08	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.178	0.222	0.194	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.330	0.343	0.313	0.320	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.330	0.343	0.313	0.320	0.334	0.350	0.316	0.325
			1.18	1.13	1.22	1.19	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	10.1	10.4	10.3	10.3	10.1	10.4	10.3
			24.6	23.9	24.7	24.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	24.6	23.9	24.7	24.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			41.0	40.1	40.4	40.6	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	41.0	40.1	40.4	40.6	41.0	40.1	40.4	40.6
			50.2	49.2	49.6	49.7	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.00	3.70	4.23	4.03	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	4.00	3.70	4.23	4.03	4.00	3.70	4.23	4.03
			8.53	8.12	8.96	8.55	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	8.53	8.12	8.96	8.55	8.53	8.12	8.96	8.55
			12.2	11.7	12.5	12.2	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	12.2	11.7	12.5	12.2	12.2	11.7	12.5	12.2
			17.2	16.7	17.7	17.2	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.65	4.74	4.39	4.68	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.65	4.74	4.39	4.68	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.97	8.95	8.36	9.01	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.97	8.95	8.36	9.01	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.1	11.2	10.7	11.1	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.1	11.2	10.7	11.1	13.2	13.2	14.0	13.4
			16.4	16.9	16.6	16.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.31	3.28	3.31	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.30	3.31	3.28	3.31	3.68	3.61	3.79	3.71
			10.4	10.5	10.1	10.3	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.196	0.188	0.200	0.190	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.25	2.21	2.28	2.27	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.25	2.21	2.28	2.27	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.44	5.48	5.42	5.47	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.213	0.205	0.229	0.207	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.349	0.337	0.382	0.341	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.349	0.337	0.382	0.341	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.99	3.02	2.98	2.99	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	18.8	19.0	18.5	18.8	20.4	20.0	19.9	20.1
			33.7	34.9	30.7	33.1	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	33.7	34.9	30.7	33.1	36.4	36.3	37.4	36.6
			49.9	52.5	47.2	48.4	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	49.9	52.5	47.2	48.4	59.5	57.2	61.4	60.3
			57.8	60.9	57.3	56.0	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.244	0.250	0.265	0.243	0.385	0.341	0.454	0.387
			4.94	4.83	5.11	4.97	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	4.94	4.83	5.11	4.97	5.24	5.19	5.44	5.32
			11.5	11.6	11.6	11.4	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	11.5	11.6	11.6	11.4	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.1	13.5	12.9	12.9	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.1	13.5	12.9	12.9	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.3	17.6	18.9	18.2	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.3	17.6	18.9	18.2	21.6	20.9	22.0	21.5
			21.8	21.3	22.7	21.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(b) S_s - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.340	0.319	0.362	0.342	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.863	0.864	0.802	0.845	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	1.86	1.88	1.83	1.84	2.44	2.41	2.58	2.48
			1.86	1.88	1.83	1.84	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	2.70	2.79	2.77	2.66	3.78	3.65	3.87	3.74
			2.70	2.79	2.77	2.66	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	5.34	5.38	5.42	5.29	6.38	6.28	6.55	6.42
			5.34	5.38	5.42	5.29	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	6.92	6.97	7.08	6.85	8.79	8.59	9.08	8.84
			6.92	6.97	7.08	6.85	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.195	0.171	0.224	0.203	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.12	2.10	2.22	2.17	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	8.04	7.83	8.17	8.05	9.08	8.96	9.18	9.08
			8.04	7.83	8.17	8.05	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.139	0.144	0.131	0.136	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.303	0.324	0.267	0.296	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.303	0.324	0.267	0.296	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.994	0.985	0.962	0.991	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	9.03	8.81	9.13	9.04	10.3	10.1	10.4	10.3
			18.4	17.6	18.8	18.1	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	18.4	17.6	18.8	18.1	24.6	23.9	24.7	24.4
			29.9	28.2	29.9	29.3	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	29.9	28.2	29.9	29.3	41.0	40.1	40.4	40.6
			36.3	34.3	36.2	35.5	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.96	2.62	3.05	2.99	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.96	2.62	3.05	2.99	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.94	5.53	6.14	5.97	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.94	5.53	6.14	5.97	8.53	8.12	8.96	8.55
			8.73	8.33	8.73	8.71	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	8.73	8.33	8.73	8.71	12.2	11.7	12.5	12.2
			13.0	12.6	13.0	12.9	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.80	4.53	4.98	4.85	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.80	4.53	4.98	4.85	5.72	5.86	6.05	5.69
			9.09	8.78	9.37	9.05	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	9.09	8.78	9.37	9.05	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.4	11.1	11.7	11.3	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.4	11.1	11.7	11.3	13.2	13.2	14.0	13.4
			17.1	16.4	17.3	17.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.08	2.83	3.21	3.22	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.08	2.83	3.21	3.22	3.68	3.61	3.79	3.71
			10.6	10.1	10.9	11.0	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.185	0.157	0.200	0.199	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.16	2.06	2.29	2.18	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.16	2.06	2.29	2.18	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.47	5.38	5.51	5.54	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.233	0.195	0.250	0.231	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.404	0.340	0.433	0.401	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.404	0.340	0.433	0.401	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.83	2.74	2.88	2.93	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	18.9	18.1	19.1	19.4	20.4	20.0	19.9	20.1
			34.6	33.5	35.4	35.4	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	34.6	33.5	35.4	35.4	36.4	36.3	37.4	36.6
			52.4	51.5	53.4	53.5	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	52.4	51.5	53.4	53.5	59.5	57.2	61.4	60.3
			62.0	61.0	62.9	62.7	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.344	0.302	0.375	0.354	0.385	0.341	0.454	0.387
			4.89	4.80	5.07	5.00	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	4.89	4.80	5.07	5.00	5.24	5.19	5.44	5.32
			12.4	12.0	12.6	12.5	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	12.4	12.0	12.6	12.5	12.4	12.0	12.7	12.5
			15.1	14.3	15.3	15.2	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	15.1	14.3	15.3	15.2	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.0	17.1	18.3	18.0	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.0	17.1	18.3	18.0	21.6	20.9	22.0	21.5
			21.5	21.3	21.7	21.5	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(c) S_s-F2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.289	0.269	0.316	0.308	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.752	0.750	0.749	0.749	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	1.64	1.55	1.64	1.66	2.44	2.41	2.58	2.48
			1.64	1.55	1.64	1.66	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	3.32	3.10	3.41	3.42	3.78	3.65	3.87	3.74
			3.32	3.10	3.41	3.42	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	6.22	6.04	6.13	6.19	6.38	6.28	6.55	6.42
			6.22	6.04	6.13	6.19	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	7.93	7.85	7.87	7.88	8.79	8.59	9.08	8.84
			0.230	0.200	0.235	0.230	0.303	0.281	0.344	0.309
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.21	2.12	2.16	2.21	2.25	2.22	2.23	2.26
			2.21	2.12	2.16	2.21	2.25	2.22	2.23	2.26
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.192	0.176	0.195	0.191	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.307	0.331	0.293	0.299	0.334	0.350	0.316	0.325
30.55~20.6	27	0.307	0.331	0.293	0.299	0.334	0.350	0.316	0.325	
		1.03	0.967	1.07	1.04	1.18	1.13	1.22	1.19	
T11-T13	20.6~12.5	28	8.71	7.84	8.98	8.79	10.3	10.1	10.4	10.3
			18.6	16.0	19.5	19.0	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	18.6	16.0	19.5	19.0	24.6	23.9	24.7	24.4
			30.3	27.2	32.4	30.4	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	30.3	27.2	32.4	30.4	41.0	40.1	40.4	40.6
			37.3	33.7	39.7	37.3	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.86	2.64	2.81	2.82	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.86	2.64	2.81	2.82	4.00	3.70	4.23	4.03
			6.11	5.77	6.25	5.98	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	6.11	5.77	6.25	5.98	8.53	8.12	8.96	8.55
			8.78	8.44	9.33	8.88	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	8.78	8.44	9.33	8.88	12.2	11.7	12.5	12.2
			13.4	12.5	14.3	13.6	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.61	4.32	4.97	4.77	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.61	4.32	4.97	4.77	5.72	5.86	6.05	5.69
			9.29	8.74	9.90	9.52	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	9.29	8.74	9.90	9.52	10.5	10.5	11.2	10.7
			12.1	11.4	12.8	12.3	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	12.1	11.4	12.8	12.3	13.2	13.2	14.0	13.4
			19.0	17.9	20.2	19.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.91	2.70	3.11	3.02	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.91	2.70	3.11	3.02	3.68	3.61	3.79	3.71
			10.0	9.70	10.5	10.4	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.162	0.145	0.179	0.171	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.39	1.32	1.45	1.46	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.39	1.32	1.45	1.46	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.35	5.13	5.44	5.41	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.168	0.150	0.185	0.177	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.260	0.232	0.286	0.274	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.260	0.232	0.286	0.274	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.68	2.61	2.76	2.72	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	17.8	16.9	18.5	18.3	20.4	20.0	19.9	20.1
			36.0	34.5	37.4	36.6	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	36.0	34.5	37.4	36.6	36.4	36.3	37.4	36.6
			59.5	57.2	61.4	60.3	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	59.5	57.2	61.4	60.3	59.5	57.2	61.4	60.3
			72.9	70.1	75.4	73.8	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.196	0.173	0.227	0.210	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.36	3.19	3.61	3.43	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.36	3.19	3.61	3.43	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.20	8.93	9.56	9.39	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.20	8.93	9.56	9.39	12.4	12.0	12.7	12.5
			14.1	13.6	14.6	14.3	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	14.1	13.6	14.6	14.3	15.8	15.3	16.4	15.7
			20.4	19.8	21.1	20.7	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	20.4	19.8	21.1	20.7	21.6	20.9	22.0	21.5
			24.4	23.8	25.3	24.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, N S 方向)

(d) S_s - N 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.176	0.150	0.199	0.181	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.313	0.311	0.317	0.317	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.313	0.311	0.317	0.317	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.34	1.23	1.40	1.33	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.34	1.23	1.40	1.33	2.44	2.41	2.58	2.48
			3.07	2.95	3.20	3.11	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	3.07	2.95	3.20	3.11	3.78	3.65	3.87	3.74
			6.38	6.20	6.55	6.42	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	6.38	6.20	6.55	6.42	6.38	6.28	6.55	6.42
			8.79	8.59	9.08	8.84	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160	0.140	0.193	0.174	0.303	0.281	0.344	0.309
			1.79	1.70	1.79	1.80	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	1.79	1.70	1.79	1.80	2.25	2.22	2.23	2.26
8.31			8.11	8.51	8.38	9.08	8.96	9.18	9.08	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.120	0.104	0.151	0.133	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.172	0.171	0.190	0.171	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.172	0.171	0.190	0.171	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.836	0.770	0.938	0.855	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	9.08	8.83	9.36	9.15	10.3	10.1	10.4	10.3
			23.2	22.0	23.9	23.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	23.2	22.0	23.9	23.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			38.6	36.7	40.2	39.0	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	38.6	36.7	40.2	39.0	41.0	40.1	40.4	40.6
			48.0	45.7	50.0	48.4	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.93	2.62	3.17	3.03	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.93	2.62	3.17	3.03	4.00	3.70	4.23	4.03
			6.14	5.51	6.71	6.34	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	6.14	5.51	6.71	6.34	8.53	8.12	8.96	8.55
			9.18	8.33	10.0	9.41	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	9.18	8.33	10.0	9.41	12.2	11.7	12.5	12.2
			14.9	13.9	15.9	15.1	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.60	4.50	4.76	4.71	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.60	4.50	4.76	4.71	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.82	8.72	9.11	8.97	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.82	8.72	9.11	8.97	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.3	11.1	11.7	11.5	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.3	11.1	11.7	11.5	13.2	13.2	14.0	13.4
			16.9	16.6	17.6	17.0	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.58	2.47	2.84	2.67	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.58	2.47	2.84	2.67	3.68	3.61	3.79	3.71
			9.57	9.08	10.0	9.72	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.145	0.124	0.167	0.151	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.61	1.52	1.63	1.64	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.61	1.52	1.63	1.64	2.25	2.21	2.29	2.27
			4.96	4.63	5.25	5.03	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.171	0.148	0.195	0.177	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.279	0.244	0.320	0.290	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.279	0.244	0.320	0.290	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.40	2.44	2.53	2.44	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	15.8	17.3	16.8	20.4	20.0	19.9	20.1
			31.7	30.7	33.2	32.1	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	31.7	30.7	33.2	32.1	36.4	36.3	37.4	36.6
			51.3	49.9	53.7	51.7	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	51.3	49.9	53.7	51.7	59.5	57.2	61.4	60.3
			61.3	59.4	64.9	61.7	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.195	0.212	0.237	0.196	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.77	3.88	4.02	3.86	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.77	3.88	4.02	3.86	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.46	9.47	10.2	9.47	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.46	9.47	10.2	9.47	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.1	13.6	13.6	13.2	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.1	13.6	13.6	13.2	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.7	18.2	20.1	18.9	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.7	18.2	20.1	18.9	21.6	20.9	22.0	21.5
			22.0	20.7	23.8	22.2	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.221	0.235	0.233	0.219	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.435	0.446	0.429	0.423	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.435	0.446	0.429	0.423	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.22	1.24	1.40	1.28	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.22	1.24	1.40	1.28	2.44	2.41	2.58	2.48
			2.96	2.82	3.16	3.04	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	2.96	2.82	3.16	3.04	3.78	3.65	3.87	3.74
			5.37	5.27	5.66	5.41	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	5.37	5.27	5.66	5.41	6.38	6.28	6.55	6.42
			7.31	7.06	7.58	7.37	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.140	0.134	0.168	0.147	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.00	1.92	1.98	2.02	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	2.00	1.92	1.98	2.02	2.25	2.22	2.23	2.26
8.02			7.23	8.34	8.14	9.08	8.96	9.18	9.08	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.118	0.131	0.124	0.115	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.258	0.285	0.236	0.242	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.258	0.285	0.236	0.242	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.799	0.755	0.874	0.819	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	8.81	7.91	9.19	8.95	10.3	10.1	10.4	10.3
			21.2	19.2	22.4	21.5	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	21.2	19.2	22.4	21.5	24.6	23.9	24.7	24.4
			34.9	32.0	37.0	35.2	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	34.9	32.0	37.0	35.2	41.0	40.1	40.4	40.6
			42.8	39.5	45.6	43.2	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.22	3.01	2.70	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.54	2.22	3.01	2.70	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.95	5.20	6.77	6.22	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.95	5.20	6.77	6.22	8.53	8.12	8.96	8.55
			9.20	8.25	10.1	9.47	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	9.20	8.25	10.1	9.47	12.2	11.7	12.5	12.2
			14.4	13.2	15.5	14.6	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)
(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.25	4.13	3.97	4.21	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.25	4.13	3.97	4.21	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.12	8.01	7.56	8.02	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.12	8.01	7.56	8.02	10.5	10.5	11.2	10.7
			10.3	10.2	9.55	10.1	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	10.3	10.2	9.55	10.1	13.2	13.2	14.0	13.4
			15.4	15.4	14.4	15.1	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.59	2.62	2.67	2.56	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.59	2.62	2.67	2.56	3.68	3.61	3.79	3.71
			9.70	9.53	9.76	9.65	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.139	0.137	0.143	0.134	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.65	1.65	1.68	1.65	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.65	1.65	1.68	1.65	2.25	2.21	2.29	2.27
			4.92	4.90	5.02	4.88	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.163	0.157	0.166	0.158	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.274	0.264	0.279	0.267	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.274	0.264	0.279	0.267	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.76	2.66	2.71	2.70	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	17.4	17.1	17.5	17.2	20.4	20.0	19.9	20.1
			30.5	30.4	30.7	30.2	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	30.5	30.4	30.7	30.2	36.4	36.3	37.4	36.6
			46.9	47.5	47.2	46.4	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	46.9	47.5	47.2	46.4	59.5	57.2	61.4	60.3
			55.8	56.6	56.5	55.4	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.181	0.173	0.204	0.183	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.84	3.86	4.12	3.87	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.84	3.86	4.12	3.87	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.51	9.33	9.76	9.40	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.51	9.33	9.76	9.40	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.3	13.4	13.8	13.3	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.3	13.4	13.8	13.3	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.0	18.1	18.6	17.9	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.0	18.1	18.6	17.9	21.6	20.9	22.0	21.5
			20.8	20.9	21.5	20.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-33(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.259	0.253	0.279	0.265	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.497	0.508	0.499	0.496	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	1.56	1.57	1.59	1.52	2.44	2.41	2.58	2.48
			1.56	1.57	1.59	1.52	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	2.97	2.91	3.04	2.95	3.78	3.65	3.87	3.74
			2.97	2.91	3.04	2.95	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	5.41	5.44	5.50	5.40	6.38	6.28	6.55	6.42
			5.41	5.44	5.50	5.40	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	7.42	7.42	7.32	7.43	8.79	8.59	9.08	8.84
			0.160	0.149	0.178	0.164	0.303	0.281	0.344	0.309
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.96	1.93	1.85	1.97	2.25	2.22	2.23	2.26
			1.96	1.93	1.85	1.97	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	7.74	7.53	8.20	7.92	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.145	0.148	0.157	0.144	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.334	0.350	0.316	0.325	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.334	0.350	0.316	0.325	0.334	0.350	0.316	0.325
			1.00	1.03	0.983	0.988	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	8.48	8.24	9.04	8.70	10.3	10.1	10.4	10.3
			20.2	19.7	20.5	20.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	20.2	19.7	20.5	20.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			32.8	32.0	32.9	33.0	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	32.8	32.0	32.9	33.0	41.0	40.1	40.4	40.6
			39.7	38.7	39.6	39.8	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.44	2.84	2.64	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.54	2.44	2.84	2.64	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.65	5.46	6.19	5.83	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.65	5.46	6.19	5.83	8.53	8.12	8.96	8.55
			8.54	8.32	9.13	8.74	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	8.54	8.32	9.13	8.74	12.2	11.7	12.5	12.2
			13.1	12.9	13.7	13.3	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(1) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2410	2403	2388	2431	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	2192	2195	2184	2184	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1137	1246	1246	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1047	967	1019	1047	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1579	1582	1651	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	1001	917	1066	999	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	967	889	1103	970	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	2194	2145	2107	2157	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1671	1643	1714	1686	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1244	1259	1249	1250	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	1158	1100	1057	1159	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1179	1066	1165	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	1051	962	955	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2926	2865	3125	2942	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1605	1683	1625	1600	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	1167	1202	1231	1182	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	1185	1153	1178	1193	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	921	863	929	919	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1735	1682	1678	1773	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1249	1247	1381	1282	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	1252	1161	1309	1256	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	856	892	939	861	940	1002	939	933
	2.0	25	928	865	941	930	928	865	941	930

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2307	2257	2173	2287	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	2047	2016	2053	2036	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1313	1252	1409	1302	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1127	1087	1184	1137	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1461	1386	1518	1465	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	1106	1072	1130	1106	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	1081	1041	1115	1079	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	2055	2069	1948	2016	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1615	1605	1604	1588	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1173	1157	1249	1175	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	892	888	832	885	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	803	810	725	793	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	694	750	714	690	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2266	2267	2205	2224	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1422	1426	1393	1391	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	1097	1047	1138	1089	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	1092	1080	1121	1076	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	816	789	800	815	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1667	1733	1482	1630	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1258	1210	1319	1241	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	1003	962	1070	985	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	605	613	629	608	940	1002	939	933
	2.0	25	616	623	605	618	928	865	941	930

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1807	1730	1762	1809	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1541	1502	1613	1524	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1065	1107	1033	1032	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	912	915	856	865	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1340	1334	1351	1306	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	777	818	776	778	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	757	850	735	746	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1584	1640	1609	1587	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1407	1447	1414	1402	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1052	1036	1098	1045	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	882	864	861	889	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	856	949	827	848	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	754	704	757	755	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	1978	1852	2211	1965	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1355	1403	1431	1350	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	973	986	977	994	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	967	996	946	969	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	802	827	759	783	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1656	1498	1619	1644	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1147	1050	1169	1148	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	886	869	903	870	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	732	783	702	722	940	1002	939	933
	2.0	25	699	719	683	697	928	865	941	930

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1377	1407	1307	1373	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1276	1288	1213	1260	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1181	1196	1170	1200	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1073	1085	1083	1090	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1568	1535	1487	1570	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	881	891	832	875	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	893	897	845	888	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1621	1683	1533	1630	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1232	1254	1242	1240	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1015	1052	988	1026	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	860	893	891	883	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	722	770	782	721	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	808	845	842	832	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	1843	1751	1857	1845	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1081	1075	1177	1080	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	962	956	969	963	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	895	882	899	890	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	885	902	909	886	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1145	1091	1135	1131	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	970	975	1011	966	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	930	959	954	940	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	940	1002	922	933	940	1002	939	933
	2.0	25	647	663	647	646	928	865	941	930

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1605	1575	1547	1613	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1288	1413	1225	1265	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	870	932	915	867	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	759	860	756	771	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1353	1379	1279	1337	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	673	794	678	671	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	660	752	662	667	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1932	2033	1860	1948	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1251	1403	1147	1254	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	959	1005	917	957	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	880	872	870	876	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	709	812	690	711	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	685	706	670	709	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2085	1930	2066	2036	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1084	1166	1158	1094	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	741	743	734	738	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	606	639	621	595	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	560	537	619	569	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1543	1363	1444	1581	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	993	912	975	1005	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	695	683	705	695	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	578	571	641	585	940	1002	939	933
	2.0	25	581	554	617	583	928	865	941	930

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-34(6) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2051	2076	1977	2045	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1709	1719	1683	1696	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	973	1040	932	969	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	823	754	801	838	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1468	1297	1236	1509	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	649	709	698	658	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	638	672	687	645	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1963	2034	1835	1922	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1460	1454	1476	1455	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1019	1078	968	1015	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	730	741	760	711	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	825	1002	713	823	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	660	685	713	667	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2352	2268	2493	2325	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1239	1176	1267	1203	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	972	996	983	975	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	749	742	845	760	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	606	635	679	617	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1348	1235	1351	1364	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	924	858	966	959	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	738	723	819	770	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	613	693	639	617	940	1002	939	933
	2.0	25	622	657	654	623	928	865	941	930

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.50	20.33	19.92	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	18.85	18.47	19.37	18.79	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	7.47	10.73	9.12	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	6.31	5.02	7.29	6.25	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	11.82	14.74	13.27	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.60	2.06	3.15	2.63	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.75	2.78	2.28	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	18.88	17.73	19.16	18.99	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	15.87	14.18	15.98	15.85	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	10.41	8.69	11.83	10.21	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	6.16	4.81	7.12	6.14	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	2.23	3.51	3.00	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.03	3.32	2.83	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	17.58	16.41	17.79	17.86	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	12.58	11.69	13.42	12.82	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	8.69	7.20	10.08	8.63	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	7.47	6.01	8.82	7.41	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	3.06	2.14	3.63	3.02	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	9.54	8.46	11.12	9.63	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	7.87	6.71	9.37	7.80	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	6.31	5.08	7.62	6.23	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	3.06	2.14	3.69	3.01	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.51	1.08	1.96	1.53	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	17.03	16.66	18.61	17.15	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	16.09	15.84	17.81	16.20	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	7.98	7.96	9.72	7.99	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	5.69	5.32	6.62	5.69	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	12.09	11.83	13.86	12.13	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.24	1.95	2.80	2.23	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.88	1.62	2.41	1.87	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	15.42	15.10	16.54	15.59	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	13.24	13.04	14.77	13.32	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	9.05	8.95	10.71	8.99	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	5.40	4.94	6.36	5.39	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.67	2.29	3.13	2.60	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.34	1.98	2.81	2.33	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	12.75	12.74	13.86	12.89	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	10.14	9.87	11.77	10.23	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	7.94	7.33	9.24	7.93	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	6.79	6.23	7.97	6.77	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	2.40	2.03	3.13	2.38	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	8.58	8.42	9.92	8.46	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	7.21	6.89	8.74	7.20	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	5.78	5.32	7.10	5.76	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	2.50	2.05	3.31	2.48	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.14	0.97	1.67	1.14	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	12.31	11.40	12.97	12.35	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	11.41	10.58	12.06	11.42	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	6.33	5.65	6.79	6.27	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	4.63	4.02	5.10	4.53	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	9.24	8.52	9.94	9.14	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.15	1.56	2.70	2.15	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.89	1.30	2.50	1.88	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	11.18	10.39	12.12	11.22	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	9.60	8.76	10.20	9.59	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	7.29	6.58	7.79	7.24	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	4.47	3.87	4.93	4.42	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.21	1.74	2.77	2.17	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.10	1.53	2.67	2.06	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	10.50	10.20	12.39	10.57	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	8.22	8.08	9.63	8.23	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	6.14	5.87	6.84	6.05	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	5.18	4.88	5.79	5.09	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	2.10	1.48	2.72	2.08	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	7.09	6.52	7.90	6.99	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	5.66	5.03	6.29	5.57	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	4.31	3.72	4.84	4.23	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	2.15	1.53	2.71	2.13	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.31	0.73	2.00	1.30	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.86	9.42	10.13	9.89	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	9.23	8.80	9.45	9.24	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	5.61	5.19	6.03	5.69	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	4.08	3.67	4.51	4.15	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.00	7.51	8.26	8.06	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.71	1.35	2.15	1.70	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.42	1.16	1.84	1.41	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	9.63	9.22	10.00	9.73	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	8.29	7.89	8.64	8.36	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	6.38	5.98	6.74	6.44	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	4.05	3.54	4.47	4.02	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.52	2.03	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.73	1.32	2.11	1.72	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	9.29	8.87	9.73	9.40	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	7.36	6.87	7.78	7.39	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	5.80	5.29	6.24	5.79	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	4.86	4.36	5.30	4.83	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.81	1.44	2.30	1.80	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	6.03	5.46	6.53	6.04	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	5.12	4.65	5.66	5.12	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	3.90	3.47	4.43	3.89	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.75	1.41	2.24	1.73	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	0.93	0.75	1.21	0.93	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.61	8.67	8.76	8.54	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	7.92	8.00	7.99	7.82	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.63	4.36	5.12	4.64	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	3.31	3.02	3.85	3.33	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.98	6.22	6.59	5.95	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.92	1.50	2.54	1.91	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.67	1.23	2.32	1.66	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	8.36	8.08	8.74	8.51	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	7.08	6.79	7.33	7.07	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	5.26	4.98	5.67	5.26	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	3.55	3.15	4.07	3.55	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.67	2.03	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.89	1.44	2.51	1.88	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	8.00	7.40	8.44	8.06	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	5.96	5.33	6.39	5.97	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	4.15	3.67	4.69	4.15	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	3.36	2.89	3.93	3.36	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.85	1.37	2.49	1.84	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	5.03	4.43	5.30	5.05	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	3.80	3.29	4.27	3.81	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	2.77	2.32	3.39	2.78	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.69	1.31	2.35	1.69	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.16	0.79	1.81	1.16	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-35(6) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	11.94	12.11	11.86	11.87	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	11.01	11.14	10.94	10.90	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.74	4.71	5.24	4.74	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	3.30	3.28	4.09	3.30	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.08	7.98	8.16	8.06	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.86	1.47	2.74	1.90	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.66	1.25	2.49	1.69	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	10.58	10.77	10.48	10.62	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	8.28	8.41	8.51	8.36	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	5.76	5.66	5.96	5.77	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	3.21	3.21	4.15	3.16	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.98	1.53	2.84	2.02	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.83	1.42	2.68	1.87	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	9.74	9.51	9.87	9.94	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	6.68	6.19	6.88	6.67	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	4.41	4.30	5.31	4.37	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	3.49	3.38	4.53	3.48	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.85	1.38	2.72	1.89	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	5.29	4.79	5.77	5.34	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	3.97	3.68	4.73	3.99	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	2.90	2.57	3.81	2.95	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.78	1.34	2.62	1.81	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.21	0.73	1.96	1.22	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(1) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.80	5.03	5.25	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	11.5	11.4	11.4	12.0	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	22.6	22.0	22.8	23.1	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	25.4	23.8	26.0	25.7	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.84	2.85	2.89	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.50	3.46	3.53	3.57	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	11.7	10.3	12.8	11.6	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	36.6	41.3	39.8	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.80	7.75	8.06	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	17.1	16.9	17.1	17.5	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.5	16.1	16.5	17.0	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.00	4.29	4.21	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.82	4.62	4.99	4.91	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.3	13.6	14.9	14.6	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	14.8	16.4	16.0	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.54	8.69	8.85	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	13.9	14.0	14.4	14.4	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	28.5	29.3	30.3	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	33.8	33.8	34.8	34.2	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	40.4	38.1	42.4	40.8	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.59	3.63	3.75	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.74	7.64	7.78	7.98	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	13.5	13.4	14.1	13.7	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.0	15.5	14.8	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(2) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.99	4.76	4.53	4.99	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	10.5	10.3	10.3	10.5	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	22.1	21.8	22.0	21.8	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	25.6	25.3	25.7	25.4	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.50	2.45	2.41	2.54	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.53	3.45	3.48	3.50	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	11.8	11.6	12.3	11.8	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.0	40.7	39.6	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.23	7.26	7.05	7.41	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	15.0	14.6	14.6	15.0	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.2	16.1	16.2	16.1	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.16	4.17	4.15	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.86	4.86	4.97	4.90	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.4	14.2	14.6	14.3	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	15.3	15.7	15.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	7.30	7.20	7.00	7.36	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	12.8	12.8	12.4	12.7	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	28.0	27.7	27.8	27.7	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	34.1	34.0	34.3	33.8	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	39.1	38.3	40.7	38.9	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.26	3.27	2.86	3.22	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.60	7.59	7.57	7.57	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	13.7	13.6	13.9	13.4	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	14.4	14.4	15.0	14.2	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(3) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.20	4.11	4.09	4.22	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.27	8.92	9.57	9.21	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	19.2	19.0	19.5	19.3	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	22.4	22.5	22.5	22.5	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.12	2.10	2.12	2.13	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.30	3.26	3.37	3.34	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	9.79	10.2	9.52	9.61	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.9	33.4	33.7	33.0	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	6.49	6.40	6.89	6.61	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	13.0	13.0	13.3	13.0	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	14.3	14.1	14.5	14.2	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.87	3.85	3.85	3.83	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.55	4.58	4.44	4.54	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.2	13.1	13.2	12.9	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.7	14.6	14.4	14.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.70	6.44	6.86	6.75	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	11.7	11.3	12.6	11.9	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	25.0	24.8	26.0	25.4	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	31.8	31.7	30.9	31.9	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	37.0	36.8	35.8	37.0	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.98	2.80	2.73	3.02	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.51	7.48	7.38	7.60	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	12.2	12.2	11.9	12.1	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	13.1	13.0	12.7	13.0	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(4) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.98	4.06	3.86	4.07	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.12	8.20	8.05	8.21	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	18.4	18.6	18.0	18.5	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	22.5	22.5	22.3	22.5	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.99	2.02	1.87	1.97	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.17	3.18	3.09	3.14	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	10.7	10.5	10.7	10.7	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	37.3	36.9	37.2	37.3	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	5.50	5.73	5.27	5.65	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	11.4	11.6	11.2	11.5	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	13.5	13.5	13.3	13.5	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.74	3.73	3.72	3.72	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.80	4.70	4.84	4.77	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.0	13.0	12.9	13.1	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.9	14.9	15.0	15.1	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.01	6.29	6.05	6.21	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	10.7	11.0	11.0	11.0	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	21.4	21.6	21.4	21.6	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	29.8	29.7	29.8	30.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	38.2	37.7	38.8	38.5	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.16	2.09	2.14	2.19	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	6.32	6.24	6.26	6.33	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	11.8	11.7	11.8	11.7	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	13.7	13.6	13.9	13.8	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(5) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.27	4.60	4.23	4.40	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.32	8.52	8.16	8.38	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	15.9	16.5	15.6	15.9	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	19.8	20.4	19.4	19.8	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.16	2.16	2.11	2.18	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	2.92	3.06	2.79	2.89	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	8.45	9.07	8.15	8.43	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.8	31.6	30.5	30.7	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	6.76	6.78	6.52	6.90	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	12.7	12.2	12.3	12.9	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	12.7	12.9	12.4	12.7	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.98	3.20	2.79	3.00	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.28	4.19	4.21	4.28	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.0	12.1	11.7	12.0	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.1	14.2	13.9	14.2	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.49	6.52	6.43	6.50	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	10.8	10.5	11.1	11.1	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	20.2	20.3	20.5	20.3	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	25.1	25.5	26.4	25.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	31.0	30.9	32.0	31.0	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.51	2.31	2.45	2.53	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	5.50	5.10	5.45	5.48	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	8.27	8.21	8.99	8.26	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	9.14	9.02	9.99	9.15	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-36(6) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.54	4.89	4.34	4.70	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.83	10.1	9.78	10.0	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	18.5	18.3	18.5	18.4	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	20.9	20.7	20.9	20.8	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.36	2.33	2.31	2.38	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.28	3.27	3.27	3.25	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	8.54	8.43	8.74	8.42	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.4	30.2	30.4	30.3	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.26	7.19	7.01	7.32	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	14.0	13.9	13.6	13.7	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	13.8	13.9	13.9	13.8	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.42	3.32	3.41	3.37	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	3.87	3.82	4.25	3.85	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.2	12.3	12.3	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	13.6	13.4	13.8	13.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	7.51	7.44	7.46	7.53	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	11.7	11.6	11.8	11.6	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	22.6	22.5	21.5	22.7	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	27.0	26.7	27.3	27.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	31.4	31.4	34.2	31.9	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.34	2.27	2.31	2.37	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	5.72	5.60	5.86	5.74	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	9.86	9.13	10.2	9.70	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	10.5	10.1	11.8	10.6	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.69	4.60	4.83	5.04	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	5.75	6.30	6.00	6.42	6.47	6.47	6.32
			7.54	7.36	7.75	7.95	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	7.54	7.36	7.75	7.95	7.54	7.36	7.75	7.95
			25.1	24.7	25.1	25.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	25.1	24.7	25.1	25.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			41.9	40.7	42.3	43.1	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.81	10.2	10.6	10.1	9.81	10.2	10.6
			13.0	12.9	13.1	13.5	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	13.0	12.9	13.1	13.5	13.0	12.9	13.1	13.5
			17.1	17.0	17.2	17.7	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	17.1	17.0	17.2	17.7	17.1	17.0	17.2	17.7
			20.2	19.5	20.5	20.8	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	60.1	62.8	63.9	62.1	61.2	62.8	63.9
			74.2	71.7	76.6	76.1	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.44	7.49	7.44	7.74	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	7.44	7.49	7.44	7.74	7.44	7.49	7.44	7.74
			26.9	26.7	26.6	27.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	26.9	26.7	26.6	27.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			39.5	39.7	39.7	40.7	39.5	39.7	39.7	40.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2	21.9	22.3	22.8	22.2	21.9	22.3	22.8
			25.0	24.3	25.1	25.7	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	25.0	24.3	25.1	25.7	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8	17.8	17.4	18.3	17.8	17.8	17.4	18.3
			26.6	26.0	26.7	27.4	26.6	26.0	26.7	27.4
	5.5~2.0	15	26.6	26.0	26.7	27.4	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			9.53	9.43	9.60	9.77	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	9.53	9.43	9.60	9.77	9.53	9.43	9.60	9.77
			22.9	23.1	23.8	23.9	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	22.9	23.1	23.8	23.9	22.9	23.1	23.8	23.9
			46.1	45.2	45.6	47.8	46.1	45.2	45.6	47.8
	12.5~5.5	19	46.1	45.2	45.6	47.8	46.1	45.2	45.6	47.8
			69.7	68.2	67.5	71.8	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	69.7	68.2	67.5	71.8	69.7	68.2	67.5	71.8
			81.7	79.9	81.5	84.1	81.7	79.9	81.5	84.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.79	4.70	4.76	4.91	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	4.79	4.70	4.76	4.91	4.79	4.70	4.76	4.91
			11.0	10.9	10.9	11.3	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	11.0	10.9	10.9	11.3	11.0	10.9	10.9	11.3
			20.2	19.8	20.2	20.8	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	20.2	19.8	20.2	20.8	20.2	19.8	20.2	20.8
			24.8	24.3	25.4	25.6	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,
 ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.79	4.56	4.34	4.79	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.42	6.47	6.47	6.32	6.42	6.47	6.47	6.32
			7.30	7.18	6.80	7.29	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	7.30	7.18	6.80	7.29	7.54	7.36	7.75	7.95
			24.0	23.5	23.6	23.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	24.0	23.5	23.6	23.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			41.9	41.2	41.5	41.6	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	9.76	9.61	9.33	9.73	10.1	9.81	10.2	10.6
			12.4	12.2	12.0	12.4	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	12.4	12.2	12.0	12.4	13.0	12.9	13.1	13.5
			16.6	16.3	16.1	16.5	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	16.6	16.3	16.1	16.5	17.1	17.0	17.2	17.7
			20.2	20.0	19.9	20.1	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	61.2	61.3	61.7	62.1	61.2	62.8	63.9
			75.8	74.9	75.1	75.2	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.94	6.97	6.77	7.11	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.94	6.97	6.77	7.11	7.44	7.49	7.44	7.74
			23.5	23.2	22.6	23.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	23.5	23.2	22.6	23.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			36.6	35.9	35.5	36.5	39.5	39.7	39.7	40.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	20.9	20.6	20.3	20.8	22.2	21.9	22.3	22.8
			23.8	23.5	23.1	23.7	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	23.8	23.5	23.1	23.7	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	25.2	25.1	24.5	25.1	26.2	25.5	26.4	26.9
			15.7	15.3	15.2	15.7	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	25.5	25.3	24.7	25.3	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	25.5	25.3	24.7	25.3	26.6	26.0	26.7	27.4
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6	17	8.06	7.96	7.74	8.14	9.53	9.43	9.60	9.77
TG-TH	33.7~20.6	21	8.06	7.96	7.74	8.14	9.53	9.43	9.60	9.77
			20.8	20.7	20.1	20.8	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	20.8	20.7	20.1	20.8	22.9	23.1	23.8	23.9
TG-TH	12.5~5.5	19	41.7	41.5	40.1	41.8	46.1	45.2	45.6	47.8
			65.5	65.3	61.9	65.2	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	65.5	65.3	61.9	65.2	69.7	68.2	67.5	71.8
TG-TH	33.7~20.6	21	78.4	78.5	76.1	77.8	81.7	79.9	81.5	84.1
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5	22	4.26	4.29	3.75	4.21	4.79	4.70	4.76	4.91
TG-TH	12.5~5.5	23	4.26	4.29	3.75	4.21	4.79	4.70	4.76	4.91
			10.0	10.0	9.79	9.84	11.0	10.9	10.9	11.3
	5.5~2.0	24	10.0	10.0	9.79	9.84	11.0	10.9	10.9	11.3
TG-TH	33.7~20.6	21	19.1	19.0	18.3	19.0	20.2	19.8	20.2	20.8
			19.1	19.0	18.3	19.0	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	24.1	24.0	23.4	24.0	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,
 ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.03	3.95	3.93	4.05	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	5.25	5.18	5.42	5.10	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.06	5.90	5.95	6.21	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.06	5.90	5.95	6.21	7.54	7.36	7.75	7.95
			21.1	20.5	21.4	21.1	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	21.1	20.5	21.4	21.1	25.1	24.7	25.1	25.9
			36.6	35.6	36.8	36.8	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	8.35	8.12	8.49	8.35	10.1	9.81	10.2	10.6
			10.7	10.4	10.8	10.8	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	10.7	10.4	10.8	10.8	13.0	12.9	13.1	13.5
			14.6	14.2	14.8	14.7	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	14.6	14.2	14.8	14.7	17.1	17.0	17.2	17.7
			17.4	16.8	17.6	17.5	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	54.0	52.3	54.2	54.2	62.1	61.2	62.8	63.9
			65.4	63.1	65.7	65.6	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.23	6.15	6.61	6.35	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.23	6.15	6.61	6.35	7.44	7.49	7.44	7.74
			20.3	20.2	21.7	20.5	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	20.3	20.2	21.7	20.5	26.9	26.7	26.6	27.6
			31.7	31.4	33.2	31.8	39.5	39.7	39.7	40.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	18.2	18.1	18.8	18.1	22.2	21.9	22.3	22.8
			20.9	20.7	21.4	20.7	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	20.9	20.7	21.4	20.7	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	22.1	21.9	22.6	21.9	26.2	25.5	26.4	26.9
			13.9	13.6	14.5	13.9	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	22.5	22.4	22.9	22.3	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	22.5	22.4	22.9	22.3	26.6	26.0	26.7	27.4
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6	17	7.40	7.11	7.58	7.46	9.53	9.43	9.60	9.77
			7.40	7.11	7.58	7.46	9.53	9.43	9.60	9.77
	20.6~12.5	18	18.7	18.0	20.1	19.0	22.9	23.1	23.8	23.9
			18.7	18.0	20.1	19.0	22.9	23.1	23.8	23.9
	12.5~5.5	19	37.7	37.7	40.9	38.2	46.1	45.2	45.6	47.8
37.7			37.7	40.9	38.2	46.1	45.2	45.6	47.8	
5.5~2.0	20	58.9	58.6	62.3	59.4	69.7	68.2	67.5	71.8	
		58.9	58.6	62.3	59.4	69.7	68.2	67.5	71.8	
TG-TH	33.7~20.6	21	71.2	71.0	73.5	71.8	81.7	79.9	81.5	84.1
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5	22	3.90	3.66	3.58	3.96	4.79	4.70	4.76	4.91
			3.90	3.66	3.58	3.96	4.79	4.70	4.76	4.91
	12.5~5.5	23	9.99	9.71	9.52	10.1	11.0	10.9	10.9	11.3
			9.99	9.71	9.52	10.1	11.0	10.9	10.9	11.3
	5.5~2.0	24	18.1	17.7	17.6	18.2	20.2	19.8	20.2	20.8
18.1			17.7	17.6	18.2	20.2	19.8	20.2	20.8	
			22.7	22.2	21.9	22.8	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,
 ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.82	3.90	3.71	3.91	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	5.34	5.33	5.23	5.40	6.42	6.47	6.47	6.32
			5.00	5.13	4.91	5.12	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	5.00	5.13	4.91	5.12	7.54	7.36	7.75	7.95
			18.8	18.9	18.6	18.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	18.8	18.9	18.6	18.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			34.3	34.5	33.8	34.5	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	7.63	7.69	7.60	7.74	10.1	9.81	10.2	10.6
			9.89	9.97	9.73	9.98	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	9.89	9.97	9.73	9.98	13.0	12.9	13.1	13.5
			13.2	13.3	13.0	13.2	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	13.2	13.3	13.0	13.2	17.1	17.0	17.2	17.7
			16.4	16.5	16.1	16.4	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	50.3	50.6	49.7	50.5	62.1	61.2	62.8	63.9
			63.1	63.2	62.4	63.2	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.28	5.50	5.06	5.42	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	5.28	5.50	5.06	5.42	7.44	7.49	7.44	7.74
			18.1	18.5	17.8	18.4	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	18.1	18.5	17.8	18.4	26.9	26.7	26.6	27.6
			28.7	29.1	28.3	29.0	39.5	39.7	39.7	40.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.7	16.9	16.5	16.9	22.2	21.9	22.3	22.8
			19.2	19.4	19.0	19.3	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	19.2	19.4	19.0	19.3	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	20.8	21.0	20.6	20.9	26.2	25.5	26.4	26.9
			12.0	12.1	11.8	12.1	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	20.7	20.9	20.4	20.8	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	20.7	20.9	20.4	20.8	26.6	26.0	26.7	27.4
			25.8	26.0	25.5	26.0	31.4	30.6	31.5	32.3
	30.55~20.6	17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.64	6.95	6.68	6.86	9.53	9.43	9.60	9.77
	20.6~12.5	18	6.64	6.95	6.68	6.86	9.53	9.43	9.60	9.77
			17.3	17.8	17.6	17.8	22.9	23.1	23.8	23.9
			17.3	17.8	17.6	17.8	22.9	23.1	23.8	23.9
12.5~5.5	19	34.4	35.0	34.9	35.2	46.1	45.2	45.6	47.8	
		53.9	54.4	54.2	54.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
5.5~2.0	20	53.9	54.4	54.2	54.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
		66.4	66.9	66.6	67.3	81.7	79.9	81.5	84.1	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.83	2.73	2.80	2.87	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	2.83	2.73	2.80	2.87	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.95	7.78	7.87	7.99	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	7.95	7.78	7.87	7.99	11.0	10.9	10.9	11.3
			15.7	15.5	15.6	15.7	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	15.7	15.5	15.6	15.7	20.2	19.8	20.2	20.8
20.2			20.0	20.1	20.2	24.8	24.3	25.4	25.6	

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.10	4.42	4.06	4.22	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	4.48	4.74	4.39	4.50	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.23	6.34	5.98	6.34	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.23	6.34	5.98	6.34	7.54	7.36	7.75	7.95
			17.8	18.3	17.5	17.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	17.8	18.3	17.5	17.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			31.3	32.1	30.7	31.3	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	7.35	7.60	7.30	7.44	10.1	9.81	10.2	10.6
			9.73	9.68	9.68	9.85	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	9.73	9.68	9.68	9.85	13.0	12.9	13.1	13.5
			12.7	12.9	12.7	12.9	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	12.7	12.9	12.7	12.9	17.1	17.0	17.2	17.7
			15.2	15.7	14.8	15.3	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	46.5	47.8	45.1	46.6	62.1	61.2	62.8	63.9
			57.3	58.9	55.7	57.3	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.49	6.51	6.26	6.62	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.49	6.51	6.26	6.62	7.44	7.49	7.44	7.74
			21.0	20.4	20.3	21.3	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	21.0	20.4	20.3	21.3	26.9	26.7	26.6	27.6
			30.8	29.3	30.3	31.2	39.5	39.7	39.7	40.7

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	17.2	16.2	17.0	17.4	22.2	21.9	22.3	22.8
			18.9	17.9	18.7	19.1	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	18.9	17.9	18.7	19.1	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	19.8	19.1	19.7	20.0	26.2	25.5	26.4	26.9
			13.7	13.2	13.3	13.9	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	20.0	19.4	20.0	20.2	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	20.0	19.4	20.0	20.2	26.6	26.0	26.7	27.4
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6	17	7.17	7.20	7.10	7.19	9.53	9.43	9.60	9.77
TG-TH	33.7~20.6	21	7.17	7.20	7.10	7.19	9.53	9.43	9.60	9.77
			17.9	17.6	18.1	18.2	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	17.9	17.6	18.1	18.2	22.9	23.1	23.8	23.9
TG-TH	12.5~5.5	19	33.4	32.0	34.2	34.1	46.1	45.2	45.6	47.8
			50.2	49.0	51.1	50.8	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	50.2	49.0	51.1	50.8	69.7	68.2	67.5	71.8
TG-TH	33.7~20.6	21	59.3	58.4	61.5	59.9	81.7	79.9	81.5	84.1
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5	22	3.29	3.03	3.21	3.31	4.79	4.70	4.76	4.91
TG-TH	12.5~5.5	23	3.29	3.03	3.21	3.31	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.73	7.16	7.62	7.74	11.0	10.9	10.9	11.3
	5.5~2.0	24	7.73	7.16	7.62	7.74	11.0	10.9	10.9	11.3
TG-TH	33.7~20.6	21	13.5	12.6	13.4	13.5	20.2	19.8	20.2	20.8
			13.5	12.6	13.4	13.5	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	16.6	15.4	16.8	16.6	24.8	24.3	25.4	25.6

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)
(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.35	4.70	4.17	4.51	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	5.05	4.98	4.99	4.98	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.65	6.70	6.53	6.95	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.65	6.70	6.53	6.95	7.54	7.36	7.75	7.95
			21.1	21.5	21.0	21.3	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	21.1	21.5	21.0	21.3	25.1	24.7	25.1	25.9
			35.1	35.4	35.1	35.3	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	8.44	8.68	8.35	8.58	10.1	9.81	10.2	10.6
			11.1	11.3	11.0	11.3	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	11.1	11.3	11.0	11.3	13.0	12.9	13.1	13.5
			14.8	15.1	14.7	15.1	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	14.8	15.1	14.7	15.1	17.1	17.0	17.2	17.7
			17.5	17.8	17.2	17.7	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	52.5	53.2	52.4	53.0	62.1	61.2	62.8	63.9
			63.2	63.8	62.8	63.6	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.97	6.90	6.73	7.02	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.97	6.90	6.73	7.02	7.44	7.49	7.44	7.74
			22.9	22.7	22.2	22.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	22.9	22.7	22.2	22.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			33.8	33.7	32.9	33.3	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル(基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,
 ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-37(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW 方向)
(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	19.2	19.2	18.8	19.0	22.2	21.9	22.3	22.8
			21.1	21.1	20.8	20.9	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	21.1	21.1	20.8	20.9	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	22.4	22.3	22.0	22.2	26.2	25.5	26.4	26.9
			14.7	14.6	14.2	14.5	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	22.7	22.7	22.3	22.5	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	22.7	22.7	22.3	22.5	26.6	26.0	26.7	27.4
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6	17	8.30	8.22	8.24	8.32	9.53	9.43	9.60	9.77
TG-TH	33.7~20.6	21	8.30	8.22	8.24	8.32	9.53	9.43	9.60	9.77
			19.9	19.7	19.6	19.7	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	19.9	19.7	19.6	19.7	22.9	23.1	23.8	23.9
TG-TH	12.5~5.5	19	35.0	35.5	34.3	34.9	46.1	45.2	45.6	47.8
			53.7	52.4	51.8	53.7	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	53.7	52.4	51.8	53.7	69.7	68.2	67.5	71.8
TG-TH	33.7~20.6	21	63.0	61.2	61.3	62.9	81.7	79.9	81.5	84.1
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5	22	3.06	2.98	3.02	3.11	4.79	4.70	4.76	4.91
TG-TH	12.5~5.5	23	3.06	2.98	3.02	3.11	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.57	7.24	7.76	7.64	11.0	10.9	10.9	11.3
	5.5~2.0	24	7.57	7.24	7.76	7.64	11.0	10.9	10.9	11.3
TG-TH	33.7~20.6	21	14.0	13.2	14.8	14.1	20.2	19.8	20.2	20.8
			14.0	13.2	14.8	14.1	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	17.7	16.6	18.8	17.6	24.8	24.3	25.4	25.6

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-38(1) 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）

(a) $S_s - D$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1139	1076	1121	1132	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	956	981	1012	960	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	787	828	821	783	863	840	878	864
	12.5	4	690	706	689	687	690	706	691	687
	5.5	5	571	583	579	569	571	583	579	569
	2.0	8	535	549	532	536	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	1139	1076	1121	1132	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	2000	2011	2008	1947	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	2060	2021	2068	2067	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2975	2903	3059	2797	2975	2903	3059	2843

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1：ケース1：工認モデル（基本ケース），ケース2：地盤物性+ σ ，

ケース3：地盤物性- σ ，ケース4：積雪

注2：ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-38(2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			Ss-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	983	968	1046	974	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	872	828	931	864	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	661	653	683	654	863	840	878	864
	12.5	4	504	541	547	500	690	706	691	687
	5.5	5	396	418	410	394	571	583	579	569
	2.0	8	349	352	363	349	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	983	968	1046	974	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1499	1470	1465	1725	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1716	1643	1693	1693	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2539	2450	2514	2562	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース2 : 地盤物性 + σ ,

ケース3 : 地盤物性 - σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-38(3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	874	920	944	870	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	771	778	844	767	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	615	623	677	613	863	840	878	864
	12.5	4	504	523	552	507	690	706	691	687
	5.5	5	468	487	495	470	571	583	579	569
	2.0	8	458	459	458	459	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	874	920	944	870	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1302	1319	1256	1385	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1507	1475	1526	1279	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2242	2231	2361	2151	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-38(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	808	808	834	810	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	736	730	754	738	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	578	575	587	579	863	840	878	864
	12.5	4	459	453	469	459	690	706	691	687
	5.5	5	337	336	336	338	571	583	579	569
	2.0	8	298	309	300	299	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	808	808	834	810	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1054	1059	985	1032	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1066	1044	1035	1022	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	1553	1518	1550	1548	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-38(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1413	1332	1447	1428	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	1193	1155	1215	1198	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	863	840	878	864	863	840	878	864
	12.5	4	680	662	691	677	690	706	691	687
	5.5	5	541	519	527	538	571	583	579	569
	2.0	8	467	443	440	464	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	1413	1332	1447	1428	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1915	2002	1817	1976	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	2038	1988	2027	2396	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2697	2618	2705	2843	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-39(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1.08	1.05	1.16	1.07	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.98	0.94	1.05	0.96	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.76	0.69	0.81	0.75	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.57	0.51	0.64	0.57	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.36	0.29	0.44	0.36	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.25	0.17	0.33	0.25	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.05	1.16	1.07	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	14.30	13.86	15.00	16.60	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	29.92	28.90	31.17	34.23	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	40.52	39.23	42.10	42.01	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-39(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.96	0.90	1.02	0.94	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.85	0.80	0.91	0.84	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.62	0.58	0.67	0.62	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.44	0.41	0.49	0.44	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.25	0.21	0.31	0.25	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.15	0.10	0.25	0.15	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.96	0.90	1.02	0.94	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	8.72	8.37	9.08	8.52	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	19.12	18.49	20.15	18.85	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	25.61	24.63	26.74	25.75	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-39(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.90	0.85	0.95	0.91	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.80	0.75	0.84	0.81	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.59	0.54	0.61	0.60	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.43	0.38	0.44	0.43	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.25	0.20	0.29	0.25	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.16	0.12	0.21	0.16	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.90	0.85	0.95	0.91	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	9.10	8.81	9.48	7.74	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	18.80	18.25	19.65	15.93	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	22.86	22.10	23.96	19.70	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-39(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.79	0.77	0.94	0.80	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.70	0.68	0.84	0.70	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.50	0.48	0.64	0.50	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.35	0.32	0.48	0.35	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.17	0.15	0.30	0.17	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.12	0.07	0.20	0.12	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.79	0.77	0.94	0.80	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	5.97	5.75	6.10	6.58	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	13.37	13.01	13.93	15.08	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	18.02	17.41	18.67	20.16	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-39(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Ss-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1.24	1.16	1.36	1.28	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	1.10	1.03	1.22	1.12	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.79	0.74	0.90	0.81	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.55	0.51	0.66	0.57	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.32	0.26	0.40	0.32	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.19	0.13	0.30	0.20	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.24	1.16	1.36	1.28	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	8.63	8.46	9.18	8.93	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	19.10	18.42	19.96	17.10	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	24.58	23.72	25.46	24.01	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-40(1) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	8.65	8.54	9.48	9.83	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	24.2	24.8	24.2	24.4	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	50.5	52.3	51.3	50.6	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	75.6	77.0	76.5	75.6	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	89.7	91.0	90.9	89.6	98.8	91.6	99.7	99.5

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-40(2) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	7.03	6.86	7.45	6.78	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	22.4	21.5	23.9	22.1	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	45.3	44.1	47.6	44.7	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	64.1	63.0	67.7	63.3	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	73.7	73.4	77.9	72.9	98.8	91.6	99.7	99.5

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-40(3) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F_2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - F_2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.68	7.00	7.25	7.05	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	20.3	20.8	22.2	20.6	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	41.1	41.4	44.9	41.4	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	58.6	59.4	63.8	58.8	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	67.9	68.7	73.3	68.1	98.8	91.6	99.7	99.5

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-40(4) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.07	6.07	6.25	6.09	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	19.1	19.0	19.6	19.2	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	39.4	39.2	40.2	39.5	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	56.5	56.0	57.6	56.6	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	65.2	64.6	66.1	65.4	98.8	91.6	99.7	99.5

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-40(5) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	9.22	9.17	9.68	10.8	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	30.2	29.3	31.0	31.3	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	60.6	58.4	61.5	61.5	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	85.8	81.8	86.6	86.7	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	98.8	91.6	99.7	99.5	98.8	91.6	99.7	99.5

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-41(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)
(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1014	946	1120	1030	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	709	702	729	711	870	866	953	870
	12.5	3	536	520	512	533	619	590	628	614
	9.0	4	480	451	478	482	563	536	526	557
T3	41.6	5	1145	1118	1295	1160	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	942	876	1024	948	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1701	1800	1741	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	1080	1077	1168	1089	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1167	1196	1180	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	651	639	691	648	651	639	691	648
	12.5	11	500	491	533	496	530	530	588	533
	5.5	12	411	412	462	414	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1446	1729	1564	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	1048	998	1101	1043	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	930	927	927	926	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	627	619	618	627	821	807	778	821
	5.5	21	497	480	485	499	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	1728	1887	1798	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1071	992	1066	1080	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	817	766	739	822	899	828	833	879
	5.5	17	489	486	542	489	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1294	1370	1317	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	842	856	842	844	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1779	1687	1679	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	734	749	762	731	734	749	762	731
	12.5	26	583	612	622	577	583	612	622	577
	5.5	27	451	459	506	448	451	459	506	448
T14	41.6	28	1001	1023	1020	995	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	760	751	751	764	837	853	803	821
	20.6	30	540	561	559	523	548	561	559	553
	12.5	31	476	484	507	465	476	484	507	465
	2.0	34	439	434	478	439	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-41(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	997	1022	1089	1035	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	734	734	725	742	870	866	953	870
	12.5	3	509	452	430	500	619	590	628	614
	9.0	4	418	357	391	427	563	536	526	557
T3	41.6	5	1033	1025	950	1024	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	842	852	780	832	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1889	1804	1808	1906	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	988	924	951	983	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1166	1197	1212	1176	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	516	513	498	520	651	639	691	648
	12.5	11	405	411	402	401	530	530	588	533
	5.5	12	287	325	285	282	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1499	1404	1511	1482	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	815	799	783	801	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	814	790	766	802	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	593	600	580	596	821	807	778	821
	5.5	21	308	299	327	307	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2313	2190	2202	2288	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1051	1000	991	1050	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	750	626	679	747	899	828	833	879
	5.5	17	442	460	423	459	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1064	1035	1083	1064	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	558	602	576	549	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1803	1934	1788	1734	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	511	489	448	517	734	749	762	731
	12.5	26	389	422	377	392	583	612	622	577
	5.5	27	311	350	304	312	451	459	506	448
T14	41.6	28	770	798	774	743	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	503	510	466	517	837	853	803	821
	20.6	30	404	458	354	404	548	561	559	553
	12.5	31	346	380	341	353	476	484	507	465
	2.0	34	297	292	304	302	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-41(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	831	808	810	846	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	731	687	696	729	870	866	953	870
	12.5	3	619	590	591	614	619	590	628	614
	9.0	4	543	517	524	537	563	536	526	557
T3	41.6	5	1055	1000	923	1040	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	763	738	696	769	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1648	1504	1414	1621	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	887	817	829	882	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1198	1148	1142	1210	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	560	520	550	567	651	639	691	648
	12.5	11	470	430	474	473	530	530	588	533
	5.5	12	311	283	330	308	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1343	1332	1383	1343	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	942	891	1008	934	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	781	713	725	780	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	607	611	576	600	821	807	778	821
	5.5	21	349	314	349	349	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1918	1802	1761	1900	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1010	908	968	1005	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	899	828	833	879	899	828	833	879
	5.5	17	416	407	409	417	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1014	1057	1085	1003	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	654	625	634	648	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1552	1542	1441	1549	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	530	518	473	526	734	749	762	731
	12.5	26	393	414	365	388	583	612	622	577
	5.5	27	291	298	326	291	451	459	506	448
T14	41.6	28	767	811	881	782	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	610	630	668	612	837	853	803	821
	20.6	30	459	483	473	459	548	561	559	553
	12.5	31	380	371	377	392	476	484	507	465
	2.0	34	278	280	297	277	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-41(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	703	701	743	706	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	507	493	502	506	870	866	953	870
	12.5	3	374	362	357	373	619	590	628	614
	9.0	4	341	333	329	341	563	536	526	557
T3	41.6	5	854	834	757	828	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	646	636	592	628	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1212	1122	1092	1204	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	680	710	674	677	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	949	918	881	941	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	468	497	463	464	651	639	691	648
	12.5	11	390	414	383	386	530	530	588	533
	5.5	12	264	269	259	262	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1341	1178	1402	1321	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	826	760	828	818	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	588	576	538	577	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	372	369	370	369	821	807	778	821
	5.5	21	259	265	263	258	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1460	1339	1380	1424	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	648	601	612	642	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	550	504	476	548	899	828	833	879
	5.5	17	345	360	336	345	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	735	767	785	732	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	528	588	538	544	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1162	1166	1170	1172	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	450	471	415	450	734	749	762	731
	12.5	26	352	363	331	351	583	612	622	577
	5.5	27	281	279	268	279	451	459	506	448
T14	41.6	28	582	594	582	600	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	433	463	463	448	837	853	803	821
	20.6	30	357	385	365	357	548	561	559	553
	12.5	31	315	332	305	315	476	484	507	465
	2.0	34	270	277	266	270	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-41(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	704	719	736	689	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	526	534	518	527	870	866	953	870
	12.5	3	386	379	344	383	619	590	628	614
	9.0	4	368	340	315	361	563	536	526	557
T3	41.6	5	836	830	841	839	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	682	670	678	669	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1202	1123	1087	1190	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	628	616	585	611	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1052	1071	992	1041	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	492	522	466	480	651	639	691	648
	12.5	11	396	428	360	385	530	530	588	533
	5.5	12	280	286	273	279	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1175	1112	1235	1156	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	693	645	745	669	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	757	745	761	759	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	578	582	559	577	821	807	778	821
	5.5	21	345	336	282	344	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1481	1373	1463	1440	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	668	633	588	668	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	517	531	481	515	899	828	833	879
	5.5	17	419	437	342	417	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	737	731	757	739	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	606	593	519	631	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1338	1354	1345	1345	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	519	526	489	517	734	749	762	731
	12.5	26	376	393	327	370	583	612	622	577
	5.5	27	321	313	287	324	451	459	506	448
T14	41.6	28	686	718	713	690	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	430	402	417	438	837	853	803	821
	20.6	30	362	362	341	362	548	561	559	553
	12.5	31	365	376	310	369	476	484	507	465
	2.0	34	316	309	271	316	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-41(6) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1239	1231	1346	1243	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	870	866	953	870	870	866	953	870
	12.5	3	614	588	628	608	619	590	628	614
	9.0	4	563	536	526	557	563	536	526	557
T3	41.6	5	1238	1248	1296	1239	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	1045	1019	1109	1044	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1678	1700	1840	1700	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	1026	1011	1026	1038	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1239	1225	1277	1228	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	651	625	679	648	651	639	691	648
	12.5	11	530	530	588	533	530	530	588	533
	5.5	12	387	362	416	389	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2129	2143	2281	2101	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	1332	1313	1440	1316	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	1081	1044	1048	1082	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	821	807	778	821	821	807	778	821
	5.5	21	440	447	418	442	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2231	2189	2180	2211	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1200	1138	1272	1205	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	767	754	780	774	899	828	833	879
	5.5	17	482	485	467	485	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1482	1466	1538	1444	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	875	907	901	872	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1506	1585	1563	1463	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	664	653	669	662	734	749	762	731
	12.5	26	549	558	611	554	583	612	622	577
	5.5	27	430	419	477	432	451	459	506	448
T14	41.6	28	1162	1163	1132	1145	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	837	853	803	821	837	853	803	821
	20.6	30	548	550	533	553	548	561	559	553
	12.5	31	431	425	465	435	476	484	507	465
	2.0	34	369	363	383	370	439	434	478	439

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-42(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.26	5.04	6.06	5.31	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	3.43	3.28	4.00	3.44	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.16	2.06	2.60	2.15	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.64	1.56	2.03	1.63	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	6.98	6.86	8.27	7.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	5.63	5.49	6.64	5.71	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	9.46	9.61	11.28	9.77	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	6.18	6.20	7.43	6.32	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	6.87	6.70	7.95	6.96	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	3.21	3.11	3.83	3.22	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.28	2.20	2.76	2.28	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.87	0.81	1.21	0.86	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	15.60	14.29	18.61	15.61	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	9.88	9.07	12.09	9.83	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	4.26	4.18	5.55	4.18	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	2.21	2.04	2.86	2.20	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.90	0.75	1.18	0.89	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.04	10.53	12.32	10.40	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.98	4.85	6.01	5.06	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.38	2.33	2.90	2.39	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.95	0.89	1.38	0.94	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13 (TA側)	41.6	22	10.36	9.97	12.37	10.39	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	5.10	5.11	6.41	5.19	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13 (TF側)	30.55	23	7.47	7.46	8.31	7.41	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	2.42	2.35	3.04	2.42	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.54	1.47	2.08	1.54	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.77	0.69	1.25	0.77	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	5.44	5.50	6.54	5.45	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	3.70	3.65	4.41	3.69	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	2.25	2.20	2.88	2.23	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.30	1.24	1.86	1.29	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.45	0.38	0.77	0.45	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-42(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	4.23	4.10	4.12	4.20	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.70	2.64	2.62	2.67	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.65	1.60	1.76	1.62	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.26	1.19	1.39	1.26	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	5.81	5.45	5.65	5.79	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	4.57	4.33	4.43	4.53	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	8.68	8.51	9.13	8.59	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	5.21	4.86	5.15	5.19	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.88	5.65	5.92	5.82	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.46	2.34	2.35	2.41	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.66	1.57	1.73	1.62	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.64	0.54	0.85	0.64	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.87	9.11	10.91	9.76	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.62	5.83	7.43	6.56	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.60	3.10	3.80	3.55	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.83	1.64	1.97	1.80	3.02	2.83	3.52	3.05
T7-T10 (TF側)	5.5	21	0.61	0.52	0.75	0.60	1.02	0.90	1.41	1.03
	30.55	14	10.78	10.76	10.86	10.61	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.93	4.61	4.67	4.86	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.30	2.20	2.19	2.26	3.27	2.95	3.89	3.30
T11-T13 (TA側)	5.5	17	0.74	0.67	0.95	0.72	1.32	1.13	1.81	1.34
	41.6	22	6.83	5.76	7.99	6.86	14.13	14.85	17.63	14.33
T11-T13 (TF側)	32.0	24	3.42	3.13	4.04	3.39	7.14	7.56	9.17	7.18
	30.55	23	8.11	8.20	8.50	7.80	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.54	1.53	1.83	1.53	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	0.89	0.86	1.15	0.87	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.46	0.40	0.72	0.45	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	4.29	3.72	4.91	4.22	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.76	2.35	3.23	2.70	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.50	1.33	1.85	1.48	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.85	0.74	1.01	0.83	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.29	0.25	0.55	0.29	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-42(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.89	3.53	4.32	3.97	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.93	2.60	3.22	2.97	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.04	1.76	2.27	2.06	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.63	1.37	1.84	1.63	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	4.82	4.94	5.08	4.84	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	3.78	3.89	4.36	3.89	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.55	6.73	6.49	6.73	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.21	4.37	4.61	4.27	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.08	4.68	5.37	5.22	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.65	2.33	2.99	2.70	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.00	1.71	2.29	2.03	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.85	0.63	1.09	0.86	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.90	10.23	11.55	10.14	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.72	5.90	7.70	6.66	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.75	3.41	4.20	3.72	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	2.03	1.86	2.22	2.00	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.73	0.59	0.98	0.72	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10 (TF側)	30.55	14	8.34	8.08	7.82	8.28	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.02	3.62	4.48	4.10	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.33	2.19	2.56	2.33	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.99	0.89	1.23	1.00	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13 (TA側)	41.6	22	6.47	6.48	7.67	6.51	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.26	3.05	3.87	3.19	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13 (TF側)	30.55	23	6.85	6.82	6.48	6.88	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.72	1.48	1.93	1.68	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.04	0.89	1.36	1.03	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.64	0.44	0.91	0.65	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	4.58	4.53	5.34	4.58	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	3.14	3.06	3.62	3.12	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.86	1.77	2.13	1.84	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.00	0.91	1.31	0.99	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.42	0.30	0.65	0.42	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-42(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.44	3.64	3.96	3.49	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.35	2.39	2.80	2.33	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.54	1.50	1.97	1.52	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.20	1.12	1.60	1.18	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	4.64	4.58	5.05	4.60	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	3.72	3.84	4.27	3.68	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.59	5.99	6.49	6.57	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.29	4.06	4.65	4.24	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.72	4.33	4.67	4.68	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.24	2.38	2.85	2.26	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.60	1.70	2.17	1.61	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.62	0.59	1.09	0.60	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	11.31	10.71	12.49	11.45	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	7.52	7.03	8.04	7.55	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.75	3.42	4.04	3.72	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.85	1.72	2.17	1.83	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.58	0.59	1.09	0.59	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10 (TF側)	30.55	14	9.78	8.74	10.10	9.58	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	3.30	2.94	3.32	3.27	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	1.94	1.68	2.08	1.93	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.76	0.59	1.13	0.75	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13 (TA側)	41.6	22	5.80	5.50	6.88	5.74	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.19	3.43	4.07	3.32	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13 (TF側)	30.55	23	5.84	6.23	6.84	6.02	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.84	1.93	2.45	1.89	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.15	1.18	1.69	1.17	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.55	0.53	1.05	0.56	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	3.76	3.99	4.80	3.93	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.67	2.80	3.50	2.77	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.69	1.74	2.36	1.74	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.98	0.99	1.55	1.01	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.27	0.23	0.69	0.26	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-42(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.81	3.60	3.90	3.74	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.42	2.28	2.55	2.36	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.47	1.36	1.66	1.43	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.09	1.04	1.30	1.06	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	5.20	4.92	5.39	5.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	4.11	3.92	4.30	4.02	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	7.50	6.90	7.59	7.45	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.70	4.40	4.92	4.62	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.78	4.52	4.85	4.71	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.32	2.24	2.57	2.25	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.61	1.53	1.87	1.56	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.56	0.54	0.84	0.54	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	10.34	9.71	11.22	10.28	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.60	6.11	7.42	6.54	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.26	2.87	3.78	3.22	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.76	1.70	2.01	1.77	3.02	2.83	3.52	3.05
T7-T10 (TF側)	5.5	21	0.60	0.57	0.85	0.60	1.02	0.90	1.41	1.03
	30.55	14	9.62	9.30	9.87	9.47	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	3.46	3.33	3.64	3.38	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	1.86	1.71	1.98	1.83	3.27	2.95	3.89	3.30
T11-T13 (TA側)	5.5	17	0.71	0.61	0.89	0.70	1.32	1.13	1.81	1.34
	41.6	22	5.50	4.60	6.23	5.59	14.13	14.85	17.63	14.33
T11-T13 (TF側)	32.0	24	3.37	2.90	3.88	3.41	7.14	7.56	9.17	7.18
	30.55	23	6.69	6.37	7.14	6.86	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.92	1.69	2.26	1.92	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.16	0.98	1.46	1.16	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.53	0.41	0.81	0.52	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	3.73	3.13	4.22	3.81	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.64	2.23	3.03	2.68	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.67	1.41	2.01	1.69	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.96	0.77	1.27	0.96	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.23	0.28	0.47	0.23	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-42(6) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.82	5.54	6.64	5.86	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	3.91	3.66	4.56	3.94	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.54	2.33	3.08	2.55	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.98	1.79	2.50	1.99	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	8.10	8.55	8.79	8.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	6.08	6.45	6.88	6.13	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	12.69	13.25	14.04	12.83	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	7.69	8.08	8.63	7.72	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	7.57	8.02	8.55	7.58	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	3.51	3.16	4.12	3.53	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.53	2.24	3.06	2.54	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	1.07	0.89	1.51	1.08	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	24.34	25.95	28.94	24.64	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	15.24	16.43	18.37	15.34	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	6.10	6.77	7.71	6.06	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	3.02	2.83	3.52	3.05	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	1.02	0.90	1.41	1.03	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10 (TF側)	30.55	14	16.32	17.11	18.36	16.09	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	6.12	5.81	7.15	6.24	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	3.27	2.95	3.89	3.30	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	1.32	1.13	1.81	1.34	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13 (TA側)	41.6	22	14.13	14.85	17.63	14.33	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	7.14	7.56	9.17	7.18	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13 (TF側)	30.55	23	11.10	11.95	12.87	11.07	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	2.48	2.65	3.33	2.44	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.44	1.55	2.20	1.44	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.79	0.80	1.28	0.79	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	7.88	8.02	9.32	7.90	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	5.14	5.19	6.28	5.12	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	2.85	2.94	3.79	2.82	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.39	1.52	2.22	1.37	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.52	0.57	0.92	0.53	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-43(1) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.48	2.77	2.59	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	4.16	4.04	4.45	4.20	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	5.41	5.34	5.76	5.43	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	6.37	6.33	6.73	6.36	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.54	2.78	2.55	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	4.39	4.38	4.90	4.52	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.53	1.58	1.63	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.71	2.74	2.88	2.73	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.416	0.433	0.440	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.67	1.66	1.73	1.69	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	16.1	17.7	16.4	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	22.3	22.3	24.1	22.4	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	23.1	23.2	24.8	23.1	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.59	3.90	3.64	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.85	4.60	5.16	4.84	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	5.22	5.12	5.57	5.15	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	7.65	7.61	7.68	7.60	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	8.60	8.46	8.52	8.53	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.507	0.481	0.562	0.517	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.36	1.30	1.39	1.36	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.22	2.18	2.23	2.26	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	3.77	3.79	4.20	3.80	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.85	4.71	4.99	4.84	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.87	1.88	1.99	1.92	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	4.02	3.91	4.44	4.01	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.294	0.314	0.282	0.282	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.853	0.876	0.839	0.832	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	9.43	9.59	9.80	9.46	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	12.7	13.0	13.2	12.6	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	15.6	15.8	15.0	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.41	1.34	1.60	1.39	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.97	1.94	2.17	2.03	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	2.26	2.32	2.38	2.26	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	3.06	3.18	3.20	3.02	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-43(2) 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動 S d , N S 方向）

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.12	2.00	2.03	2.13	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	3.44	3.42	3.30	3.43	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	4.33	4.37	4.10	4.29	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	5.12	5.26	4.95	5.07	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	2.72	2.61	2.66	2.74	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	3.62	3.43	3.44	3.64	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.55	1.61	1.66	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.59	2.53	2.52	2.60	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.412	0.365	0.378	0.425	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.62	1.63	1.62	1.65	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	13.9	13.6	13.2	13.8	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.9	16.8	15.7	16.6	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	16.8	17.0	16.7	16.5	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.41	3.61	3.66	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.05	3.87	3.96	3.99	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.88	4.45	4.59	4.83	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.86	6.73	6.78	6.77	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.41	6.95	7.54	7.31	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.608	0.571	0.577	0.605	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.64	1.55	1.56	1.61	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.10	2.04	2.04	2.12	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.17	4.11	3.95	4.12	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.07	4.14	3.77	3.97	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.65	1.58	1.64	1.66	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.28	3.11	3.46	3.30	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.292	0.328	0.298	0.280	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.906	0.959	0.903	0.872	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	6.81	6.92	6.90	6.83	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	8.58	8.68	8.69	8.55	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	9.91	10.1	10.1	9.82	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.11	1.00	1.21	1.11	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.58	1.45	1.69	1.57	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.70	1.58	1.81	1.67	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.07	2.06	2.10	2.08	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1：ケース 1：工認モデル（基本ケース），ケース 2：地盤物性 + σ ，
 ケース 3：地盤物性 - σ ，ケース 4：積雪

注 2：ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-43(3) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.59	1.57	1.55	1.56	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	2.94	2.84	3.04	3.02	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	4.49	4.28	4.56	4.56	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	6.19	5.90	6.19	6.22	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.82	1.71	1.78	1.83	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	2.89	2.84	2.71	2.92	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.55	1.52	1.47	1.56	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.18	2.19	2.12	2.19	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.342	0.319	0.316	0.347	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.37	1.31	1.34	1.38	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	11.3	10.9	11.7	11.7	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	18.5	17.5	18.9	18.8	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	20.3	19.2	20.9	20.6	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.31	3.19	3.23	3.39	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	3.70	3.69	4.02	3.74	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	5.03	4.65	5.40	4.96	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	7.23	7.08	7.42	7.15	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.94	7.89	8.08	7.85	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.553	0.512	0.531	0.552	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.31	1.24	1.18	1.29	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.04	1.96	2.03	2.01	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.08	3.75	3.81	4.02	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	5.27	4.89	4.73	5.15	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.64	1.63	1.66	1.65	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.05	2.94	3.37	2.96	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.261	0.262	0.242	0.258	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.772	0.765	0.721	0.773	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.16	6.47	7.68	7.01	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	9.12	8.62	9.97	8.93	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	10.9	10.7	11.9	10.7	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.03	1.08	1.21	1.06	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.65	1.69	1.90	1.66	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.98	2.02	2.23	1.98	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.52	2.55	2.76	2.49	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-43(4) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.55	1.66	1.48	1.59	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	2.72	2.89	2.59	2.75	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	3.69	3.94	3.63	3.71	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	4.64	4.73	4.43	4.59	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.64	1.52	1.57	1.67	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	2.51	2.37	2.46	2.52	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.19	1.18	1.21	1.23	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.22	2.19	2.17	2.21	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.271	0.233	0.270	0.272	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.29	1.22	1.20	1.29	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	10.7	11.5	10.8	10.7	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.2	17.6	16.5	16.3	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	17.7	19.2	18.0	17.7	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.06	2.70	3.13	3.08	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.10	3.67	4.43	4.08	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.88	4.61	4.66	4.83	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.08	5.84	5.82	6.03	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	6.24	6.40	5.97	6.18	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.324	0.302	0.297	0.318	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.09	0.998	1.05	1.06	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	1.55	1.59	1.45	1.52	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	3.11	2.88	2.88	3.10	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	3.86	3.61	3.57	3.84	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.56	1.54	1.57	1.56	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.01	2.98	3.34	3.03	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.199	0.202	0.197	0.200	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.571	0.570	0.579	0.576	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.08	7.78	7.40	7.31	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	9.47	10.3	9.67	9.69	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	11.4	12.2	11.6	11.6	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	0.868	0.846	0.961	0.874	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.16	1.27	1.34	1.22	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.60	1.74	1.77	1.66	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.33	2.50	2.48	2.39	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-43(5) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)
(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.84	1.80	1.73	1.83	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	3.00	3.00	2.71	2.94	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	3.88	3.96	3.52	3.77	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	4.55	4.67	4.10	4.42	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.86	1.68	1.71	1.87	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	3.15	3.02	2.93	3.12	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.38	1.31	1.33	1.40	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.33	2.31	2.30	2.31	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.276	0.243	0.244	0.283	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.36	1.37	1.25	1.36	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	11.8	12.2	11.3	11.5	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.5	17.3	15.7	16.0	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	17.4	18.3	16.6	16.8	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	2.52	2.39	2.60	2.53	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	3.23	2.98	3.41	3.17	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.23	4.00	4.37	4.20	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.90	6.80	6.80	6.93	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.69	7.57	7.46	7.71	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.309	0.296	0.300	0.301	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.13	1.04	1.13	1.10	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	1.70	1.78	1.68	1.66	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	2.97	2.87	2.80	2.97	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.25	4.17	3.77	4.20	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.45	1.35	1.47	1.47	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	2.95	2.65	3.12	2.98	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.208	0.221	0.210	0.209	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.680	0.679	0.684	0.684	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.84	7.46	8.01	7.90	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	10.0	9.73	9.90	10.1	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	11.4	11.3	11.0	11.4	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	0.791	0.687	0.817	0.804	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.16	1.07	1.25	1.19	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.62	1.48	1.63	1.66	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.34	2.25	2.29	2.37	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-43(6) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.80	3.03	2.78	2.81	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	4.44	4.41	4.72	4.46	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	5.85	5.70	6.14	5.87	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	7.34	7.14	7.61	7.36	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	3.18	3.23	3.35	3.21	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	5.15	5.34	5.15	5.18	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.66	1.70	1.84	1.68	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	3.05	3.11	3.09	3.02	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.513	0.535	0.590	0.520	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.73	1.74	1.71	1.72	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	17.4	17.2	16.5	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	22.8	22.4	24.1	22.9	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	25.5	24.0	26.8	25.5	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.96	3.92	4.15	4.06	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	5.92	5.94	6.18	5.89	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	6.01	5.82	5.80	6.12	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	9.70	9.40	9.27	9.80	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	10.9	10.7	10.4	11.1	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.555	0.495	0.657	0.566	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.76	1.73	1.78	1.75	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.25	2.17	2.21	2.19	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.64	4.57	4.70	4.64	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	5.98	5.91	6.09	5.98	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.95	1.94	1.99	1.94	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	5.13	5.26	5.63	5.14	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.242	0.250	0.232	0.226	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.857	0.911	0.920	0.847	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	10.6	11.3	11.6	10.5	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	13.5	14.4	13.9	13.2	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	16.2	15.7	14.8	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.98	2.08	2.35	2.01	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	2.82	2.75	2.98	2.83	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	3.23	3.22	3.35	3.22	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	3.77	3.87	3.83	3.72	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-44(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)
(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.26	3.63	3.39	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	3.30	3.26	3.63	3.39	3.67	3.97	3.64	3.68
			6.61	6.46	7.17	6.74	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	6.61	6.46	7.17	6.74	6.83	7.47	7.28	6.90
			8.45	8.25	9.12	8.58	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	8.45	8.25	9.12	8.58	8.87	9.37	9.39	8.95
			12.8	12.5	13.7	12.9	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.93	2.01	2.19	2.01	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.93	2.01	2.19	2.01	2.51	2.55	2.64	2.54
			7.61	7.70	8.57	7.87	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.0946	0.101	0.0994	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.45	1.38	1.42	1.47	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.45	1.38	1.42	1.47	1.46	1.50	1.62	1.48
			4.21	4.27	4.44	4.28	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.122	0.127	0.128	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.217	0.207	0.215	0.219	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.217	0.207	0.215	0.219	0.251	0.262	0.289	0.255
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	14.2	15.4	14.5	16.4	16.8	16.3	16.4
			26.2	26.3	28.7	26.7	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	26.2	26.3	28.7	26.7	29.3	30.4	28.7	29.2
			40.6	40.7	44.5	41.2	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	40.6	40.7	44.5	41.2	43.5	46.0	44.5	43.3
			48.3	48.2	52.8	48.8	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.127	0.166	0.144	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.32	3.38	3.66	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.32	3.38	3.66	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
			8.47	8.01	8.90	8.53	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	8.47	8.01	8.90	8.53	10.3	10.3	10.8	10.4
			12.2	11.6	12.8	12.2	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	12.2	11.6	12.8	12.2	14.4	14.6	15.0	14.4
			15.8	15.3	16.8	15.7	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	15.8	15.3	16.8	15.7	18.1	18.4	18.7	18.0
			17.9	17.7	19.1	17.9	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-44(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.177	0.174	0.197	0.183	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.393	0.379	0.436	0.398	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.393	0.379	0.436	0.398	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.999	0.957	1.02	0.991	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.999	0.957	1.02	0.991	1.35	1.33	1.42	1.34
			2.27	2.32	2.48	2.32	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	2.27	2.32	2.48	2.32	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.46	4.50	4.81	4.50	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.46	4.50	4.81	4.50	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.81	5.89	6.35	5.86	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0903	0.0823	0.105	0.0907	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.73	1.74	1.82	1.77	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.73	1.74	1.82	1.77	1.76	1.76	1.82	1.77
			6.23	6.08	6.70	6.20	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0928	0.0915	0.102	0.0904	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.248	0.258	0.240	0.239	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.248	0.258	0.240	0.239	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.601	0.616	0.595	0.589	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	6.59	6.44	7.08	6.57	7.76	7.96	8.54	7.84
			13.0	13.3	13.8	13.3	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	13.0	13.3	13.8	13.3	16.2	17.0	17.8	16.2
			21.0	21.4	21.7	21.1	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	21.0	21.4	21.7	21.1	25.1	26.5	27.0	24.9
			25.9	26.5	26.9	25.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.56	1.49	1.77	1.53	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.56	1.49	1.77	1.53	2.19	2.30	2.59	2.22
			3.33	3.32	3.84	3.46	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	3.33	3.32	3.84	3.46	4.93	5.02	5.41	4.98
			5.09	5.16	5.76	5.21	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	5.09	5.16	5.76	5.21	7.53	7.56	8.02	7.57
			8.03	8.27	8.76	8.14	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.78	2.63	2.65	2.79	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.78	2.63	2.65	2.79	3.67	3.97	3.64	3.68
			5.51	5.36	5.28	5.50	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	5.51	5.36	5.28	5.50	6.83	7.47	7.28	6.90
6.98			6.86	6.68	6.96	8.87	9.37	9.39	8.95	
9.0~2.0	4	6.98	6.86	6.68	6.96	8.87	9.37	9.39	8.95	
		10.4	10.4	9.93	10.3	14.0	13.8	14.7	14.1	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.15	2.07	2.10	2.16	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	2.15	2.07	2.10	2.16	2.51	2.55	2.64	2.54
6.57			6.56	6.42	6.59	9.21	9.46	9.19	9.24	
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.107	0.0989	0.103	0.109	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.44	1.39	1.44	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.44	1.39	1.44	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48
4.30			4.23	4.27	4.29	4.82	4.88	4.93	4.82	
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.124	0.111	0.115	0.127	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.202	0.177	0.184	0.209	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.202	0.177	0.184	0.209	0.251	0.262	0.289	0.255
2.21			2.22	2.21	2.26	2.44	2.46	2.41	2.42	
T3-T6	20.6~12.5	11	12.8	12.4	12.4	13.0	16.4	16.8	16.3	16.4
			23.3	22.6	22.4	23.3	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	23.3	22.6	22.4	23.3	29.3	30.4	28.7	29.2
			34.4	33.7	32.8	34.2	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	34.4	33.7	32.8	34.2	43.5	46.0	44.5	43.3
39.9			39.1	37.9	39.6	51.2	54.3	53.5	51.4	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.120	0.115	0.116	0.119	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.37	3.18	3.36	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.37	3.18	3.36	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
			7.80	7.37	7.82	7.81	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	7.80	7.37	7.82	7.81	10.3	10.3	10.8	10.4
			8.95	8.51	9.29	8.88	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	8.95	8.51	9.29	8.88	14.4	14.6	15.0	14.4
			12.8	11.3	13.4	12.7	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	12.8	11.3	13.4	12.7	18.1	18.4	18.7	18.0
			15.4	13.6	15.7	15.2	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.178	0.175	0.167	0.179	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.504	0.474	0.479	0.500	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.504	0.474	0.479	0.500	0.504	0.474	0.479	0.500
			1.13	1.11	1.07	1.11	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	1.13	1.11	1.07	1.11	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.93	1.89	1.85	1.94	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.93	1.89	1.85	1.94	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.46	4.43	4.33	4.44	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.46	4.43	4.33	4.44	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.86	5.84	5.64	5.80	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0554	0.0517	0.0605	0.0542	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.56	1.50	1.54	1.57	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.56	1.50	1.54	1.57	1.76	1.76	1.82	1.77
			5.18	4.80	5.44	5.22	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0953	0.102	0.103	0.0907	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.250	0.274	0.247	0.240	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.250	0.274	0.247	0.240	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.652	0.681	0.651	0.628	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.53	5.12	5.79	5.58	7.76	7.96	8.54	7.84
			10.6	10.5	11.1	10.6	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	10.6	10.5	11.1	10.6	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.5	16.6	16.9	16.6	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.5	16.6	16.9	16.6	25.1	26.5	27.0	24.9
			19.9	20.0	20.4	19.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.22	1.11	1.33	1.23	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.22	1.11	1.33	1.23	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.80	2.54	3.01	2.79	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.80	2.54	3.01	2.79	4.93	5.02	5.41	4.98
			4.18	3.81	4.48	4.14	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	4.18	3.81	4.48	4.14	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.95	5.48	6.38	5.86	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.08	2.06	2.03	2.05	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.08	2.06	2.03	2.05	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.25	4.19	4.30	4.23	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.25	4.19	4.30	4.23	6.83	7.47	7.28	6.90
			5.64	5.54	5.76	5.61	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	5.64	5.54	5.76	5.61	8.87	9.37	9.39	8.95
			9.70	9.25	10.0	9.88	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.44	1.35	1.41	1.45	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.44	1.35	1.41	1.45	2.51	2.55	2.64	2.54
			5.08	5.02	4.63	5.16	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0764	0.0715	0.0731	0.0774	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.42	1.39	1.34	1.42	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.42	1.39	1.34	1.42	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.64	3.56	3.65	3.64	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0993	0.0928	0.0927	0.101	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.171	0.159	0.157	0.173	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.171	0.159	0.157	0.173	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.86	1.76	1.71	1.86	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	10.4	10.3	9.60	10.5	16.4	16.8	16.3	16.4
			19.0	19.1	18.2	19.0	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	19.0	19.1	18.2	19.0	29.3	30.4	28.7	29.2
			29.0	29.4	29.1	28.8	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	29.0	29.4	29.1	28.8	43.5	46.0	44.5	43.3
			34.3	34.8	36.2	35.3	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.0923	0.0886	0.0993	0.0921	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.09	2.97	3.05	3.16	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.09	2.97	3.05	3.16	3.60	3.55	3.74	3.69
			7.30	7.17	7.54	7.42	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	7.30	7.17	7.54	7.42	10.3	10.3	10.8	10.4
			8.93	9.25	9.85	9.09	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	8.93	9.25	9.85	9.09	14.4	14.6	15.0	14.4
			12.5	11.4	13.9	12.4	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	12.5	11.4	13.9	12.4	18.1	18.4	18.7	18.0
			15.2	14.2	16.7	15.1	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.173	0.157	0.173	0.174	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.440	0.410	0.415	0.438	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.440	0.410	0.415	0.438	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.870	0.833	0.787	0.857	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.870	0.833	0.787	0.857	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.91	1.90	1.94	1.88	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.91	1.90	1.94	1.88	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.06	3.92	4.14	4.10	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.06	3.92	4.14	4.10	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.38	5.15	5.46	5.47	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0610	0.0624	0.0746	0.0625	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.52	1.51	1.53	1.53	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.52	1.51	1.53	1.53	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.79	4.84	5.27	4.77	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0770	0.0802	0.0819	0.0755	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.221	0.221	0.205	0.220	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.221	0.221	0.205	0.220	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.548	0.542	0.514	0.551	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.02	5.14	5.53	5.01	7.76	7.96	8.54	7.84
			9.74	9.62	10.8	9.50	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	9.74	9.62	10.8	9.50	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.0	15.1	17.8	15.7	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.0	15.1	17.8	15.7	25.1	26.5	27.0	24.9
			19.8	18.7	21.9	19.4	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.14	1.20	1.34	1.17	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.14	1.20	1.34	1.17	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.75	2.85	3.20	2.80	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.75	2.85	3.20	2.80	4.93	5.02	5.41	4.98
			4.30	4.40	4.95	4.33	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	4.30	4.40	4.95	4.33	7.53	7.56	8.02	7.57
			6.78	6.85	7.65	6.75	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.03	2.17	1.94	2.09	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.03	2.17	1.94	2.09	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.21	4.50	4.02	4.30	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.21	4.50	4.02	4.30	6.83	7.47	7.28	6.90
			5.47	5.84	5.25	5.56	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	5.47	5.84	5.25	5.56	8.87	9.37	9.39	8.95
			8.46	9.03	8.22	8.55	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.29	1.20	1.24	1.32	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.29	1.20	1.24	1.32	2.51	2.55	2.64	2.54
			4.56	4.25	4.44	4.60	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0612	0.0566	0.0591	0.0621	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.08	1.07	1.11	1.11	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.08	1.07	1.11	1.11	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.60	3.50	3.54	3.62	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0781	0.0669	0.0783	0.0780	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.136	0.117	0.135	0.137	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.136	0.117	0.135	0.137	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.73	1.63	1.61	1.72	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	9.59	9.07	9.31	9.63	16.4	16.8	16.3	16.4
			18.0	17.1	17.4	18.0	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	18.0	17.1	17.4	18.0	29.3	30.4	28.7	29.2
			28.1	29.2	27.7	27.9	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	28.1	29.2	27.7	27.9	43.5	46.0	44.5	43.3
			33.4	35.8	34.0	33.1	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.106	0.0967	0.113	0.106	0.220	0.218	0.247	0.224
			2.83	2.50	2.89	2.86	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	2.83	2.50	2.89	2.86	3.60	3.55	3.74	3.69
			7.45	6.61	7.86	7.44	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	7.45	6.61	7.86	7.44	10.3	10.3	10.8	10.4
			9.86	9.38	10.8	9.95	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	9.86	9.38	10.8	9.95	14.4	14.6	15.0	14.4
			13.9	13.3	14.1	13.9	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	13.9	13.3	14.1	13.9	18.1	18.4	18.7	18.0
			16.0	15.3	16.1	16.0	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.111	0.106	0.112	0.114	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.288	0.266	0.268	0.282	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.288	0.266	0.268	0.282	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.810	0.740	0.788	0.791	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.810	0.740	0.788	0.791	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.74	1.77	1.73	1.73	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.74	1.77	1.73	1.73	2.71	2.83	2.76	2.59
			3.45	3.23	3.34	3.43	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	3.45	3.23	3.34	3.43	5.02	5.13	4.96	4.93
			4.77	4.46	4.50	4.74	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0504	0.0494	0.0514	0.0519	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.46	1.43	1.46	1.46	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.46	1.43	1.46	1.46	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.88	4.75	5.19	4.87	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0565	0.0606	0.0595	0.0574	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.167	0.169	0.167	0.168	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.167	0.169	0.167	0.168	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.401	0.399	0.410	0.406	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.23	5.14	5.57	5.23	7.76	7.96	8.54	7.84
			9.69	10.8	10.7	10.2	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	9.69	10.8	10.7	10.2	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.3	18.0	17.4	16.9	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.3	18.0	17.4	16.9	25.1	26.5	27.0	24.9
			20.3	22.2	21.5	21.0	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.959	0.935	1.06	0.966	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	0.959	0.935	1.06	0.966	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.03	2.11	2.26	2.05	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.03	2.11	2.26	2.05	4.93	5.02	5.41	4.98
			3.21	3.52	3.69	3.37	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	3.21	3.52	3.69	3.37	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.65	6.14	6.28	5.88	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d , N S 方向)
(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.41	2.36	2.26	2.39	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.41	2.36	2.26	2.39	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.79	4.73	4.41	4.72	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.79	4.73	4.41	4.72	6.83	7.47	7.28	6.90
			6.12	6.07	5.62	6.01	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	6.12	6.07	5.62	6.01	8.87	9.37	9.39	8.95
			9.28	9.27	8.47	9.10	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.47	1.33	1.35	1.48	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.47	1.33	1.35	1.48	2.51	2.55	2.64	2.54
			5.51	5.25	5.18	5.46	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0716	0.0635	0.0661	0.0725	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.25	1.20	1.21	1.27	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.25	1.20	1.21	1.27	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.80	3.68	3.72	3.79	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0832	0.0731	0.0740	0.0850	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.135	0.120	0.119	0.138	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.135	0.120	0.119	0.138	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.87	1.81	1.69	1.86	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	11.2	10.7	10.6	11.1	16.4	16.8	16.3	16.4
			19.8	19.5	18.9	19.4	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	19.8	19.5	18.9	19.4	29.3	30.4	28.7	29.2
			30.1	30.6	29.0	29.4	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	30.1	30.6	29.0	29.4	43.5	46.0	44.5	43.3
			36.0	36.7	34.7	35.1	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.0865	0.0762	0.0920	0.0869	0.220	0.218	0.247	0.224
			2.36	2.25	2.44	2.37	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	2.36	2.25	2.44	2.37	3.60	3.55	3.74	3.69
			5.90	5.58	6.25	5.87	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	5.90	5.58	6.25	5.87	10.3	10.3	10.8	10.4
			8.38	8.05	9.01	8.32	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	8.38	8.05	9.01	8.32	14.4	14.6	15.0	14.4
			11.6	11.1	12.5	11.5	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	11.6	11.1	12.5	11.5	18.1	18.4	18.7	18.0
			13.6	12.9	14.5	13.5	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-44(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.112	0.106	0.120	0.115	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.283	0.267	0.274	0.275	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.852	0.781	0.863	0.830	1.35	1.33	1.42	1.34
			0.852	0.781	0.863	0.830	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	1.88	1.93	1.91	1.84	2.71	2.83	2.76	2.59
			1.88	1.93	1.91	1.84	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	3.69	3.64	3.58	3.62	5.02	5.13	4.96	4.93
			3.69	3.64	3.58	3.62	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	3.69	3.64	3.58	3.62	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.17	5.05	4.90	5.09	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0524	0.0509	0.0570	0.0514	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.38	1.24	1.38	1.40	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.38	1.24	1.38	1.40	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.53	4.07	4.64	4.58	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0666	0.0633	0.0714	0.0666	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.184	0.190	0.185	0.184	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.184	0.190	0.185	0.184	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.493	0.485	0.495	0.496	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	4.68	4.19	4.80	4.76	7.76	7.96	8.54	7.84
			10.7	9.67	11.1	10.9	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	10.7	9.67	11.1	10.9	16.2	17.0	17.8	16.2
			17.6	16.3	18.0	17.8	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	17.6	16.3	18.0	17.8	25.1	26.5	27.0	24.9
			21.4	20.1	21.8	21.7	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.874	0.759	0.903	0.889	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	0.874	0.759	0.903	0.889	2.19	2.30	2.59	2.22
			1.98	1.82	2.12	2.03	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	1.98	1.82	2.12	2.03	4.93	5.02	5.41	4.98
			3.21	2.85	3.39	3.30	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	3.21	2.85	3.39	3.30	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.58	5.08	5.66	5.72	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-44(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.67	3.97	3.64	3.68	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	3.67	3.97	3.64	3.68	3.67	3.97	3.64	3.68
			6.83	7.47	7.28	6.90	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	6.83	7.47	7.28	6.90	6.83	7.47	7.28	6.90
8.87			9.37	9.39	8.95	8.87	9.37	9.39	8.95	
9.0~2.0	4	8.87	9.37	9.39	8.95	8.87	9.37	9.39	8.95	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.51	2.55	2.64	2.54	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	2.51	2.55	2.64	2.54	2.51	2.55	2.64	2.54
			9.21	9.46	9.19	9.24	9.21	9.46	9.19	9.24
	41.6~32.0	7	0.133	0.139	0.153	0.135	0.133	0.139	0.153	0.135
1.46			1.50	1.62	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48	
32.0~20.6	8	1.46	1.50	1.62	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48	
		4.82	4.88	4.93	4.82	4.82	4.88	4.93	4.82	
T4-T6(TA側)	41.6~33.7	9	0.154	0.161	0.177	0.156	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.251	0.262	0.289	0.255	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.251	0.262	0.289	0.255	0.251	0.262	0.289	0.255
			2.44	2.46	2.41	2.42	2.44	2.46	2.41	2.42
	T3-T6	20.6~12.5	11	16.4	16.8	16.3	16.4	16.4	16.8	16.3
29.3				30.4	28.7	29.2	29.3	30.4	28.7	29.2
12.5~5.5		12	29.3	30.4	28.7	29.2	29.3	30.4	28.7	29.2
			43.5	46.0	44.1	43.3	43.5	46.0	44.5	43.3
5.5~2.0		13	43.5	46.0	44.1	43.3	43.5	46.0	44.5	43.3
	51.2		54.3	53.5	51.4	51.2	54.3	53.5	51.4	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.220	0.218	0.247	0.224	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.60	3.55	3.74	3.69	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.60	3.55	3.74	3.69	3.60	3.55	3.74	3.69
			10.3	10.3	10.8	10.4	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	10.3	10.3	10.8	10.4	10.3	10.3	10.8	10.4
			14.4	14.6	15.0	14.4	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	14.4	14.6	15.0	14.4	14.4	14.6	15.0	14.4
			18.1	18.4	18.7	18.0	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	18.1	18.4	18.7	18.0	18.1	18.4	18.7	18.0
			19.9	20.3	20.5	19.8	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-44(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.236	0.208	0.287	0.241	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.421	0.399	0.445	0.429	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.421	0.399	0.445	0.429	0.504	0.474	0.479	0.500
			1.35	1.33	1.42	1.34	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	1.35	1.33	1.42	1.34	1.35	1.33	1.42	1.34
			2.71	2.83	2.76	2.59	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	2.71	2.83	2.76	2.59	2.71	2.83	2.76	2.59
			5.02	5.13	4.96	4.93	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	5.02	5.13	4.96	4.93	5.02	5.13	4.96	4.93
			6.80	6.89	6.93	6.77	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.143	0.151	0.173	0.146	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.76	1.76	1.78	1.75	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.76	1.76	1.78	1.75	1.76	1.76	1.82	1.77
			7.38	7.54	8.10	7.45	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.118	0.125	0.137	0.119	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.205	0.210	0.199	0.192	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.205	0.210	0.199	0.192	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.688	0.736	0.754	0.687	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	7.76	7.96	8.54	7.84	7.76	7.96	8.54	7.84
			16.2	17.0	17.8	16.2	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	16.2	17.0	17.8	16.2	16.2	17.0	17.8	16.2
			25.1	26.5	27.0	24.9	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	25.1	26.5	27.0	24.9	25.1	26.5	27.0	24.9
			30.3	31.7	32.3	29.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.19	2.30	2.59	2.22	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	2.19	2.30	2.59	2.22	2.19	2.30	2.59	2.22
			4.93	5.02	5.41	4.98	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	4.93	5.02	5.41	4.98	4.93	5.02	5.41	4.98
			7.53	7.56	8.02	7.57	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	7.53	7.56	8.02	7.57	7.53	7.56	8.02	7.57
			11.4	11.4	12.0	11.4	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-45(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1464	1423	1447	1473	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	1296	1262	1255	1300	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	856	784	797	923	856	969	925
	12.5	4	492	467	528	490	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	976	939	966	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	459	441	500	459	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	448	431	487	450	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1636	1542	1686	1635	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1177	1241	1159	1154	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	766	804	748	765	925	879	897	896
	12.5	11	541	547	569	542	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	572	547	547	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	436	490	439	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1729	1680	1749	1684	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	1083	1122	1096	1079	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	727	712	700	726	822	790	857	792
	12.5	17	594	585	643	594	770	727	776	755
	5.5	18	443	430	485	443	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1020	1052	1037	1018	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	709	703	782	713	879	877	974	893
	12.5	21	556	525	607	570	637	608	697	646
	5.5	22	466	433	488	468	466	433	488	468
	2.0	25	435	428	472	437	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-45(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1273	1181	1306	1284	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	975	938	1042	979	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	630	575	706	625	923	856	969	925
	12.5	4	453	434	489	448	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	874	813	848	879	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	365	382	370	364	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	346	359	326	345	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1372	1252	1353	1384	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1004	916	1044	996	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	770	691	793	767	925	879	897	896
	12.5	11	515	475	525	510	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	404	410	355	403	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	376	329	361	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1534	1326	1528	1534	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	924	872	935	924	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	755	703	699	756	822	790	857	792
	12.5	17	604	571	554	603	770	727	776	755
	5.5	18	365	379	345	361	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1356	1232	1305	1349	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	802	724	776	793	879	877	974	893
	12.5	21	559	542	534	558	637	608	697	646
	5.5	22	330	350	305	326	466	433	488	468
	2.0	25	316	323	292	314	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-45(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1030	1031	1031	1020	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	937	967	918	926	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	520	542	525	517	923	856	969	925
	12.5	4	400	400	424	402	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	710	679	673	704	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	370	366	394	371	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	359	346	372	359	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	963	1042	1018	970	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	987	1057	927	981	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	674	695	637	668	925	879	897	896
	12.5	11	448	491	436	437	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	423	469	417	417	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	356	383	362	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1369	1376	1271	1354	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	756	728	749	753	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	646	679	644	637	822	790	857	792
	12.5	17	458	497	462	443	770	727	776	755
	5.5	18	367	390	383	369	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	813	788	768	809	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	587	627	610	584	879	877	974	893
	12.5	21	439	446	440	436	637	608	697	646
	5.5	22	366	387	366	363	466	433	488	468
	2.0	25	340	358	353	340	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-45(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	756	773	717	754	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	633	652	601	626	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	538	534	485	537	923	856	969	925
	12.5	4	426	419	385	423	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	626	595	539	620	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	308	309	305	305	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	291	294	291	292	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	965	966	959	952	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	644	705	595	648	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	520	524	466	522	925	879	897	896
	12.5	11	463	461	414	461	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	354	388	306	355	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	288	293	289	288	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	963	1069	1043	953	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	594	609	574	587	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	388	364	384	388	822	790	857	792
	12.5	17	331	325	326	328	770	727	776	755
	5.5	18	270	281	281	273	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	734	685	715	750	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	477	471	477	482	879	877	974	893
	12.5	21	345	357	338	345	637	608	697	646
	5.5	22	284	292	288	287	466	433	488	468
	2.0	25	278	284	277	279	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-45(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1077	1038	1109	1070	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	861	881	845	861	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	580	535	563	576	923	856	969	925
	12.5	4	377	383	375	373	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	807	744	755	797	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	331	327	322	331	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	311	304	291	312	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1152	1127	1186	1148	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	795	808	814	796	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	643	601	617	640	925	879	897	896
	12.5	11	403	401	389	398	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	419	454	315	420	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	295	293	284	296	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1311	1256	1281	1297	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	795	781	727	777	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	497	465	478	491	822	790	857	792
	12.5	17	377	356	388	384	770	727	776	755
	5.5	18	291	305	300	291	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	840	787	843	852	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	554	531	565	552	879	877	974	893
	12.5	21	397	374	435	405	637	608	697	646
	5.5	22	318	318	292	320	466	433	488	468
	2.0	25	313	314	278	313	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-45(6) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1531	1475	1548	1521	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	1220	1206	1259	1220	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	923	838	969	925	923	856	969	925
	12.5	4	656	606	739	657	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1235	1179	1227	1204	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	501	479	507	501	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	505	453	509	516	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1682	1654	1642	1673	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1314	1286	1256	1313	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	925	879	897	896	925	879	897	896
	12.5	11	604	573	595	597	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	579	583	544	580	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	570	515	571	569	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	2037	2043	2084	2043	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	1285	1257	1316	1280	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	822	790	857	792	822	790	857	792
	12.5	17	770	727	776	755	770	727	776	755
	5.5	18	550	554	580	539	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1189	1131	1183	1200	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	879	877	974	893	879	877	974	893
	12.5	21	637	608	697	646	637	608	697	646
	5.5	22	447	428	468	451	466	433	488	468
	2.0	25	395	377	395	395	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.55	8.04	8.68	8.67	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	7.58	7.13	7.73	7.70	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.95	3.61	4.03	3.94	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	2.67	2.26	2.72	2.67	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.58	5.09	5.77	5.66	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.50	1.18	1.70	1.50	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.00	1.53	1.30	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	8.57	7.99	8.83	8.66	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	6.81	6.45	7.03	6.85	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	4.62	4.31	4.78	4.62	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	2.85	2.40	2.91	2.84	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.52	1.19	1.68	1.51	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.46	1.14	1.66	1.45	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	8.18	7.41	8.53	8.26	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	5.94	5.46	6.13	5.96	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	3.95	3.52	4.01	3.94	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	3.05	2.64	3.08	3.05	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.47	1.21	1.71	1.45	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	4.76	4.38	4.77	4.78	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	3.55	3.13	3.56	3.56	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.51	2.16	2.62	2.50	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.38	1.11	1.62	1.37	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.86	0.56	1.16	0.86	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	6.61	5.91	7.40	6.63	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	5.78	5.10	6.52	5.79	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.45	2.88	3.93	3.45	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	2.34	1.92	2.72	2.34	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	4.33	3.65	4.96	4.33	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.33	1.06	1.63	1.33	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.15	0.89	1.44	1.15	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	6.72	6.00	7.49	6.76	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	5.58	4.89	6.25	5.60	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.98	3.37	4.49	3.98	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	2.51	2.05	2.89	2.50	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.33	1.08	1.64	1.32	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.29	1.01	1.59	1.29	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	6.26	5.48	6.65	6.35	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	4.76	4.23	5.30	4.78	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	3.49	3.02	3.91	3.48	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	2.72	2.33	3.09	2.71	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.36	1.09	1.64	1.35	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	4.40	4.12	4.43	4.42	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	3.08	2.94	3.51	3.07	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.22	2.00	2.58	2.21	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.24	1.04	1.53	1.23	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.73	0.56	1.00	0.72	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.27	5.24	5.65	5.26	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	4.65	4.59	4.97	4.62	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.60	2.51	2.92	2.58	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.80	1.56	2.08	1.80	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.33	3.20	3.63	3.30	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.08	0.76	1.41	1.07	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.94	0.63	1.28	0.94	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	5.19	5.20	5.62	5.19	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	4.36	4.36	4.68	4.35	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.00	3.00	3.25	2.98	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.90	1.74	2.18	1.90	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.11	0.80	1.40	1.10	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.04	0.72	1.37	1.03	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	5.19	5.08	5.05	5.21	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	4.01	3.97	3.98	4.01	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	2.77	2.80	2.84	2.74	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	2.04	2.06	2.33	2.02	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.04	0.78	1.43	1.04	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	3.31	3.37	3.38	3.32	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	2.46	2.52	2.69	2.45	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.68	1.64	2.07	1.67	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.99	0.70	1.37	0.98	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.63	0.32	1.02	0.62	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	3.93	3.81	4.01	3.91	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	3.46	3.34	3.57	3.44	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.18	2.00	2.39	2.18	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.51	1.31	1.76	1.50	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	2.59	2.39	2.77	2.58	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	0.84	0.70	1.14	0.84	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.73	0.61	1.02	0.73	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	3.98	3.88	4.10	3.96	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	3.30	3.19	3.48	3.30	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	2.44	2.29	2.64	2.44	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.60	1.41	1.85	1.60	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	0.87	0.68	1.17	0.86	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.81	0.68	1.10	0.80	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	3.78	3.66	4.04	3.81	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	2.84	2.66	3.14	2.85	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	1.93	1.84	2.22	1.94	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	1.52	1.45	1.80	1.52	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	0.83	0.71	1.08	0.82	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	2.47	2.16	2.73	2.46	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	1.84	1.63	2.10	1.84	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.33	1.18	1.58	1.33	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.79	0.65	1.03	0.79	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.51	0.38	0.78	0.51	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.22	5.16	5.44	5.24	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	4.62	4.46	4.63	4.63	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.74	2.48	2.64	2.74	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.83	1.62	1.76	1.82	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.47	3.17	3.32	3.46	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.03	0.86	1.10	1.02	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.88	0.72	0.98	0.88	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	5.38	5.28	5.58	5.41	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	4.36	4.23	4.41	4.38	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.13	2.83	3.01	3.13	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.94	1.72	1.84	1.93	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.00	0.84	1.09	0.99	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.98	0.81	1.06	0.97	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	5.44	5.20	5.13	5.45	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	3.81	3.68	3.55	3.79	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	2.55	2.29	2.45	2.54	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	1.99	1.71	1.91	1.97	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.00	0.80	1.06	0.99	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	2.99	2.98	2.93	2.97	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	2.23	2.07	2.27	2.23	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.61	1.37	1.66	1.60	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.91	0.72	1.02	0.91	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.57	0.42	0.73	0.56	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-46(6) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.08	8.44	9.90	9.11	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	8.19	7.52	9.11	8.21	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.53	4.03	5.16	4.52	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	3.16	2.70	3.85	3.16	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	6.58	5.89	7.46	6.52	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.69	1.28	2.36	1.70	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.48	1.07	2.12	1.49	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	9.60	9.00	10.10	9.65	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	7.85	7.26	8.31	7.86	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	5.53	4.97	6.03	5.50	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	3.28	2.88	3.96	3.30	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.74	1.32	2.41	1.74	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.68	1.26	2.28	1.67	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	10.14	9.66	10.97	10.18	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	7.44	6.96	8.18	7.42	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	4.74	4.29	5.33	4.75	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	3.85	3.40	4.45	3.86	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.69	1.29	2.30	1.69	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	5.29	4.93	6.01	5.24	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	4.03	3.64	4.79	4.03	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.89	2.48	3.62	2.91	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.63	1.22	2.25	1.63	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.97	0.58	1.59	0.97	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-47(1) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.73	3.84	3.83	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.27	8.28	8.14	8.20	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	15.8	16.3	15.6	15.6	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	18.6	19.0	19.0	18.5	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.06	2.06	1.98	2.06	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.75	2.78	2.78	2.74	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	6.29	6.15	6.32	6.26	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	25.0	26.7	26.1	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	5.71	6.08	6.21	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	11.7	11.5	11.9	11.9	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	12.8	12.8	12.7	12.6	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.80	2.68	2.66	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	3.24	2.98	3.32	3.24	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	10.9	11.1	11.2	10.9	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	11.6	11.0	11.9	11.6	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	6.28	6.45	6.42	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	11.0	10.7	11.2	11.1	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	20.7	21.3	20.4	20.7	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	25.4	25.5	25.6	25.3	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	29.7	27.7	29.8	29.6	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.18	2.01	2.10	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.15	5.38	5.18	5.14	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	8.44	8.24	8.53	8.47	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	9.38	8.68	9.36	9.40	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-47(2) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.37	3.17	3.29	3.46	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	7.48	7.26	7.63	7.55	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	13.3	12.4	14.4	13.4	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	16.1	14.7	17.6	16.1	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.58	1.51	1.62	1.61	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.56	2.50	2.64	2.55	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	6.02	5.66	6.45	6.00	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	23.4	21.7	25.5	23.4	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	4.34	4.16	4.33	4.52	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	9.08	8.45	9.33	9.22	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	10.7	9.95	11.5	10.7	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.33	2.13	2.51	2.33	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.82	2.68	3.13	2.83	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	9.58	8.74	10.4	9.57	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	10.5	9.56	11.4	10.4	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	5.12	4.61	5.16	5.27	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	9.02	7.79	9.14	9.15	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	17.2	15.8	18.3	17.2	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	23.3	21.4	24.9	23.2	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	26.8	24.7	29.0	26.7	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.32	2.09	2.23	2.35	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.08	4.63	4.97	5.09	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	7.95	7.21	7.86	7.95	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	8.73	7.89	8.80	8.73	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-47(3) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.60	2.65	2.60	2.62	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.67	6.83	6.61	6.65	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	11.4	11.7	11.0	11.4	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	13.3	13.5	12.7	13.2	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.34	1.41	1.35	1.34	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.45	2.47	2.42	2.45	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.87	4.87	4.66	4.85	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.8	19.1	18.0	18.7	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.53	3.41	3.26	3.63	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	7.56	8.00	7.66	7.61	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	9.38	9.66	9.02	9.36	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.07	2.10	1.98	2.06	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.43	2.60	2.27	2.39	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	8.07	8.24	7.73	8.01	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	8.43	8.67	8.12	8.34	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	4.31	4.46	4.02	4.43	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	7.36	7.16	7.03	7.42	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	16.4	16.6	15.9	16.3	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	21.4	22.0	21.0	21.3	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	23.1	23.8	22.9	22.8	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.50	1.48	1.45	1.52	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	4.18	4.34	4.16	4.18	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	6.78	7.03	6.76	6.73	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	7.33	7.58	7.33	7.25	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-47(4) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.30	2.23	2.29	2.35	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	4.62	4.71	4.36	4.59	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	8.14	8.36	7.56	8.13	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	10.7	10.9	9.94	10.7	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.11	1.11	1.08	1.10	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	1.75	1.78	1.62	1.75	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.30	4.36	4.02	4.28	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	16.3	16.4	15.1	16.2	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.17	3.21	3.18	3.26	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	5.73	5.52	6.01	5.79	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	6.39	6.89	6.03	6.36	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	1.45	1.52	1.34	1.45	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.13	2.07	1.98	2.12	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	6.29	6.39	5.83	6.30	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	7.17	7.25	6.66	7.17	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	3.19	3.45	3.32	3.29	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	5.34	5.38	5.79	5.44	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	10.2	10.8	10.5	10.1	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	13.5	13.8	14.1	13.6	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	15.4	15.3	16.3	15.4	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.28	1.09	1.28	1.30	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	2.72	2.73	2.82	2.72	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	4.14	4.35	4.40	4.16	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	4.62	4.62	4.96	4.62	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-47(5) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.96	2.89	3.05	3.00	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.46	6.49	6.53	6.49	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	11.0	10.8	10.9	11.1	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	13.2	12.3	13.1	13.2	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.38	1.36	1.44	1.38	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.44	2.33	2.42	2.44	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.81	4.46	4.89	4.83	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.7	17.3	18.8	18.6	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.85	3.78	3.97	3.94	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	7.65	7.62	7.98	7.69	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	8.69	8.70	8.54	8.72	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	1.87	1.79	1.84	1.87	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.23	2.06	2.23	2.22	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	7.71	7.17	7.61	7.70	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	8.18	7.52	8.16	8.15	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	4.65	4.53	4.48	4.72	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	8.06	7.82	7.54	8.06	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	13.6	13.4	12.3	13.5	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	17.0	16.2	16.6	16.9	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	18.8	16.8	19.0	18.7	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.59	1.55	1.38	1.59	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	3.49	3.48	3.05	3.47	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	5.14	5.13	5.18	5.12	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	5.55	5.24	5.68	5.61	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,

ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-47(6) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.14	4.12	4.10	4.16	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.19	8.11	8.23	8.14	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	16.8	16.4	16.7	16.7	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	20.2	19.7	20.0	20.1	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.96	1.95	1.95	2.01	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.90	2.84	2.90	2.96	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	7.80	7.48	7.79	7.88	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	29.9	29.1	29.8	29.9	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.20	6.16	6.26	6.31	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	12.6	12.4	12.5	12.8	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	13.2	13.1	13.1	13.3	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.19	3.07	3.17	3.23	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	4.06	3.86	4.14	4.09	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.0	12.1	12.2	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	13.9	13.6	13.7	13.8	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	6.60	6.66	6.65	6.82	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	11.9	11.8	11.9	12.1	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	23.3	22.9	23.0	23.0	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	27.9	27.1	27.7	27.6	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	33.0	31.9	32.9	32.6	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.17	2.19	2.25	2.16	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.91	5.83	5.97	5.86	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	10.2	9.61	10.4	10.2	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	11.2	10.6	11.7	11.1	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-48(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.64	3.58	3.69	3.68	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.95	3.97	3.84	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.55	5.59	5.59	5.58	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.55	5.59	5.59	5.58	5.55	5.59	5.59	5.58
			18.1	18.4	18.0	17.9	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	18.1	18.4	18.0	17.9	18.8	18.5	18.5	18.7
			31.0	31.8	31.3	30.9	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	7.48	7.41	7.37	7.73	7.67	7.62	7.66
			9.69	9.80	9.65	9.67	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	9.69	9.80	9.65	9.67	9.96	9.90	9.85	9.95
			12.9	13.0	12.9	12.9	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	12.9	13.0	12.9	12.9	13.2	13.1	13.1	13.2
			14.9	14.8	15.0	14.9	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	46.5	46.2	45.8	48.4	47.7	47.8	48.3
			55.0	55.3	55.6	54.9	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.77	5.48	5.84	5.96	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	5.77	5.48	5.84	5.96	5.95	5.92	6.01	6.06
			19.1	18.2	19.4	19.5	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	19.1	18.2	19.4	19.5	20.3	20.0	20.3	20.6
			29.3	28.6	29.7	29.7	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8	16.4	17.1	17.0	17.8	17.6	17.7	18.0
			18.6	18.3	19.0	18.8	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	18.6	18.3	19.0	18.8	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	19.8	19.3	20.1	19.9	21.4	21.0	21.3	21.6
			12.5	12.2	12.7	12.7	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0	15	20.1	19.8	20.4	20.2	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	20.1	19.8	20.4	20.2	21.5	21.2	21.4	21.7
			24.1	23.6	24.6	24.2	26.3	26.0	26.2	26.5
	30.55~20.6	17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.12	6.94	7.12	7.10	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5	18	7.12	6.94	7.12	7.10	7.29	7.36	7.35	7.53
			18.0	17.3	18.3	18.1	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5	19	18.0	17.3	18.3	18.1	19.1	19.1	19.2	19.5
			33.8	33.8	34.7	33.9	37.5	37.2	37.2	37.8
5.5~2.0	20	33.8	33.8	34.7	33.9	37.5	37.2	37.2	37.8	
		51.3	51.6	52.6	51.4	56.4	55.7	56.0	56.4	
TG-TH	33.7~20.6	21	51.3	51.6	52.6	51.4	56.4	55.7	56.0	56.4
			60.8	60.7	62.4	60.9	67.7	66.6	67.1	67.5
	20.6~12.5	22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.74	2.85	2.64	2.75	3.04	2.87	2.95	3.08
	12.5~5.5	23	2.74	2.85	2.64	2.75	3.04	2.87	2.95	3.08
			6.91	7.21	6.83	6.90	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0	24	6.91	7.21	6.83	6.90	7.64	7.59	7.78	7.58
			12.7	13.0	12.8	12.8	14.6	14.2	14.8	14.4

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.23	3.04	3.16	3.32	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.62	3.30	3.81	3.62	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.21	5.06	5.13	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.21	5.06	5.13	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
			15.6	15.0	16.4	15.8	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	15.6	15.0	16.4	15.8	18.8	18.5	18.5	18.7
			26.8	25.2	28.7	26.8	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	6.58	6.28	6.87	6.66	7.73	7.67	7.62	7.66
			8.36	7.98	8.59	8.48	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	8.36	7.98	8.59	8.48	9.96	9.90	9.85	9.95
			11.3	10.9	11.7	11.4	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	11.3	10.9	11.7	11.4	13.2	13.1	13.1	13.2
			13.2	12.6	13.7	13.3	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.8	37.9	42.5	40.0	48.4	47.7	47.8	48.3
			47.9	45.3	51.3	47.9	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.17	3.99	4.16	4.34	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	4.17	3.99	4.16	4.34	5.95	5.92	6.01	6.06
			14.5	13.4	14.7	14.8	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	14.5	13.4	14.7	14.8	20.3	20.0	20.3	20.6
			22.8	21.3	23.9	23.2	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	13.2	12.3	14.0	13.4	17.8	17.6	17.7	18.0
			14.7	13.8	15.7	14.9	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	14.7	13.8	15.7	14.9	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.56	8.93	9.88	9.76	13.1	12.9	13.1	13.3
			15.9	14.9	17.1	16.1	21.5	21.2	21.4	21.7
	5.5~2.0	15	15.9	14.9	17.1	16.1	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.66	5.09	5.70	5.82	7.29	7.36	7.35	7.53
	30.55~20.6	17	5.66	5.09	5.70	5.82	7.29	7.36	7.35	7.53
			14.5	12.4	14.7	14.8	19.1	19.1	19.2	19.5
	20.6~12.5	18	14.5	12.4	14.7	14.8	19.1	19.1	19.2	19.5
			26.9	23.3	27.6	27.2	37.5	37.2	37.2	37.8
	12.5~5.5	19	26.9	23.3	27.6	27.2	37.5	37.2	37.2	37.8
			41.4	37.4	43.8	41.8	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0	20	41.4	37.4	43.8	41.8	56.4	55.7	56.0	56.4
50.1			46.0	54.0	50.4	67.7	66.6	67.1	67.5	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.04	2.74	2.93	3.08	3.04	2.87	2.95	3.08
	20.6~12.5	22	3.04	2.74	2.93	3.08	3.04	2.87	2.95	3.08
			7.10	6.43	6.94	7.15	7.64	7.59	7.78	7.58
	12.5~5.5	23	7.10	6.43	6.94	7.15	7.64	7.59	7.78	7.58
			12.6	11.4	12.4	12.7	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0	24	12.6	11.4	12.4	12.7	14.6	14.2	14.8	14.4
15.6			14.1	15.4	15.7	18.4	17.9	18.9	18.3	

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.49	2.54	2.50	2.51	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.17	3.29	3.04	3.13	4.65	4.49	4.59	4.52
			4.64	4.71	4.58	4.64	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	4.64	4.71	4.58	4.64	5.55	5.59	5.59	5.58
			13.5	14.0	13.4	13.5	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	13.5	14.0	13.4	13.5	18.8	18.5	18.5	18.7
			22.6	23.4	22.2	22.6	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.53	5.67	5.47	5.52	7.73	7.67	7.62	7.66
			7.02	7.26	7.00	7.01	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	7.02	7.26	7.00	7.01	9.96	9.90	9.85	9.95
			9.89	10.2	9.85	9.87	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	9.89	10.2	9.85	9.87	13.2	13.1	13.1	13.2
			11.4	11.8	11.4	11.4	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	34.1	35.2	33.6	34.0	48.4	47.7	47.8	48.3
			40.7	41.8	39.9	40.5	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.39	3.27	3.13	3.48	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	3.39	3.27	3.13	3.48	5.95	5.92	6.01	6.06
			11.5	11.9	11.7	11.6	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	11.5	11.9	11.7	11.6	20.3	20.0	20.3	20.6
			18.8	19.6	18.9	18.8	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	10.8	11.3	10.8	10.9	17.8	17.6	17.7	18.0
			12.2	12.6	12.1	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	12.2	12.6	12.1	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.9	13.3	12.7	12.9	21.4	21.0	21.3	21.6
			7.97	8.32	8.06	7.99	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0	15	13.2	13.6	13.0	13.2	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	13.2	13.6	13.0	13.2	21.5	21.2	21.4	21.7
			16.0	16.4	15.6	16.0	26.3	26.0	26.2	26.5
	30.55~20.6	17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.76	4.93	4.45	4.90	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5	18	4.76	4.93	4.45	4.90	7.29	7.36	7.35	7.53
			12.1	12.0	11.4	12.3	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5	19	12.1	12.0	11.4	12.3	19.1	19.1	19.2	19.5
			23.6	23.3	22.4	23.7	37.5	37.2	37.2	37.8
	5.5~2.0	20	38.6	38.6	37.0	38.6	56.4	55.7	56.0	56.4
			38.6	38.6	37.0	38.6	56.4	55.7	56.0	56.4
TG-TH	33.7~20.6	21	46.5	46.8	45.0	46.5	67.7	66.6	67.1	67.5
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5	22	1.96	1.94	1.90	2.00	3.04	2.87	2.95	3.08
			1.96	1.94	1.90	2.00	3.04	2.87	2.95	3.08
	12.5~5.5	23	5.26	5.41	5.25	5.31	7.64	7.59	7.78	7.58
			5.26	5.41	5.25	5.31	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0	24	10.0	10.3	9.98	10.0	14.6	14.2	14.8	14.4
			10.0	10.3	9.98	10.0	14.6	14.2	14.8	14.4
			12.6	13.0	12.5	12.5	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ,

ケース 3: 地盤物性 - σ, ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-48(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.21	2.14	2.20	2.26	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	2.16	2.31	2.01	2.17	4.65	4.49	4.59	4.52
			3.39	3.38	3.31	3.43	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	3.39	3.38	3.31	3.43	5.55	5.59	5.59	5.58
			9.48	9.73	9.16	9.43	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	9.48	9.73	9.16	9.43	18.8	18.5	18.5	18.7
			16.5	16.9	15.4	16.5	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	3.89	3.96	3.84	3.87	7.73	7.67	7.62	7.66
			5.15	5.23	5.07	5.12	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	5.15	5.23	5.07	5.12	9.96	9.90	9.85	9.95
			6.95	7.11	6.71	6.91	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	6.95	7.11	6.71	6.91	13.2	13.1	13.1	13.2
			8.28	8.44	7.74	8.25	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	24.8	25.3	23.1	24.7	48.4	47.7	47.8	48.3
			30.3	30.9	28.3	30.3	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.04	3.09	3.05	3.13	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	3.04	3.09	3.05	3.13	5.95	5.92	6.01	6.06
			9.56	9.33	9.90	9.73	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	9.56	9.33	9.90	9.73	20.3	20.0	20.3	20.6
			14.0	13.9	14.8	14.2	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	7.82	8.02	8.34	7.91	17.8	17.6	17.7	18.0
			8.69	8.92	9.16	8.64	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	8.69	8.92	9.16	8.64	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.32	9.55	9.63	9.27	21.4	21.0	21.3	21.6
			6.21	6.08	6.44	6.26	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0	15	9.40	9.66	9.79	9.36	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	9.40	9.66	9.79	9.36	21.5	21.2	21.4	21.7
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6	17	3.53	3.82	3.67	3.64	7.29	7.36	7.35	7.53
TG-TH	20.6~12.5	18	3.53	3.82	3.67	3.64	7.29	7.36	7.35	7.53
			8.78	9.15	9.40	8.99	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5	19	8.78	9.15	9.40	8.99	19.1	19.1	19.2	19.5
TG-TH	33.7~20.6	21	16.2	16.5	17.7	16.4	37.5	37.2	37.2	37.8
			25.0	26.0	26.5	24.9	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0	20	25.0	26.0	26.5	24.9	56.4	55.7	56.0	56.4
TG-TH	20.6~12.5	22	29.8	31.1	31.2	29.5	67.7	66.6	67.1	67.5
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	12.5~5.5	23	1.68	1.43	1.68	1.70	3.04	2.87	2.95	3.08
TG-TH	33.7~20.6	21	1.68	1.43	1.68	1.70	3.04	2.87	2.95	3.08
			3.87	3.62	3.96	3.89	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0	24	3.87	3.62	3.96	3.89	7.64	7.59	7.78	7.58
TG-TH	20.6~12.5	22	6.70	6.66	6.92	6.71	14.6	14.2	14.8	14.4
			6.70	6.66	6.92	6.71	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0	24	8.19	8.27	8.50	8.19	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.84	2.77	2.93	2.88	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	3.05	2.89	3.01	3.03	4.65	4.49	4.59	4.52
			4.71	4.54	4.86	4.73	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	4.71	4.54	4.86	4.73	5.55	5.59	5.59	5.58
			13.2	13.2	13.2	13.2	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	13.2	13.2	13.2	13.2	18.8	18.5	18.5	18.7
			21.9	21.7	21.9	21.9	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	5.45	5.44	5.52	5.48	7.73	7.67	7.62	7.66
			6.97	6.97	7.16	7.00	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	6.97	6.97	7.16	7.00	9.96	9.90	9.85	9.95
			9.70	9.71	9.71	9.73	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	9.70	9.71	9.71	9.73	13.2	13.1	13.1	13.2
			11.1	11.0	11.0	11.2	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.8	32.7	32.8	32.9	48.4	47.7	47.8	48.3
			39.3	38.4	39.4	39.4	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.70	3.63	3.81	3.78	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	3.70	3.63	3.81	3.78	5.95	5.92	6.01	6.06
			12.3	12.2	12.9	12.4	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	12.3	12.2	12.9	12.4	20.3	20.0	20.3	20.6
			19.2	19.1	19.5	19.4	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	11.0	10.9	11.0	11.0	17.8	17.6	17.7	18.0
			12.2	12.1	12.2	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	12.2	12.1	12.2	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.9	12.7	12.7	12.9	21.4	21.0	21.3	21.6
			8.26	8.22	8.50	8.31	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0	15	13.1	13.0	13.0	13.1	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	13.1	13.0	13.0	13.1	21.5	21.2	21.4	21.7
			15.7	15.4	15.3	15.7	26.3	26.0	26.2	26.5
	30.55~20.6	17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.13	5.00	4.95	5.22	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5	18	5.13	5.00	4.95	5.22	7.29	7.36	7.35	7.53
			13.1	12.7	12.4	13.2	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5	19	13.1	12.7	12.4	13.2	19.1	19.1	19.2	19.5
			23.8	23.1	22.1	23.8	37.5	37.2	37.2	37.8
	5.5~2.0	20	23.8	23.1	22.1	23.8	37.5	37.2	37.2	37.8
			34.7	33.7	31.9	34.5	56.4	55.7	56.0	56.4
TG-TH	33.7~20.6	21	34.7	33.7	31.9	34.5	56.4	55.7	56.0	56.4
			40.7	39.4	37.5	40.5	67.7	66.6	67.1	67.5
	20.6~12.5	22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.09	2.03	1.81	2.09	3.04	2.87	2.95	3.08
	12.5~5.5	23	2.09	2.03	1.81	2.09	3.04	2.87	2.95	3.08
			4.91	4.84	4.28	4.89	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0	24	4.91	4.84	4.28	4.89	7.64	7.59	7.78	7.58
			8.50	8.40	7.43	8.44	14.6	14.2	14.8	14.4

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.97	3.96	3.94	4.00	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.65	4.49	4.59	4.52	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.24	5.42	5.24	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.24	5.42	5.24	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
			18.8	18.5	18.5	18.7	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	18.8	18.5	18.5	18.7	18.8	18.5	18.5	18.7
			32.6	32.2	32.2	32.5	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.73	7.67	7.62	7.66	7.73	7.67	7.62	7.66
			9.96	9.90	9.85	9.95	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	9.96	9.90	9.85	9.95	9.96	9.90	9.85	9.95
			13.2	13.1	13.1	13.2	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	13.2	13.1	13.1	13.2	13.2	13.1	13.1	13.2
			15.8	15.5	15.6	15.8	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	48.4	47.7	47.8	48.3	48.4	47.7	47.8	48.3
			58.7	57.8	58.0	58.6	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.95	5.92	6.01	6.06	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	5.95	5.92	6.01	6.06	5.95	5.92	6.01	6.06
			20.3	20.0	20.3	20.6	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	20.3	20.0	20.3	20.6	20.3	20.0	20.3	20.6
			30.9	30.5	30.8	31.3	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-48(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)
(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	17.8	17.6	17.7	18.0	17.8	17.6	17.7	18.0
			20.0	19.7	19.9	20.2	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	20.0	19.7	19.9	20.2	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	21.4	21.0	21.3	21.6	21.4	21.0	21.3	21.6
			13.1	12.9	13.1	13.3	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0	15	21.5	21.2	21.4	21.7	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	21.5	21.2	21.4	21.7	21.5	21.2	21.4	21.7
			26.3	26.0	26.2	26.5	26.3	26.0	26.2	26.5
	30.55~20.6	17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.29	7.36	7.35	7.53	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5	18	7.29	7.36	7.35	7.53	7.29	7.36	7.35	7.53
			19.1	19.1	19.2	19.5	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5	19	19.1	19.1	19.2	19.5	19.1	19.1	19.2	19.5
			37.5	37.2	37.2	37.8	37.5	37.2	37.2	37.8
	5.5~2.0	20	37.5	37.2	37.2	37.8	37.5	37.2	37.2	37.8
			56.4	55.7	56.0	56.4	56.4	55.7	56.0	56.4
TG-TH	33.7~20.6	21	56.4	55.7	56.0	56.4	56.4	55.7	56.0	56.4
			67.7	66.6	67.1	67.5	67.7	66.6	67.1	67.5
	20.6~12.5	22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.85	2.87	2.95	2.83	3.04	2.87	2.95	3.08
	12.5~5.5	23	2.85	2.87	2.95	2.83	3.04	2.87	2.95	3.08
			7.64	7.59	7.78	7.58	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0	24	7.64	7.59	7.78	7.58	7.64	7.59	7.78	7.58
			14.6	14.2	14.8	14.4	14.6	14.2	14.8	14.4
			14.6	14.2	14.8	14.4	14.2	14.8	14.4	
			18.4	17.9	18.9	18.3	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1: ケース 1: 工認モデル (基本ケース), ケース 2: 地盤物性 + σ ,
 ケース 3: 地盤物性 - σ , ケース 4: 積雪

注 2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-49(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(a) S d - D

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	553	524	528	550	642	674	704	649
	32.0	2	461	477	476	462	559	596	606	562
	20.6	3	394	409	412	393	402	412	443	410
	12.5	4	348	349	348	346	348	349	349	346
	5.5	5	289	305	286	288	289	305	286	288
	2.0	8	277	287	261	277	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	553	524	528	550	642	674	704	649
	6.2	10	1030	974	957	996	1030	974	957	999
	12.2	11	1008	994	1008	1027	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1544	1450	1555	1420	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-49(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	473	471	480	469	642	674	704	649
	32.0	2	420	404	428	417	559	596	606	562
	20.6	3	320	337	325	317	402	412	443	410
	12.5	4	253	275	260	251	348	349	349	346
	5.5	5	214	221	194	213	289	305	286	288
	2.0	8	189	183	175	188	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	473	471	480	469	642	674	704	649
	6.2	10	732	741	731	842	1030	974	957	999
	12.2	11	805	812	829	793	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1230	1198	1275	1249	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-49(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)
(c) S d - F 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	442	478	442	439	642	674	704	649
	32.0	2	391	402	391	389	559	596	606	562
	20.6	3	310	320	300	309	402	412	443	410
	12.5	4	257	270	259	259	348	349	349	346
	5.5	5	246	254	244	247	289	305	286	288
	2.0	8	235	235	239	236	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	442	478	442	439	642	674	704	649
	6.2	10	663	619	606	708	1030	974	957	999
	12.2	11	735	721	744	625	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1166	1145	1104	1128	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-49(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)
(d) S d - N 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	642	674	704	649	642	674	704	649
	32.0	2	559	596	606	562	559	596	606	562
	20.6	3	402	412	443	410	402	412	443	410
	12.5	4	324	330	349	322	348	349	349	346
	5.5	5	254	249	271	252	289	305	286	288
	2.0	8	220	220	234	219	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	642	674	704	649	642	674	704	649
	6.2	10	921	924	839	908	1030	974	957	999
	12.2	11	962	975	959	1080	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1317	1312	1315	1394	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-49(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)
(e) S d - 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	525	534	545	526	642	674	704	649
	32.0	2	473	473	486	473	559	596	606	562
	20.6	3	355	353	354	355	402	412	443	410
	12.5	4	300	305	311	300	348	349	349	346
	5.5	5	257	255	273	256	289	305	286	288
	2.0	8	238	238	258	238	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	525	534	545	526	642	674	704	649
	6.2	10	1011	929	952	999	1030	974	957	999
	12.2	11	1183	1120	1209	1233	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1723	1650	1771	1690	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-50(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(a) S d - D

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.52	0.51	0.55	0.53	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.47	0.46	0.50	0.47	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.35	0.34	0.38	0.35	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.26	0.23	0.30	0.26	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.15	0.12	0.20	0.15	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.09	0.06	0.14	0.09	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.51	0.55	0.53	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	7.24	6.96	7.44	8.36	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	14.94	14.44	15.66	17.13	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	20.29	19.61	21.12	21.11	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-50(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.45	0.43	0.48	0.44	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.40	0.38	0.43	0.39	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.29	0.27	0.32	0.28	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.20	0.18	0.23	0.20	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.11	0.09	0.14	0.11	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.05	0.04	0.09	0.05	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.45	0.43	0.48	0.44	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.28	4.17	4.62	4.32	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.60	9.23	10.04	9.33	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	12.84	12.33	13.28	12.88	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-50(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(c) S d - F 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.43	0.43	0.46	0.43	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.38	0.37	0.41	0.38	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.27	0.26	0.30	0.28	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.19	0.18	0.22	0.19	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.10	0.09	0.13	0.10	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.07	0.04	0.09	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.43	0.43	0.46	0.43	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.55	4.45	4.76	3.91	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.42	9.15	9.75	7.98	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	11.48	11.07	11.85	9.84	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-50(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)
(d) S d - N 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.57	0.57	0.63	0.59	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.51	0.51	0.56	0.52	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.37	0.35	0.41	0.37	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.26	0.24	0.29	0.26	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.14	0.11	0.17	0.14	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.07	0.04	0.12	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.57	0.57	0.63	0.59	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.30	4.21	4.44	4.46	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.49	9.28	9.89	8.48	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	12.28	11.77	12.71	11.94	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-50(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)
(e) S d - 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.50	0.48	0.54	0.48	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.43	0.42	0.47	0.43	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.31	0.29	0.34	0.30	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.22	0.21	0.25	0.22	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.13	0.11	0.16	0.13	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.08	0.06	0.11	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.50	0.48	0.54	0.48	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	10.34	10.00	10.64	10.08	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	23.29	22.49	24.30	22.75	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	29.86	28.84	31.32	28.78	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-51(1) 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.20	4.25	4.72	4.81	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	12.0	12.2	12.1	12.1	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	25.2	25.7	25.8	25.3	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	37.9	37.9	38.6	37.9	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	44.9	44.8	45.9	44.9	45.3	47.1	50.6	45.7

注 1：ケース 1：工認モデル（基本ケース），ケース 2：地盤物性 + σ ，

ケース 3：地盤物性 - σ ，ケース 4：積雪

注 2：ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-51(2) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.40	3.32	3.43	3.27	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	10.8	10.4	11.0	10.6	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	21.6	22.0	22.3	21.3	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	31.0	31.8	32.0	30.6	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	35.8	37.4	36.7	35.4	45.3	47.1	50.6	45.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-51(3) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.35	3.64	3.37	3.54	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	10.2	10.7	10.3	10.4	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	20.6	21.4	20.6	20.7	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	29.7	30.6	29.2	29.9	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	34.5	35.5	33.3	34.6	45.3	47.1	50.6	45.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 4-51(4) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)
(d) S d - N 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.35	4.33	4.57	5.13	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	13.9	14.8	15.3	14.7	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	27.9	29.2	30.8	28.4	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	39.2	40.8	43.7	39.7	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	45.3	47.1	50.6	45.7	45.3	47.1	50.6	45.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値
 を表示。

表 4-51(5) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(e) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.02	4.18	4.15	4.00	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	12.4	12.4	12.7	12.0	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	24.8	24.7	25.1	24.5	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	34.9	34.4	35.2	34.6	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	39.7	39.3	39.7	39.3	45.3	47.1	50.6	45.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース) , ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

4.2 静的解析

「3.3 解析方法」による解析方法で算定した地震層せん断力係数 $1.5 \cdot C_i$ 及び静的地震力（水平地震力）を表 4-52 及び表 4-53、図 4-32 及び図 4-33 に、最大接地圧を表 4-54 に示す。

表 4-52 地震層せん断力係数 ($1.5 \cdot C_i$) 及び水平地震力 (NS 方向)

EL (m)	第 i 層が支える重量 W_i (kN)	地震層せん断力係数 $1.5 \cdot C_i$	水平地震力 Q_i ($\times 10^3$ kN)
41.6~32.0	98710	0.807	79.66
32.0~20.6	272570	0.537	146.37
20.6~12.5	617880	0.356	219.97
12.5~5.5	984810	0.279	274.76
5.5~2.0	1241890	0.240	298.05

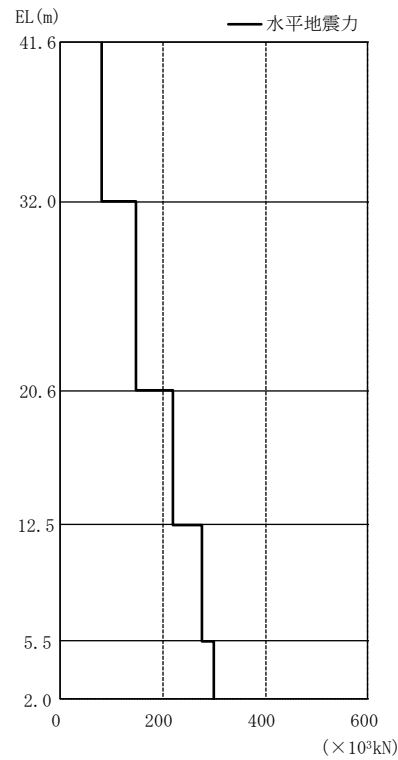


図 4-32 水平地震力 (NS 方向)

表 4-53 地震層せん断力係数 ($1.5 \cdot C_i$) 及び水平地震力 (EW方向)

EL (m)	第 i 層が支える重量 W_i (kN)	地震層せん断力係数 $1.5 \cdot C_i$	水平地震力 Q_i ($\times 10^3$ kN)
41.6~32.0	98710	0.533	52.61
32.0~20.6	272570	0.429	116.93
20.6~12.5	617880	0.330	203.90
12.5~5.5	984810	0.275	270.82
5.5~2.0	1241890	0.240	298.05

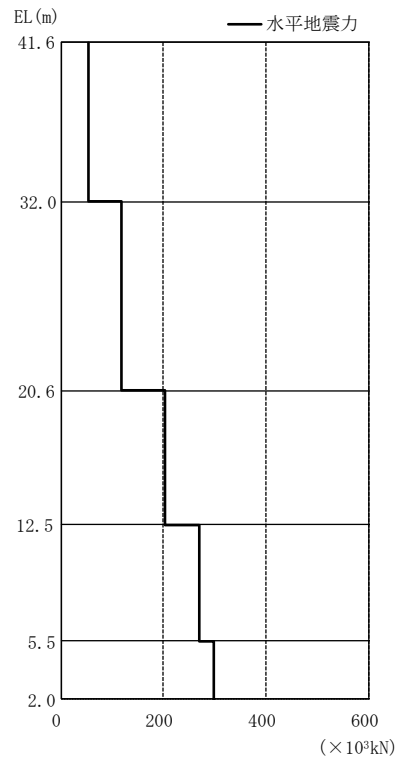


図 4-33 水平地震力 (EW方向)

表 4-54 最大接地压 (静的地震力)

方向	最大接地压 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)
N S	0.375
E W	0.319

4.3 必要保有水平耐力

「3.3 解析方法」による解析方法で算定した必要保有水平耐力 Q_{un} を表 4-55 及び表 4-56, 図 4-34 及び図 4-35 に示す。

表 4-55 必要保有水平耐力 (N S 方向)

EL (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 Q_{un} ($\times 10^3$ kN)
41.6~32.0	0.55	1.00	145.99
32.0~20.6	0.55	1.00	268.20
20.6~12.5	0.55	1.00	402.70
12.5~5.5	0.55	1.00	504.81
5.5~2.0	0.55	1.00	546.43

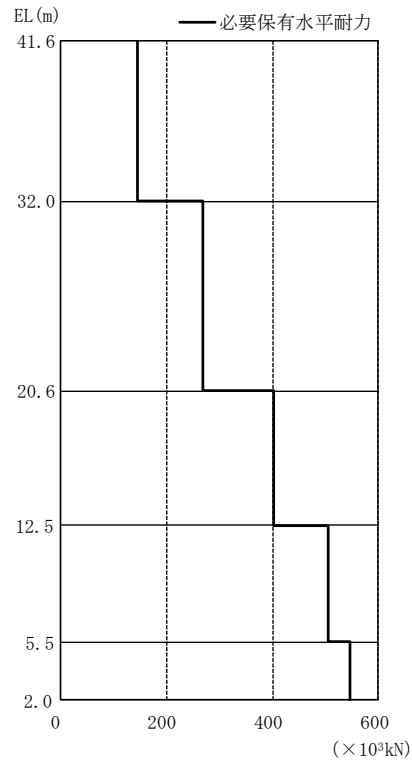


图 4-34 必要保有水平耐力 (N S 方向)

表 4-56 必要保有水平耐力 (E W 方向)

EL (m)	構造特性係数 D_s	形状特性係数 F_{es}	必要保有水平耐力 Q_{un} ($\times 10^3$ kN)
41.6~32.0	0.55	1.00	96.31
32.0~20.6	0.55	1.00	214.68
20.6~12.5	0.55	1.00	374.16
12.5~5.5	0.55	1.00	495.06
5.5~2.0	0.55	1.00	546.43

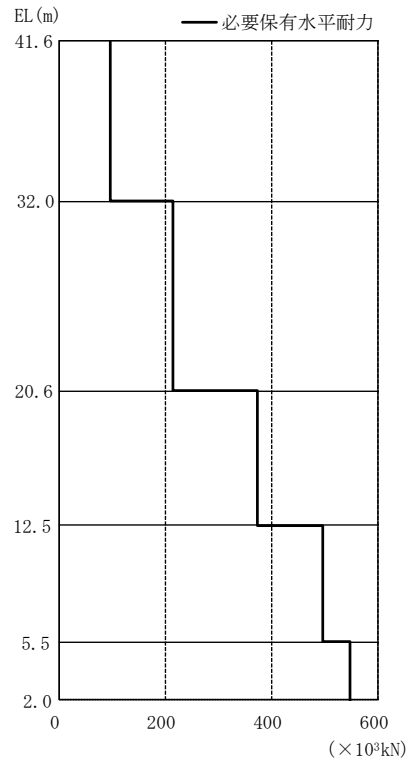


图 4-35 必要保有水平耐力 (E W 方向)